# 建築と社會

## 林泉と庭園號

目次


| | |
|---|---|
| 我國庭園の位置 | 上原博士 |
| 日本庭園の將來 | 上田村博士 |
| 濱離宮に就いて | 中島學士 |
| 建築と日本庭園の特色 | 古宇田學士 |
| 日本庭園の植栽材料 | 龍居學士 |
| 最近歐米に於ける庭園の傾向 | 關口學士 |
| 公園より私庭を見る | 井下技師 |
| 庭園と花壇 | 野間學士 |
| 大阪の庭園に就いて | 椎原技師 |
| 庭園の行進曲 | 方技師 |
| 石燈籠の美 | 津田技師 |
| 芭蕉蓑虫庵の庭園に就いて | 城戸氏 |
| よき庭は良建築家によりて | 岡本學士 |
| 醍醐寺三寶院及五重塔に就いて（上） | 天沼博士 |



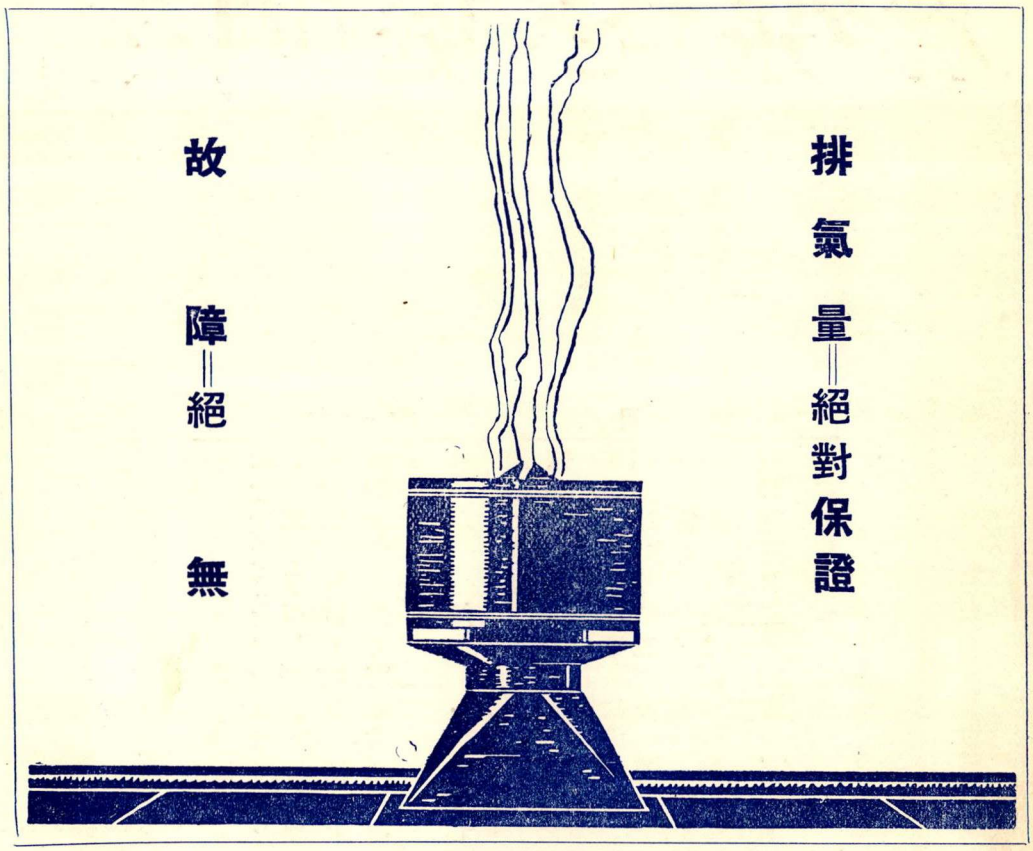
昭和四年十月一日

第十二輯
第十號

日本建築協會

# 特許三機式(ロバートソン)通風器

# 特許三機式天窓




## 科學三機式通風器ヲ生ム

# 三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區內幸町一ノ三(大阪ビル內)
電話銀座(57)5330—5335(6)2831—2833(3)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル內)
電話本町1166・1525

取扱店　各地三井物産株式會社支店機械部

型錄贈呈

商標 OHNO SHUTTER PATENTED 登錄

特許第七九三五號(延長許可)外十數件併用

# 大野式防火捲上ヶ戸

〔特許大野式シヤッター〕

## 主要製品

大野式**シヤッター**
大野式自働防火鎧戸
大野式工場用軸承
大野式轉子入軸筐
大野式轉子入戸車
大野式廻轉軸抵抗測定機
各種防火扉
應用・特殊機械類

特許不二式**サッシ**受托販賣

合資會社 **大野製作所**

東京市芝區三田四國町二番地・電話三田(45)七三三七・七三三七番

八八五(45)島福話電・二中島福上區花此市阪大・所詰員張出付取



# 林泉と庭園號　建築と社會

第十二輯
第十號

# 目次

頭巻

◇建築と庭園……七
挿繪＝大大阪新態・舊態　土佐堀川の風景……七
◇我國庭園の位置……東京高等造園學校長 林學博士 上原敬二……八…一〇
◇日本庭園の將來……東京帝國大學講師 林學博士 田村剛……一一…一三
◇濱離宮に就いて……宮内省内匠寮技師 林學士 中島卯三郎……一三…一六
◇建築に對する庭園と日本庭園の特色……神戸高等工業學校長 工學士 古宇田實……一七…二三
◇日本庭園の植栽材料……文學士 龍居松之助……二四…二九
◇最近歐米に於ける庭園の傾向……京都帝國大學助教授 農學士 關口鍈太郎……二九…三四
◇公園より私庭を見る……東京市公園課長 井下清……三四…三七
◇庭園と花壇……京都植物園技師 農學士 野間守人……三八…四一
◇大阪の庭園に就いて……大阪市公園課長 椎原兵市……四一…四四
◇庭園の行進曲……大阪市公園課 方米治郎……四四…四九
——その時代相の數々——

事記輯特園庭と



泉林


◇石燈籠の美……津田鑿…一五〇
◇芭蕉蓑虫庵の庭園に就いて……城戸久…一五一…一五五
◇よき庭はよき建築家によりて……法學士 岡本彰一…一五五…一五八
◇醍醐寺三寶院及五重塔に就いて…(上)……京都帝國大學教授 工學博士 天沼俊一…一五九…一六三
◇アパートメント・ハウスの實例…(3)……工學士 葛野壯一郎…一六四…一六六
◇飛行機上より見たる建築と社會(6)——結論——……下浦光衛…一六七…一七〇
◇建築工事の事務と勘定(5)……由良基夫…一七一…一七五
中島智喜


附錄


◇寫眞 國際新建築集……三九…四二
◇寫眞 京阪神新建築集……四八…五二
◇會報……二
◇本誌廣告目次……四五…四八


繪口


◇大阪茶臼山・舊住友男爵邸庭園……一
◇大阪網島・藤田男爵邸庭園……二
◇大阪高津・吉田氏邸庭園……三
◇羅馬バンフイリの莊園……四
◇羅馬アルバニ家の莊園……四
◇お伽噺の國から取材したベルリンの新らしい庭園……五
◇印度タイ、マハール王宮殿の庭……六
◇西班牙セビラノ王宮殿の庭……八


# 林泉と庭園號 建築と社會


第十二輯
第十號


# 目次

# 建築と社會第十二輯第十號

## 廣告目次


A
葵商會……頁 二一
有山組……三九
安藤組大阪支店……三九
淺野物產株式會社大阪支店建築材料部……五五
淺野スレート株式會社……一六
淺海商店……六四
阿部鐵工所……六八

D
デウエット商會……六九
電氣經濟時報社……一一
大和工業株式會社……八四
大丸……七三

E
エッチ・イー・ルート……二二
エッチ・イー・ルート榮進社……二三
衛生工業商會……四三
……三五

F
布卯商店……一四
福原工場大阪販賣店……四六
藤田商會……四四
藤木工務店……三八
藤井製作所……七六
古塚建築事務所……三三

H
橋本建築事務所……三三
橋本庭園工務所……二七
波江野工生所……四二
白陽工務店……三五
汎建製作所……表紙三
原科建築事務所……三三
本間建築事務所……三三

I
池田建築事務所……三三
池田谷建築事務所……三三
池田組……三五

伊丹商店……五一
伊藤建築事務所……三三
井原建築事務所……三三

K
クロースルーフ井ング製造所……六〇
江東サツシ株式會社……七一
木下謹三商店……七六
熊取谷熊次郎商店……三八
高陽商會……二〇
國枝工務所……三三
川崎工業所……六四
金剛商會……四七
片岡、石本建築事務所……三二
桐田商會……六六
葛野建築事務所……三二
建築金物商會……表紙四
春日井建築事務所……三二
鴻池組……三九
駒井喜商店鐵工部……三九
工材社（阪口芳三郎）……二八
龜谷開作商店……三七

M
松村組……三八
村上建築事務所……三二
三井物產株式會社……四
森本建築社……四〇
眞水三橋建築事務所……三二
万年スレート株式會社……一八
宮島康夫商店……八一

N
ナンコク商事株式會社……一五
内外エレベーター株式會社……五三
内外土木建築材料合資會社……八〇
浪花設計事務所……三二
日本洋瓦株式會社大阪出張所……五〇
日本木材工藝株式會社……八三
日本スレート販賣株式會社大阪支店……七五
日本ペイント製造株式會社……一九
日本エレベーター製造株式會社……一〇
日本水道衛生工事株式會社……六五
日本建築紙工株式會社大阪出張所……五一

日本燃油機株式會社……三
日本工劑株式會社……七九
新田ベニヤ製作所……二九
西孫南店建築金物部……四五
西原衛生工業所大阪支店……三七
中川辰藏店……三二
中村建築事務所……三二
南滿鑛業株式會社……五七
野澤幸三郎商店……七二
野村建築事務所……三二

O
オキナ商店……五九
大阪ピトロライト工事合資會社……二〇
大阪耐火リノリューム工業合資會社……五四
大阪瓦斯株式會社營業所……七七
大阪窯業セメント株式會社……二五
大阪鐵筋混凝土工務所……三六
大阪橋本組……三六
大林組……三六
大倉商事株式會社……三七
大倉土木株式會社大阪出張所……三五
大塚鐵工所金庫部……九
大野製作所……一一
大阪建築所……三一
小笠原建築事務所……三一
小野木横井共同建築事務所……三六
岡本工務店……三一
岡部建築事務所……六〇
岡田建築材料店……三一
置鹽建築事務所……六七
奥村重兵衛商店……

R
ラバロイド商會……一七
玲光社（木内眞太郎）……五八

S
SO商會……四八
須賀商會……四九
島田建築事務所……三一
島貿易株式會社建材部……五一
佐久間建材工業所……四一
佐渡島西店建材部……一三
佐伯組……四〇

三五製作所……七四
三機工業株式會社……表紙二
澤田合名會社……八二
笹岡家具裝飾店……四二
城口研究所大阪支店……七〇
宗建築事務所……三一
設樂建築事務所……三〇
清水榮二建築事務所……三一
清水組大阪支店……四〇
品川白煉瓦株式會社大阪タイル部……七四
政正合資會社……五二

T
東洋リノリーム株式會社……一二
東洋コンクリート合資會社……六二
東洋工業株式會社コルク部……一八
東洋スレート株式會社……八五
東亞鐵工所……六一
田中昌司商店……八〇
田中工業株式會社……八六
田村商會……八
田村事務所……三〇
田中源太郎商店……六
竹中工務店……三七
朝永建築事務所……三〇

U
上野建築事務所……三〇

V
ベニス工房……五六

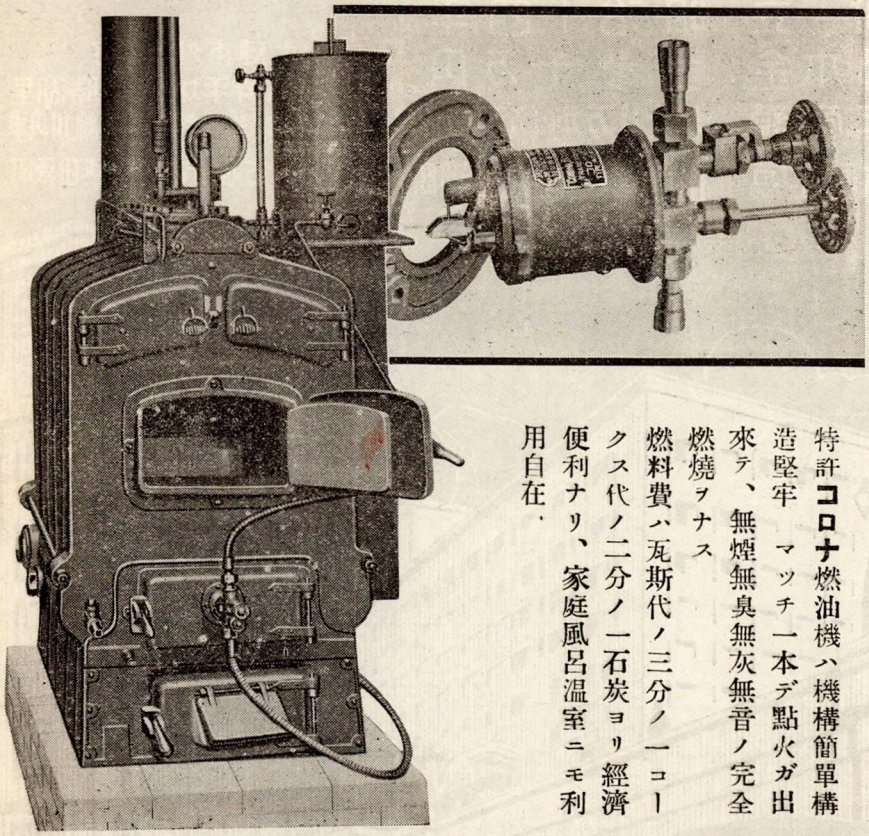
W
和田建築事務所……三〇

Y
山本窯業商店……五六
山中商會……六三
山崎吉松商店……七八
安井建築事務所……三〇
矢橋大理石商店……四
米本商店……五八
横河工務所……三〇
横川橋梁製作所……二四
横濱建築事務所……三〇

Z
錢高組……四〇

TRADE MARK

# 實用的に最も進歩せる特許コロナ重油燃燒機



特許コロナ重油燃燒裝置ヲ取附ケタル煖房汽罐ノ圖

特許コロナ燃油機ハ機構簡單構造堅牢　マッチ一本デ點火ガ出來テ、無煙無臭無灰無音ノ完全燃燒ヲナス

燃料費ハ瓦斯代ノ三分ノ一コークス代ノ二分ノ一石炭ヨリ經濟便利ナリ、家庭風呂温室ニモ利用自在

カタログ御申込次第送呈
實驗御申込次第應需

## 日本燃油機株式會社

營業部　東京市日本橋區通貳丁目加島ビルデング參階

電話日本橋(24)一九七四・一九七五・一九　六番

製作部　東京府西巢鴨町宮仲一九五一番地

電話大塚(86)一一七二番

# 小野田白色ポルトランドセメント

## 小野田ポルトランドセメント

創立　明治十四年
資本金　金参千万円
年産額　八十八万瓲(五百二十万樽)
本社工場　山口県厚狭郡小野田町

支社工場
大連市外周水子
朝鮮平壌府外勝湖里
朝鮮咸鏡南道線川内里
名古屋市南区熱田東町



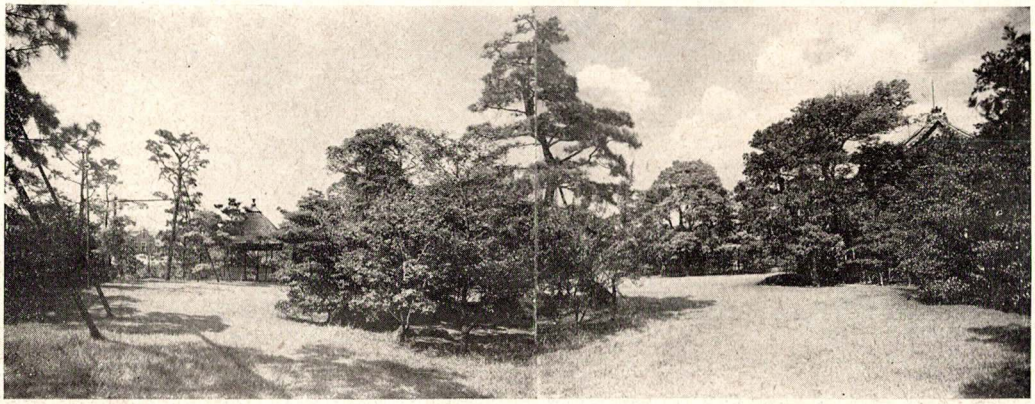
一手販売
三井物産株式會社

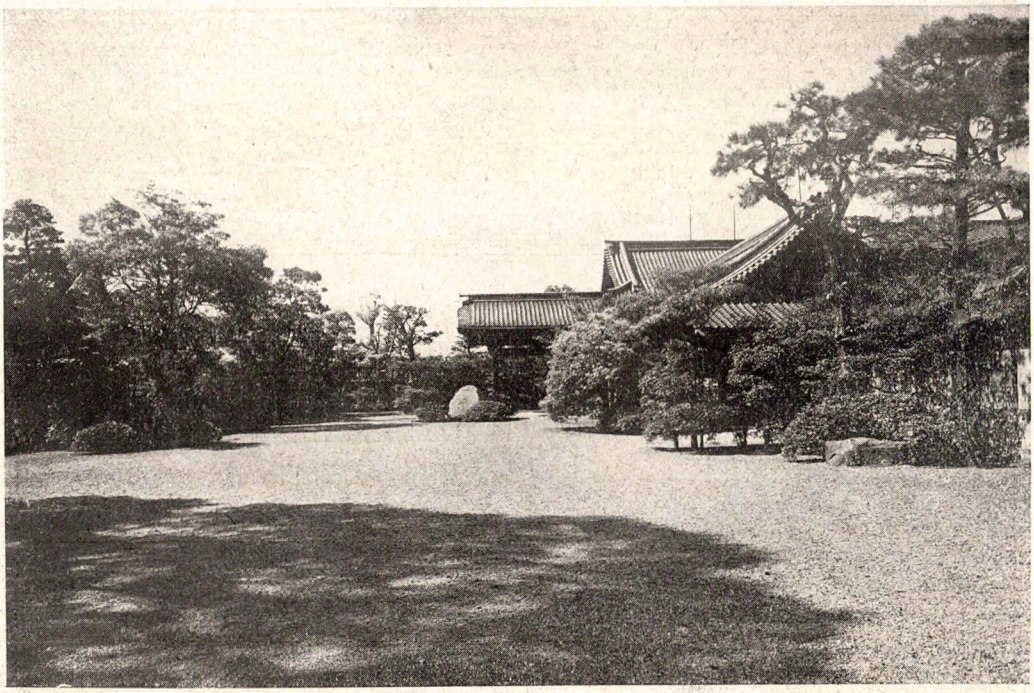




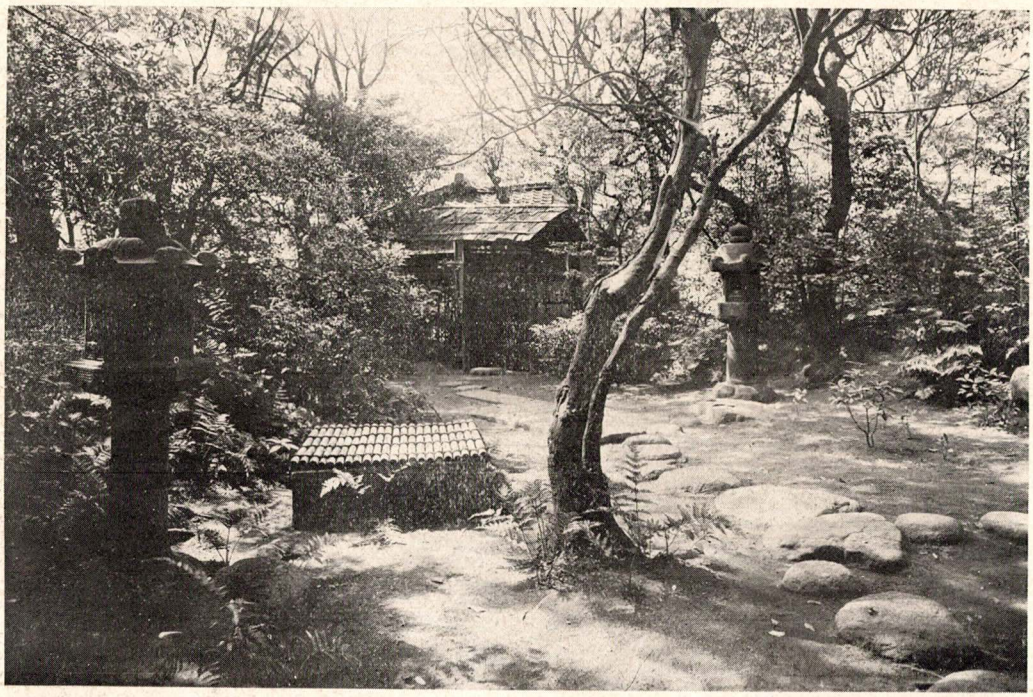
**日本庭園**

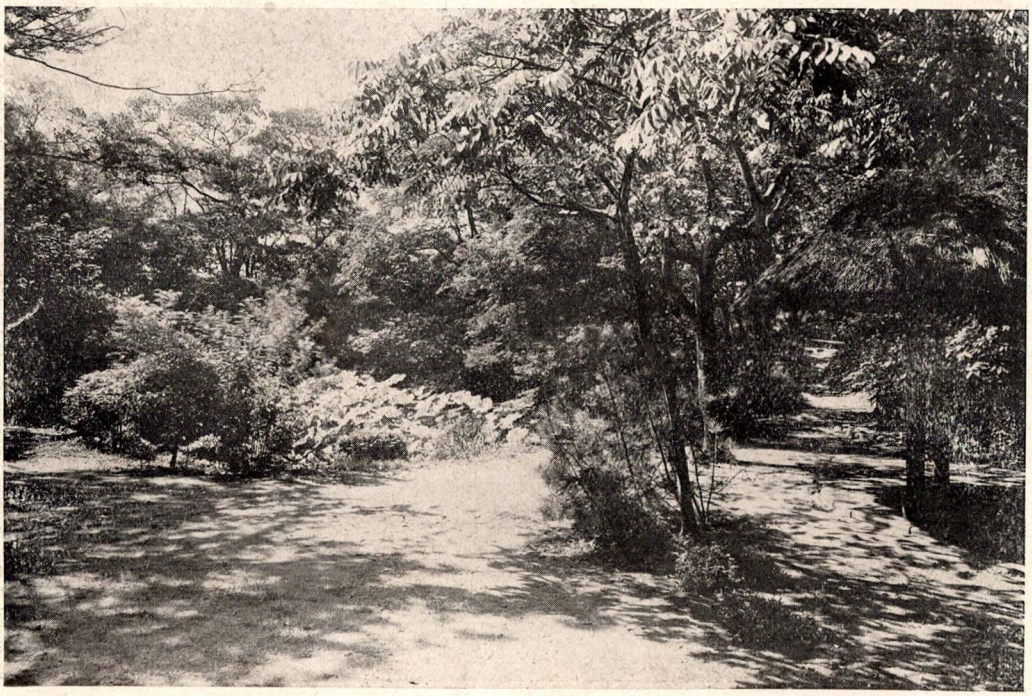
大阪茶臼山舊住友男爵邸庭園（大阪の庭園に就いて記事參照）



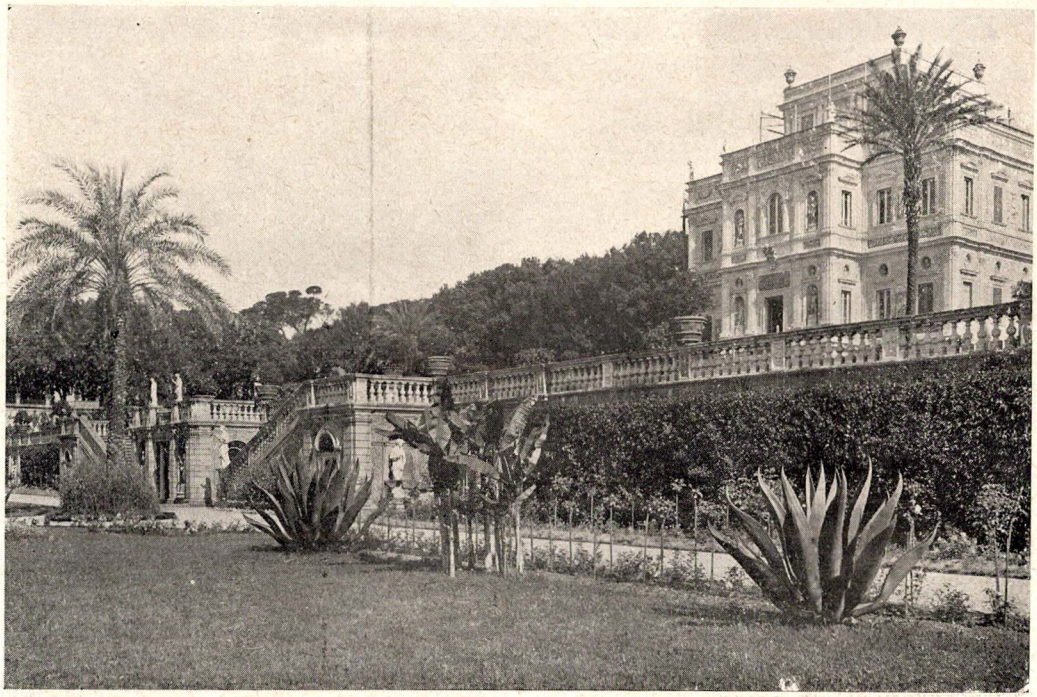


**日 本 庭 園** ..... 大阪網島藤田男爵邸庭園（大阪の庭園に就いて記事參照）





大阪高津吉田氏邸庭園（大阪の庭園に就いて記事參照）



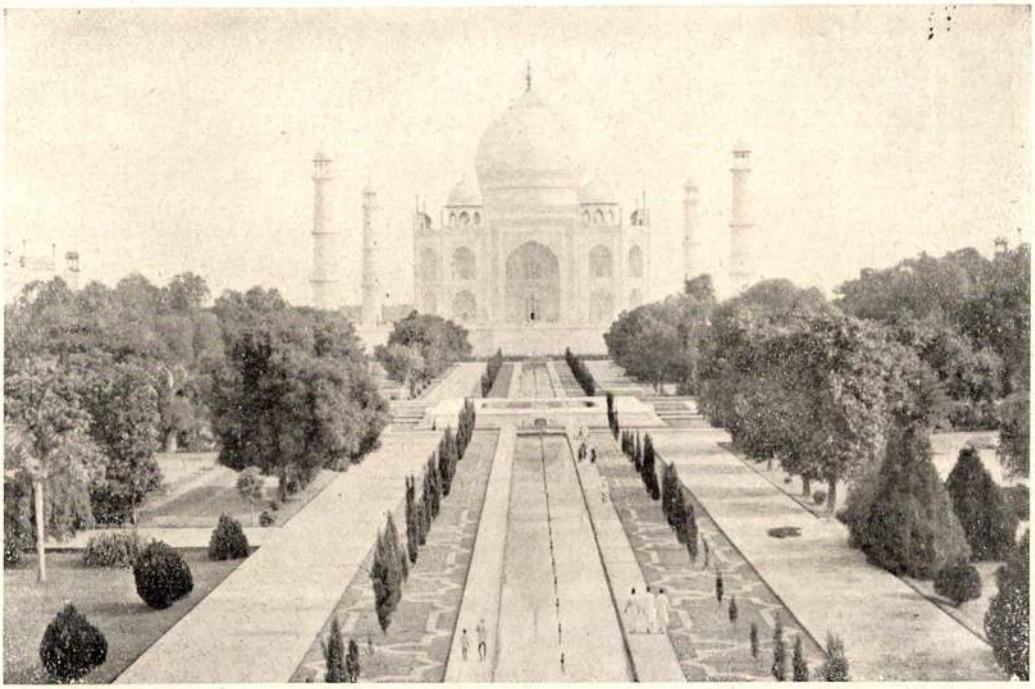


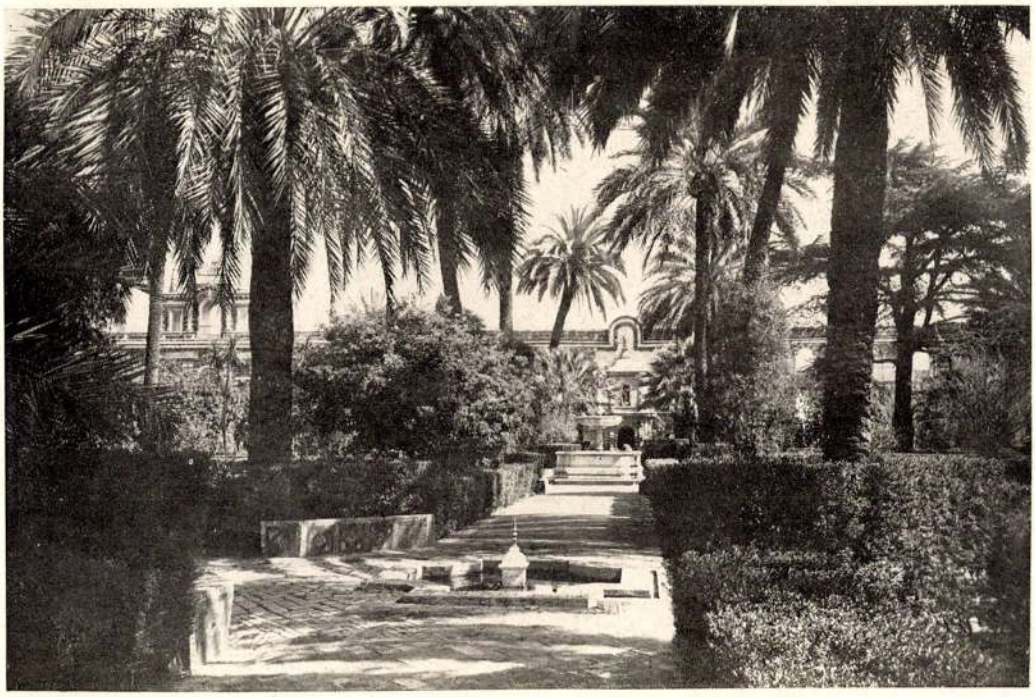

上 ルネサンス式の羅馬パンフイリの莊園　　下 羅馬アルバニ家の莊園





お伽噺の國から取材した逸獨ベルリンの新らしき庭園





上 印度 **タイ・マハール王宮殿の庭**

下 **サラセン式の林泉西班牙セビラノ王宮殿の庭**

夏ハ蚊蟲ハ

# ロールスクリーン

近來模造品多數あり本品御指定ありたし

Rolscreens

The Ideal Screen For Casements

特許第74197號



（型錄贈呈）

## 島貿易株式會社建材部

日本總代理店

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
三一六八番


## 晝は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便な**ロールスクリーン**の御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實に**スクリーン**の問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此の**スクリーン**の用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我が**ロールスクリーン**の出現及び提供であります

# オイルステイン

## 建築物の永遠の美は
## オイルステインの使用により完ふさる！

建築木部の塗裝材料に就いては曰くペンキ塗り、ニス仕上げ、等々……種々雜多の方法、材料の內、美術的な永久性おゝ經濟な、オイルステインは今や「ステイシ塗り」の畧稱のもとに廣く使用されつゝある。ビルデイングに、學校建築に、船室に、住宅に、家具に本品の着色仕上により高價な木質も、割安な木質も完く「清楚」「高尙」云ひ知れぬ快感を與へます。

日本總代理店

資本金會社 **田中源太郎商店塗料部**

所在地 東京 東京都千代田區丸ノ內二丁目一番地 電話(23)一〇三三番 振替東京六六〇〇番

大阪營業所 大阪市北區梅田上町四九番地 電話北二五六八番 二五六七番 振替大阪一〇八〇九番

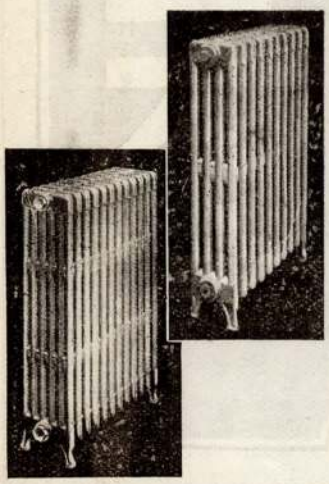
札幌營業所 札幌市北一條西三丁目二番地 電話札幌二一一九番 振替小樽一一一番

# AMERICAN RADIATOR COMPANY
# NATIONAL RADIATOR COMPANY

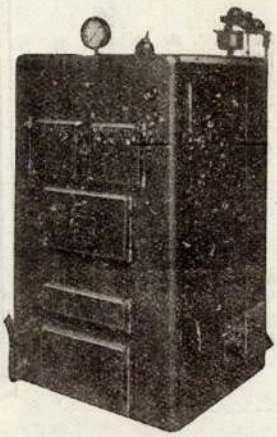
アメリカン ラヂエーター會社製

ナシヨナル ラヂエーター會社製

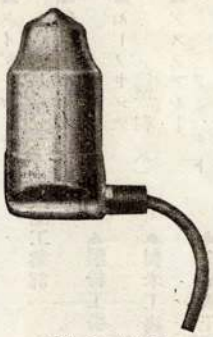
暖房用汽罐放熱器及附屬品一式



Ideal Classic Radiator



Ideal Red Jacket Boiler



Ideal Airid
Air Valve



No. 999 Arco
Packless Valve

日本代理店

## 大倉商事株式會社

東京銀座　大阪東區釣鐘町

◆耐震耐火＝品質優良＝優美高尚＝價格至廉◆

# 金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

## 營業種目

◆建築材料部
- ▲金屬天井
- ▲リブプレツクス（リブラス）
- ▲コーナービード
- ▲内外メタルラス
- ▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
- ▲舶來ウオールボード各種
- ▲ルーフキング（便利瓦）
- ▲アスファルトフエルト
- ▲其他建築材料一般

◆木材部
- ▲米材各種
- ▲チーク材
- ▲ラワン材
- ▲床板各種

◆穀類部
- ▲内外小麥粉
- ▲内外麩
- ▲内外米

◆工業部
- ▲製粉工場
- ▲製米工場
- ▲金屬鍛工場

型錄進呈


# 田村商會

**本店**
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五）

**支店**
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八、六八一〇）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市港町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレビー街
電話 八八一

**工場**
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一一、二四〇三、二四四、六四〇）

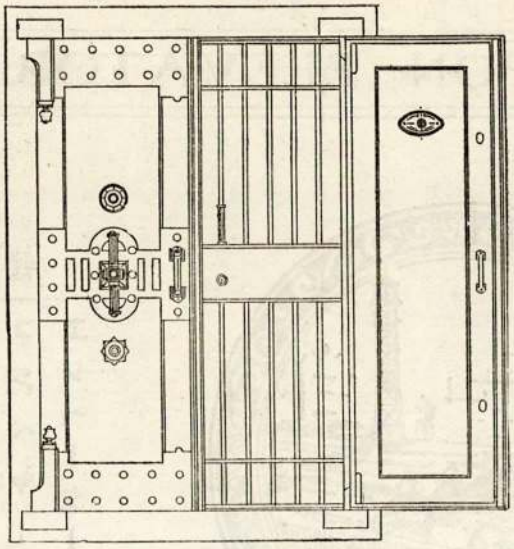
新案特許

# 火焰遮斷裝置防火扉は

國立大阪工業試驗所に於ける耐熱試驗の結果
最高温度攝氏壹千貳百八拾度
連續加熱七時間十五分の新記錄を示せり

金庫室は完全なる扉と
內部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絕對的
災害防止の效果を實現す

創業明治二十年



金庫室防火扉

御用命を蒙り納入せる尊名

## 營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

日本銀行名古屋支店
三井銀行
三十四銀行
山口銀行
野村銀行
伊藤銀行本店
名古屋銀行
明治銀行
大垣共立銀行
濃飛農工銀行
蘇原銀行
濱松銀行
中埜銀行（愛知縣）
野村銀行（大人）
灘商業銀行
武庫銀行
西海商業銀行
久美濱銀行
大垣貯蓄銀行
大阪貯蓄銀行
內國貯金銀行
朝日堂株式會社
野村證券株式會社
野村合名會社
奈良信託株式會社
東邨瓦斯株式會社
三井信託株式會社
三井物產株式會社
大日本人造肥料株式會社
豐國火災保險株式會社
東洋海上火災保險株式會社
三菱電氣神戶製作所
多聞合資會社
松阪屋呉服店
大阪敎會所
呉銀行本店
岡谷本邸（名古屋）
萩町信用組合
株式會社鹽野義商店
株式會社武田長兵衛商店
八馬邸（芦屋）
內邸（芦屋）
安藤商店（名古屋）
池田商店（名古屋）
岩津邸（名古屋）
瀨邸（京都）
鄕邸（京都）
宅邸（四日市）
西宮市廳舍
村邸（鳥羽）
金光敎邸（名古屋）
三邸

# 大塚鐵工所金庫部

大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地
所主 瀨村松之助
電話西五〇一七番

工場 | 九條南通一丁目 | 三軒家上之町 | 北境川町

NIPPON ELEVATOR CO.



営業科目

一般輸送機械
ホイスト
ケーブルカー
自働階段
コンベヤー各種
エレベーター各種

製作設計

# 日本エレベーター製造株式會社

本　社　大阪市東區中道川西町
電話東局(94) 2367

工　場　兵庫縣尼崎市外神崎驛北側
電話土佐堀局(44) 7328・7329

支　店　東京驛前丸ノ内ビルヂング四階
電話丸ノ内(23) 3073・3074

専賣特許　東松式外參拾貳件

電氣常識叢書第二輯

# 電氣の入口

工學士　工藤壽男述

三五版　約六十頁
定價　參拾錢
郵稅　貳錢

發賣十月中旬

建築電氣に明るい著者が、電氣の基礎（電壓、電流、抵抗、電力等）に就いて面白く、建築家を對照として書いて居る。同君は電氣技術者には稀に見る文筆の人だけに書き方も明るく、釣こまれる様な氣がする。是非御一讀を乞ふ。

發行所　**電氣經濟時論社**

大阪市北區宗是町一二

電話土佐堀五七五番
振替大阪四九五五八番



昭和四年度『建築と社會』
特輯號廣告

二月號　震災豫防號（賣切）
三月號　レストランとカツフエー號（賣切）
四月號　鄉土建築號（既刊殘部僅少）
五月號　小住宅研究第一集（賣切）
六月號　小住宅研究第二集（賣切）
七月號　都市美觀號（既刊殘部僅少）
八月號　貸家建築とアパートメント號（賣切）
九月號　商店建築號（殘部僅少）
十月號　林泉と庭園號（既刊）

**十一月號　照明、暖房、衛生研究號**

十二月號　防火建築とビルヂング號
一月號　昭和四年建築大觀號

十一月號は照明暖房及衛生研究號です。どしどし會員諸君の御投稿を冀ひます。

建築と社會編輯部

理想的
床敷材
# リノリユーム




## 東洋リノリユーム株式會社

營業所　大阪市東區瓦町二山口ビル四階
電話本局二〇六〇番
三九一〇〇番

年額百五十萬平方碼

# 金庫天井

サドシマ式

吹抜寸法御通知次第出精値段ヲ以テ
御見積致シマス。

佐渡島西店建材部

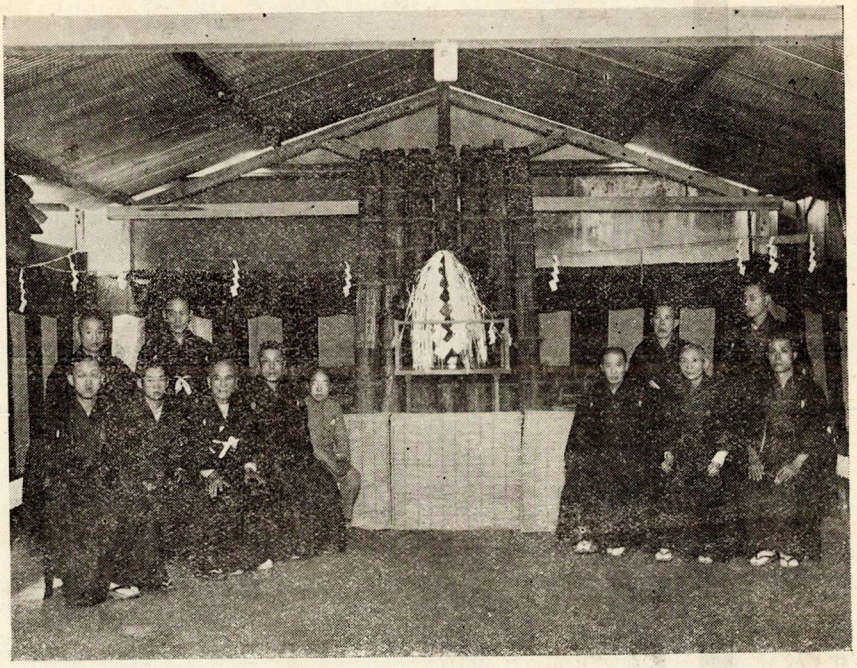
大阪市南區安堂寺橋通三丁目

電話船場933.932.922.

カタログ贈呈

寫眞は畏れ多くも弊店納入の北山丸太御使用の

## 青山御所御茶室起工式



北山丸太御買入の好時季
優良品數多取揃へ居ります

北山・吉野山林所有

## 本邦定評の材木商

天井板床廻用材
諸工藝化粧用材
各種內外材挽材
各地銘木珍木採集

# 斧布卯商店

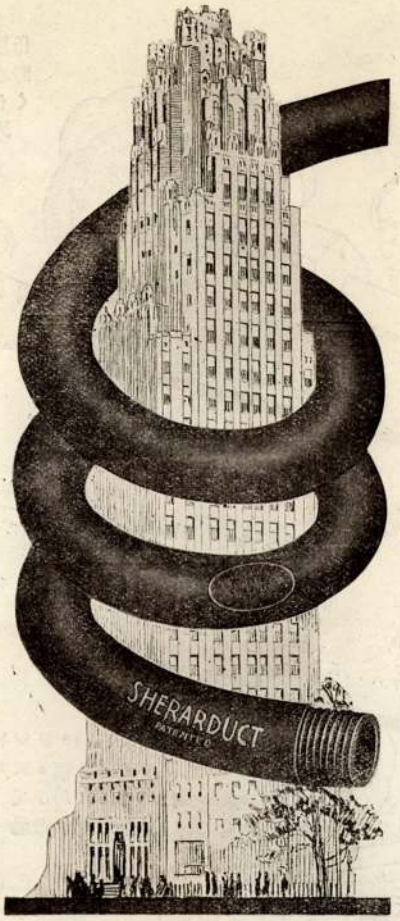
坪井卯兵衛

大阪市東區横堀五丁目拾番地
（但市電阿波座中通停留場東へ二丁）
電話㊤船場一四一七番

御注文は多少に不拘大歡迎

# シエラーダクト

絶對防錆




優秀第一

型錄進呈

日本總代理店

## ナンコク商事株式會社

東京　大阪　紐育

丸ノ内仲通十號舘　堺筋・野村ビル　チヤーチ街

# 淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



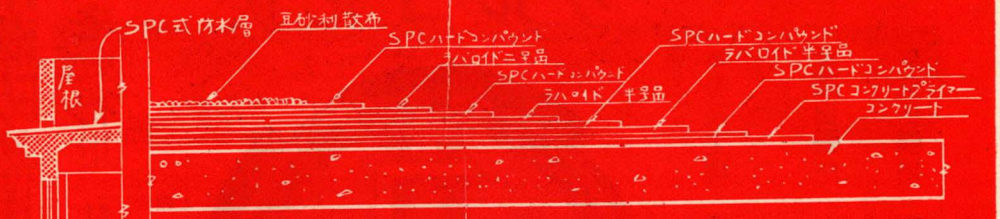
## 淺野スレート株式會社

| 東京 | 大阪 | 門司 | 名古屋 | 札幌 |
|---|---|---|---|---|
| 京橋區三十間堀三ノ一 | 北區中之島五ノ八 | 白木 | 中區南鍛冶屋町三ノ四 | 北三條東四ノ一 |
| 電話 銀座 一八六〇 一八六二 一八六二 | 電話土佐堀 八三〇五 八三〇六 長八三〇七 | 電話 長一九三一 一九三八 | 電話申 一〇九七 | 電話 九五長 |



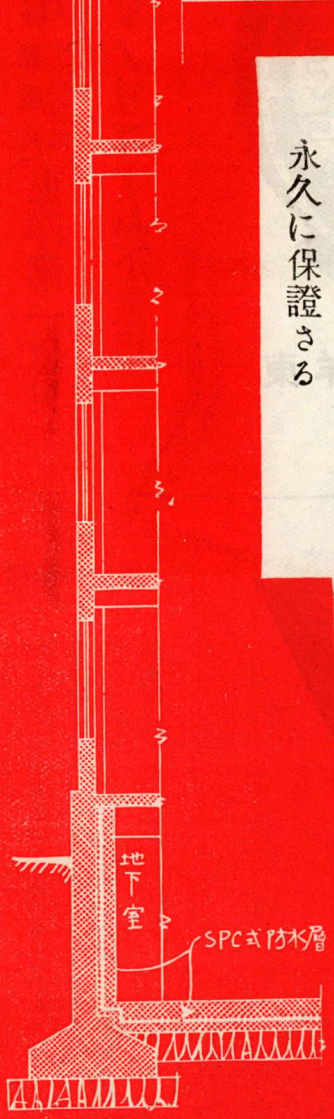
強靱の石綿セメント製ゆ
ふ下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

# 淺野壁板




# SPC式 ラバロイド防水層

防水は
建築の生命である
防水の生命は
**ラバロイド**に依て
永久に保證さる





大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）

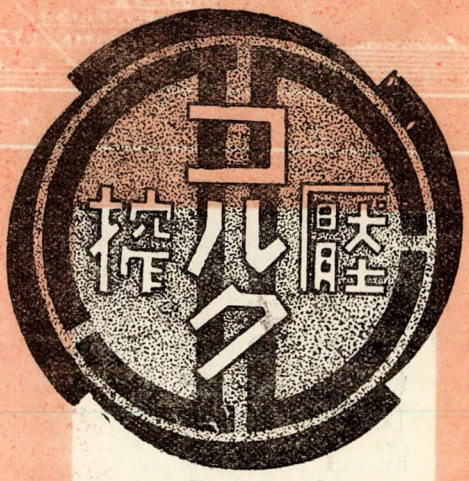
門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 六九〇番 一 五六〇番）

# 冷藏防熱用

製産高（工場設備）東洋第一位!!

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

## 炭化コルク




東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町
電特長五二五〇番
五二五一番

大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地
電話北一三八九番

東京出張所　東京市神田區豊島町七番地
電浪花八五三番

# 万年スレート

石綿セメント製万年スレート
万年壁板
万年パイプ
製造販賣請負

大阪市西區新町南通三丁目二番地

## 万年スレート株式會社

電話新町四〇七〇番

工場　大阪市西成區千本通七電天下茶屋二四八〇
神戸市東尻池町運河堀止（電兵一一〇九番）
岡山市仁王町六〇番地（電話一一〇三番）
福岡市渡邊通三丁目（電話三三一二番）
熊本市山崎町四八番地（電話二七〇六番）
鹿兒島市新屋敷町九一（電話七四二番）

出張所　京城府

出張員　朝鮮。



## 張主の特獨

不正工事に原因するスレート葺の汚名を雪ぐと同時に其の眞價を御認識願度きためにスレートの製造と葺上工事との不可分を主張致します
從て一般スレート販賣店の敵視をも顧ず直營工事部を設けて居ります

# 日本ペイント

創業 明治十四年

アルミニユムペイント

## シルバコート (Silva=Kote)

優良なアルミニユム粉末と當社發明の溶解劑とを以つて製造した最良のアルミニユムペイントでありまして、鐵構造物の美化と防錆用光線不定の工場等の照明用、タンクの熱作用に對する保護用として嘖々たる好評を博して居ります。

### 特長

一、本品に含有するアルミニユム粉は魚鱗狀をして居り塗抹後所謂リーフインクをなし丁度アルミ板を張つたと同樣な保護膜を作る。
二、光線及熱に對し大なる反射力を有し又完全に不透明であるから塗膜は十分に保護され耐久力絶大である。
三、耐熱性強く高熱に遭へば油分は一旦燒失しても顏料は鐵面に固着し保護膜を保つ
四、塗裝に際してのび易く普通塗料の二倍の壁坪が出るから頗る經濟的である。

### 用途

鐵橋　鐵構造物　車輛　丁場内部　瓦斯タンク
石油タンク　ラヂエーター　等

### 容器容量

鉄力罐入　四分ノ一立・一立・二立・十八立

（アルミペイントは市場に種々な名前で賣られて居り紛らはしいところから今回從來の槍印シルバーペイントの代りにシルバコートといふ名を登錄使用することゝ致しました。
シルバコート！　この響のいゝ名を御忘れなく今後シルバコートと御指定を願ひます
（詳細なる說明書が出來ました、御申込次第送呈します）

東洋最大之工場

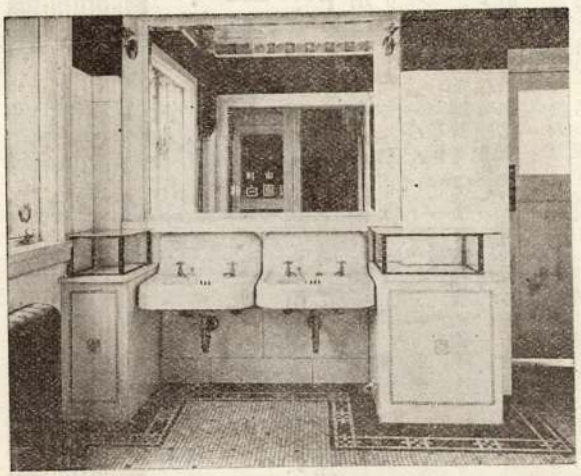
大阪　東京

純國産
ニュース印（日本ドアーチエック製品）
扉閉鎖器（ドアーチエック）各種

重なる納入先

農林省　大阪朝日新聞社
八幡製鐵所　大阪毎日新聞社
大阪鐵道局　大阪遞信局
呉海軍工廠　寶塚ホテル
株式會社大丸　大林組
丸龜市役所　清水組
大阪商船會社　大倉組
大阪鐵工所　大阪高等工業學校
明治海運　其他省略

發賣元
合資會社 高陽商店
大阪市西區立賣堀南通四丁目
電話新町四三九六番
振替大阪二一二五二番



便所…化粧室…湯殿

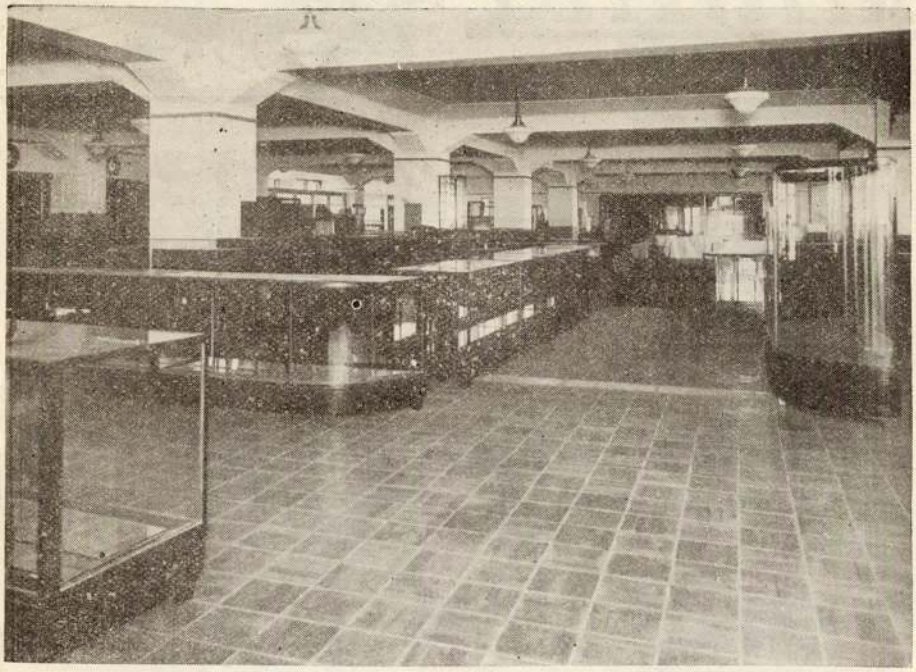
ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地
大阪ビトロライト工事合資會社
電話櫻川二二一四番
出張所　東京市日本橋區江戸橋二丁目二番地　電話日本橋(24)〇九六九番

▶寫眞は新案特許・專賣特許リード床御使用の◀

阪急マーケット



◎施工面積　一千百坪

◎竹中工務店　施工

# 理想的根太無床板

專賣特許
練革床

特許ピトリウム床
特許ピトチック内外壁
特許葵式フローリングブロック

實刹
楢床板

特許葵式淨化裝置
水道・衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事

葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電話西〔長〕四一九六

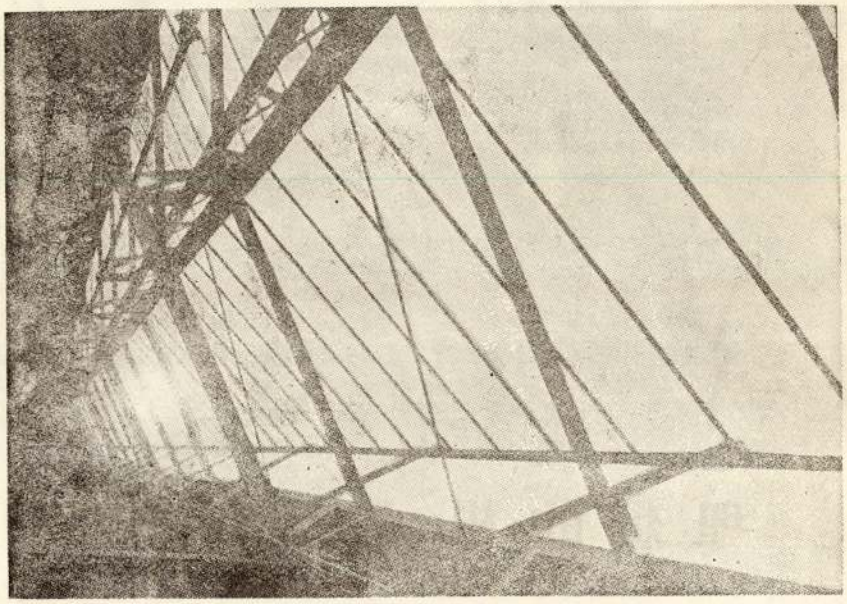
東京營業所　東京市京橋區木挽町二ノ一　電話京橋三九五・九三二

フェネストラ　改稱

# Lumina ルミナ

スチール・サッシュ

## ルミナ。コンチニウアス。サツシ



工場に！倉庫に！車庫に！

優秀にして經濟なルミナ連續採光窓を!!

詳細は最寄代理店又は當事務所奉仕部へ


ミンワックス・カンパニー・インコーポレーション
日本特派代表者
エツチ・イー・ルート事務所
横濱市中區山下町五十四番館

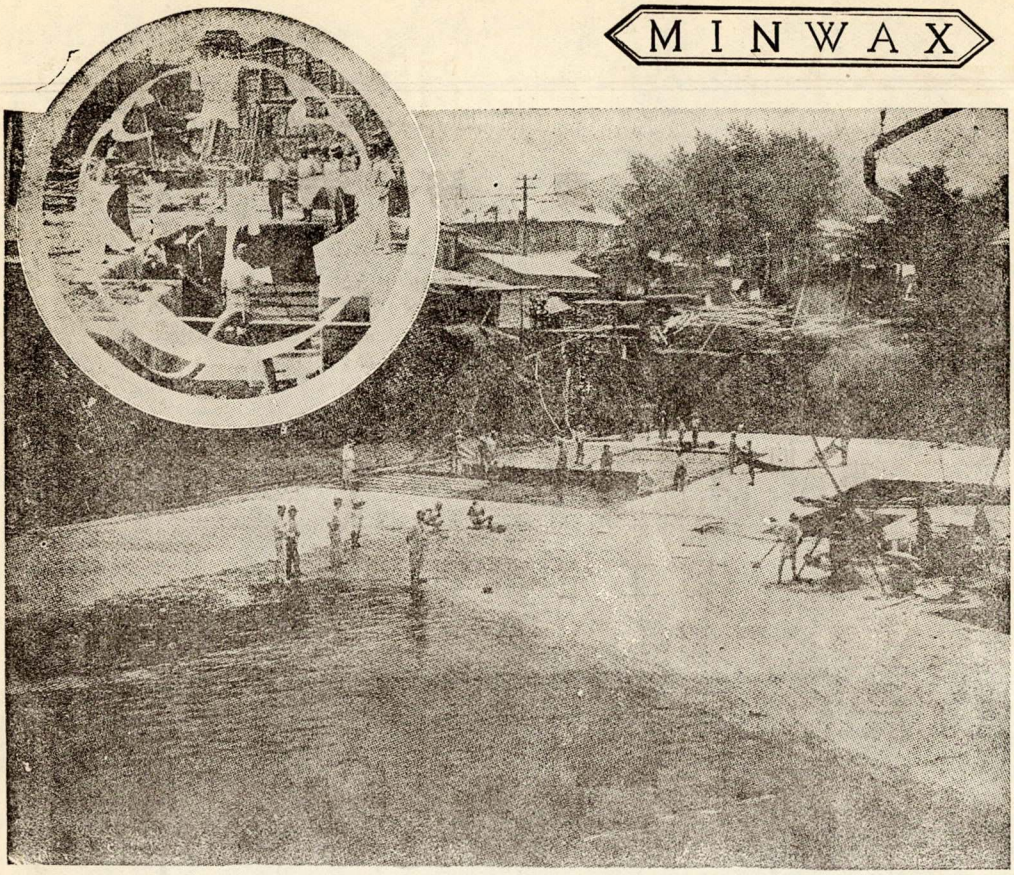

各地代理店

| | |
|---|---|
| 大阪東區 | 島貿易株式會社 |
| 東京日本橋區 | 同　東京支店 |
| 朝鮮京城 | 株式會社伊藤商行 |
| 大連山縣通 | 合名會社原田組 |
| 臺灣臺北 | 株式會社山一商行 |

【カタログ御一報次第進呈す】

AO-L-54

MINWAX



（三越京城支店ミンワツクス地下室防水工事實況）

三越京城支店

ミンワツクス責任防水施工に依り

MINWAX の名を以て

永久に防水の生命を、建築の生命を保證さる

防水工はミンワツクス責任施工に御一任あれ

ミンワツクス・カンパニー・インコーポレーション
日本特派代表者
エツチ・イー・ルート事務所
横濱市中區山下町五十四番舘

各地代理店

| | |
|---|---|
| 大阪東區 | 島貿易株式會社 |
| 東京日本橋區 | 同　東京支店 |
| 朝鮮京城 | 株式會社伊藤商行 |
| 大連山縣通 | 合名會社原田組 |
| 臺灣臺北 | 株式會社山一商行 |

【カタログ御一報次第進呈す】

AD-M-53

## 業務要目

鐵橋　鐵骨　鐵塔　水壓鐵管　鐵水槽　起重機　鐵棧橋　轉車臺　ポイントクロッシング　其他　附帶工事

（鐵道省指定工場）


**大阪工場**

港區南境川町三丁目三十番地

電話西（長）二一五八二番　二一五八三番　二一五八四番

東京市芝區月見町一丁目七番地

株式會社 **横河橋梁製作所**

電話高輪（長）二七六六番

**東京工場**

芝區月見町一丁目七番地

電話高輪　二三九七〇番　二〇六二番

第十二輯　建築と社會　第十號

# 林泉と庭園號



大大阪の新態・舊態　土佐堀川の風景

## 建築と庭園

建築と庭園は殆んど相似た變遷を辿つたが、その多くは各別の道程を以て進歩發達して來た憾がある。

然し建築と庭園は恰度車の兩輪の如くであつて、これを藝術的、觀賞的は勿論實益、趣味、衛生から見ても最も密接な關係にあるもので、孰れか一方でも欠いではならないものである。

從來建築家は建物の構造なり意匠或は裝飾等は、相當研鑽され吾等は常に敬意を表してゐるが、關係深きこの庭園方面の造詣には皆こは言はないが、無關心の人が多いのではなからうか、これは甚だ遺憾なことであつて努めて之に關心を有つべきである。

住宅の外部への延長は即ち庭園である、建築に於て如何に通風、採光、美觀等を考慮して設計されるとも庭園にしてこれに伴はざる時は、その住宅の機能を減殺される處がある。これに反して、建築と庭園とのより良き調和は、その美觀を增し、休養慰安を與へ、保健上に大なる効果を與へるものである。

都市綠地の增加は屢々識者によつて唱導されてゐるが、その實現の極めて遲々たるは獨り吾人が慨嘆するのみではあるまい。家屋充滿の都市に於て綠地の少きは、その影響を人間的頽廢の諸現象に現してゐることは今更ら茲に喋々するを要しない。これが救濟策は他に種々あるであらうが、吾人は先、庭園附住宅、集團的小庭園及大小公園の擴充增設を望むものである。



# 我國庭園の位置

東京高等造園學校長
林學博士 上原敬二

何れの時代に於ても、何れの國にあつても『時代の庭園』といふものに對して批判的の眼を以て觀なかつたことはない。

歷史はこの事實を幾度も、幾度も繰り返して居る。さうして恐らくは常に不滿なる感情に支配されて居るか、急進的論陣を張つて、その向ふ處を指摘して居るか、若しくはその現狀に心より滿足して偷安を貪つて居るかの情態であつた。歐洲造園史はこの長い時の流に幾つも幾つもの實例を我々に示してくれて居る。

それ程時代の庭園を語ることは困難である。唯單に我國の庭園と謂ひ、イギリスの庭園と謂ふもそれは何を指すか、この點は建築に於ても同樣であると思ふ。然も建築に於てはその史的背景に輝く、神社、佛閣、廟堂、城廓、等のそれを以て時代の建築と指す人はなからうと思ふ。それ程明に分野が指摘されて居る。

然るに庭園の方はかゝる建築と相匹敵する位に古色蒼然たる史的由緒あるものも、兎もすれば現代の時代の庭園であるかの樣に考へられ勝なのである。

即ち約言すれば我々が日本の庭園として考へて居るものは大凡そ左の樣な種類であると思ふ。

一、過去の時代が產んだ名園——古蹟、史蹟、名勝等の階級に入るべきもの。

二、純日本式の型に則つて築構された現代の庭園、

三、歐米の文物を移入するに急なりし時代の影響を受けて出來た所謂西洋式又はその折衷式ともいふべきもの、

四、時代の庭園はかくあるべしといふ理想の下に築構された、所謂新しき庭園、

少くとも我々は現代に於てこの四種の庭園を有する。これを一般化し、平均して『我國の庭園』はと云ひ得るにはその內容に餘りに隔りが多すぎる。勿論このうちに共有されて居る庭園の恩惠的意味ともいふべきもある。一五九七年フランシス・ベーコンが紛々たる庭園の意義を明にせんとして『全智全能の神は初めて庭園に植栽を行つた、これこそ實に人類愉悅の最も純なるものであつた、人の精神を一新するものとして最大なる力を有つて居た、これなくしては建物も、宮殿も、唯蕪雜なる手藝品としか見えない、時代は移りゆいて文化に進むに從つて人はやがて壯大なる建物を有たんことを冀ひ、次で立派な庭を併せ有たうと欲する、宛も造園はより大なる完成であるかの樣に』と喝破して、流石庭園愛好黨をして隨喜の淚を流したやうな耽美的なる意味も各々の庭園のうちに見出されないわけではないが、それでも我々は大膽に總括して我國庭園を一蓋の下に收めやうとする勇氣を有たない。

この庭園の種類は恰も我國の文化史の變遷とも相應じ、亦時代人の趣味嗜好の變遷とも相照應して居るものである。

◇

過去の時代に於ける史的庭園を目して我國庭園の總代表の如くに取扱ふことが是か非か、これは相當大きな問題であると思ふ。換言すれば我國の庭園には史的のものゝみあつて現代的のものがないかの樣にも取られる。これは建築にあつては各種の公共建築の壯大なるものゝ多く出來た爲め、これが建築界そのもの、現代色相と思はれて居るに反し、庭園では未だ公園や公共造園を以て造園界の先驅者と見る如き時代に到達して居ないで、庭園を以てその代表と見られる結果からである。然るに住宅庭園に十數萬を投ずる如き、而して完全なる設計の下に出來たもの

がないので勢ひ昔の庭園が引き合ひに出されるのではなからうかと思ふ。勿論かゝる庭園が我國の庭園の代表と見られることはよい、然しそこには現代と異る文化が掌つて百花の咲き亂れるが如くに眩爛を極めた過去の時代の遺跡として同時にその時代の文化を咀嚼してからその鑑に入られんことを希望する。

即ち過去の庭園は我々の祖先が我々に遺した誇るべき遺産であつて、それを十分識るには當時の生活、趣味、文藝、宗教、設計者の意圖、作意等を知つて初めてその眞價が判るものである。從つて我々はこれをそのまゝ保存して寶物として鑑賞した、過ぎ去つた日本造園の誇りとして、就中室町時代の庭園は設計家がその大主觀と個性とを遺憾なく發揮し得た點に於て、近代藝術の粋と全く相一致して居る點に於て世界造園史上にその優秀さと、時代の古さの點から眞に驚異すべき作物として公認されて居るものである。これのみは外人に對しても些の遜色なく誇り得るものである。素よりその批判は現代式生活、異なれる異國趣味の下からなされるのではなくして飽くまでも古代日本の偉の現れと見るべく考へたい。近代やかましい外客誘致の手段としては最も適當なるものである。

我々は茲に特に注意しなければならぬことは古人は實によく我國の自然を觀察し、會得し、而してその再現に天分を有し、又努力を惜しまなかつたことである。我々は日常我々の周圍を繞つて目まぐろしい程に多くある自然に對して餘りに無關心であると思ふ、却つて外國より教へられてその眞價を知るといふ有樣である。

◇

最近の例である、去る七月アメリカのアイオワ大學造園學教授エルウツド氏は、造園研究の學生團體十三名の一行と共に我國庭園界の視察研究に來朝した。我々は造園學者として外人を迎へる初めの人でもあり、旁々關係學會と協同して盛大なる歡迎宴を深川清澄園に催した。その當日の教授の講演及びその前後の口吻によるも現今アメリカに於て日本庭園の勃興は緒につきつゝあるといふ、然も自分等が日本に來た理由は、この立派な日本式庭園をそのまゝアメリカへ入れる方法を研究しやうと思ふて來たのではない、寧ろ日本人が日常如何に自然を研究し、如何に之れを愛撫し、つまり米國の如き物質文明の高潮に達し、商工萬能の國に對してこの自然愛好の精神と眞髓とをとり入れ得るやうな餘地はないか、換言すれば教育的に我が庭園を見に來たのであるとかういふ意味のことを話された。さうしてこの貴重なる日本庭園の保存と今後に於けるその對策等について相當專門的な話があつたのである。實際アメリカの庭園界も行き詰りといふわけではないが、或はイタリー式、或はフランス式或はスペーイン式と色々外國の長所をとり入れはしたものゝ矢張り實にエキゾテツクな東洋、といへばまづ日本式のものを入れやうといふ機運は自然と要求され來つたのである。

從つてこの古庭園に摸して作られた現代に於ける純日本式庭園の型を示す庭園は、相當重要でもあり、亦價値あるものとなるのだ。上流中流の庭園にしてこの種のものは京都を初め決して少くはない。況んや今後は經費の點と、所謂社會への氣兼とから上流の大庭園の如きはさう多く出來るものではない。名園が惜しげもなく文化村になり、分譲地になり、開墾され整理されて昔しの偉が跡片もなくなりつゝある世の中にかうした現代式の日本型庭園は、飽くまでも我々の參考品として保存と維持とが願はしいのである。況んや材料は欠乏し、立派な手腕のある植木職も次第にその影を潜めやうといふ時代である。この點は造園界共通の問題として考へねばならぬ大きな命題である。

◇

次に外來思想と、外來趣味の影響によつて在來の庭園に一大革命を來し、構造、表現に變化を與へたといふことは恰度歷史あつて以來三四回はある。

最も古いのは奈良朝より平安朝にかけて支那の唐の文化が輸入された時で、恐らく原始的なる日本在來の庭園があつたらうと思はれる處にあの齋稱式なる所謂寢殿式庭園が一世を風靡し。我國の庭園は茲に支那化したものゝ全くこれを咀嚼し盡し、一つの日本固有の

式と思はれるまでに技術が純化したのであつた。この客觀的な劃一的なる庭園に對して、第二の外國思想が影響してこれと全く反對な自由奔放なる形式が行はれたのは室町時代に於ける支那宋の文明の輸入に初まる。かくして從來の庭園型は全く一變して主觀的な、個性的なる趣味と表現本位のものが現はれたのである。今日に於て見ればさして大なる變化とは思はれないが恐らく當時に於けるこの變化は蓋し異數とされる大革命であつたに違ひない。

かくの如くして庭園の型は引き續き。次に外國影響の第三として加はつたのは明治維新である。凡てのものが歐化崇拜と云はれたうちに庭園だけがその影響を免れることはない筈で、建築と共にこの新輸入の風が造園界を風靡し、明治の初年より漸く社會相の平和を見て築庭の氣風の出た頃の庭園にこの所謂西洋庭園、直線と技巧ある曲線とを主として開いた形式園が現はれたのである。この種の庭園は全くその時代相を物語る標本としての意味から亦貴重なるものである。殊にこの頃輸入された西洋庭園樹種は、その後逐年大さを增大して今日は實に完全なる庭園樹としてよく長年の氣候風土に適しよく其植物の生育狀態を知らしめる好參考となつて居る。東京高輪の岩崎男爵邸のアラウカリア、シーダーの如き、又新宿御苑其他に於ける外來樹種の如きである。

この洋風庭園は然し本來我國民性に合致せぬ爲めか、比較的上流の庭園に用ひられたゞけでそのまゝ多く普及しなかつた。それでも時には公園、御苑のうちにも片影を見せて居る。

明治の終りから大正へかけて歐洲庭園に於ては、新折衷主義庭園の餘波を受けた小波瀾が見られたけれども我國には大した影響もなくすんだし、アメリカに於ける日本庭園築造問題も大した大きな問題にもならなかつた。博覽會造園として一種際物視する位のもので終つた。

◇

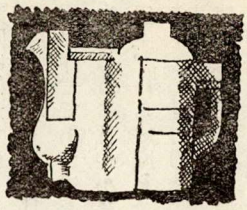
我々は以上を通覽して、さて現在の識者の考へて居る庭園即ち眞に生活に即し經濟力の許す範圍にて趣味、實益、美觀等の滿足される戶外生活の道場としての意味から所謂新しき庭園が考られて居る。

然しながら我々をして率直に云はしむるならば、縱令如何なる外來思想が入るにしても三千年來培はれ來つた我國民性のうちに牢固として拔く能はざるまでに根ざして來たこの藝術的作意といふものによつて、我が日本式庭園の型は永久に庭園界より動かすことの出來ない基本をなして居ると思ふ。よく西洋式庭園だの形式園だのといふ名の下にこの頃でも新しい庭園が築かれるが、仔細に檢討する時はその構造なり、作意なり、細部なりに、材料は勿論のこと、必ず日本國民性獨特の或る物が流れて居るのを見て、結局折衷式のものになり終つて居る。これ等は名の如何を問はず矢張り一種の日本式庭園の變態である。故に我々は結局日本式庭園の沿革、方式、原則、規約等をより以上研究的態度を以て進めて行かねばならぬと思ふ。さうして新し味のある庭園にかぶれることなくして新創意を樹てねばならぬ。

庭園は氣候、風土、土壤、植物等自然要素の支配を受けること建築より遙に多いのである。而して批評を受け易いこと（殊に素人の趣味心より）は又建築より多い、更に改造も容易であるし何れにしても建築に比して歩の惡い點もある。故にこの點より構造、材料、內容の三方面に亘つて十分研究し盡してから今後の新方針としたい。

我々は今日の庭園界の現狀は、果して右するか左するか、一寸見當のつかないやうな情態にあるものがある。敢て造園界とは云はないが、庭園の狹い範圍である、作らるゝものも迷ひ、作るものも迷ひ材料商も躊躇し、設計家に至つては『地形に敎へられる』といふやうな敬虔な態度でなくして、寧ろ地形を征服しやうといふやうな大それた——時にはそれもよからうが——考の下に鵺の如き設計を立てる、然らずんば外國雜誌の內から拔け出た樣なそのまゝの轉載である。土地の來歷も考へず、砂上の樓閣を築くが如き不調和なるものを平然として實現しやうとする。

要するに更に庭園技術者の覺醒と團結とを以て、今後の新樣式を考究し合ふやうに進めなければ、徒らに後進を誤るやうな境地に立ち至ると思ふのである。（了）



# 日本庭園の將來

東京帝國大學講師
林學博士 田村剛

## 上

世界的興味を繋ぐ日本庭園の將來はどうなるか。それは單なる骨董的價値を有するに過ぎないもので時勢の變化に適應する彈力に乏しくて、自ら滅亡すべき運命にあるものであらうか。夫ともその藝術的な榮譽は、永遠に存續して、來るべき新時代の庭園にも生命を吹き込むだけの偉力を有するものであらうか。それを判斷することは至難のことに屬し、一半は現代の日本造園家の努力の方向によつても極められる問題である。然し本來日本庭園の獨立した一樣式と認められる特徴が將來の文化生活上に如何なる意義を有するかを研究することによつても、畧その將來を豫斷する事も出來さうである。茲で日本庭園の將來を論ずるのは勿論後者の見解に於てするものである。

日本庭園といふうちにも、夙に江戸時代より區別せられてゐた通り、築山、平庭、茶庭の三種類がある。その三者は發達上より見て夫々奈良、平安と室町と桃山、江戸と三時代を代表する樣式である。これに對應する建築は、寢殿造、書院造、茶室と夫々に異つてゐる。かうして觀察して見ても、現代の住宅建築が全然革命に近い變移を見つゝあるのだから、庭園も亦推移せざるを得ないわけである。それは兎も角として、上述三種類の庭園を通じての日本庭園の特徴は第一に世界の造園上の二大樣式の區別たる風景式と建築式との兩樣式の內で、前者に屬するは云ふまでもない。そしてその風景式といふうちにも、寫實的なものではなくて、浪曼的な象徴的な特色を有し、よく狹い地積の上に、雄大な山水や變化のある自然を繪畫的に描出してゐることであつて、歐米人に言はせれば、ピクチユレスク乃ち繪畫的な特徴をもつてゐる。この猫額大の土地に、繪のやうな風景を盛るこゝの出來る點は、特に注意に價するのである。

次に特に茶庭に就いて見るに、茶庭は同じく小庭園で風景式たる點に於て、築山平庭等と敢て異る點はない。然るに茶庭の風景は、繪畫的な縮景的な風景といふより も、それはかなり現實的な自然主義的なもので、風景の斷片を再現するに近い。そして茶湯式といふ一種の用途のために工まれた特殊の庭園であつて、茶湯式がすたれれば、茶庭の生命はなくなるけれども日本庭園がある種の實用的な用途と結び着いて、依然としてその特徴を失はないでゐる適應性の强大なる點に注意して置きたい。

## 中

日本庭園の將來を論ずるに就いて、次に豫め考察して置く必要のあるのは、現代人の庭園に對する要求がどんなに移りつゝあるかである。

廣大な庭園を所有することの出來る特殊な家庭の場合は、骨董趣味や茶趣味や異國趣味や其他求めるがまゝの庭園を所有することが出來る。從つて、茲には主として比較的限られた土地を所有する中流階級、或はそれ以上の所有する大多數の庭園の場合を中心として研究することゝしよう。

現代の社會の實相は、庭園の土地としてそれほど廣大なものを所有する事を許さなくなつて來てゐる。自ら宅地を所有する者では百坪から精々三百坪位までである。五百坪以上に至る者は、特權階級と見なさなければならぬ。果して然らば、これに對して建物や前庭や勝手廻やを割りあてゝ、庭園といはれるものを如何にして工夫するかゞ問題である。庭園が狹い場合には、寧ろ前庭を區別して設けるのは贅澤な話で、主庭と前庭と

を一緒にして少しでも纏めて廣く使用したいといふ事になる。かくして自ら前庭本位の庭園が好まれる事になる。公道を南や東にする宅地では、かうした場合が普通である。それにしてもが、庭園としての地積は四十坪乃至百五十坪どまりである。この小庭園を如何に利用するかの問題である。

尙ほ又勝手廻りと雖も、甘く取扱へば、決してそれほど見苦しいものではない。勝手廻りをも美的に取扱つて、一體一續きの庭として廣々とした外觀をもたせようといふやうな要求も起つて來る。

以上のやうな關係からは、將來の庭園は自ら直線的な區劃を設ける直線式の建築的な意匠を採用するのが自然である。前庭本位に、そして勝手廻りを取り入れる意匠は、自然人爲的な意匠、規則的な意匠に傾かしめるのである。

次に住宅も亦、日本式であつても、洋式であつても、それが人工物であり、且つ小庭園に君臨する以上、自ら庭園を支配して庭園の意匠にも規則的な樣式を強いることになる。

更に現代人の戸外生活に對する要求は、益々強く、戸外の休憩、讀書、散策、遊戲、運動、園藝等に對する設備は、將來の庭園内容を主宰する事、茶庭に於ける茶ノ湯式の如きものがあるであらう。而して夫等の戸外生活の要求は、又室内に於けると同樣に、建築的な地割を利とするであらう。

要するに現代人の庭園に對する要求は、所謂洋式庭園乃ち建築式に好都合となり、日本式に不利となりつゝあることをば否認することは出來ない。かうした傾向を承認しつゝ、如何にして日本庭園はその特徴を維持する正當なる領分を主張することが出來るであらうか。

## 下

現代庭園は次第に小面積のもの前庭、勝手廻り等を一體とした意匠のもの、從つて直線式のものに推移しつゝあることを述べたが、日本庭園はその間にあつて如何に順應しうるであらうか。

先にも一言した通り、大庭園としては、骨董的に日本庭園を保存することは無理でない。けれども上述のやうな場合には、ぞうであらうか。こゝで吾々は日本庭園殊に平庭の如きが、二三十坪の後庭に於て、或は日射の悪い中庭に於て、甘く適用せられる特性に注意すべきである。日本庭園はいくら小さな地積に於ても採用せられる。且つそれは額緣に收められた繪のやうに、切り離されたものとして取扱ひうるので、それに接して生垣を境にして、菜園があつても物干場があつても、少しも不都合はないのだ。若し鑑賞本位に取扱つてよい空間さへ與へられてゐさへすれば、そこを充して、繪畫的な山水を構へることが出來る。殊に日本庭園は石組を主たる局部とするので、たとひ植物の材料の用る難いやうな日當りの悪い中庭や北うけの庭園であつても、一向に差支はない。かうした場合には恐らく日本庭園は最も適當であらう。そして日本庭園には禪宗寺院の方丈に對する平庭のやうに、大建築に對しても、甘く調和しうる素質もあるので、かなり廣い種類の庭園に對して不都合はないであらう。

次に又築山の如きも、比較的面積の庭園によく適應しうるものである。然しそれはぞこ迄も住宅を庭園風景のうちに抱擁しようと企ててはならぬ。やはり山水畫の如くに、庭園風景が獨立したものとして眺められる場合に限るべきである。

更に次は茶庭である。茶湯式が今日大した意味をもたぬ以上、茶庭たるものは存在の價値はない。然しさればといつて、茶庭を綺麗にあきらめて仕舞うのは早計だ。

そこで注意したいことは、茶庭を特色づける各種の局部や材料、例へば、飛石、石燈籠、手水鉢、中潜、待合、雪隱、茶室などを取り除いて仕舞へば、そこには何物も殘らないといふことである。茶庭に日本的なものがありとすればそれ等の局部や材料を結合して全體を構成し意匠する、局部の手法や或は庭園を色ざる趣味即ち茶趣味、茶の精神にあるので、決して其構造に則する形式的な外形的な骨格そのものにするわけではない。もし茶庭の内容に代へるに、現代人の戸外生活を以つてすれば、そこに新たな現代的な庭園が生れるのではなからうか。

將來の庭園がたとひ實用本位の

局部や材料が出來た、直線式のものであつても、そこに茶趣味や茶の精神を生かせる途が全然ないとは斷言し難いのである。

かうして吾々は、日本庭園の形式は時代と共に移つて行つても、その趣味、その精神は、いつまでも庭園を支配して行くであらうと思ふのである。

そしてやがては新時代を代表するやうな日本庭園の新樣式も生れて、桃山江戸の茶庭に代る一種の庭園が發達しなければならぬと思ふのである。(了)



# 濱離宮に就いて

宮內省內匠寮技師
林學士 中島卯三郎

名にし負ふ洛陽の古都であつた京都の御所や桂離宮を始め其他の名園に就いては、既に人口に膾炙され、夫々記載したものも相當に多いことであるから、今自分としては、江戸名園の內所謂潮入の庭として有名であり且自分が現在眼のあたり宮內省內匠寮で管理して居る濱離宮の庭園に就いて少しく詳說することゝしやう。江戸時代の江戸の庭園の特徵の一である潮入りの庭が、周圍の環境の變化に伴ひ年を追ひ其名實伴はくなつて來つゝあるのであるから之は强ち無駄なことでもあるまいと思ふ。

◇

東京灣頭、月島や御臺場に程近く、白鷗飛び交ひ、潮煙立ち、隅田の大河洋々として將に海に注がんとする所、老樹巨木鬱然として繁る一地域——之れ自分が今正に諸賢に御語しやうとして居る濱離宮なのである。

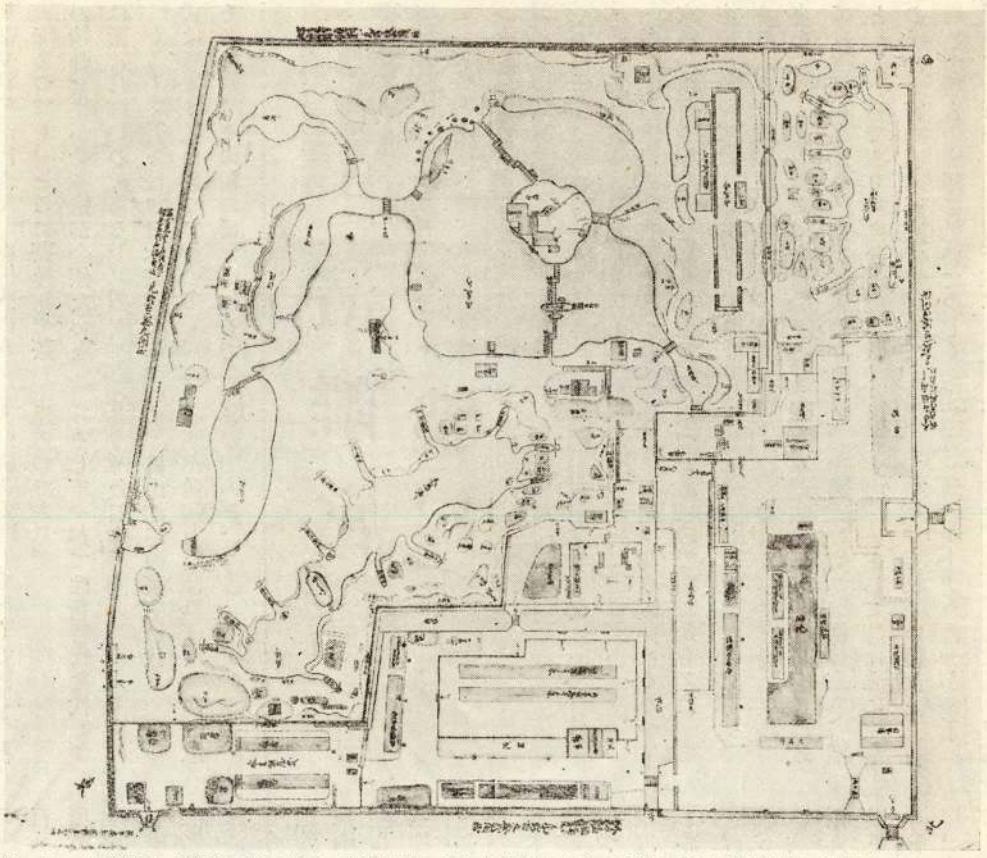
此地南は品川灣に臨み、東西北の三方は溝渠を繞らし、東西三百八十餘間、南北三百十餘間、面積實に七萬五千餘坪、中央には八千餘坪の池泉、其他鴨池二ケ、馬場一、廣場、芝生等があり眞に臨海庭苑の好模範を示して居る。

◇

今少しく其由來を尋ねれば、此地は元德川氏の別館であつて、寬永頃は瀨海の洲渚であつて蘆葦叢生し、將軍鷹獵の處であつたが、承應三年八月嚴有院(四代將軍家綱)始めて之を松平左馬頭綱重に賜ひ、海を塡築して別邸となさしめた。其地積凡そ一萬五千坪、當時之を甲府濱屋敷又は海手屋敷と云つたのである。寬文四年二萬九千五百三十五坪を增給せられ、再び海を埋め苑を廣め又殿宇を新營したのである。其後綱重薨じ子綱豐(六代將軍家宣)入つて世子(後の文昭公たり)となるに及び之を西丸御用屋敷と呼び、次いで濱御殿と改められたのである。寶永四年修理を施す。中島茶屋、海手茶屋、清水茶屋、觀音堂、庚申堂及び大手門並に橋などは此時代になつたものであらう。即ち

常憲院實紀寶永四年九月四日の條に『濱の離宮棟造仰せ付らるよつて淺野土佐守長澄人夫出すべしと命ぜられ作事奉行曲淵越前守重羽小普請奉行間宮播摩守信明其事奉る所屬も同じ』とあるに依つて明かである。

寶永六年五月朔日家宣將軍職を嗣き此日征夷大將軍宣下の禮を行ふ家宣頗る苑池を愛し一代の間に吹土花圃及び濱御殿を修治し林泉の景を整えた。享保元年八月吉宗入つて八代の將軍となるや文武殖產の興隆につとめ濱苑また面目を改めたのである。享保五年七月失火同九年二月火災に罹り茶亭を燒き海に至つて止む。享保十六年四月御門、橋燒失、翌享保十七年より安永元年迄の間は壽光院(五代綱吉の側室藤原氏)蓮淨院(六代家宣側室四條氏)法山院(同上太田氏)十代家治の夫人五十宮等の居館を此地に置く、また織殿、藥園、砂糖製處、鍛冶小屋、火術所、大砲場等を設けられたことは吹上御苑と同樣である。即ち吉宗の時に於いては濱御園は景趣前代と異なり實用的設備を施したのである。又馬場も設けられ御乘馬御見分のこともあつた。



第一圖　濱御庭内外總繪圖（天保十五年甲辰年六月新規中仕立）原版―内省内匠寮匠頭一藏寮同一下貸御寮

濱殿雜記によれば『寶暦九卯年濱御庭御泉水凡そ八千坪程此度堀浚仕様覺書要項入用一番札落百八十五兩にて泉水の魚は地引網にて一方へよせヂョレンにて浚工土は海手通御山下へ持運ぶ』とあるから泉水を浚渫し其土を海手山下に運んだものと見ることが出來る。

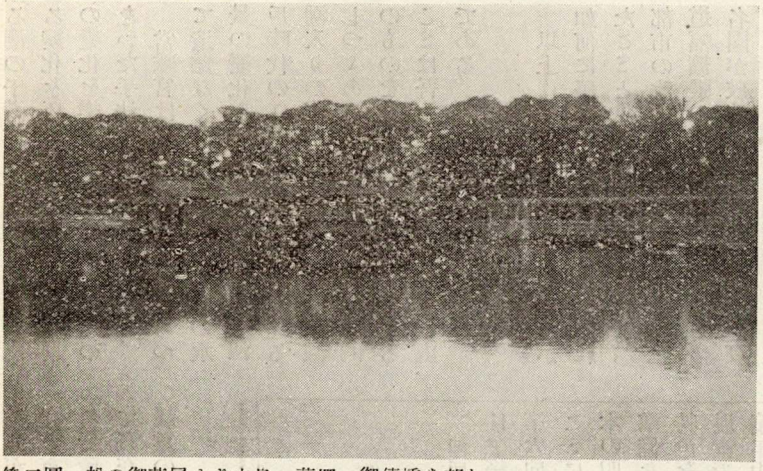
十一代將軍文恭院家齊の時に及び濱御殿は修治を加へられた。燕の茶屋松の茶屋、藁葺茶屋、御亭山腰掛、松原腰掛、五番堀腰掛、鹽濱藁屋、新錢座、東屋等は皆此の時に出來たものである。かくて幕末に及び慶應二年濱御殿奉行を廢し、次いで海軍奉行の所管となり洋風建築や石室を築き海軍所となし、後之を外國官に移管し更に明治元年八月には朝廷に致し、明治二年石室を延遼館と稱し、同館所在地を割き再び外國官に屬せしめ、其他は同三年十月二十三日宮内省に屬し以後濱離宮と稱せられたのである。當時離宮の面積五萬三千百四十九坪、建物四百八十一坪餘であつた。明治七年一月には延遼館所在地（一萬八千七百二十六坪餘）を、又同二月には其接續地（三千〇三十九坪餘）を編入したのである。かくて曩に宮内省の有に歸した延遼館は其後取毀され明治二十五年三月舊延遼館表門を改めて濱離宮表門と稱し、從來の離宮表門は通用門となつたのである。

◇

次に濱離宮の現況について記述して見やう。

昔大手門のあつた入口からする入口には最近復興局の手になる近世式の石橋がある。之を渡れば楔形廣場となり高く積み上げた樓門の名殘がある。門を入れば左手に蟠居する黑松の雄姿を見、延遼館跡を過ぐる。タブや松や椎などの繁る土手に沿ふて昔の表馬場の跡を偲びつゝ進むと芝生の小丘や小流や藤棚や燈籠などが配置されて居る。其裏が舊表門で其空あたりが、可美眞手命の銅像のある所である。此の道の右は濱奉行の役宅や鐵砲所の跡、其西南方家鴨小屋の奥が新錢座鴨場である。銅像の前を右曲し大タブ樹の繁みの下をくゞり左すれば藤棚、燕の御茶

屋、鷹の御茶屋、次は松の御茶屋右すれば三間橋、御船溜り、八景山、御馬場を右に見、左には大池、鷹の御茶屋前から小の字島（大小三ケの島よりなり形小の字に似たるを以て此名あり）を經て中島に到る思ひ切つた藤棚のある御傳橋により中島御茶屋へと行くことが出來る。中島には此の外八景山や南の隅の不二見山からする御傳橋の二橋がある。八景山から池畔に沿ひ西すると其昔觀音堂があり其側に鐘樓のあつた跡地を右に見、大木の繁みの下を經て不二見山へと通ずる。中島の御茶屋（鴎鷗亭）御釣臺、御傳橋、さては東北岸赤松の間に隱見する御茶屋や御亭山やの有樣は得も云はれぬ眺めである。大池は南東、中の御橋から東の方と南の方へと走る。南のは不二見山の東にて小池となり、東方のは御船小屋、御傳橋、海手山の北を經て潮入の水門に至て居る。不二見山から西方遙かに萬古の雪を戴く芙蓉峰を望むことが出來る。山を下れば此邊京地名所の松や常盤の松のうねりいと面白く、サツキ類や猶幾歳か覺櫻の御宴に我が大八洲の櫻を羨やませた一葉櫻の芝生の間に散在するなど、風致云はん方なし。右手鐵柵を隔てゝ海上遙かに眺む房總の山々、右手には紀の小屋や大正大地震に燒失した汐見の御茶屋（海手の御茶屋）跡から海手山路、東端には御乘船場、樹林繁る庚申堂の鴨塲を左に見、押しよする潮に渦巻く小鳴戸の偉觀ある關、群るボラの水中に活躍する樣などを眺め、疲れたる脚を御茶屋に休め、大公望を氣取り暇に任かせて釣を垂るも亦一興である。サヾエ山は庚申堂鴨塲の一隅を占めて居る。尙鴨塲の東北部には梅林、織殿跡、藥園跡、獵犬舍、稻荷社などがある。



第二圖　松の御茶屋より中島、藤棚、御傳橋を望む
——可許御寮匠内省内宮——（影撮者著作—園庭宮離濱）

◇

次には少しく昔に遡つて天保十五年の濱御庭内外總繪圖其他諸書から濱離宮の庭苑局部を拾つて見るに、眺望の勝れた御亭山、八景山、富士見山、海手山、秋月の眺めに勝れた海手の茶屋、壯觀な中島の藤、中橋、觀音堂や鐘樓、御馬場、鹽竈、鹽濱、中島、小の字島、御傳橋、燕の茶屋、松の茶屋、鷹の茶屋などなり、鴨池としては新錢座（新錢座附近は虫の音勝れたり）と庚申堂、其他藥園、織殿表馬場、延遼舘跡、梅林、稻荷社、內堀、御上り場、水主組屋敷、御花壇、松の御腰掛、玄齋島、毛氈山、三條ケ岡、元樋ノ口、新樋ノ口などがある。

◇

左に最も全盛を極めた家齊時代の濱園の模樣を和歌に依つて窺ふて見ることとしやう。

御亭山眺望

山たかくむかへははても白雲につつくはかりの遠の浦なみ

新錢座の蟲

鹿の音もそへて聞かすや秋ふかき千穗田のもの露の鈴むし

富士見山の雪

雪深き眺めはさそとみ園生に名たかくうつす不二の芝山

中島の藤

中島やなかきなる日に千代かけて咲はさそこおもふ藤なみ

中橋行人

中橋の名も睦ましき君きみの惠くみに渡る代々の諸人

觀音堂鐘

つきもせぬ名殘思へばことさらにきかでうれしき入相の鐘

鹽がま

見るはけふ初めなりけりあま人のも鹽燒てふおのがしはざを

海手の秋月
須磨明石名におふ秋も此浦の月
のみるめに及ふへきかな

◇

當離宮は明治七年十二月より官吏及び其家族に御苑の拜觀を許されたのであつたが、其後此事絶えてなかつた。苑内には櫻樹多く明治十六年から大正五年に至る間は年々此處に、外交團其他文武百官を召させられ觀櫻の御宴を催され其都度畏くも兩陛下の行幸啓遊ばされ給ふたと洩れ承つて居る。

苑内の庚申堂と新錢座の兩鴨場は現在宮城に最も近い鴨場である點から屢々利用され、年々内外臣僚を召させられ鴨獵を催されて居る。鴨獵については昨三年十一月日本庭園協會機關雜誌『庭園と風景』上に記載して置いたから此處には省略することゝする。

◇

次に潮入りのことについて述べると江戸の庭園では大川筋や築地や芝などで海からの水利のよい處は、海水を樋堰により庭内に導き、潮水の干滿のために起る池泉の水位の變化による景致を面白く見せやうと云ふのであつた。尤も潮水の干滿の影響を加減することの出來るやうに水門が構造されて居ることは今更云ふまでもないことである。即ち一日中に起る潮の干滿作用と云ふ自然の大なる變化を巧に利用して池泉の水景の變化を樂しまうと云ふ至極氣のきいた手法である。

當離宮は流石海に近いだけあつて遺憾なく潮入りの庭としての水景の變化を味ふことが出來る。江戸時代の江戸の庭園の特長である潮入りの庭が近年著しく其數を減しつゝある時にあたり、其模範的のものを當離宮の池泉に於て見ることは吾々造園家の喜びとする處である。

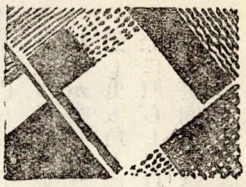
◇

以上に依つて當濱離宮の庭苑が如何に優秀なものであるかが窺れたことゝ思ふ。文化の進歩につれ、都市の改造、新計畫のため路線、道幅擴張の議が諸所に起こり可惜名園が破壞されることは誠に忍び難いことである。本離宮の表門入口の石橋は復興局の路線の出來る前提を物語るものではなからうか曩には御苑を二分するやうな亂暴極まる計畫があつた樣であるが、斯くの如きは議論の余地なきことで到底問題とするに足らないが、噂に依れば北端溝渠に沿ふて新道路の計畫があるやに聞き及ぶのであるが、もし此のことが果して事實であるとすれば、新道路に接する新錢座の鴨場は最早や鴨場として存在の意義を失ふ事となるし、離宮の庭苑は著しく風致を殺がれることは一點の疑を挿むの余地がないこととなるのである。

此の舊き歷史ある代表的の江戸の名園を保護する點からして願くば、右の噂が誤聞であらんことを切望して止まぬ次第である。(昭和四、九、一五、謹記——猶本文記事、挿入の寫眞は無斷轉載を御斷りいたします)

## 神戸高等工業學校第六回
## 開校記念展覽會開催に就いて

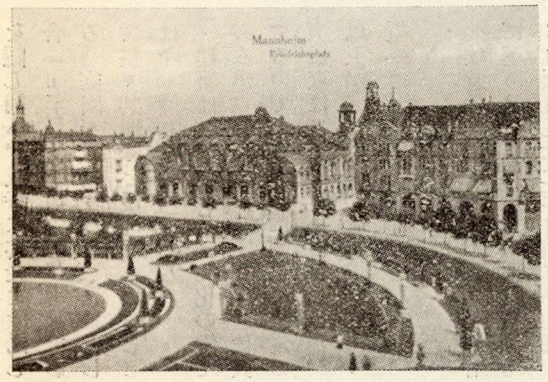
神戸高等工業學校では十月十七日午後から十八日十九日の三日間第六回開校記念展覽會を開催することになり建築、電氣、機械、土木の四科夫々大に努力を拂つて其準備を始めました。其内でも年々特色を發揮して居るのは建築科の展覽で少くも關西以西に於ては建築年中行事の一つとして意義あるものである。今回は特に第四回全國專門學校建築科成績展覽會も併せて行はれ、東大、京大、東工業大早大を始め横濱、東京、名古屋福井、京城、南滿、神戸の各高工及東京、京都の高等工藝の圖案科の成績も陳列さるゝ筈で、各學校建築科の特色がうかゞはれて、大に參考ともなり、意義あるものとなるであらう、其他日本建築協會からも出品其他から家具、材料等の出品も相當ある筈であります、神戸高工の實驗による參考物も出される筈になつて居る、また夏期實習として行つた古社寺等の實測圖も陳列することゝなつて居る。



# 建築に對する庭園と日本庭園の特色

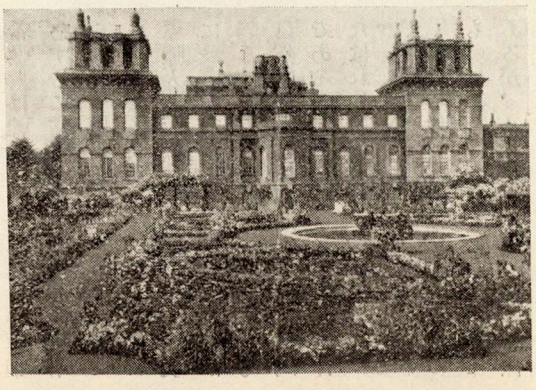
神戸高等工業學校長
工學士 古宇田實

庭園が建築と殆んど似かよつた歷史即ち變遷を有つ事は、それが如何に建築と密接の關係があるかを證據立つるものである。エデンの花園でアダムとイブが果物を取つて人界に落ちた神話を以て庭園史の始まりとすれば、庭園の發生は建築のそれ以上に遡るわけであるが、發達の上から見ると共に實用から出で、人類の發展と共に相伴つて居ることが認められる。建築の起源は穴居としての洞窟でも天幕生活でも、木造小舍でも、人類の外部的必要即ち雨露を凌ぎ、蟲類野獸類を防ぐことから起り、そして發達したものであるが、庭園は內部的必要即ち、生活上果實類が食料として求められ、それを培養する場所から始つて居る。而して一步進んで人間が平和を樂しみ、慰安を要求する樣になつて、建築には意匠が顧みられ裝飾が加はつたと同じ樣に庭園に觀賞的施設が見らるゝ樣になつたものである。故に建築に於ては其性質上實用に基礎を置き、それが實用を滿足させればさせる程其建築の價值を增し其美を發揮するものであると同樣に、庭園に於ても其實用を多く有つ事に於て益々眞價を增すと云ひ得るものである。實際に近代的庭園と雖も、否近代程其美を實用の內に求むる傾向を示して居る。防火衛生設備の一部として住宅の庭園、公共設備の大切なるものゝ一つとして、公園、廣場、街路園の如き夫である。



第一圖 獨逸フリードリッヒ廣場

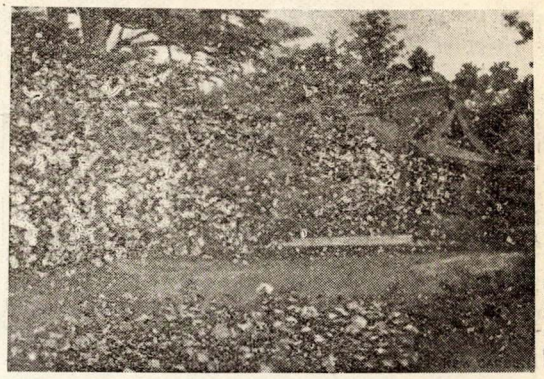
而して國立公園や、深林公園と云ふた樣な極めて宏大なものになつては、建築は多くは其內の添景の一部、或は其公園の役目の一小部分を受持つに過ぎぬことになるが、其他の庭園にあつては多くは建築と道連れとなり、建築の發展に依つて變化し、互に共長短を助け合ひ極めて合理的に働らくものである。恰も建築に室內裝飾が、密接なる關係を有ち大切である樣に庭園も亦極めて必要のものである。故に自分はこれを屋外裝飾と考へまた左樣論究し、築庭實施の手段として、室內裝飾の理論を應用することが多い。色の配合分布園路の屈曲、交叉等其理論は庭園上のものとあまり大差はないのである。



第二圖 獨逸・フランス式庭園

◇

仍て建築家が庭園美術を取扱ふことが一番都合のよいことになり事實そうであるが、實際に見て庭園まで手を延ばし、これに趣味を有ち、研究をする人が割合に少いのは寧ろ不思議に思ふ程である。いや庭園どころではない建築其物に直接附着して居る筈の室內裝飾すらも、全然他人委せで平然たる



第三圖 英國キウガーデン日本式の門

今日の日本建築界では、庭園か顧みられぬのは何の不思議もないことで、或は反對に庭園まで苦勞する方が餘計な事と笑はれんとする情態である。斯る際殊には皮相の西洋かぶれが流行して居る今日眞に愛すべき、尊むべき固有の日本建築が亡びんとし、日本庭園が廢れんとするのも時節柄であるかも知れぬが嘆ぜずには居られぬ。

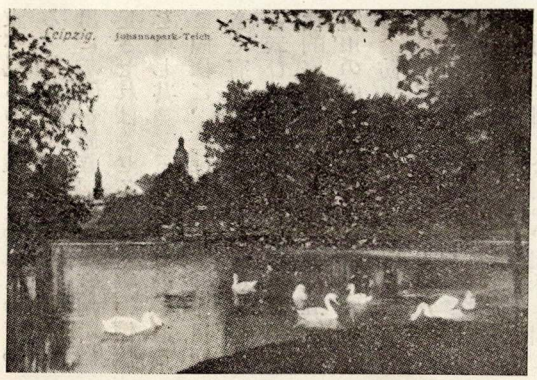
然し兎も角もこれを歷史に徵し實際に照らして見て、數千年來、仲好く庭園が建築と道連れとなつて手を引合ひ、或時は御互の欠陷を隱し補ひ、或時は其美を發揚し合ふと云ふ有樣で來たものである。庭園が建築を背景、添景として益々共趣味を現はして居ることは今も變りないのである。

建築は其時代、其國文化の鍵であるが、庭園も亦同樣文化を代表するのである。茲に簡單に變遷の上に表はれて居る事實を擧げて、以上が僞でないことを證據立てゝ置かう。

◇

埃及の文化は少くも五千年の昔に遡り、既に其頃大に開け庭園も相當發達したことが認められる。大邸宅ではナイル河の水を引いて大池に湛へ、それに舟を浮べて漁をなし、池の周邊には樹木花卉を植え、外垣としてはパイロン及これに類せる塀を繞らせた、少さき住宅でも其家の前方にプールを設けそこに睡蓮の如き花を咲かせ、それを圍んで花壇を設け家族は常に茲に涼を取つて樂んだことが推想される。而して其庭園形式は何れも直線式即ち幾何的式から成つて居た樣である。

埃及から稍遲れたがほゞ似た頃に開けた西亞細亞諸國の庭も亦なか〳〵に發達したらしい。巴比倫の都サルゴン王の宮殿、ソロモン王の宮殿等が高臺に設けられた事から庭園にも其性質が窺はれる。蓋し風土上の原因から然らしめたものである、彼の有名な空中庭園 Hanging garden の如きは要するに高臺として築きあげた城廓的のもので、其上段、途中中段等にも樹木を植え而もこれに灌水する爲にユーフラツト河から特別の水揚工事さへ行はれたと傳へられて居る。これ等は建築と關係が深いこと云ふよりも建築其物が庭園の骨子となつて居ることも云へるもので無論幾何的式の一種である。




第四圖 獨逸ヨハンナ公園

尙ほ稍降て希臘は、其土地柄天然の風光に富んで居た丈に希臘人が其風景を愛し、これを樂んだ事は史上に明である。神殿、競技場等を有つ神苑、街に賣る花を栽培する花畠、神話化せる海や森、哲學者、美術家の散策せる庭、別莊の庭等澤山あるが、其內でも神苑別莊園は頗る發達したもので、或るものは今こそ殆んど變りなき程であつたらしく、多くは建築に附隨し密接の關係を有つて居る。殊に希臘人は神殿、劇場其他公共建築をするに當て、景色の佳い、見晴らしのすばらしい高地を選んだことは大なる特色の一つで、如何に希臘人が天然の景色、自然の環境に愛着を有ち、注意を拂つたかが判る。而して庭園の形式其ものも自然的の內に幾何的であり建築的であるのみならず、多く建築に伴なはれて居る。

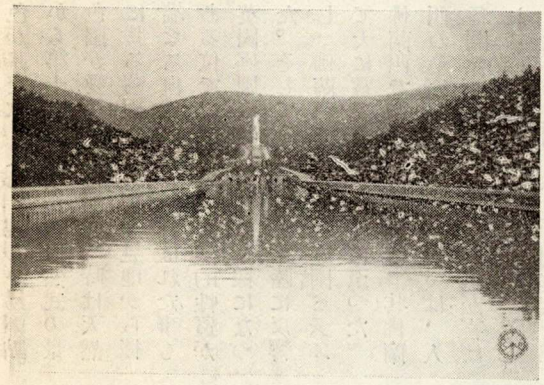
◇

羅馬時代の庭園は形式を希臘のものに範を採つたものが多い樣であるが、一層建築との密接な關係を增したものと考へられる。今日

の歐羅巴の住宅建築、別莊の元とも云るる伊太利莊園 Italian Villa は、殆んど羅馬時代に其源を發して居る。そして勝景を利用して建築を配置し、或は山腹に或は海濱に夫々其地形と遠望とに應じて形式を整へて居ることは現今の手段とあまり變りがない。斯くて一方に眺望を採れば、一方には花壇を設けて手近に慰安的設備を造つて居る。斯くて羅馬人は天然を愛する氣風もあつたが、更に人工を加へることにも巧であり、哲學者詩人は庭園を說くと云ふ樣で、遂に宏大壯麗を極めた別莊まで出來た位である。

羅馬帝國が亡び世が暗黑の情態となつてからは、邸宅や庭園の美が顧らるゝ筈もないが辛うじて宗教上の祭典等の爲に需要もあつたので、庭園藝術も持續したと云へやう。而して中世紀の所謂宗教時代となりて基督教が漸く盛大となるに及んで僧院の大なるものが建設され、從て宗教建築の隆盛を見る樣になつて、一方には宗教祭禮に花を献げる爲めに花苑が設けられ、一方には生活上の必要物として蔬菜、藥草が培養され、それ等が整然と庭らしくなつた。乃ち自給自足の必要から僧院が庭園美術の一種の避難所の如くになつたのである。

而して此頃の社會は所謂群雄割據の封建時代の有樣となり各大名は夫々城廓を構へて籠居したので性質こそ異るが、僧院と同じ樣に自給自足の必要を生じて庭園が設けられ、また慰安的設備や、自然を愛する念は益々多くなつて、花物が果樹や觀賞的に工夫さるゝに至つたことも僧院に於けるに其性質を同じうした。無論、城廓の內に制限され、自由に延びられぬ關係上幾何的に模樣づけられ、或は城壁の一部に腰掛が造られたり、芝生が一面に敷かれたり、凉亭、噴水等設けられたので建築的庭園となり建築と密接な關係を有つのは當然である。



第五圖 西班牙カセルタの湖水

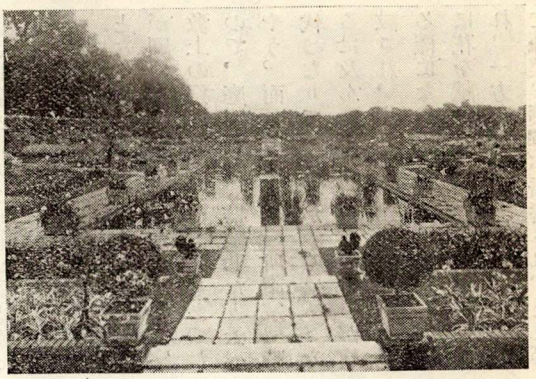
◇

ルネッサンス時代殊に第十六世紀になつてゴシック藝術に對する反動からと、當時文學等によりて皷吹された人道主義に基く古典主義の復興となり、庭園も亦之に伴つて其性質が古羅馬時代、或は尙遡つて古希臘時代の氣分に戻されそれを元としての新工夫が試みられた。そして其間には支那風が利用されたり、天然自然が極端に崇拜されたものもある。然も舊來見ざる大發展を示し大に其美術的價値を增大した。殊にルネッサンスの本場たり發祥の地である伊太利に於ては、古來よりの因習もあるが、水の應用、阪路や小山の利用等も巧妙を極め頗る盛な賑かなものとなつた。然し其形式と見るべき特色、姿はやはり幾何的式のものである。

此の伊太利式即ち復興式庭園は驅て佛蘭西にも輸入され、やはりルネッサンス式庭園として賞讃されたが ルイ十四世の時、ル・ノートルが命を受けベルサイユの禁苑を造つてから佛蘭西の特色を著しくするに至つた。其式は伊太利式を學んだものではあるが單に眞似たものではなく、宏壯、偉麗なる點に於て伊太利式よりも寧ろ超越を示したものであるので、佛蘭西ではこれをルネッサンス庭園と云ふ位である。伊太利のルネッサンス庭園は山や岡を利用し稍立面的性質を有つて居るが、佛蘭西のルネッサンスは、大なるキヤナルや見透の困難な位の並樹等を主體として平面的に、然しやはり幾何的式に纏めたものであり、各



第六圖 伊太利デモルタの庭



第七圖　英國・和蘭式庭園

よく其特色が區別される。此のル・ノートルの作風は忽ち佛蘭西の庭園界を風靡し、獨逸は勿論本場の伊太利にまで其影響を及ぼして居る。

◇

幾何的式を主調とせるルネツサンス庭園は、英國にも渡り英國庭園界にも大なる影響を與へた。而して重に佛蘭西から渡つた丈に屢々佛蘭西庭園の名稱をつけて居るものが多い。尤も是れには他の一の理由もある。即ち英國では其國風土の佛蘭西と稍異り、自然の景色が其だ軟く美しく親しみ易い點から第十八世紀頃から自然式の景色園が愛用された。或る時は天然に勝る藝術なしと云ふ見地から極端なる自然模倣さへ行はれた事もある位で、自然風、天然的性質が英國庭園の特色とさるゝ樣になつた。そしてそれが反て大陸に反響し、佛蘭西でも英吉利庭園（ヂャルヂン・アングレイ）と云ふて大に賞美愛用さるゝに至つた。佛蘭西でさへそうである、其佛蘭西の藝術を學ぶ獨逸に於ては、人種關係から見ても英吉利風が喜ばれるのはこれ亦自然である、そして遂に伊太利も亦英吉利庭園（ジャルヂイン・アングリーゼ）を學び、賞讃するに至つた。斯の如くにして世界の庭園形式は幾何的庭園と自然式庭園或は自然式景色園の二つに大別さるゝに至つた。

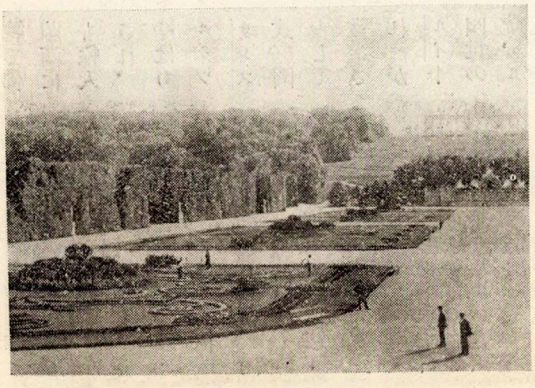
この二大形式の內で伊太利式或はルネツサンス庭園と云へば、幾何的庭園が云はるゝのであるが、其內に自然風の氣持、天然の趣が全然無いと云ふのではない。大體に於て形式は整然たるものがあつて盛に彫像や飾壺や花鉢若くは日時計等をあしらひ、水を用て噴水とし或は階段形に或は階段の袖に添ひ水を落したり、或はプールを設け其周圍に飾鉢を配列したり又なかには何かの殿堂であるのか、或はそれに水を落す爲に造つたのか其目的が判じ兼ぬる程に建築物が利用されて居るのである。

殊に第十七世紀から第十八世紀に流行したロココ式となつては、一層右の心持が認められる。而しそれが二千年以上の發達史を有つと思へば此幾何的庭園は殆んど完成の域に發達して居るものと云ひ得る故に、それが或一部には反て堅過ぎる感を起したり、些か厭氣を來すのも當然であらう。

例へて見ると歐洲では第十五六世紀頃には圓熟し切つたフランボーヤンのゴシック式に大分厭きて何か目先の變つたものが欲しいと思ふ際に、伊太利には既に人道主義から起つた而かもゴシックの樣な複雜な性質を有たぬ端麗な古典式が復活して、ルネツサンスが起つて居た。それが忽ち歐洲大陸に傳播したと同樣に既に發達し切つた所謂ルネツサンス庭園、即ち伊太利式系統の整形では滿足せず天然の景色に憧れを有つ際に自然式の英國庭園が傳り、それが流行を來すのも無理はないと思ふ。そしてその風は今日尙造庭上の勢力を示して居る。

◇

近時都市の一要件として大公園が考慮さるゝ時に當て、箱を積んだ樣な建築の間、或は其傍にも自然風の大風致園が喜ばれる樣になつて來た。其結果或は其影響を受けて住宅型の庭園等にも自然式が愛さるる傾向となつた。處が英國では其建築が伊太利や佛蘭西のものに比して縱令よほど自然に調和せる型を有つて居るとは云へ、尙



第八圖　墺國ウキーン・シエーンブルンの庭

天然自然の景色とは肩を並べられぬ點が多いので、其中間にテラス等を設けて漸的變化の手段を執つて、堅い建築と軟い自然とを結びつけて調和をとる樣になつた。それが亦一の形式を生じ流行を來たした。英國のイニゴリツクスが常に用る手段がそれであつて頗る合理的のものであると考へらる。而して是が亦建築が大に顧慮され建築と庭園が相提携されて居る一面の證據ともなる。

而して斯樣に自然式景色園が愛用さるゝ結果の一として日本風の庭園が用ひられて其處には何等不調和も感じられぬ樣になつた。然も常今日本が世界の大國となつて歐米の間にも重きをなし、且つ古き歴史と特種の文化を有つことから日本と云ふ名が歐米の間に珍重さるゝ樣になつて、日本式の美術が色々のものに用ゐられ、日本の庭園もその一となつて來た。そしてそれが驅て日本の庭園にも一變化を與へる機會をつくることになつて來た。只歐米で日本庭園を用て居る例を見るに、最初の內は石燈籠、橋、鳥居の如き少々惡どい珍奇な形を用て日本式を現はし、



第九圖 西班牙セビラ・アラビア式の庭

朕な感じを起すものもなかつたではないが、近頃は混然と西洋風の庭園の間に何時の間にか其一部となり、其處に小流や或は石燈籠類が日本式になつて居て、日本式庭園との立札或は說明がなく、石燈籠の目じるしがなかつたら、日本式と氣づかずに通り過ぎる程自然の變化となつて來て居る。

◇

却說日本式庭園が歐米にさへ用ゐらるゝ樣なつたに就ては、日本庭園の沿革の大要と特色の一端を述べ且つ西洋の自然式のものと對比して、其將來の立場をも考へて見ることも決して無駄ではあるまい。

日本庭園は今更喋々する迄もなく古來自然式を以て一貫して居る。縱令それが或る約束のもとに拘束さるゝ形式を有つことがあつても、やはり自然の範圍を脫せず天然に生きて居るものと斷言することが出來る。自分は研究上日本庭園の形式を大別して左の六つに取扱つて居る。即ち

第一、縮景園、自然の勝景を縮めて寫した形式のもの。

第二、借景園、遠望を招きそれにあしらつて近景を造るもの

第三、風致園、自然の風景の情緒を採つて理想的の景色園となせるもの。

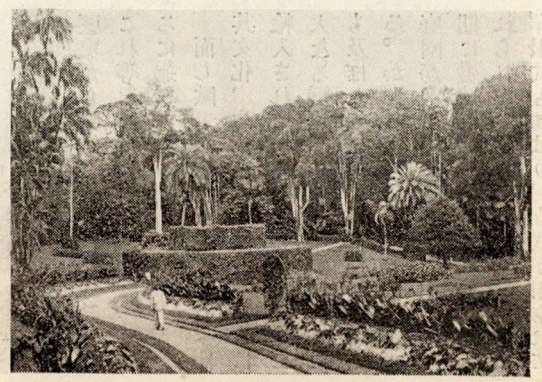
第四、象徵的庭園、佛說により或は說明的の形式のもの。

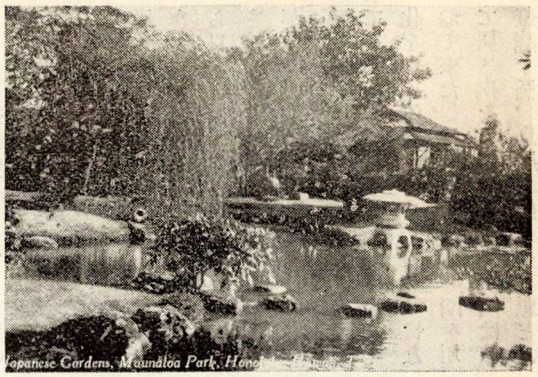
第五、廻遊式庭園、庭園內を逍遙し得らるゝを目的として造れるもの。

第六、露地、茶席に附屬せる茶庭。

右の何れを採つても其精神は自然の景色にある事は前に述べた通りだ。然も其間夫々の特色を示して居る。歷史に照らして見ても其形式は要するに右の範圍中に含ませることが出來る。只だこれを歐米の自然式庭園に比すると規模甚だ狹少、一劃の內に其天地を縮めた嫌はある。然しそこにまた特色もある。乃ちその縮めた狹い處に大なる自然の心持ちを巧に寫して居ることで此點に於ては實に世界に比類なき妙味を現はして居る。

日本庭園の歷史は、神代は兎も角もとして記錄の上に殘り形式の稍窺はれる樣になつたのは、實は


第十圖 セイロン島 キヤンデイペラデニヤの植物園

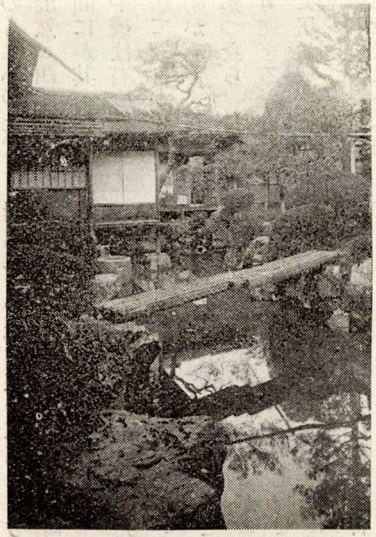



第十一圖　ハワイ・ホノルルの日本式庭園

佛教渡來後であつて、始めは須彌山又は蓬萊山と稱して島を築き、臭橋を架けた所謂山水式庭園であつた。其後最も形が整ひ、建築と密接の關係を保つものは、藤原時代に於ける寢殿に南面し、且つ極めて大切な役目を有つ南庭である。寢殿の階前には右近の橘、左近の櫻を對立して植ゑ更に南には池を穿ち、島を築き、朱塗の橋を架し、釣殿、泉殿が或は池に或は流れに臨み、實に寢殿を背景として良く調和せる一かまへの自然式風致園であつた。それがまた縮景的のもの即ち、名勝佳景を模するものとなり、更に鎌倉時代になつて禪宗の傳來につれて其影響を受けた。恰度建築が大なる變化を來たした樣に庭園も少なからず變化した。例へば佛說により配置された石組、說明的の組合による庭園の如きもので、象徵的庭園と云ふのがそれである。

◇

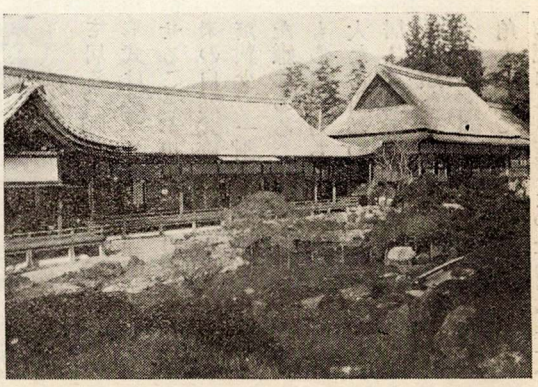
室町時代に至て右の庭園は益々發達し、其後期から桃山時代にかけて、正に完全なる形式を整へ大に其特色を發揮するに至つた。京都に於ける名園と云へば、日本に於ける名園を代表すると見てもよい位のものであるが、其多くは此時期に出來たもので正に日本庭園美術の最隆盛期の感がある。其形式は寢殿式に或は佛說の加はりしもの或は自然を其儘に巧に按配せるもの全く象徵的に取扱ふたもの等あつて日本庭園の形式は此期に完備されたと云ふことが出來る。



第十二圖　醍醐三寶院茶室月松亭

◇

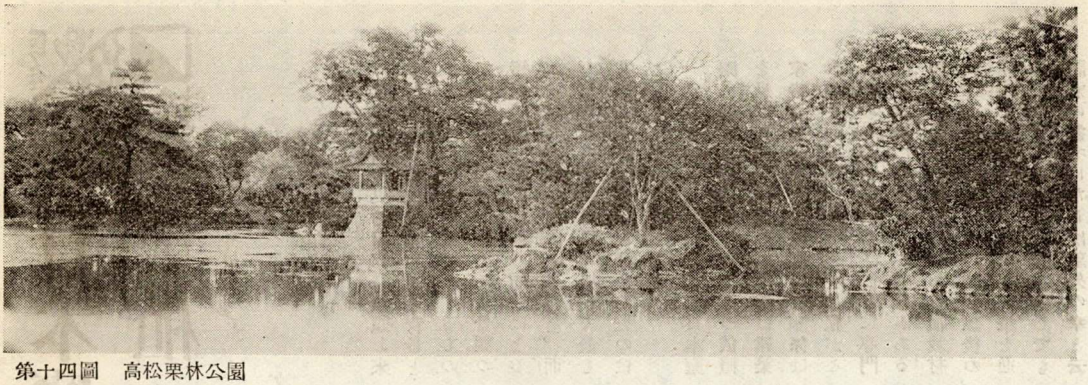
而して此期に茶の會が大に行はれ、千利休がこれを大成してから一層日本式庭園の特色をつくつた。乃ち極めて限界狹き內に大なる自然の天地を模し、都會の一隅に深山幽谷の趣を寫し、靜寂なる景色を作つたことで、これ抔は到底歐米庭園に見ることもまた歐米人の眞似も出來ぬものである。然も建築と全くよく融合して其美をなして居る。されば其精神は今日と雖もよく日本の住宅と庭園とに及ぼし、日常の生活にまで少なからぬ影響、感化を與へて居る。そしてその取扱も小さな天地に限られて居るのではなくて、相當大なる庭園、建築にも及ぼすに至つた。



第十三圖　同上三寶院表宸殿の庭

歷史から見る德川時代明治時代はこれ等を受け繼ぎ其風を守つて居るに過ぎぬ。

而し歐米の住宅、大きく云へば其文化、生活の情態は近頃日本に輸入されてから日本の住宅の上に大なる變化が起り、生活の情態にも及ぼして居るのは當然の勢である。かゝる際には茶會式の建築や庭園が、足利時代或は德川時代初期に發達したからとて其儘に取入れられぬが當然であるが、茶會に洋服式も加はり、立式が用られて來たと同樣に、庭園も洋館に釣合



第十四圖 高松栗林公園

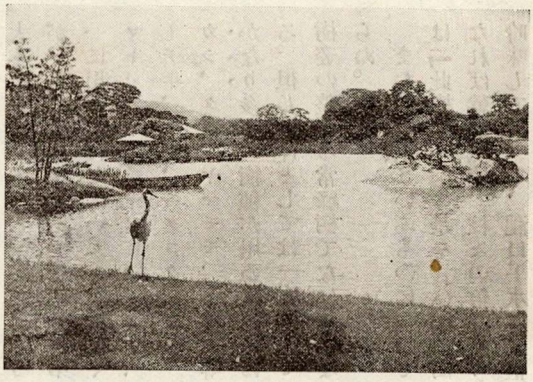
ひ得るゝ樣工夫が出來て來た。而してそれが恐くは茶の會の精神ではあるまいか。

かゝる融通性と時代順應の精神の特色を有つが故に、歐米の庭園の間に混つても日本の庭園は調和し得る雅量を示して居るのである。從て日本本土に於ては尚更洋館に附屬して、不釣合なき樣取扱ひ得らるゝのであらねばならぬ。屢々聞く言葉ではあるが、洋館には洋式の庭でなければ釣合はぬとか、日本屋には日本式に限ると、然しこれはあまりに固つた考で洋館も日本に移さるれば日本人の生活に適合する樣に變り、やはり日本式となると同然で、それをなんでも洋式々々と云ふのは、只皮相を捕へる丈の人で、恰度今日の歐米思想かぶれ、極端に云へば赤化思想とあまりかはりはないのである。

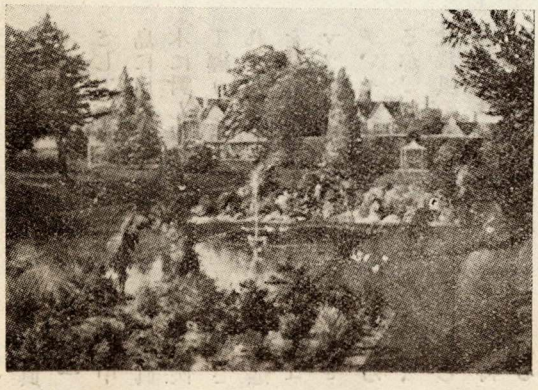
◇

要するに日本に於ける生活、美術等の眞の精神を知らぬ人の說であるとも云へる。洋服が今日一般の常服となつたと同樣、住宅や色々の建築が所謂洋館となるのも自然じある樣に、庭もその洋館に釣合はせねばならぬから、自然歐米風が採入れられるのは勢の然らしむる處であり、そこに强て日本の從來の茶式其儘を固執するに及ばぬ。ここに茶の會の精神があればよろしい。利休が今居られたならば必ずや、所謂洋館茶席が出來、それに適合する方則、形式が創られたことであらうと考へられる。

斯の如くして、日本の庭園は建築に洋風が加味されたと同樣に、生活の變化に伴ひ歐米の長所を採り入れられ、反て日本の精神を發揮することに妙味を示し、調和もとれるのである。歐米に於て日本庭園が使用されて反て不調和がないことに鑑み、日本庭園が日本に於てだん〳〵棄てられ、廢れんとする傾向を示す抔は以ての外と云はねばならぬ。自分は、日本庭園の將來を變ふものでなく、其發展を信ずる者である。日本の建築家始め識者が茲に醒められ益々日本庭園の眞意をつかんで、諸方に利用し發展さすことが必要であり且つそれを希望してやまぬ次第である。(了)



第十五圖 岡山後樂園





# 日本庭園の植栽材料

文學士 龍居松之助

日本庭園の史的研究に沒頭し來つた私は、時代趣味傾向を背景とする樣式の變遷を重要視するものであるが、觀賞の對象たる景觀の變更は聽て築造材料の如何によることが甚だ多いことを知つた。而してそれが植栽材料に於いて最も甚しいといふことを心づいたのは こゝ數年來のことである。

私は今回本誌の特輯號に日本庭園に關する原稿を寄せよとの依頼を受けたが、樣式の沿革等は建築家諸君にとつて左程直接な關係はあるまいと思つたことと、私がこの種のものを述べると餘りに專門的の議論になつて了ふ虞れがあるので、最も直接關係のある植栽材料について少しく江戸時代以後の變遷を顧みつゝ、覺束ない筆を進めてみやうと思ふ。若し少しでも諸君の參考にならば望外の幸と云はねばならぬ。

## 一 用途と樹種

江戸時代の中頃には造園術が愈々進歩すると共に、いろ〳〵と約束が文献に見えはじめて來た。而してそれは何れも秘傳のための秘傳ではなく、多くは經驗から來た事實の統計に立脚するものである。それを單なるブツクメーカーの賣らんが爲めにデツチ上げた代物と看過し去ることは餘りに早計である。それ故私は所謂造園界の識者が無價値と一笑に附し去るこの時代の秘傳書の中にも數多くの有益なる文字のあることを認めざるを得ない。

まづ便宜上樹種の說明を彼の築山庭造傳後編に記されたる名稱によつて試みてみやう、これも一般の人が最もよく知つてゐる書物なるが故である。

同書の築山及び平庭には中心を形造る爲の樹木を正眞木と稱してゐる。即ち一庭の中心には築山さか石組とかゞ構へらるゝが、更にこれに配する樹木がそれである。同書に從ふと『一庭の心木なり、此木に隨て諸木見合て植るなり、故に此木の見計ひ植木第一なり、依て正眞木と云なり、松柏の二木を以て正とす、併し先松を上とす、一庭の草木の司たる木なれば隨分大木をよしとすべし』としてゐるが、實際は必ずしもマツのみが第一に用ゐられたといふ譯ではなくマキ、カヤ、チヤボヒバ、イブキ、イチヰ、モチ、モクコク、シヒ、カシ、タブ、ヤマモモ、トベラ等かなり多くの樹種が用ゐられてゐる。但し條件としては一木にして樹姿の整へる常綠樹でなければならぬ。

また景養木といふものについては『此樹は一庭の景を養ひ保つ樹なれば幹の風流、枝々の恰好能々吟味して植べし、瀧口手水鉢、正眞木等に能く枝振りを見合て植るなり。正眞木松ならば葉物、正眞木葉物ならば松を以て養ふなり』としてゐる。同書にはこの樹を中島に用ゐてゐるが、要するに正眞木に對して釣合宜しく、兩者相俟て纏りたる景觀を形造るやうにされたのである。而して實際の情態を見ればイブキ、イチヰ、ヒメコマツ、チヤボヒバ、イヌツゲ、モチ、モクコクなどが用ゐられてゐるが、これも樹姿の整へるもので、盆栽風のものが歡ばれ、雅味乏しきものは排けられた。而し心持庭の中心に向ふ樹勢を有つてゐるものが一般に成功してゐるやうである。

次に同書には寂然木（或は寂然の森とも稱せられてゐる）と夕陽木といふのがある。今正眞木を中心とし、景養木を中景或は前景とするとしても、たゞこの二樹のみで一庭の立面的安定を得ることは多くの場合甚だ困難である。そこで左右に釣合を取るために各一個所の植栽を必要とするのである。同書揭載の標準圖によれば東寄りのものが寂然木であり、西寄りのものが夕陽木である。

寂然木のある東寄りの部分は常

綠樹を主とする植込みが、二段三段と奥深く植栽せられてゐるが、その最も家に近い端にあるもので局部の重心となるものが特に寂然木と稱せられてゐるので、樹種を見ると針葉樹もあれば濶葉樹もある。その條件としては幹や枝の雅致あるべきは勿論、その葉も美しいものでなければならぬ。そこでモチ、モクコク、シヒ、アカガシ、シラカシ、ヒノキ、スギ、カヤ、トガ、イチヰ、イブキ、ラカンマキ等隨分多くの樹種を見ることが出來る。

また夕陽木は落葉樹が多く、カヘデ類が一般に愛用せられ、秋期紅葉の美しさが一庭の景趣を引立たせてゐる。併し夕陽木は必しも紅葉物と限つた譯ではなく、ウメ、シダレヒガンザクラ等の樹姿や花の美しきものや、ヤナギの如く特殊の樹姿を有するものも用ゐられたのである。而してその位置は中心及び外圍から離れて獨立し、若し常綠樹を用ゐる場合には必ず紅葉物か花物を添へることになつてゐる。

以上で最も重要なる植栽は終つたが、更に景趣を添へるために流枝松と手水鉢に添ふる鉢圍ひの樹ことについて說いてゐる。即ち池に臨んで差枝の優しいマツ、ハヒビヤクシン、キヤラ等が一小局部の中心となることを教へ、鉢圍ひとしてはマツ、キヤラ、テウセンガヤ、イブキ、カンチク、アセビ、ウメ、ナンテン、ヒヒラギナンテン、ウメモドキ、ニシキギ、ヤツデ、アヲキ、シユロチク等非常に多くの樹種が用ゐられ、根締めとしてはハヒビヤクシン、クマザサ、ブンゴザサ、ハラン、オモト、ヤブカウジ、シヤガ、カンヲンサウ、キチジサウ、サイシン、カンアフヒ、ギボウシ、ツハブキ、シダ類等が用ゐられてゐる。



第一圖　家に近く植ゑられたる老松と根締の灌木(山崎・妙喜庵)

右に述べた主要植栽は前記の如く築山庭造傳後編に示されたる所に從て說いたのであるが、この書よりズツト以前、享保年間に出版された北村援琴の築山庭造傳前編に記載されたる主要植栽を見れば橋本の木、飛泉障の木、庵添の木土手見越の木、池際の木、垣留の木、袖ケ香、燈籠扣の木、燈障の木、鉢請の木、井戸會釋の木、下井戸の影木、塚添の木等の名稱があり、相當に親切な說明が記されてゐる。

試みにそれ〳〵の用途によつて擇ばれたる樹種を調べてみるに、橋本の木としては橋の袂に植ゑて枝や葉が橋の上を蔽ひ、水面に影を映すものといふ條件を具ふるものとして判然と樹種を記してないが、飛泉障の木としてはマツ、イブキ、イチヰ、チヤボヒバ、キヤラ、カヤ、カヘデ、ニシキギ、庵添の木としてはクリ、カキ等、土手見越の木としてはマツ、カシ、モミ、トガ等、池際の木としては池に臨んで水上に枝を差し出し、涼しげに見ゆるもので月夜の眺めにも都合よき、樹姿整へるものが喜ばれ、垣留の木としてはマツ、マキ、モチ、モクコク、イヌツゲ、ウメ、ウメモドキ、ハクモクレン、コブシ等、袖ケ香としてはウメ、燈籠扣の木としてはマツ、マキ、モチ、モクコク、イヌツゲ等、燈障の木としてはマツ、カヘデ、ニシキギ、ウメモドキ等、鉢請の木としてはアセビ、ニシキギ、ナンテン、サカキ、アヲキ等、井戸會釋の木としてはマツ、マキ、モチ、モクコク、シヒ、ウメ、ヤナギ等、殊に濶葉樹のズンド物が喜ばれ、下井戸の影木としてはマツ、ウメ等（ヤナギは面白いが成長速かなるため根張りによつて積んだ石を動かすから宜しくないと戒めてゐる）その用途によつて自ら適したる樹種の擇ばれことは疑ふべくもないことであつた。而して最後の塚添の木といふものについては單に塚の上或はその側に植ゑて枝葉が塚の上を蔽ふものとして橋本の木と同樣、樹種を明示してゐないが條件は明かに記してゐる。

## 二　樹木の根搦と植付

築山庭造傳前編を見ると江戸時代中期の頃庭師が行つた根搦法と植付上の注意がよく分る。恐らくこの事は元祿期にも一般に行はれたものなるべしと思ふ。

この時代の庭木は多く荒堀り物であつたから根を搦へることについて充分注意し、樹木の活着に苦心したらしく、樹姿の整理といふことは目的の個所に植付けた後初めて着手したものと思ふ。(屢々移植したるものは例外なること云ふまでもない)

堀起の方法は枝の多く差したる方から堀り始め、その方向に出たる大小の根を切り、漸次枝少き方へ堀るべく、枝と根の割合をよく見定め、六分通り堀つたら殘餘の四分は堀らず、先に堀れる方へ押し倒し程よく鉢を付けて起し得るのであると教へてゐる。たゞ此の場合堀加減を試すために樹木を搖り動かすことは嚴禁だと云つてゐる。

なほ文政年間に出版された築山庭造傳後編に記してゐるマツの移植法を見れば『立根あらば切て可植、腐根あらば切て可植、株の鉢われぬ樣可植、根の深くならぬ樣可植』といふ四ケ條が擧げられてゐるが、これ等は今日と雖その方針に於いて少しも變らぬのである。

さて右のやうに堀り起したる樹木は當然鉢、保護法を講じなければならぬ。即ちこれを根搦けと稱するので、當時の庭師の行へる所は築山庭造傳前編に『根をからむは繩もて鉢を幾所もぐる〳〵と卷



第二圖 手水鉢を圍みて修飾する植栽
(堺市・實相院)

是を根の鉢卷といふ、其上へ手助掛と云て、筋違に繩を幾筋もかけ、よくしめかたむる也、是を手助掛といふ、それより立根を切べし、又至て大切なる樹は其上へ網かけといふて繩にて堅く網をかけまはすべし、かならず藁の薦のといへる樣なるものにて包むべからず、薦にて包めば其上いかほど繩もてかたくしむるとも中は籠同樣にて土はしまらず、其上其鉢破ること疑ひあるべからず、能々辨ふべし』と記されてゐる。これは今日の方法と同一で、矢張り檜繩或は外し繩を以て固く根卷を爲し、その上に三ツ掛、四ツ掛、五ツ掛、グル卷など稱する繩掛を施し、運搬中に鉢の破壞せぬやうに用意したことは云ふまでもない。

此の如くして目的地に運べる樹木は豫め堀つてある鉢穴の中に靜かに立て、木の表を前にして樹姿を見定め、決して無理なことをしてはならぬ、若し少しでも無理をすれば鉢を破壞する。それ故繩搦みのまゝ土を半分ほど入れ、一人はその根に水を灌ぎ、一人は小棒にて鉢に觸れぬ程度にその周圍を突き、水と共に土を流し込み、鉢の底へ土を入れて落つかせる。これは今日我々の行ふ水極めであるが、小さな樹木ならば單に水を灌ぎ、木を搖り動かすのみで土を落付かせ得ること諸君が常に見らるゝ通りである。

さて右の如くして、水のよく引き、土の落つき圍まるまではその儘にしておき、その上にて根搦みの繩の土より上に出たる部分だけ切り拂ひて土を藏ひ、その上を小鎚の如き道具で搗き固めるのである。

この外に土極めと稱して水を用ゐずに初めから土を搗き固めて行く方法も勿論あつたので、肥料についても相當に教へてゐる、それ等のことは築山庭造傳前編に記され、麥、川苔等の効が說かれてゐるが、腐蝕土、下肥、淺蜊等も一般に用ゐられたらしく、移植の時期についても經驗からいろ〳〵の說があつたらしく、マツ、タケ等は特に嚴しく時日が限定せられてゐる。例へばマツは陰曆二月が最もよく、タケは六月に限るといふ類である。

## 三 庭木の手入

江戸時代の庭園は人工の極致を示してゐるが、殊に庭木の手入は實に美事なものである。而してそ

の手入が能て優美なる庭相を現出せしむる要素となるのである。つまり樹木の自然の姿態を強調せしむることは、繪畫に於けるそと同一筆法で、その着眼は敬服すべきものである。從てその手入の方針と方法とは樹種により、また用途により自然異つて來るのは當然である。

築山庭造傳前編に於いて北村援琴翁が「木造りの事」として說述してゐる所を紹介すれば左の如きものである。

松を造るに鎌割、挾割、指割、葉刈抔といふ種々の仕事ありけり、其鎌とは鎌にて透す斗りをいふ、挾割とは挾にて透し捨るを云、指割とは挾割の上にて指にて古葉をもぎ落し、能念を入るをゆび割といふ、葉刈とは指割の上にて葉先をよく刈揃へるを葉刈といふなり、又玉造り、伏せ造り、光琳造りなどいふ造りかたの名あつて、其名三通りに變ごも仕事の品は一品なり、玉造りゞは竹の輪を入て丸く造りなせる故に玉造といふ、伏造りとは小枝を竹へ伏せ結び付るによりてふせ造りといふ、光琳造りとは其形光琳が畵ける松の畵に能似たればかくは呼ぬるなり。




葉もの の透しといふ事、是は木犀、樫の類なり、此透し方は殊の外六ケ敷ものにて、松は素人の手にあふとも、此等の葉ものは手にあひかぬるものなり、留葉に一枚、二枚、三枚抔といふ事あり、一枚、三枚は吉、二枚は嫌へり。

是等は畢竟法ケ間敷ことにて、さして一本の圖にかゝわることにはあらねども、心得置べし、惣じて枝ともに重たるを重箱といひ目前の上下かさならざるやう見込の奥口重ならざるやうに透すべし、此儀は松にても同じ譯なり、枯枝と苔とをよく取拂ふべし。

刈込物は始に根本の吹芽を能き り拂ひ、夫より中を健にいたし置て、後に外廻りを刈込べし、根本の吹芽をとりて、其中の取拂ひもせずして、上邊斗刈込をりも、整姿法であるといひたい。

## 四 主なる植栽材料

前述の如き江戸時代よりの造園植栽材料は爾來同一方針の下に擇ばれてるが、今便宜上その用途に從て樹種を列記してみやう。

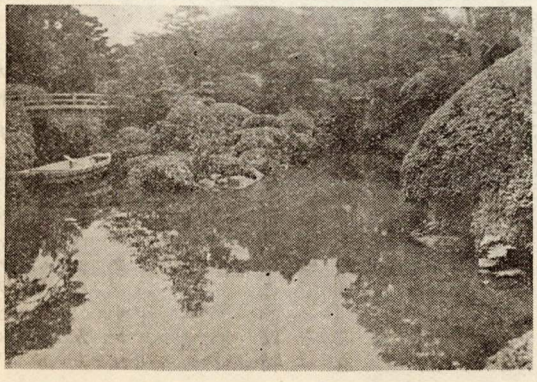
### (イ)主要部の植栽材料

正眞木、景養木、夕陽木等主要部に用ゐられ、小中心となるべきものは、左の如き性質を具備してゐなければならぬ。

一、樹姿整ひ、成長速かならずして管理上注意を拂はば、永く同一樹姿を維持し得べきもので、恰度盆栽樹の如く、當該樹種の特徴を強調し得、一見老木の觀を呈するもの。

(例)アカマツ、クロマツ、ヒメコマツ、ツガ、カヤ、イブキ、チヤボヒバ、イヌツゲ、シラカシ、アカガシ、アラカシ、シヒ、タブ、ヤマモモ、モチ、モクコク、ヒヒラギ等。

二、幹枝の形狀に雅味あり、老木の特色を有するもので、局部の

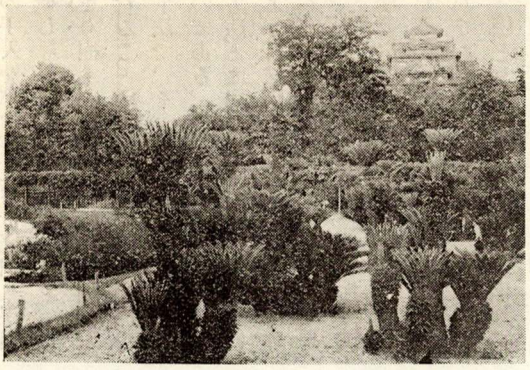


第三圖 池に臨める灌木の刈込(日光・輪王寺)

中心として重味のあるもの。
（例）シヒ、カシ、モチ、イブキ、カヤ等の老木、ズンド物

三、樹幹の形狀が複雜で、樹皮剝落の性質を有し、繪畫的雅味あるもの。
（例）サルスベリ、ナツツバキ、クワリン等（カゴノキの如き類は皮の剝け方に於いて資格を缺くやうに思ふ）

四、幹や枝に繪畫的雅味のあるもので、花或は實が觀賞對象となり、時に香氣なごあるもの



第四圖　城の遠望を受けて植栽せられたるソテツ（岡山市・後樂園）

（例）ウメ、サクラ、カイドウ、モクレン、ハクモクレン、コブシ、ザクロ等。

五、樹の形狀が優美で、秋期紅葉するもの。
（例）ヤマモミヂ、オホサカヅキの如きカヘデ類。

六、奇拔なる樹形を有するもの、
（例）タケ、ソテツ、シユロ等。

七、宗教的觀念或は迷信より植えらるるもので、造園樹木としての資格あるもの。
（例）ナツツバキ、シナノキ、キササギ、ユヅリハ、ヒヒラギ等。

八、珍らしきが爲めに愛せられ、同時に造園樹木としても資格を有するもの。
（例）ソテツ、ナギ、四方竹、黑竹等。

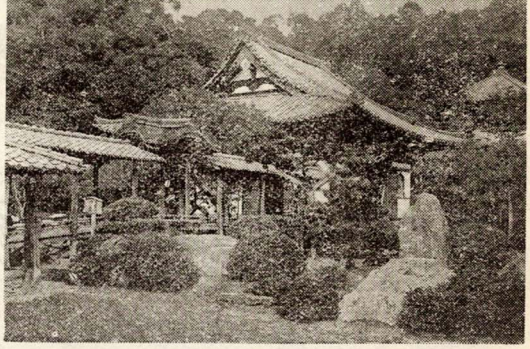
九、深山幽谷の景趣を表現するに都合よきもの。
（例）スギ、ヒノキ、クワウヤウザン、トシヤウ等。

**（ロ）周圍植栽の材料**

江戸時代の庭園は多くその周圍に塀を周らしてゐる、而して其所には大體區劃に從つて植栽をなし外部を遮斷することになつてゐる。これは今日も我々の庭園に常に見る所である。今この周圍植栽に適する材料について考へて見れば左の如きものごなる。

同一形狀のものを比較的容易に手に入れ得べき常綠喬木で、剪定に堪へ、成長も速かであるが老年となるに從ひても愈々枝葉の繁茂する濶葉樹或は針葉樹、勿論諸害に對する抵抗力の强きことは第一條件である。

（例）スギ（今日の都會では煙害に弱きため用ゐられぬが）ヒノキ、サハラ、カマクラヒバ、シラカシ、アラカシ、アカガシ、シヒ、マテバシヒ、カナメ、モチ、モクコク、サンゴジュ等。



第五圖　捨石に配せられたる刈込物（京都市・高臺寺）

**（ハ）下木としての材料**

喬木のみで庭園を造ることは特殊の場合を除いては困難である。しかも普通の場合下木の如何によつて庭園の觀賞的價値の左右せらるることがある。然らば江戸時代から今日まで、如何なるものが下木として用ゐられてゐるか、一通り說明してみやう。

一、喬木の下に植えられ、充分日光を受けることの出來ぬ場所にあるため、日光不足によつて葉の衰ふることなく、從て懷も透かず、常に美しき葉色を呈する陰性の灌木。
（例）ヤツデ、アヲキ、ヒサカキ、アスナロ等。

二、樹冠密生して、葉の形ご色ごが美しきか或は雅味あり、刈込に堪へ野趣味ふべきもの。
（例）アセビ、サツキ、ツツヂ、イヌツゲ、サザンクワ、ヒサカキ、マサキ、チヤ、シヤシ

ヤンボ、キヤラ、イブキ、ドウダン等。

三、葉又は花の優しく、喬木の下にあつて、叢狀の樹冠愛すべきもの。

(例)コデマリ、ヒウガミツギ、トサミヅキ、ハギ、ヤマブキ、ハクチヤウゲ、メギ等。

右の外用ゐらるべき樹種は頗る多いが、要するに樹冠扁平なるものが愛用せられ、成長するに從ひ垂れ下るものが多く、垂直に成長するものは避ける樣である。これは上木の根締の用をもなすものであるから釣合のとれぬ爲である。

**(二)石組に配せられる材料**

これは大體に於いて下木と同一であるが、瀧口、山路、溪間、山腰、平地等によつて、それ〴〵適性を異にすべき事はいふまでもない。今その大要を左に擧げてみやう。

一、建物に近い所又は苑路の側近き場所の石組には花又は葉の美しく、刈込に堪へるものが用ゐられる。

(例)サツキ、ユツゲ、シヤリンバイ、ハクチヤウゲ、イブキ、キヤラ等。

二、瀧口、溪間、山路などのやうに、稍々遠き場所に用ゐられるものは、自然風のものが用ゐられ、野趣を帶び、幽邃味を強調するものがよいとされる。

(例)アセビ、ヒサカキ、ナツハゼ、シヤシヤンボ、シヤクナギ、シヤリンバイ、トサミヅキ、ヒウガミヅキ、クロモジ、ニシキギ等。

三、黑砂積及び水に近き場所には匍匐性のものが多く用ゐられる

(例)ハヒビヤクシン、キヤラ、サツキ、イハヒバ、シダ類。

**(ホ)地被材料**

日本庭園には地被材料がかなり重い役目を勤めてゐる。

一、大面積を一面に蔽ふもの。

(例)高麗芝、蘚苔類(スギゴケ、エイザンゴケ等)クマザサ等

二、局部的に用ゐられるもの。

(例)ヤブカウジ、ヒサカキ、モクタチバナ、サイシン、カンアフヒ、クマザサ、ブンゴザサ等

右に述べた植栽材料は極めて概要に過ぎぬが、その外、古來慣用してゐる刈込は大は庭園の背景としての山刈から、石組に配する小さな丸刈物、乃至刈込生垣に至るまで、非常に廣い範圍に亘つてゐるが、その材料は前記下草及び石組配植材料等と大體同一であるからこゝには省略しておく。(了)



# 最近歐米に於ける庭園の傾向

京都帝國大學助教授
農學士 關口鉄太郎

編輯部よりこの題目にて書くことを依頼されそれをお引受したのであつたが締切の日までに意に添ふ丈けのことを書き上げることが出來なかつた。こゝに編輯部員並に讀者諸賢にお詫び申上げておく次第である。

◇

私の茲に所謂庭園とは、住居の一部としての戸外の部分を指すことにする、即ち住宅に附屬せらるべき庭園である。

さて今、歐米に於て造園事業の最も盛に行はれてゐるのはアメリカとドイツであらう。而して其等の庭園を語ることによつて最近に於ける歐米の庭園の傾向を凡そ窺知し得ると信ずるが故に以下其等について概略の說明を試みて見やうと思ふ。

◇

洋の東西、時の古今を問はず人間は生活に餘裕が出來れば必らず自然を玩賞する趣味を有つに至るやうである、立派な建築が出來れば次には屋敷を飾る庭園である。その建築や庭園は又その人の豪勢振を他人に誇るいゝ品物でもある。

最近世界に其經濟的支配力を有するに至つたアメリカの富豪達は恰もその昔イタリの貴族富豪達がローマやフロレンス等の郊外に盛

にヴイラ（建築と庭園とを併せ稱したもの）を營んだと同じやうに、今大都市の郊外に豪奢なる邸宅を營みつゝあるのである。

◇

試みにニユー・ヨークのロング・アイランドを訪れて見るとしやう。そこにはゆるやかに起伏する丘陵地の樹林を拓いて幾多の大邸宅が宏大なる境域を構へて列つてゐる。一邸宅の大さは數十エーカーより數百エーカーに及び一邸宅より次の邸宅に赴くには數町乃至數十町を歩かなければならぬ。入



第一圖　アメリカの庭園（邸宅への入口）



第二圖　アメリカの庭園（邸宅内自動車道）

口より家に至る道路の長さは一町乃至數町、其兩側は或は樹林であり或は並木が植ゑられてその背後の大芝生地はゴルフ場になつてゐる。

家の前の庭は數臺の自動車を容るゝに充分である。家を取り圍んで規則的な幾つかの庭が配せられてゐる。噴水や彫刻や綠廊や花壇が適當に配置せられ、欄干と鉢床と飾鉢とで美しく化粧された露壇を下れば、綺麗に刈込まれた芝生がゆるやかな波狀を描いて境界の彼方に延びてゐる。三三五五あちこちに疎立してゐる樹木は芝生の單調を破り境内の奥行を增すにいゝ効果を見せてゐる。

若し地形に面白き變化があるならば、苑路に植栽に可成りの注意が拂はれいゝ趣味の風景式取扱がなされてゐる。屋敷の一方の隅にはなるべく全體の調子を破らぬやうに蔬菜園や果樹園、花卉養成圃等が美觀を顧慮して設けられてゐる。

かくて境界を離るれば彼方には丘陵樹木が續くか或は廣々とした海面に開けてゐる。外景の可なるものは努めて之を取入れるやうに注意が拂はれてゐる。

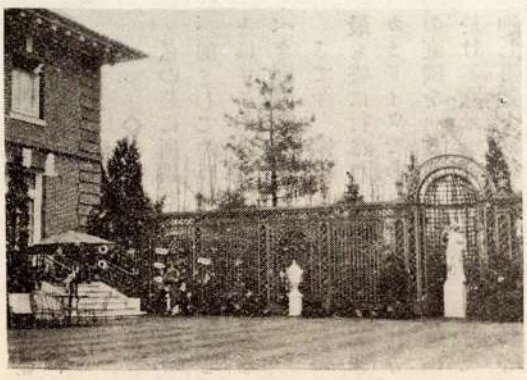
◇

さて一度ヨーロツパの造園史を繙いたことのあるものなれば必らずや彼の文藝復興期に於ける豪壯を極めたイタリの庭園、それに續いて起つたフランスの華麗なるル・ノートル式庭園、更に又その次に起つたイギリスの自由なる田園風景を模せる自然式庭園等に先づ興味を惹かれることであらう。

これ等は實際我々が今日造園の二大樣式として認めてゐる建築式及風景式の代表的なものであつて歐米人にして若し新しく庭園を營まんとする者があるならば、彼は意識的であるにせよ無意識的であるにせよ一度はそれ等を振り返つて見ることであらう。

◇

自國に舊い歷史や傳統を有たぬアメリカ人はその庭園の築造に當つて先づ範を歐洲に求めた。今より二十年許り前にはイタリ式が隆盛を極め、フロリダやキヤリフオルニア地方にはスペイン式を採用する者も多かつた、イギリス式フ



第三圖　アメリカの庭園（居間に接してある芝生）



第四圖 アメリカの庭園(規則的な植込)

ランス式も勿論造られた。

然し國土や國民性を異にするアメリカに於ていつまでもそれで滿足出來るものではない。極度に發達した都市生活の反影として田園生活を樂しむもの日に增し、前述の如く都市郊外に盛に邸宅が營まれるにつれて、屋敷の裝飾美化は造園專門家に任される。アメリカに於ける造園教育が隆盛に赴いたのも最近十數年來のことである。

學校に於ける造園の專門教育はアメリカの自然、アメリカ人の生活に相應しきものゝ創造を說く。乃ちかゝる教育を受けて社會に多數に送り出される造園家によつて造られる最近の庭園は多少なりとも純アメリカ的なものを有つてゐる。殊にアメリカ風景式造園の開祖とも仰がれてゐるオルムステッド氏の作品に接するときは如何にもアメリカの土地より生え出でたかと思はれる自然さを味はゝされる。同じ風景式といつても最早イギリスの直寫ではない。世界にその藝術的價値の高きを誇る日本の風景式に似通つた或物をそこに見出すことが出來る。

即ち今やアメリカはその國土、國民性に相應はしき新しき國家的樣式を見出しつゝあるのである。

◇

次に歐洲に入りドイツの庭園を見る。こゝではアメリカの庭園に見るやうな自由な感じは得られない。ドイツ近代の建築式庭園はドイツ國民の科學的な頭から割出された極めて硬いものであつて、恰かも住宅に玄關、應接室、居間、食堂、主人室、主婦室、子供室等の別を立てる如く、庭園は規則正しく明瞭に、幾つかの夫々異つた目的を有する部分に分けられる。庭園を以て戶外室といふならばかゝる庭園こそ最もその名に相應はしいものである。

◇

かやうにして我々は最も新しい傾向の風景式庭園をアメリカに見、最も新しい傾向の建築式庭園をドイツに見ることが出來る。

さて以上述べた庭園は何れも大庭園若くは上流の庭園に就てである。然らば國民の大部分に對する庭園はどんな傾向を辿りつゝあるか。これに關してはドイツに於て最も普及發達してゐる小庭園のことを語るのが最も適當であらう。



第五圖 アメリカの庭園(チューリップの花壇)

◇

ドイツの都市の住宅地や郊外には三十坪五十坪位に區切られた小庭園が集團をなして到る處に存在し、其處には蔬菜や果樹や花が作られ質素な小舍がその一隅に設けられ、仕事から歸つた主人は鋤鍬をとつて耕やし、主婦は小舍の中で食物の用意をなし、子供は遊場で跳びはねてゐる、其光景は如何にも樂しげであり愉快さうである。

かゝる小庭園(クライン・ガルテン)は近來郊外に盛に造られつゝある住宅——アパートメント——には大抵各戶毎に附せられるのであるが、然らざる住宅に住む者の爲めにも成るべくその住宅の近くに特に庭園丈けを集めて設けるやうになつてゐる。

抑々かゝる小庭園の發生は今より六十五年ばかり前に遡る。即ち一八六一年ライプチツヒの醫師シュレーベル氏が當時少年——特に都市に於ける——の教育に於て體育方面が等閑に附せられてゐるのを痛歎し、彼等の爲めに遊戲運動場の設置を唱道した、間もなく氏

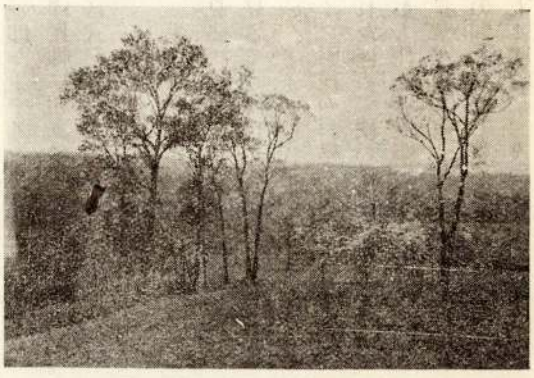
は死去したのであるが一八六四年に彼の遺志に從つてヨハニスターるといふ所に最初の遊戲場が設けられた。然るにその遊戲場には間もなく少年達のための畑が附屬せしめられ遂には家族用の庭園が併置されることになつた。今日の小庭園運動の礎は即ち此處におかれたのである。故に今の小庭園は又シュレーベル園(ガルテン)とも稱せられるのである。而して現在ザクセンには約七萬のシュレーベル園があるこゝも稱せられてゐる。

首都伯林に小庭園が起つたのは一八七〇年頃であつてその動機はライプチツヒの如き少年保護といふやうな事ではなく、住宅難の結果であつて即ち郊外に多くの新住宅が營まれるに當つて其居住者達——彼等は從來の穴藏生活に辟易してゐた——の切なる願ひに從つて小庭園が附せられることになつたのである。

かゝる處に端を發して發達した小庭園は一九二五年には約十六萬の數に達し、その面積六千二百三十九ヘクタールで市の全面積の七%に相當してゐる。

ドイツに於ける小庭園發生の原因には尚一つある。それは工業勞働者の生活を和らげる目的で羅馬カトリック敎の僧侶達が所謂勞働者庭園の普及を圖つたのを、今世紀の初頃フランスよりドイツに輸入したのである。フランスやベルギー、ルクセンブルグには此種の小庭園が勢力を有してゐるのであるが、ドイツにあつてもベルリン及リユベツクに現在一萬人ばかりの會員があるといふことである。

かやうにドイツの小庭園は三つの異つた原因によつて生れたのであるが、何れにしても都會生活者の切實なる要求若くは必要に基いて起つたものであつて決して生活の餘剩として現はれたものではない。



第六圖 アメリカの庭園(自然式な部分)

◇

ドイツに於ける小庭園運動は昨今益々熾烈となり小庭園の文化的經濟的及都市計畫的意義が論ぜられ其重要さが盛に高調されてゐる。即ち、

小庭園は倫理上寄與する處が多い——勞働者達が仕事の餘暇を如何に利用するか、從來多くの者は酒場などで過すのを常としてゐた彼等はアルコールによつて生活の苦腦を忘れる事が出來ると信じてゐたからである。然るに縱令小さくこも自分の庭園が與へられるに及んで彼等は其處に新らしい樂しみを發見するやうになつた。土に親しむことは實にドイツ人の國民性であるやうに見える。

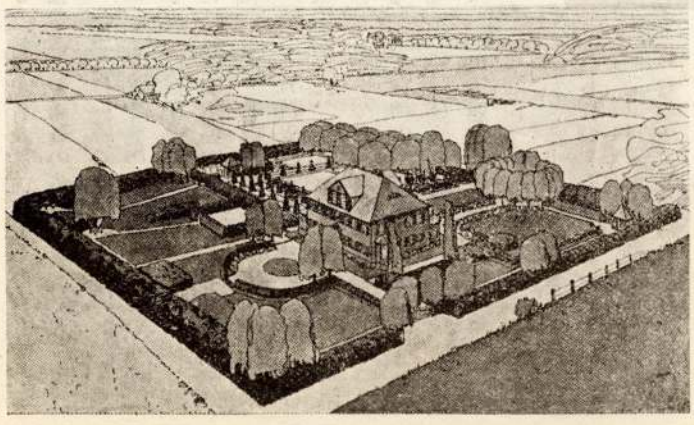
◇

小庭園は國民保健の上に重大關係を有す——人間の健康に最も必要なものであり乍ら案外等閑に附せられゐた空氣と日光が充分に得られる。

◇

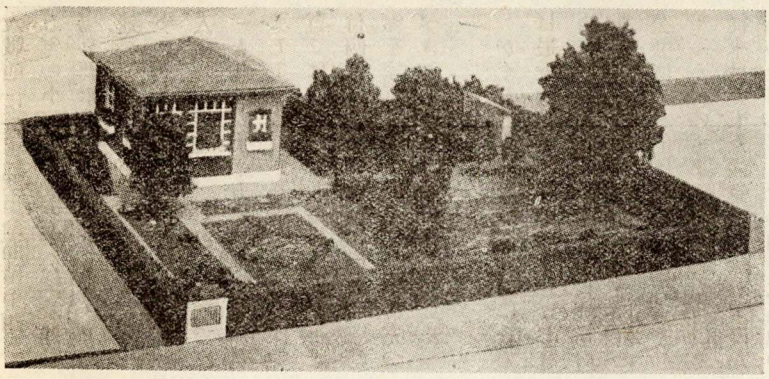
小庭園は自然觀察等敎育上の價値を有す。

小庭園は經濟的にも役立つ——大戰及インフラチオン時代には小庭園の經濟的利用は其極點に達した。『一平方米の土地でもよいから耕せ』との悲痛な叫びのあがつたとき、この小庭園こそは最も簡約



第七圖 ドイツの庭園

に利用されたのである。ザクセン國の公表せるものによるに一九二〇年に六萬三千の小庭園から生産されたものは蔬菜二百四列車分（一列車四十輛、一輛に二百ツェントナー積載、一ツェントナーは五十瓩）果物五十五萬ツェントナーであつた。又ベルリンのケペニツクでは同年千二百十四の小庭園があつたがそれより生産されたものは、蔬菜二千九百八十三ツェントナー、馬齢薯六千五百五十ツェントナー、穀類千五十四ツェントナー、果物五百四十五ツェントナーで、此外牛乳、雞卵、肉類等も供給した。



第八圖　ドイツの小庭園(1)

併し乍ら小庭園の殆んど全部を擧げて、かやうに純生産的の場所として使ふことは特殊の場合に限られるのであつて、今日の如く平和の時代にあつては家族休養の場所たることが第一であつて蔬菜の栽培の如き段々減少して來てゐる。それにしても家族の趣味により又都市を相當離れて比較的自由に土地の得られる所では尚蔬菜の栽培、養雞等によつて家庭經濟に大いに役立つてゐるものが少くない。

◇

次に小庭園の都市計畫的意義に就て考へて見やう。

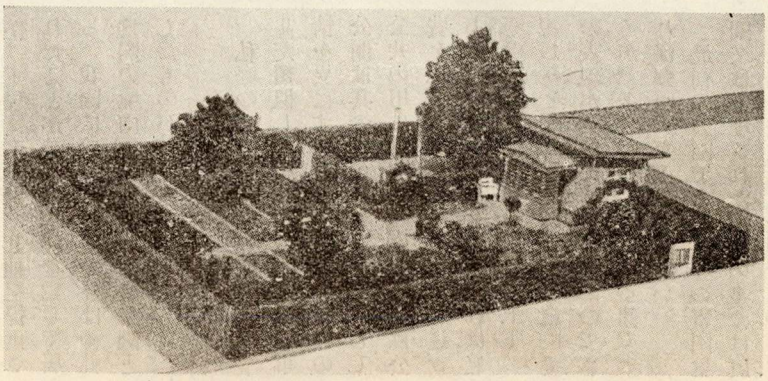
一八七一年にはドイツに於て全住民の四・八%が大都市（人口十萬以上）に住し、六三・九三%が田舍に住んでゐた。一九〇〇年には前者が一六・一八%に上り後者が四五・六五%に下つた。それより數年後には前者が二〇・八%後者が四二%、而して他の三七・二%は中小の都市に。即ち五八%或は半數以上が都市に住んでゐるといふことになる。

その結果は如何といふに、貸家の增加、家庭園の減少、家屋の充滿密集となりそれはやがて子供の生活の脅威、結核及性病の增加、出生兒の減少等、一言にしていへば凡ゆる人間的頽廢の現象を呈するに至つたのである。

識者はその根本的救濟法として先づ都市綠地の增加、庭園附住宅並に集團的小庭園の增設を唱道するに至つた。併し識者の中には家庭園の減少は公園の增設によつて補ひ得ると誤信してゐるものがある。その誤れる所以は說明する迄もなく家庭園には、家庭園獨特の存在性を有すると同時に都市の公園は到底近き將來に於てその十全を期することを望み難きが故に却つてその不足を補ふ意味に於ても家庭園は必要である。

こゝに於て最近都市計畫家は、集團的小庭園をしてその永遠性を保持せしめ都市綠地としての機能を十分に果さしめやうと企圖してゐる。即ち永續的小庭園群（ダウエルコロニエン）を舊市と郊外との間に、又郊外家屋の間に介在せしめ以て家屋及人口の過密集中を防ぎ、都市の膨脹をして健全なるものならしめんとしてゐるのである。

ミュンヘンのカウプ教授は既に



第九圖　ドイツの小庭園(2)

大戰前に於て都市全面積中四二・五%の小庭園一七%の公園及運動場を要求し、デュッセルドルフの建築技師ゴイゼン氏は人口密度一ヘクタールに付三百人の所では一人當り五平方米、七百人の所では一人當り三十平方米の庭園地を要求してゐる。プロシヤの國民保安省では、人口密度一ヘクタールに付四百人の所では都市面積の三〇%を家庭園、公園及運動場に充つべきことを要求してゐる。

◇

かくの如くにしてドイツに於ては最近永續的家庭園の問題がしきりに論ぜられ、その經營には市自身が當るものが多いが尙その他の公共團體私的團體或は個人でやつてゐるものもある。又その設計も從來は大した注意が拂はれてゐなかつたけれども、此頃では土地の形狀や道のつけ方、生垣や其他の植栽、小舍等を十分美的ならしむべくドイツ小庭園組合聯盟と稱する特に小庭園の運動に力を盡す團體さへ現はれ、小庭園の宣傳、奬勵、展覽會の開催、設計圖案の募集を爲す等日ざましき活動をなしてゐる。

◇

要するに近來は庭園の住生活上に於ける正しい意義が明瞭に認識され庭園の民衆化、小庭園の普及といふ事が、單にドイツに限らず先進文明の諸國に於て顯著な現象として見られるのである。(了)

(昭和四、九、一四)



# 公園より私庭を見る

東京市公園課長 井下清

公衆が自由平等に自然を樂しみ散策運動として、一日の勞苦を慰め、疲勞困憊した神身を休養回復せしむる公園は一般の私庭と似たものではあるが、其精神に於て又機能に於て明かに私庭と立場を異にするものがあることは今玆に多く論ずる必要は無い。

公園も其初期に於ては王侯富者の大庭園を恩惠的意味を以て、或る時を限つて衆人に觀覽を許し休養をさしたことに端緒を開くものと見てよい。此の庭園の公開によつて、民と俱に樂しみ、薄倖なる同胞を慰むる社會奉仕的の美しい情緒の露れがあり、其庭に遊ぶ者は未だ曾て見た事も無い廣大にして壯麗な庭園を我が庭の如く自由に散策し觀賞して、其麗しさ閑寂さを充分に味ひ、王侯の如き一日を送り得たことを光榮として感激の念を抱いて退出したことであらう。而して庭の主人は此の數多くの庶民が一日の園遊に充分の幸福を獲ち得て歸る有樣を眺めては、多くの人々の喜びが如何に尊いものであるかを痛感されて、斯かる大庭園を有つものの幸福を味はれたことであらう。

此のうるはしい秘苑の公開は更に一歩を進めて、常時の開放となり公共團體又は政府に移管寄附されることになつて、玆に所謂庶民の公園なるものが生れた。勿論共有地の公園化又は公共的に土地を買收して公園を作つたものもあるが、王侯富者の別邸其他を提供されたことが公園の端緒を爲して居る。我國に於ては其等の外は神社佛閣の境內を上地せしめて公園としたものが甚だ多い。

◇

私庭の公開と私庭の寄附とは、甚だ類似して居るが實際は余程事情を異にするものがある。私庭の公開は其管理費を私人が負擔して公共の用に供し、私庭の寄附は公費を以て管理經營せしめる相違がある。自分の私見を以てすれば私庭の公開には社會的に見て上下の親しみを深うし、麗しい社會的愛の表現が其處にあると思ふのであるが、多大の負擔を要する事であれば強ゆべきものではない。

最初の公園である其等の寄附庭園又は上地された境域の多くは既に立派に完成せれた庭であつて、

その沿革を尊重する意味も加はつて園景を其儘に保存して公衆に公開されたことが普通である。狩獵地としての森林原野、耕作地であつたものを公園用地として寄贈されたるもの、又は共有地、入會地等に公園としての設備を爲したものであつても、公園の初期に於ては未だ民衆的の公園なるものが充分に研究されて居らなかつたので新に設計を爲し營造したものも矢張り宮廷庭園的のもの又は別莊庭園の如きものが營造されたので、人民が自由平等に利用する公園でありながら、設計に於ては未だ私庭の型を墨守し、管理經營に於てもお役所風な恩惠的の態度を脫することが出來なかつた。來園者も又御庭拜見の氣持で公園に遊びお上の公園として其處に何となく遠慮があり又自分に直接關係が薄いものとして愛護活用する熱が無かつた。此の公園觀も時の推移と共に誤られた民主的觀念から遠慮會釋も無く荒されて、公園といへば荒れ果てた庭であつて小供の遊び場か、お花見騷ぎをする所と云ふ風になつたことは遺憾なことである。

多數の公衆——其內には無理解な我儘者も多く、充分に手入し常に掃き淨められた美事な庭を、自然の薪炭林や苅草地に遊山すると同じく何處でも歩き廻り飛び廻り樹を伐り草を踏にじつて、一樹一石に意匠を凝してある庭も惜氣もなく損傷され、風雅な情緒を味つた處も喧燥の地となり、汚物は捨てゝ顧みず、奥床しい閑寂の庭には管理者の怒號の聲を聞くことになり、絶へず手入修理するも破損の度に及ばず、莫大の保護管理費を費しても遂に天下に誇るべき名園が、公園となつた爲めに見る影も無く頽廢しつつある實例は實に多い。

これは大衆の無理解もさることながら、私庭の意匠施設と管理方法とは、大衆の利用を目的とする公園と根本に於て相容れぬものがあることに原因があると思ふ。

◇

現代の公園は當初から民衆が自己の健康を保持し生活を幸福にすべき戸外生活の樂園として施設するのであつて、何人の恩惠に依るのでもなく共同的利用を目途として其れに適應する型式と制度の下に營造されるもので、初期の公園の如き矛盾と醜態を見ることは無い筈である。造園の樣式と沿革が如何あらうとも、多數民衆の要望を滿すべく又園內の安寧秩序を維持し各人の感情を尊重して設計され、管理經營されることになれば公園を利用する人々には『我等の公園』なる觀念を有つて、日常生活に缺く事の出來ぬ社會施設として其れを愛護し利用して、公園としても眞に其機能を發揮することになる。

大なる私庭は富者にして初めて有ち得るものであるが、公園は多くの公衆の利用に基礎を置くことから、自己の庭を有ち得ぬ階級の人々に最も多く利用され效果を擧げることになる。然し共同の社會生活が孤獨の個人生活より遙に幸福であり、樂しいものである事が理解されたならば、公園なるものは決して無產者だけの遊園でなく其機能に於て私庭を超越した意義を有つ事になつて、上下共に此の公園に於て共存共樂の幸福を讃美することになる。

私庭と公園との相異は單純に考へれば、利用の主體が一個人或は一家族であるか又は多くの公衆であるかの相違であるが、公園には利用の主體が公衆であるだけに多種多樣の要求あり趣味性がある。又元來が幸福を得べき所であれば如何に多くの人が混雜しても其間に於て秩序を失ひ風紀を破り又は施設に損傷を與へて罪を構成し、或は事々に監視制限をされる如き不快を感じたくないので、公園の設計と管理方法を研究する上に於て大いに考慮を必要とする。

◇

私庭と公園の中間のものとして英國などに多い共有庭園がある。或る區域內の人だけで其の庭を所有し經營し又利用して居るので、其れが一般の公園の如く街巷の要衝に位置を占め瀟洒たる鐵柵を周し、柵外の街路から眺めることは勿論何人にも自由であり、其の存在が都市の風致と保健保安に著しい働をして居ることは一般の公園と何等異つた事は無いのである。外遊者によつて屢ロンドン市のスクエヤーが都市美を爲して居ることを宣揚されるが、其大部分は四百余の共有庭園であつて、此れ有るが爲めにロンドンの下町は公園

的な實をして居ると云へる。

そこで若し個人邸宅の庭園がロンドン街巷の共有庭園の如く周圍は見通しの出來る美術的な鐵柵を周し、園内の樹林は柵を越へて街路へ綠蔭を蔽ふ如きこととなり、住居の近くは個人生活のプライベーシーと保安を確保すべき密林なり内柵なりを巧に配置し、廣い庭は必ずしも見透し得ずとも眼の高さの密林で大體續らすことゝすれば、周圍の街路を通行するもの、附近に居住するものは、園内には入り得ぬとしても其の庭を觀賞し其關接的効果を受け得るが、所有者は何等損害を被ることもなく、邸内に侵入されることもなしに自己の庭を公共的に働かすことが出來ることになる。斯くすることが出來たならば、兎角怨嗟の聲を聞く大庭園も其存在を感謝の眼を以て見られるのではなからうか。

實際に於て私庭は其所有者にも直接に散策利用される時間は極めて尠く、兒童の遊戲を除いては住居から眺めることが主であつて、自然味に富む麗しい庭園の内に住居が存在するといふことが、最大の快感であり効果である。庭を戸外室として利用する場合とても其一隅に閑寂な境地を作るのであれば、設計に依つては其部分の露出を防ぐ事も出來る。何も高い煉瓦塀を以て圍み外界と絶緣する必要はないのである。私庭を絶對に專用とし他より窺ひ見ることも出來ぬやうにすることも、又其れを差支無い限り公共的に働かすことも考へ方の相違であり氣の持樣であつて、其の爲めに個人の私生活が脅かされるものとは考へられぬ。

◇

建築物が櫛比し人口過密な都市に於て一個人が、幾百戸の家屋を建て幾千人の住居又は營業に供し得る廣大な土地を庭園として居ることは許すべからざることであると批判されることがある。巨萬の富を蓄へるのは勝手であるが限りある土地に於て廣大なる地域を占有し多數人の迷惑を顧ざるものとして、屢々これに庭園稅、間地稅の如き禁止稅が考へられる。これは現代都市に於ては無理の無い非難ではあるが、公園的の立場から冷靜に考へて見る必要があると思ふ。之等の大庭園は果して公衆の利福に相反するものであらうか、公共的障害を與へて居るものであらうか。

大都市に於て最も大なる私庭の存在は時代錯誤であつて、公館の庭と公園が其れに代るべきであると云ふことは理論としては合理的であるが、公館には相應する庭園を附設し維持する餘裕なく、公園の必要は何人も認めては居るが財政上其れを完備するに至らず、公衆も又其れを要求する熱が未だ尠い時代に於ては、從來の大私庭は滅びても其れに代るべき公園なり公庭は未だ世に現れ得ぬ悲哀がある。

公園から見て私庭の存在は果して無用のものであらうか。公園の機能は直接の利用に止らず間接的の効果に極めて重大なるものがある。家屋稠密なる地域に一の大空地があり、其處には繁茂した樹林と芝生があり常に百花咲き亂れて居るといふことは著しく附近の保健保安率を高めるもので、都市の美觀と品位の向上に大なる影響を與へるものである。此の點に於て一般の直接の利用を許されぬ宮廷の庭、公館の庭と共に大なる私庭も同樣である。

樹林に依る空氣の淨化と溫濕度の調節、火防の働、非常時の避難所たること等に於て公園と少しも異る處はない。唯自由に其内に入り享樂し得ぬことが缺點ではあるが、一般の公園とても社會に活動して居る人々は其れに遊ぶ時間は極めて尠く、多くは間接的な効果のみに浴して居るので、此の見地よりすれば私庭は公館の庭、宮廷の庭と共に我々の都市生活の幸福を增進する働をして居る準公園と考へてよいのであつて決して詛ふべきものではなく、富者の義務として其れを保存管理すべきものとも云ふことが出來る。

◇

都市に於ける大庭園の所有者は稍もすれば其れを所有する事が、罪惡であるかの如く宣傳される爲めに其存在を秘し他人に見せることを好まず、一步進んでは祖先以來の由緒ある貴重な名園、或は一世一代の偉業として後世に傳ふべき豪壯な庭園も此の社會的嫉視の爲めに空しく破壞するに至つた實例は甚だ多い。

此の大庭園地の破壞開放は所有者としては決して苦痛ではなく、

維持保存には莫大の經費を要し、然も永久に何等收益なき地域を社會に奉仕する如き美名の下に破壞し處分し得ることは僥倖であるかも知れぬ。

此の傾向は都市の保健保安率を低下する結果となると共に、世界的驚異的になつて居る我國古來の造庭術を保存發達せしむるには極めて愁ふべき現象である。

私庭は一の確固たる主觀的立場から統一された藝術的純眞を保つことが出來るが、公園の如き實用本位のものは多數の複雜なる要求を滿すことに重きを置く爲めに藝術的には遺憾なものがある。殊に我獨特の藝術とする自然の秀麗なる風景を縮景し、又は意匠的に表現する庭は數百年間の洗練に依るものであつて、これは其性質からしても私庭として秘苑として存續さるに適はしいものである。

史蹟として又學術上の資料として法律を以て保存される庭の外尙幾多の名園が保存され、營造されることは極めて重要なことであつて、其れが何人の所有であつても公開されると否とを問はず我造園界の爲めに完全なる保存と發達を望むべきである。

◇

新しい時代の要求に伴ふ公園、公庭及び傳統的手法を脫した私庭の健全なる發達は勿論必要であるが、其れあるが故に我國古來の庭園を冷視することは、大なる錯誤であると云はねばならぬ。

終りに私庭の公開に就て考へて見たい。公園の不充分な今日に於て優秀な大庭園が公衆の爲めに適當な制度の下に公開される事は、我造庭術の發達と其常識の普及に貢獻することは著しいものであつて、世の中には我國に世界に誇るべき藝術あることを知らずして、徒らに外國文化のみを讃美する論者があれば、其の輕佻な宣傳に惑はされぬやうに權威ある庭に接し得る機會を與へることは愛國心の涵養にも甚だ必要であつて、準公園としての觀賞慰安に供される働は云ふまでもない。此の私庭の公開は公衆の爲めに又所有者の奉仕的悅樂の爲めにも奬勵したいのであるが、不法に其れを强ゆることは恰も住居を開放せよ、庫を開放せよと云ふのと五十步百步であつて寒心すべきことゝ云はねばならぬ。

私庭には公開し得るものと然らざるものとあつて、內庭と外庭と區劃されて居るもの又は常に使用されぬ別莊などは容易に公開し得るが、日本風座敷より全園を觀望する如き型式の中級住宅庭に於ては困難である。

私庭の公開には多少管理上の修補を要し殊に番人掃除人の常備は當然必要である。來園者の道義心は必ずしも公開者の好意に添ふものとは云へない。其故私庭の公開は須からく可能性のある條件の下に奬勵し、公衆は感激の念を以て其れを利用する相互的の意氣が必要である。

私庭公開の私案を述ぶれば公開の計畫ある庭に就て、公開に適するや否やを査定して、公開を認定せるものは、公園として公開地域の課稅を免除し、公衆の利用に依つて起る管理上の責任は其公共機關が公費を以て爲し、所有者に於て全園を使用する必要ある場合には特に公開を停止し得る特權を與へる等のことが必要であらう。

◇

又庭園內には、私庭を好意を以て公開せられたる沿革を標示し、適當な社會的表彰を行ふことなども考へねばならぬ。又其庭を處分する必要が生じた時、他動的な場合は其保存するに協力し、所有者の財政上處分を要する如き際は、名園保存と公園增設の意味に於て公共が買收保存して從來公開せられた好意に報ゆべきである。

私庭の公開は所有者としても極めて愉快な社會奉仕ではあるが、其實行に際して不快な事態が起ることは務めて避けねばならぬ。其れには當初に於て、充分に公開管理を爲す當局と協定して有終の美を收むべきである。

公園より見たる私庭は公園的機能を增補するものとして、又我造庭術の發達と由緖ある史蹟及び鄕土藝術の保存からしても大いに存續發達せしめたいのである。又若し容れられゝなれば、大なる私庭は可能性のある制度の下に公開して庭園の存在をして一層意義あらしむべく、百尺竿頭一步を進めたい。(了)

(昭和四、九、二)



# 庭園と花壇

京都植物園技師
農學士 野間守人

## はしがき

庭園を屋外に於ける住宅と考へたならば、公園は一般民衆の蒼空殿堂であると謂へやう。建築の樣式が時代及び社會の趨勢に從つて變化を示し、又は個人の性格や經濟關係等に依りて相異のある樣に庭園に於ても亦、環境と嗜好とに依りて種々の形容を現出するものである。而して庭園を構成するには地況が其の根柢を爲すことは謂ふを俟たないが、其の多くは山水が主體を爲し、之れを修飾して居るものは岩石と樹木と草花とであらう。

生氣ある植物を培育して其の成長の妙味を樂しみ、開花の美觀や好果の豊饒に悦を呈するのは誰しも同じ事であらう。而して自ら暇を利用して園地を耕やし、豫ねて計劃した種子を下したものが、慈雨の濕ひを得て嫩芽を地上に現はすの愉快は、實に自然と人との一致した趣味に生きて行く第一歩であると謂ねばなるまい。夫れからの變化に對して絶えず注意と施設とを怠らず、四季折々の景觀を園地に織り出す手腕は、是れ將しく花卉に趣味を有する人の等しく努む可き事柄で、其の中に現れて來る快味は到底他に比較する事の出來難い崇高なる靈感を體驗するものである。

## 變遷

花卉を園地に栽植して其の美觀を賞玩し趣味的生活の一端と爲した事は可なり古くから行はれて居る事で、山野に喫き誇つて居た紅花紫卉を遙々歩を運んで眺めに行くのに物足らずして、之れを日常居住する家屋の附近に栽植を爲し、其の美觀を朝夕手近なる場所で眺めやうと考へたのが抑々花園の起つた最大の源泉である。

本邦に於ては古くは前栽と稱して、萩や山吹や撫子等を居宅近くに植ゑられた事が文獻に見えて居り、天智天皇の大津ノ宮に設けられた花園は組織立つたものゝ最古のものとせられ、其の後佛教の傳來と共に支那や印度方面の花卉類も多數輸入せられ、此等を材料とした各種の園地も亦た多く見受くるに至つたのである。

次いで鎌倉時代以後に於ては恬淡なる主義を尚ぶ禪宗の影響に依つて、餘り派手な花草や花木類は歡迎せられなくなり、又た室町時代以後に於て隆盛を極めた茶道の反映として幽邃なる風が重んぜられ、其の爲めに常綠の葉物や四季を通じて變化の尠ない灌木や喬木類が用ひらるゝ樣になり、園地の景觀は一般に薄暗くて蔭地の多いものが現はれて來た。

其の後江戸の奔放的な環境に政治の中心が移るに及んでは、人々の趣味も雄大なるものを好む樣になり、廻覽的に園地を逍遙する風が流行し、築山流水の間に平地を有して、和平纖美なる花壇の再現を見るに至り、其の末葉の頃から萠芽し始めた文人庭の影響は園地をして幽暗から洒脫の域に導き行き、漸次色彩の變化を配置した花草、花木の栽植を增加して來たのである。

而して眞の花壇として園地に其の出現を多く見るに至つたのは明治以後の事で、官公衙の洋式建築に伴ふ整形的の花壇、公園や遊園地等に於ける芝生の流行に依つて强調せらるゝ色彩的の花壇が多くなり、一般に色彩に於て濃厚な、形姿に於て對稱的なものが多く栽植せらるゝ樣になり、從つて今迄の本邦在來の種類のみにては不足を感じ、勢ひ西洋種の此等に適する種類、若くは品種を輸入するに至り、夫等が各個人の園地にも普及せらるゝに及び、極めて廣濶なる園地の樣式が形成せられ、次いで各種の花壇が其の土地の狀況や環境の如何に依つて適應する有樣に設けらるゝに至つた。又た都市

の發達は高層建築の間に於る空間を花園化せんとするの傾向をも有し、屋上庭園、窓園藝等の流行をも一部には見つゝあるのである。

斯様にして起つた花壇なるものは、花卉を根柢として造らるゝものであるから、四季を通じて美觀を保たしむる必要があり、又た季節に應じて多少の變化を生ぜしむる事が肝要である。之れが自然生物を取扱ふ者の困難を感ずる處であるが、然し夫れを次ぎのものと取り替へる事に依つて清新の氣宇を生ぜしめ、觀者をして單調味を覺えしめない一つの特徴と云ふ事が出來る。

## 色彩

花卉の美觀と純眞とを表現するのに最も力のあるものは色彩である。自然の色なるものは夫れが周圍のものよりも明るいか暗いか、或は濃いか淡いか、及び色彩が全く異るかの三つの場合に依つて認めらるゝもので、夫れが吾人の眼を通じて腦裡に美意識を感ずるものである。花卉は實に大自然の示す色彩美の殆んど總べてを包含せるもので、吾人は花卉の栽培に依つて夫等の色彩を充分に觀賞する事が出來るが、色彩の配合は花壇を造るに當て最も注意を要する事項で、其の具體的の配合は花壇の設置に多大の關係を有して居るもので、一般に色彩の調和を圖るには花壇と花壇との間、或は一つの花壇の中で能く各種の花卉の色彩を相反しない様に取合はす事が必要で、非常に目立つ處やぼんやりした場所があつて、不秩序を來す様な事がない様にし、成る可く一つの花壇内、或は一つの場所では接近した色彩を用ひて、互ひに調和を圖る様に努むべきである。

尙ほ花卉園藝上に於は色調を心得て置く事が大切で、單色調（一色のもの）に在りては明暗の程度に注意し、濃淡を能く配列すれば面白いものが編み出されるものである。殊に境栽花壇に在りては四方から眺むる普通の花壇とは異つて、成る可く背景と調和を保つ事が大切で、單に濃淡の程度に依つて同一色のものを按配よく境栽の一端から次第に濃淡を變化して植ゑ込まれるのが宜敷く、極めて緩やかな色の波を拵へて行けば頗る上品な景觀を示すものである。又た近似色調を應用することも面白く、花壇の全體に柔らかな感じを與へるもので、例へば紫と綠、橙と綠、橙と紫等の組合せは何れも同色を平等に有するから平和な様が現はれ、且つ他の獨立した色に依りて幾分鮮明を示すものである。更らに補色調を應用して花壇の植ゑ込みを行ふ時は色彩が非常に明瞭になるもので、之れは廣い場所に少しく用ふるが宜敷く、芝生の中に造らるゝ毛氈花壇や、或は一段低い沈床花壇の植込みには著るしく目立つので適當して居り、中心に黃色の花を置て周圍に紫の花を配し、更らに夫れを白に依つて圍ひ、其の外方が綠の芝である場合等は殊に鮮明さを增すものである。處が餘り材料を多く用ふると強烈に過ぎて却つて美觀を殺ぐ嫌ひがあるから避けねばならぬ。

## 形姿

花卉の美觀としては色彩の美に次いで形姿の美をも擧ぐる事が出來る。花卉の形姿美を構成するものは幹枝の線と葉簇の配列と其の間に開花する花形の如何である。花卉が其の大小に拘らず完全なる統一した美觀、綜合せられた光景を現はすにはどうしても形姿の美と云ふ事を度外視しては到底望まれない。概して直線は崇高で男性的な單調痛快な點に特色を有し、草丈の高いものに多く之れを見、曲線に於ては女性的で溫和な麗はしいと云ふ感を惹起せしむるもので、矮性のものに其の例を多く見るのである。

而して花卉の高さは形姿美に於ける最も重要なる關係を有するもので、土質や日光や肥料や栽培方法の如何に依つて異なるものではあるが、種類に依つて夫々特有の高さと擴がりとを具備して居るものである。夫れで豫め其の固有の特性に依つて色々と栽培の方法を考へ、美觀を發揮するに都合のよい様に配置する事が肝要で、例へば丈の高いものは境栽の後方とか中央部の群團植とかに用ひられ、中庸のものは適當に揃へて栽植し矮性のものは多くは花壇の緣邊とか毛氈花壇、さてはリボン花壇に栽植するのに適して居る。

## 設計

花壇の美觀を充分に發揮せしめ、園地全

體の景色が能く調和を保つには花卉の色彩と形姿の情態を考へ、且つ其の位置、地形、土質、其の他附近の狀態如何に依る四周の布置按配を察し、單に花卉の個々の美觀のみならず、各種の綜合せる美景を描出する樣に努めるのが大切で、統一と變化と秩序と調和とは美觀構成の基礎となる事を忘れてはならない。即ち花壇は多くの種類の花卉を夫々集めて栽植するものであるから、單に一つのものゝみが優秀なる色彩や絶大の花輪を具備して居ても何等の効果を表はすもので無く、花卉全體の色の調和、形態と環境との工合、更らに四季を通じて之れに栽植すべき花苗の養成を忘れてはならない。

## 種類

花卉の栽植は色々の場所に行はるゝのであるが、其の主なるものは花畑、花壇、鉢物の三種である。而して花壇なるものは專ら花卉の觀賞美、主として綜合せられた花卉の美觀を現出せしめんが爲めに造らるゝもので、適當に區劃した色々の輪廓の中に各種の花卉を其の形狀、色形等に依つて都合よく配植せられ、併せて周圍の狀況と能く調和を圖るものである。花壇も其の初めは極めて簡單なる構造のものに過ぎなかつたのであるが、漸次種々の趣向が案出せらるゝに至り、現今では數多の種類や樣式が生じて居る。今此等の花壇を分類するには、人々に依つて色々の方法もあらうが、予は之れを形態、季節、材料の三方面から分つのが適當であると思ふので、次ぎに少しく分類に就いて述べて見やう。

### (一)形態的分類

花壇を其の構成せらるゝ形態と場所とに依つて分つたもの。

(甲) 花叢花壇…植ゑ込まれた數多の花卉が、自ら立體的に一群又は一帶を爲し、恰度花の叢狀を爲すもので、主として立面的の美觀を眼目とするもの。

(イ)境栽花壇…建物や垣根等に接して後方より漸次前方に低くなりて植込みを行はるゝもの。

(ロ)寄植花壇…園内に一定の形を以て植ゑられ、各種の花卉を群植して美觀を呈せしむるもの。

(ハ)天幕花壇…中央部に高き杭を打ち、夫れに沿ふて周圍に低く蔓性の花卉を以て構成するもの。

(ニ)舖石花壇…通路や池の周を舖石に依つて張られた間に花壇式の植込みを行ふもの。

(乙) 模樣花壇…矮性の草花や小灌木を列植して種々の模樣を芝生の中に現はすもので、高さを一平面にする事が多い。

(ホ)毛氈花壇…芝生内、或は廣場の中央等に矮性の草花を一平面に高さを揃へて植込むもの。

(ヘ)緣花壇…細長い場所に列條に矮性の草花を植込んで美觀を呈せしむるもの。

(附) ボールダー…建物或は石段の下等に配植的に拵へらるゝもの。

### (二)季節的分類

花壇を季節に依つて分つ事は頗る困難なもので、由來四季なるものは順次に變化して行くものであり、夫れを劃然と一定の時期を以て區別することは聊か無理な嫌ひがある。然し大體から見て季節の異るに從つて花壇に現はるゝ花卉の種類が違ひ、美觀も變化を示すものであるから此の分類法も必要である。

(イ)春花壇

(ロ)夏花壇

(ハ)秋花壇

(ニ)冬花壇

(ホ)永久花壇

### (三)材料的分類

花壇は之れを栽植する花卉の種類に依つて其の名稱を唱へらるゝ事があつて、本邦古來の花園は專ら此の種のもので、菊、牡丹、芍藥、菖蒲、躑躅、薔薇、萩等を一色植ゑたもので、近時流行を極めて來たダーリア、カンナ、チユーリツプ、ヒヤシンス、カネーション、スウィートピー、アマランタス等も亦一種のみ花園に植ゑ込まるゝ事が多い。又た特別なるものとしては高山植物をのみ蒐集した高山植物園、水生植物をのみ栽植した水際園、さては趣味と實用とを兼ね收めんとする裝飾仕立の果樹園や美的に配列せられた蔬菜を以てした蔬菜花壇などがあり更らに野草を以て其の地形に應じた花壇を拵へて、飾らない裏に面白味を見せるものもある。尙ほ花壇に就て述ぶべき事は其の形式で、線を以て圍むものであるから其の大さは勿論のこと、直線



# 大阪の庭園に就いて

大阪市公園課長
椎原兵市

古來我國の有名な庭園は何と謂つても京都に蒐つてゐるやうで、次では東京にも指を屈するものが澤山あるが、大阪に到つては全くお話にならぬ程乏しい。凡そ名園と呼ばるゝ庭園は歴史と環境とに惠まれて産み出されるもので、京都は千有餘年間の皇居の地として、その優れた自然の地況や風光を、或は借景に或は背景に遺憾なく利用して、末代に誇る名苑が造り出されたことは當然なことである。明治時代に入つてからも又我國の別莊地として、東京或は大阪その他の土地に居住の高官紳商達が、京都の近郊を卜してその別莊庭園を造つた數も尠くない。

東京も江戸時代には諸侯が金に飽かして上下屋敷として夫々別莊風の宏大な林泉を競ふて造營したもので、今日も未だ數へあげる程立派な庭園が昔日の面影を殘してゐる。維新後帝都となつて政治と文化との中心地となつたので一層立派な庭園が澤山造られた。武藏野の平野に建てられた大都市であるから土地は山には遠いが、地勢が高低に富んでゐたこゝゝ、處々に可なり森林が點在してゐたことが東京に名園が出來る天然的要素を與へたのであつた。

◇

之に反して我が大阪は土地それが平凡な蘆荻の繁茂した水鄉で、淀川のデルタの上に縱橫に水路を有つて建設せられ、こうした環境のもとに商工の都市として、町人の都として、經濟的に發達した都市であるから到底贅澤な林泉らしい庭園を期待することは望む方が無理である。又古來大阪市民としては趣味好尚の上から考へても園藝趣味には極めて乏しく、他の芝居、音曲と云つた遊藝の方面に一般多數の人達の嗜好が傾いてゐたやうであるから、傑出した名優や立派な流派が産まれ

を以てするか曲線に依てするか、從つて方形、短冊形、星形、圓形、楕圓形、梅花形等が形の基礎を爲し、更らに複雜となりては此等の組合せに依りて諸種の圖案を現出するのは建築模樣と略ぼ似た點がある。唯だ花壇の形式を考案するに當りては出來得る限り簡單なる模樣を以てする樣にし、尙ほ其の中に植ゑ込む草花の種類も三種から六種位を一つの花壇に植うる樣にし、餘り多種類を一個所に澤山植ゑ込む時は、折角の苦心を爲して組み合せを行つたものが混雜を來し、其の色彩の美觀が相互に混亂を生じて、却つて失敗に終ることがあるから注意すべきである。何れかと云へば簡單に過ぎる形式のものに三種類位のものを判然と植ゑ込んで其の生育を充分に圖る方が成功を收め易いものである。

(了)

幾多の公卿貴紳達の別業に附隨した林泉とか、社寺の境内を飾る庭苑とか、斯うした方面の要求からも數へ切れない林泉が華洛の地に遠く室町時代から近く明治年代にかけて、次から次へと造られて來たのであつた。殊に山紫水明の環境を有つ洛中洛外一帶の地に涉つ

第一圖 白山氏邸庭園(大阪津守)



て、演劇や遊藝の隆盛を極めた事は他の都市の遠く及ばない處であつた。斯くの如く一般の市民の趣味性が園藝思想とは緣遠い處から充分の資力を有しながら相當大きな庭を造つてみやうと希望する人達も尠なかつたことであらう。或は又京都や東京の如く世襲的名門が少なくよし一時的富豪が造營したとしても利に敏き商人の事とてその庭園は永久に保護されず、いつの間にか破壞されて湮滅に歸して了つたものも多少あつたのではないかと考へられる。更に筆者が遺憾に耐えない處は、これ丈け惠まれて水鄉とも稱へられてゐる土地柄でありながら、昔から河川を庭園構成の主要素として設けられたものが皆無であることである。唯明治の末期に出來た藤田邸の庭園が淀川々畔に位置してゐるが、之とても未だ充分に水を利用してない恨みがある。世界の水鄉として知られた支那の西湖に集つてゐる別莊は悉く湖水の風光をとり入れ、和蘭陀の如く四通八達した運河のある國の都市では、人工的溝渠に特色を有つ造園術が發達してゐるさうであるが、我が大阪に昔も今もこの豐富な水を利用してゐる庭園の無いのを見ても、如何に庭園趣味に乏しかつたか又それにつれて造園の技術も發達せなかつた事が肯定されるのである。それでも若し土地に高低起伏があつたり處々に森林でもあれば、或は又之等の自然の地物を利用して、必ずや著名な庭園の一つ二つは出來てゐたことであらう。

◇

次に揭ぐる庭園は、貧弱ながら大阪では唯一の高臺である寺町附近に多く集つてゐることも、庭園の作成にこうした地況が如何に大切であるかを物語つてゐるのである。斯く自然的にも人爲的にも庭園發達の要素に缺けてゐた大阪に『都林泉名勝圖繪』に數へ擧げるやうな名苑が出來無かつたことも當然であつた。筆者の見聞した現存する大阪の庭園の多くは、今では最初のプランからは殆ど壞されてゐて、完全に保護されて殘つてゐるものは尠いが、所謂浪花の名園とも謂ひ得るものを列擧してみれば先づ次の十箇所位であらう。

一 西成區津守町白山氏別邸庭園（寫眞參照）

津守新田の中に在つて十三間川に隣して約三千坪の屋敷の內に庭園としては約千八百坪を占めてゐる。この庭は樣式は築山泉水風のものでその詳しい年代は不明であるが、多分德川末期の作であらうと思はれる。今では建物も荒廢してゐて樹木も大半は枯損し、石組も亂れ果てゝはゐるが、庭全體の構えを見ると往時は相當立派な庭園であつたゞらうと肯かれる。



第二圖　吉田氏邸庭園（大阪津高）

二 天王寺區生玉寺町吉田氏邸庭園（寫眞參照）

官幣大社生國魂神社を南へ數丁この丘續きに西面した傾斜を利用した庭園であるが、之も明治以前の作であらう。大部分は吉田氏の所有後模樣替になつたり、又自然と荒廢して了つた樣であるが、南半の茶式に造られた部分は比較的よく保存されてゐて、利休遺愛と傳へらるゝ茶席も殘されてある。

三 此花區春日出町八洲園

四 天王寺區紅葉寺橫坪井氏別莊庭園

五 同區椎寺町舊逸見氏邸庭園

六 南區瓦屋町鴻池男爵別邸庭園

七 同區餌差町舊木原氏邸庭園

八 同區上本町七丁目山口氏邸庭園

之等は孰れも大阪では屈指の庭園ではあるが、殆ど維新以降に出來たものゝやうである。よく手入の行屆いて大阪には珍らしい程幽邃閑雅に見受けたものもあるが、又久しい間放任されたまゝで、樹木や下草の大部が枯損して補植もされず、燈籠は傾く、中門は破れると云つた荒れ廢れた物淋しい姿のものもある。

### 九 東區網島町藤田男爵邸庭園（寫眞參照）

明治の末期に完成した大阪式の代表的のものでないかと思ふ。地は淀川々畔を利用して、諸方から苦心して蒐められた巨大な庭石や樹木を巧妙に布置して築かれた林泉式の庭園である。

### 一〇 天王寺茶臼山町舊住友男爵邸庭園（口繪寫眞參照）

先年大阪市に寄贈されてから天王寺公園の一部になつてゐる。園名は慶澤園と呼びて京都風の築山林泉式の庭園の型を具へた廻遊式に屬する庭である。明治の末期から大正にかけて造成されたもので池や中島の地割や、樹林の配置等も凡て大規模であつて恐らく大阪では第一の庭園と謂はねばならない。

以上の庭園は孰れも當初は大阪では勿論屈指の名園で、林泉としての園趣景觀の整つたものであつたのであらうが、今日では大部のものが所有者の盛衰に依て荒廢を來したると都市の發展に從ひ大氣の不淨であるとか、絶えず襲つてくる砂塵の害とか、夏日の極端な旱害とか、肥料分の欠乏と土壤の不良とか之等の直接又は間接の原因で、永い年月を經る間には、先づ松や檜が枯れ初め、次では下木もいつとはなく翠綠の色褪せて遂には枯死する有樣で、庭想を生かす主要材料の樹木が全滅するとすれば、庭園そのものも當然亡び行く運命に哀れな結末を招くのは免れない所である。

こうして大阪の名園が榮え行く商工都市の營の數の增え方と反比例して、その影を收めて了ふことは洵に千金に替え難い惜しい現象であるが何とかの方法で保護し維持を全くせなければならぬと思ふ。

◇

然るに近來は如何かと顧るに、市内の建物は追々商店、事務所、工場等に充てられて中流以上では眞の住宅を市外に求め郊外へ〳〵と流れ出しつゝある趨勢は、洵に都市經濟上からも又個人衛生上からも悦ぶべき傾向である。又一面に於ては大阪は帝都とは異つて、一流の富豪階級では世の社會思想の變遷によつて、到底往日の如く市内に豪壯なる邸宅を構へるは面白くないから遠慮すると云つた理由と、又交通が至便である爲め自然の風物に惠まれた南は濱寺、西は阪神間の住吉、蘆屋方面の形勝地に移つてこゝに富豪村を建てゝ一種の安全地帶が出來上つてゐるやうである。斯くて新らしく造られた大きな庭園の大部分も之等の方面に集まつてゐる。尤も之等の庭園は面積に於ては中々廣いものもあるが、必ずしも傑出したものゝみではない。その施工方法を見るに傳統的の飛石や石燈籠、手水鉢、茶屋、刈込樹木等の材料美を唯單に骨董店風に羅列したやうな低級な技巧のものが多いやうである。そこで庭園が建築の進歩に伴はないで遲れてゐる處から、相融和してその機能をよく發揮せしむる爲には更に一層の努力を要するのである。この點に於ては京都や東京に及ばざること遠く、實に大阪の造園界の恥辱であらう。



第三圖　藤田男爵邸庭園(大阪網島)水泉

◇

さて大阪の庭園の特徴を概括して批評してみるならば私が先づ第一に感ずることは、一般にでもないが餘りに材料の撰擇を値の高いもの、珍らしいものに標準を置いて、唯々金力萬能主義で築き上げたやうな傾向が此處彼處で見られることである。言ひ替へてみれば猥りに高價な由緒附の石燈籠とか庭石とか或は手水鉢等を蒐めて誇ることや、樹木と云へば唯幹ものゝ手入を仕つくしたもので値の高いものを選ぶと云つた風が一部の富豪間にあつたのではないかと思はれる。大阪の庭園に於て最も憂ふべきものに、實用美から餘り離れたり又は構造上の麁僞が屢々見

受けられるが、之は大阪人の或る思想の顯れではないかとも考へられる。例へば狹小な地積を廣く見せかける爲に特に高い石垣とか高塀とかを繞らして、その內側へ土盛りするとか築山を設けてある場合が尠くないが、之等は直ぐにそのトリツクが發見されて、如何にも見え透いてゐる虛僞を平氣でやると云つたかのやうないやな感を與へる。

猶大阪の庭園が自然味と實用美とに乏しく好ましくない傾向を帶びて來た原因を考へてみるに、次の樣な各條項に基するものでなからうかと思はれる。

一　大阪の庭園は一般に狹少な地積を劃して不自然な林相を顯はさうとする爲に自然味の乏しい印象的に流れる題材を蒐める傾向のあること。

二　邸宅の外周は多くは城廓式に高塀を繞らすことによつて外界と隔離し自ら樹木を以て目隱の必要が少く、從つて幹物のみにて間に合ひ一般に樹木の使途が尠いこと。

三　土地が大抵平坦地である爲造庭上に於ける借景とか背景利用が不可能であるから、庭園の大部が枯山水の平庭か露地庭文人庭かの型に限られたこと。

四　地味が痩悪で且つ大氣が不良である爲、庭園材料の主位を占むる植物が生育不良であるから、その種類が限定されて自由でないこと。

五　一般に造園の仕事も少く施主の庭園に對する觀念が進んで居なかつた爲、庭師にも傑出した人達が出なかつたこと。

◇

之を要するに現存する都市の名園を極力保護すべきは勿論であるが、大阪の如き大工業都市ではこの過渡時代たる今日しかも日本の社會經濟組織より見ても到底往昔のやうに大規模な庭園を新設することは望み得ざる處であるから、都市の庭園は大衆を對象としたもの、即公園、公舘の庭、學校園等の宏大なものを出現させねばならないことは旣に識者の等しく唱道する處で、斯くて大都市に庭園の少い事が救はれるのである。それで私庭は前述の如く今後郊外の好適地に、衛生と風致に惠まれた處に實用と觀賞と休養とが完全に整つた庭が造られてこそ、眞に庭園らしい庭園が得られるのである。

以上は私が大阪に來て以來今日迄の庭園に就ての所感を斷片的ではあるが忌憚なく述べた次第である。盲言の罪を御詫して置く。

（四、九、二〇）



# 庭園の行進曲

## ——その時代相の數々——

大阪市公園課
方米治郎

「赤い灯青い灯」の道頓堀行進曲が先陣を承つて以來、曰く銀座行進曲、紐育行進曲、東京行進曲、大阪行進曲……等々と雨後の筍よろしくと云つた大流行で、ジヤズの伴奏にレコードの演奏に當に行進曲大洪水の時代が唯今の世態の一面である。筆者もこの流行のカーレントに眞似てかうした表題を揭げてみたが、野口雨情氏や西條八十氏のやうな軟かいメロデーの詩情も筆致も有ち合さぬ私のことゝてあゝした魅惑的な韻律文字を連ねることは出來ないが、洋の東西に涉つて前後五千年の永い時代を縱斷的に觀た庭園變遷の時代相の數々を、代表的な時代樣式によつて各國別に、順次に抄記して庭園行進の曲譜を綴り出してみやう。

### 一　歐洲の巻

歐羅巴に於ける庭園變遷の大綱を顧るに、中世紀以降久しい間風靡してゐた古典風な建築的庭園も遂に自然主義强調の時代思潮に支配されて、漸次に風景的庭園が代つて全盛の機運を示してゐたのであつたが、それも再び印象主義を叫ぶ人達によつて變化して來たのである。以下時代別に全歐の天地を俯瞰して譜線の音梯を辿つて行

こう。

西洋の諺に『建築は時代の鑑』と呼ばれてゐるが、庭園も亦當然時代の反映であり文化の象徴である。凡ゆる時代を通じてその時代の社會的事象が建築物を鏡として反映したと同樣に、庭園の時代相もよく過去を物語つて多大の史的研究資料を吾人に提供して呉れるのである。ベーコンの謂つた言葉に『人類が住居を建てゝから最初に考へた事は、住宅の周圍に樹木を植えた事である』とあるが、人間の感情に最も偉大な感化を與へたものは實に自然そのものであつた。想ふに人類がその發源地に於て創成された當初、翠綠滴るばかりの樹々に圍まれ百花爛漫たる五彩の色香を慕つて一つの集團を造りつゝ、其處に相愛の幾多の男女がアダムやイブにならつて所謂パラダイスを形成した事であらう。ペルシヤやシリヤの庭園は、こうした樹木の多い自然の風光の勝れた箇所に、簡單な天然木の柵を設けて多少の手入をしたものであつたのであらう。

シリヤの古都アンチオーシュ市の宮殿に就ての文献を見ると、この宮庭は素晴らしいもので、三面は六百尺餘の高丘に圍まれてゐてその環境が瀑布、溪流、洞窟等を有つた自然の形勝地であつた。庭園内には月桂樹（ローレルス・ノビルス）、橄欖、柑橘（シトロン）等の常綠樹が整然と栽植されて、此間に芝生や花壇が設けられた所謂常春の樂園であつた。そしてオロンド河畔には篠懸樹（プラタン）の並木が定間隔に栽植されて、洵に觀者を恍惚たらしむる美觀であつたと誌されてゐる。

西曆紀元前二千年頃バビロン王國では、セミナメス女王が世界七不思議の一つに數へられたと云ふ傳說附の空中懸垂庭園（ハンギングガーデン）なるものを築いた。之は前のシリアの庭とは違つて形勝地を撰ばず、單に平凡な平地を卜して巨大な人工的な一種の露臺とも稱すべきものを築造して大空高く聳立せしめたものであつた。記錄によれば高さが百五十尺で四百尺四方とあるから、今日の大きなビルデングの屋上庭園の樣なものだが、古代の造園事業としては頗る大仕掛のものと云はねばならない。そして此臺上に馥郁たる花卉や樹木を栽植して一段の光彩を放ち、之に續いた御殿や廻廊には解語の花の艶姿を列ねて秦の始皇の阿房宮にも增した贅を盡したものらしい。特にユーフラト河から揚水して灌漑に供したとあるから、お伽噺の繪卷物のやうな規模の宏大と華麗さとが想像出來やう。

エジプトの庭園は植栽や局部の意匠に尠からず技巧を凝らしたもので、例へば方形の庭の三方は生籬で廻らし一方は河水に面せしめ四筋の大道を椰子類やピラミツト型に刈込んだ裝飾樹木を並木に配植して、園内には薔薇や葡萄の日蔭棚（アーバー）を設け、四角に區分した栽壇には草花や小果樹を植え込み、又處々に建物もあつて眺望臺ともなると云つた極めて實用味の加はつたものであつた。世界の建築史上に特筆さるゝ偉大な工作物を殘した埃及人としては、當然造園術にも優れた能力を有つてゐたものであつた。遙かに夕陽に輝く金字塔を背景にして洋々たるナイルの大河を前にしたエジプトの庭園を想像すると、既に五千年の太古に世界文明の華と歌はれた彼等民族の偉大な藝術的天才が偲ばれて一入驚かされるのである。

ギリシヤは藝術の發達は西洋史が敎へる通り頗る進んでゐたが、庭園の方では進歩が著しくはなかつた。僅かに學校とか寺院とかの周圍に、叢林として多少の植栽をやつた位に過ぎなかつた。それはギリシヤ人が彫刻等の藝術美に全努力を注いだ爲め、人體美の鑑賞には秀でてゐたが、自然美に對しては比較的閑却してゐたからであらうと史家は說いてゐる。

ローマ時代になると庭園史には稍々見るべきものが現はれて來た。然し共和政時代よりも末葉の帝政時代になつてからの方がより盛であつた。今日謂ふ伊太利式庭園の型（タイプ）がこゝに萠芽を發してゐたのである。伊太利は半島國の脊骨となつてゐるアペナイン山彙の傾斜地に沿ひ、或はパイアの溪谷とかローマの郊外とか、又はナポリ、ネプルス等孰れも天然の擅地である之等の地に、貴紳の別墅（ヴィラ）が澤山設けられて立派な庭園が築かれたものである。その特質を一例で說明

してみると、一望限りなき芝生の宏大な傾斜面が展開してゐて、そこには種々の型に刈込んだ綠の彫刻とも云ふべき生籬とか刈込樹木の並木が帶の樣に連なつてゐる、又圓形の馬場を中心に規則的な整型花壇が左右に布置されてあつて黃色の姫黃楊で緣取した中には百花が妍を競ふて咲き誇つてゐる。池水の中央には噴泉が涼しげに湧き出し大理石の亭榭の白き輝きと周圍を包む翠綠の森林とは、兩者の對照が如何にも平和の象徵と見られるのである。噴水、瀑布、溜池、階段、塑像や禽鳥檻、畜獸舍、刈込樹木等は伊太利式庭園には必ずあるべきものゝ凡てゞある

十三四世紀になつてからピレニー山脈で限られた南歐羅巴のイベリヤ半島の一角に、サラセン民族が興起して彼等も又建築史を賑はしたものであつた。有名なイスパニヤにあるグラナダのアルハンブラ宮殿の庭園の如きはシリヤの庭園を眞似たムール風のその著例である。建築的なスペイン風の庭は舖床の中の噴泉がその特徵であつて、こゝも疏水によつて遠くから水を通じたことや、世界の珍木異草を蒐めたことは造園史にも特筆されてゐる。ゴシック時代は建築史では大切に取扱はれてゐるが、造園史では一向振はなかつたやうである。

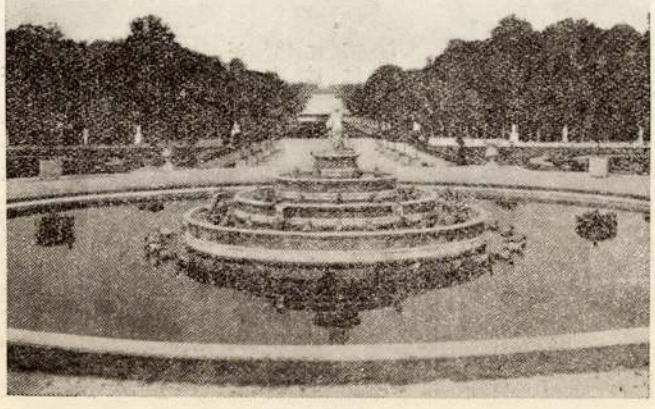
次で世界の文明史上の一エポックメントたる文藝復興期が來て、造園史に於ても又一進境を示した伊太利の庭園の如きも此時代に入るゝ餘りに矯飾に走り過ぎて、理想の表現が誇張に流れ猥りに抽象美を求めることに努めた結果は、遂に造園上の表現技巧にのみ捕はれて、樹木を人間や動物の型に擬して刈り込むやうな俗な趣味に陷り、噴水の如きも徒に塑像の多きを誇つて水藝のやうに偏して了つて所謂ローマンチック時代を現出したのであつた。



第一圖　壯觀極まる伊太利の庭（ローマ・カシニ莊の壁泉）

佛蘭西の庭園は本來は伊太利から傳播したものであるが、十三四世紀頃から發達の機運を示し、之が近世の歐洲庭園の先驅となつたものであつた。其樣式は即ち建築的庭園とか整型式庭園とか稱すべき部類のもので、試みに定義してみれば『自然の模倣を放れて人爲的の配列に基く美の統一を企てた均齊の型を具備した庭園』とでも謂ふべきである。今日本邦で洋風庭園として一般に取扱はれてゐるものは、此種の樣式の庭園が最も多いのである。佛蘭西式庭園の近世に於ける覇者は何と云つてもアンドレー・ル・ノートル其人であ

第二圖　佛蘭西の建築的庭園（ベルサイユ宮のラトヌの噴泉）

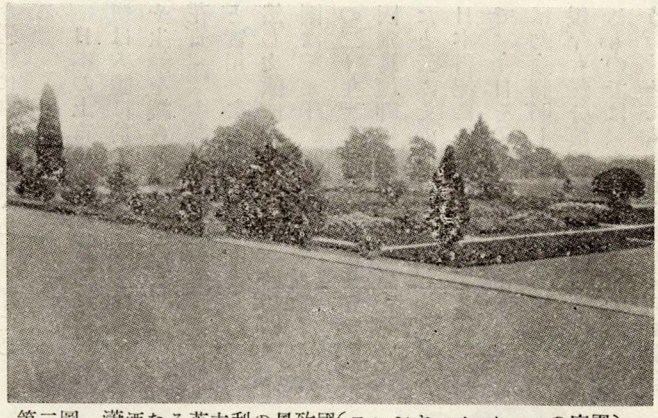


る。彼は王者の庭師と世人に呼ばれた庭師の中の王者で、實に世界造園界の第一人者であつた。彼の略傳を誌してみれば一六一三年に巴里に生れ、繪畫と建築とを學び更にローマに遊んで造園術を研究して歸佛の後、ルイ十四世に認められたのが世に知られる端緒で、帝命を奉じて十七世紀の中葉から五億法を費して有名なベルサイユ宮殿の庭園を築き上げたのであつ

た。彼は畢生の努力を捧げて、天と地と水との三者を統一して、大自然の大觀を藝術化したものこそ永世不滅の大作たるこのベルサイユ宮苑であつた。ラトヌの噴泉を越えて露臺から展した景觀は、全然一幅の透視圖で、左右均齊に配置布局された風物は實に整然として、眞に彼の天才的妙技を具體化した結晶物であると肯定されるさうである。

この種の整型式の庭園が和蘭陀獨逸、墺太利、西班牙と各國に傳はつて夫々特有な發達を遂げたのであるが、英吉利丈は又別途な庭園樣式が釀成されてゐた。

英國の庭園は天然風の風景的庭園（ランドスケープ・ガーデン）で、所謂前者の整型式に對して不整型式（イレギュラー・ガーデン）とも稱すべき部類のものである。その特徴は人工趣味を加へない瀟洒なもので、支那や日本の庭園に似通つた點が多い。英國にこうした風な庭園が出來たことは、俗臭の多い當時の庭園に倦怠を感じてゐた人達が清新な自然の崇高な美點を要求した結果でベーコン、ミルトン等の自然美論者が鼓吹した賜とも云はれてゐる。然し又その發生の經路を歷史的に考察してみると、既に十七八世紀の頃から東西兩洋の交通が開けて東洋の自然風の庭園が歐洲に紹介されたのが動機で、その後ウイリアム、チエンバー等が建築家として支那に遊んでその趣味を傳へたものであると說かれてゐる。即ち英國風の庭園は日本式や支那式の庭園が基本となつて、英國で擡頭した庭園樣式であると斷定してもよいのである。



第三圖　瀟洒なる英吉利の風致園（エレシヤーム・ホールの庭園）

## 二　亞米利加の卷

轉じて米大陸の庭園を覗いてみやう。新興國である米國や南米諸邦の如きは、孰れも歐洲の庭園樣式を移して造り出した事は勿論であるが、十九世紀に入つてからは歐洲でも建築的と風景的との兩者が併川された近代風な折衷式とも云ふ一新樣式が造り出されたので米國の庭園は當然此樣式に屬すべきものが多いのである。フレデリツク・オルムステツドは有名な紐育の中央公園（セントラル・パーク）を造つた人で、全米第一の造園家である。彼の作品の特徴は鄉土植物を豐富に栽植したこと、背景の利用に留意した點であると云はれてゐる。本來合衆國は各國から移住者が多い丈、其各自の母國の造園が影響して、當然庭園樣式も又寄合世帶となつたのであらう。

## 三　印度の卷

印度はペルシヤ民族が十六世紀にムガール帝國を侵略してから、ペルシヤ風の造園を移したのが始まりであつて、世界に知られてゐるアグラのタジマハルの庭園（墓地園）もその系統はアルハンブラ宮苑と同一の流を汲んでゐるのことである。その特徴を擧げてみると、熱帶地方の造園であるから水の利川と綠蔭とが第一の要素で次では豐富な熱帶の花卉と果樹とを主材にとつた點である。その地割や局部の手法の如きも、回敎の象徵的な影響をうけてムガル式とも云ふべき一つの型を形成してゐた。印度の庭園の一例を記してみやう。大抵は池泉を有つ丘陵地を選んで造られてあるが、主建築は露壇の裾さか頂上とかに造られたやうである。そして水の利用出來る所では、瀧や流を幾段にも造つて涼味と風趣とを添へてある。平坦地に設けたものは多くは高壁を四周に繞らして矩形の四隅に塔を築き、各四邊の中央に門を穿ち、庭園の中央に集會所を設けてこゝを中心に周圍に溝を設け、更に十字狀に溜池を堀り割つて水を通じてある。この四等分された各分區には或は綠蔭樹さか、花卉類が整然と植込まれてあつて實に美事なものと云はれてゐる。

## 四　支那の巻

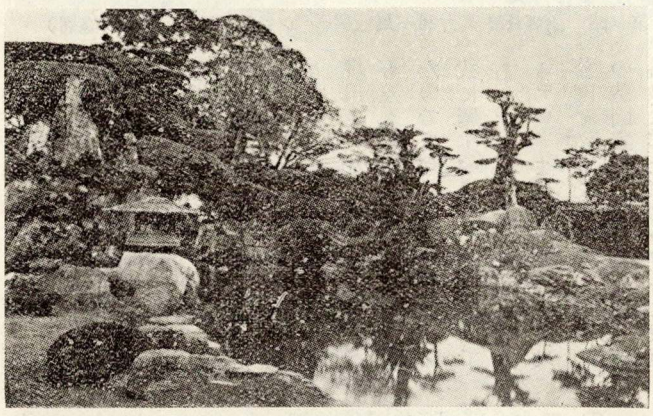
二千年の久しい間比較的終始一貫した庭園樣式をもつて今日に到つたものは本邦と支那とであらう。日本も支那も、東洋の庭園樣式が孰れも風景式であることは、兩國の風景美と國民性の然らしむる處で、殊に兩者共風景そのものゝ縮寫を主眼とした點もよく似てゐる。支那風庭園の特徴は五彩陸離たる人工の大建築物に相對峙する瀟洒な天然風光そのまゝの庭園たる點で、之こそ所謂變化と對比の美學上の理論を實際に應用したものであらう。局部に就てみても幾何模樣の舖床とか、太湖石や疊石等凡てが支那庭園構成に缺ぐことの出來ぬ特有の材料である。

支那の庭園を代表して、北平地方に殘存してゐる有名なものは明清朝の遺跡たる宏大な宮苑である北海、中海、南海の各禁苑を始め、萬壽山舊離宮の如きは、孰れも縮景的な庭園で、南清地方の好風光を人工的に模造したものと云はれてゐる。

## 五　日本の巻

本邦の庭園は支那の庭園の長所とする所を悉く移しとつたもので從つて日本の庭園も風景式で縮景的である。奈良、室町、桃山、江戸の各期を通じた久しい間に支那式庭園の精を汲みこつて洗練されて出來上つたものが、明治以降になつてからは更に歐米の影響を被つて世界各國の庭園樣式が汐の樣な勢で移入された。今や我が國の庭園は新日本の現代に適應した所謂新日本式庭園の樣式を建設すべき道程に直面しつゝある次第である。

日本の上古の庭を按ずるに、最初は大體に於て住家の周圍に木柵や生籬を繞らしてその內に果樹や花卉、蔬菜、藥草等を栽植して觀賞と實用とを兼ねたものであらう。然し文獻に表はれた日本最初の庭園は紀元千二百七十二年（推古朝の二十年）に、蘇我の馬子が大和國飛鳥河畔に池を鑿ち中島を築いたと云ふその庭であるが、之は只日本書紀にこの記事が見えるまでで、今日その遺跡が何處に當るかは勿論判明して居らぬのである。現今も幾分痕跡を覗ふことの出來るものでは、京都の神泉苑であらう。之とても桓武帝が平安京に奠都の後に造られたもので、今では全然荒廢してゐて、僅かにその遺趾であることを物語つてゐるに過ぎない。



第四圖　雅致に富む日本の林泉（鹿兒島磯邸の庭）

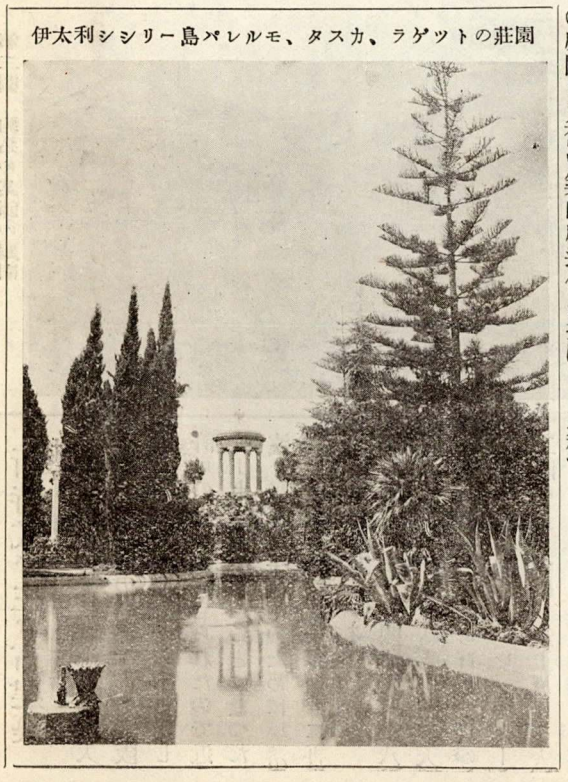
奈良朝時代に萌芽を出した支那大陸の文化が、平安朝に入つてからは日本の風土に應化して、こゝに日本趣味に調和した寢殿造りの住宅建築が現はれて來たからそれに附隨して形式的な寢殿造りの庭園とも云ふべき庭園の型が生れて來た。即ち之が日本庭園の眞の型と稱してゐたものゝ根源となつたものであらう。本屋を中央に左右均整式の翼を有つたこの建物の南方に庭園を控へ、その庭の中央に池を堀り中島を造り龍頭鷁首の舟を浮べて、大宮人達が詩歌管絃の遊樂に耽つたその悠長な生活振がこの建物や庭園の構想からも略々想像が出來る。次で來た武家政治の鎌倉時代は質朴尙武の思潮に支配されて、唯僅に僧侶の手で小規模な寺院禪房の造庭が試みられたに過ぎなかつた。室町時代に入ると文化の中心が再び京都に戻つて平安朝時代の貴族的な傾向を脫して平民的な藝術が勃興して來た。支那との交通も復活して寫意減筆を重んじた南畫の枯淡な風韻や、主觀的な見解を本旨とする禪宗の感化を被つて、庭園も今迄の囚はれから解放されたものが創造されるやうになつた。即ち型を重んずる風よりも、寧ろ內容の表現に重きを置くと云つた傾向が出來てきたのである。禪僧であつた夢窓國師の如きは京都の西

芳寺や天龍寺に立派な彼の傑作の庭園を殘してゐる。又藝術萬能であつた相阿彌の如きも銀閣寺、龍安寺等に千古に誇るべき庭園を造つて呉れた。今日京都の各所に殘る寺院の名園の多くは此時代以後のもので平庭の型に屬するのが多いやうである。桃山時代になると驕奢の風を競つた足利氏の文化に代つて、豊公の豪華な氣風が上下を通じて一段と侵つて來たのであつた。特趣な桃山藝術を生んだと同樣に、庭園にも醍醐三寶院や桂離宮の御庭のやうな、構圖の雄大な局部手法の巧妙なものが現はれた。小堀遠州は桃山末期から江戸初期にかけての造園界第一人者で當に日本のルノートルと云ふべき人であらう。豊公の茶道を奬勵した影響から數寄屋式の茶庭なるものが創められて、利休や紹鷗によつて此趣味が強調された。

江戸時代になると平和克復と共に日本の文化のレベルが一層歩調を進めて、こゝに所謂日本の文藝復興期が到來した。庭園の樣式も從來の座觀本位の建物附屬の庭の型を破つて、廻遊式とも云ふべき逍遙本位の意匠によつて地割され布置されるやうになつた。茶庭の發達に伴れて石燈籠とか手水鉢、飛石等も意匠や材料が益々洗練されて、その加工に入神の技巧を現はしたものが續々と出來て來た。今日も立派に殘されてゐる修學院離宮の御庭先の如きも、後水尾上皇の御自作で、自然の風光と人爲の手法とが最もよく調和した雄大な御庭としては、本邦第一と承る程の名園である。この他この時代の作品としては初期のものでは石川丈山作の東本願寺の庭園、金森宗和作の大德寺眞珠庵、藤村庸軒作の黒谷西翁院反古庵等は稍々完全に殘つてゐる。後期のものでは京都よりも寧ろ東京に多いやうである。東京に殘る著名なものを擧げてみれば、僧江月と遠州の合作と稱せられる松浦侯の蓬萊園（現在の柳北公園）を古い部類の筆頭にして、尾州徳川家の戸山莊（現在の陸軍戸山學校趾）や大久保侯の下屋敷（現在の芝離宮公園）等が前期の代表作で、後期に入つてからのものでは、將軍家本丸の吹上苑（現在の宮城禁苑）や御濱御殿庭（現在の濱離宮）等が殘つてゐるものゝ代表であらう。地方に於ても加賀侯の金澤兼六園、池田侯の岡山後樂園、水戸徳川家の水戸偕樂園、讃岐高松の松平家栗林莊、彦根井伊家樂々園、廣島淺野家の泉邸、鹿兒島島津家の磯邸等々は孰れも江戸時代の模範林泉であつて、日本庭園の傑作として今日も完全に保存されて、地方の名勝たることは周知のことである。

## 六 現代の巻

赤い屋根青い甍が都鄙を通じて住宅改善の先驅となつて決河の勢で風靡しつゝある現代では、日本の庭園も又舊い築山庭造傳に揭げられた定式庭の典型を破らねばならない。そこで、こうした時代の進運と歩調を合した庭園樣式が、昭和の文化住宅を飾るべく造り出されつゝあるのである。世界式と呼ぶべきか新日本式と稱すべきか？兎に角乙伯號が數日で大平洋を横斷する時代が來たのであるから建築や造園にも改革斷行の秋が來たことは當然すぎる程當然なことであらう。華かな新日本の住宅に調和した庭園樣式の成る日を期待しつゝ庭園行進曲の譜をこゝで擱めて置こう。（一九二九、九、一五稿）



伊太利シシリー島パレルモ、タスカ、ラゲットの莊園

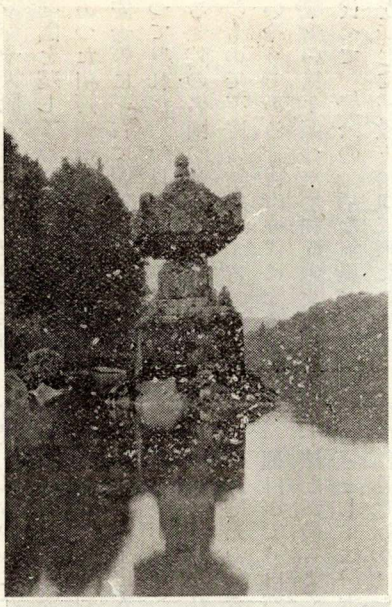


# 石燈籠の美

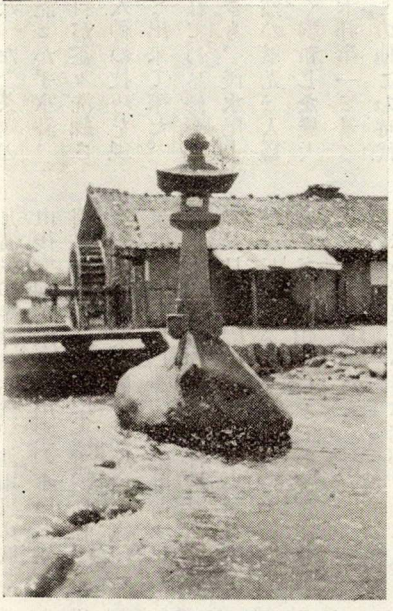
津田鑿

數多き燈籠の內水を配景とした もの森を或は建物を又は濱邊と夫々趣きが相違し且つ造られたる材料が石の塲合又は木と金屬製では味が異なる其の內水を配景にしたものは一層風住に感ずる。尙ピカ〳〵でない古めかしい自然石は更に奥床かしいそうして悪く技巧を弄さぬ點を賞讃したい俗悪なのは却つて周圍の風致を害する憂がある金澤兼六園の池に望みし燈籠の形の如きは尤も佳味あるものであろう。

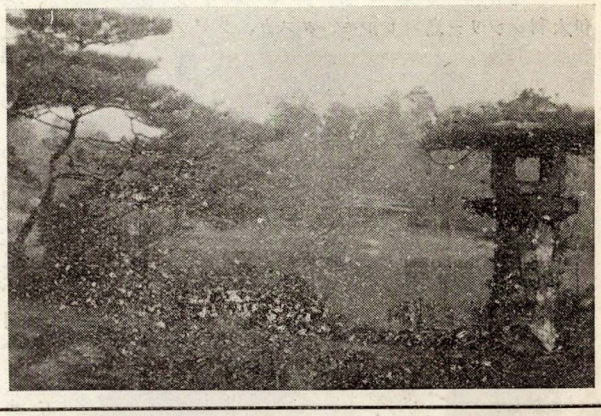
（昭和四年九月稿）



第一圖　箱根芦ノ湖



第二圖　信州中込



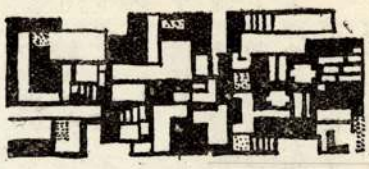
第三圖　駒込の某邸の庭園

## 新時代が生む古建築

大阪市の御大典記念事業の大阪城公園計畫の一部である大阪城天守閣再築は府から市に對し許可の指令が發せられたので近く工事に着手することになつた遠く寛文五年落雷のために燒落ちてから約二百七十年振りに再築されるわけである。

再築される天守閣は東西十八間、南北二十間、高さ現在の天守臺の石垣上部から百三十尺の五層八重內部にはエレベーター二個をとりつけ、最上層から大阪全市およびその附近を一眸の下にをさめる設備をつくり、內部はそれ〴〵鄉土史料の陳列にあてる。

建築費總額約四十萬圓、なにしろ西風の強い大阪のしかも最高所に建坪三百六十坪の高層建築物を近代式材料をもつてむかしの桃山時代風のものを建てるだけに耐風、耐震、建築意匠の調和等は建築上すくなからぬ苦心を要するこゝもに、興味ある問題で建築界から非常に注目されてゐる。



# 芭蕉蓑虫庵の庭園に就いて

城戸久

## 1

日本建築史上に於ける德川時代なる一區劃は、事實會つて絶大の發展を來した日本建築の頽廢史であり、換言すれば日本建築墮落史に過ぎないと言得よう。即ち、吾人はかの日光東照宮の建築に於てその裝飾美に眩惑されるといふよりは、寧ろその藝術的價値如何を疑はずには居られない。

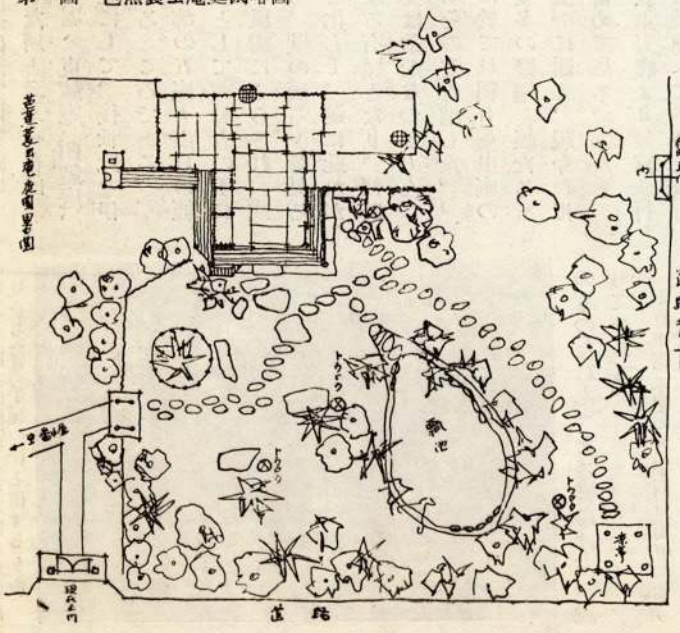
然れども、一歩進んでこの時代に於ける社會情態を深く考察し、即ちその文化史と相併行してこの時代の建築史をひもとくならば、其處に言ひ知れぬ一種の欣びを感じるであらう。

吾人が忌避する德川建築史は一言にして言へば、武家の勢力下に於てなされた建築の記述に外ならずして、武家對町人の對立を主眼とするとき、其處に彼の茶室建築の偉大さを認識し得るのである。されど、當時代にあつてなほも後人の讃仰の的となれる藝術は獨り茶道のみに留まらない。茶道と等しく、或はより以上に發達を來したかの俳諧の道をまづ第一に擧げねばならぬ。この兩道、敢て町人のみ獨りあづかるところなりとは斷じ難いと言ふも、その大勢よりして、概括的にかく論じ得るであらう。

茶の道は所謂茶の精神生活即藝術に立脚して一の建築樣式を織りなした。茶室と稱し、茶庭と呼んで、後人の感嘆するところである。然らば俳諧の道に於ては如何と言ふに、この道の精神は解くまでもなく、一茶の傳、芭蕉の生活が如實に素人に提示して居る。即ち、閑寂、雄宏、幽玄、雅朴、洒脫の精神はこれまた茶道と變はらざる生活即藝術の本旨に應じて、其處に何等かの建築的特質を構成發展せし事實を認め得べきではあるまいか。

吾人はかゝる見地よりして、俳聖として名をなせる芭蕉翁の草庵に就て、その調査を志して居るものであるが、惜むらくは翁は旅の人、その庵は全國轉々として江戸深川の芭蕉庵破れ、石山の幻住庵朽ち、僅に現存するものに洛西嵯峨の落柿舍、翁が故郷伊賀に蓑虫庵の二棟あるのみである。遺構の僅少なるは、甚だ惜むべきであり、此等の詳細に就ては、再度識者の御叱正を乞ふことゝし、只茲には庭園の問題としてのみに留め、單に蓑虫庵の一園をもたらして、淺學菲才をも顧ず敢て筆をとつ

第一圖　芭蕉蓑虫庵庭園略圖





第二圖　同上蓑池を經て庵の全景を望む

らんとするのである。

叙上の提案に對して、本庵の庭園が如何なる地位を占むべきかに就いて、識者の御注言を乞ひ得れば筆者の幸ひ此れに過ぎるものはなからう。

## 2

翁の生涯の大半は旅の生活であり、轉々として道を求むる巡歴の生涯であつた。半生旅に依つて過せしと言ふも、その生活の根底とする處はなほも故郷にあり、翁が庵にあつて、翁が問を通じて見るその故郷觀に於てこの事實を明然と認めることが出來る。

翁は故郷に於ては固定的の住居をば有しては居らない。何れも旅よりの歸途、僅かに門人の庵に立寄り、自ら悠々自適、翁が生活が織りなされたものであり、その內の主なるものとしては、無名庵、如是庵、半殘亭、風夢亭、良品亭、瓢竹庵、野松庵、舟峯亭、東籬亭、西籬亭、梅額亭、陽和亭、左東亭、一枝庵、杜芳亭、非群亭、萬乎亭、蓑虫庵等記錄に見るが、就中翁が最も愛好し、自



第三圖　同上六帖より南望

らその名をも選び、常に其處にて吟懷をもらした所と云ふべきは、無名庵、瓢竹庵、東籬庵、西籬庵、蓑虫庵の五庵にして、後世此を伊賀五庵と稱するところである。

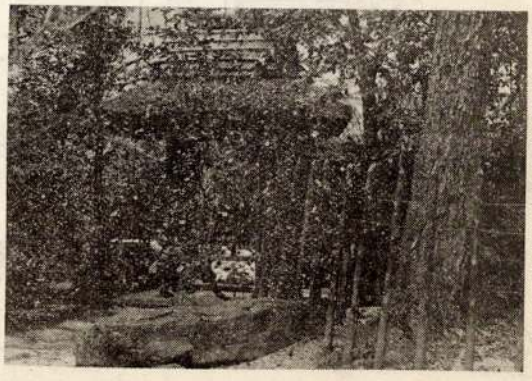
然れども此等の五庵も歲月の經るに共に轉々として一私人の手に移り、長年の風雪にさらされ、或は屋根が落ち、壁の壞るゝ等見る目もなき姿と化して、遂に此れが保存の困難なる有樣となり、何時しか五庵の姿は翁がなつかしんだ故郷の空からその姿を消した。

かゝる中に於て只獨り蓑虫庵のみはその間幾多の變遷を經たるも比較的良く風雨に耐え、現今なほ當時の俤を留めて居る。

關西線伊賀上野驛より參宮急行電鐵伊賀線に乘換へて十分上野町に至る。上野町驛より南方約十五町、字西日南町にあり。東南二方に道路を有する角地にして、南方は國見山其他の伊賀連山を望み、近くは久米の翠巒に接し、まことに景勝の地と言ふべきではあるが現今附近町家の發展に依り、その視野を幾分狹められたるは惜むべきである。

上野市街明治地誌（明治五六年頃のものならん）なる書には左の說明文がある。

上野市街未申の方字西日南町にあり松尾桃青五庵の一なり、幽境にして風致最も古雅なり、桃青爰に虫呼を嗜好するの庵なりと云ふ、該庵に花山殿眞筆の扁額あり、路通蓑虫庵記文、桃青京北嵯峨よりの手翰、芭蕉萬蘭西文支考三物文、去來年始文等ありて皆江湖に雷同する所なり、桃青の餘風を汲む者該書を仰望して瀏覽せざるはなし、於是著名の俳客となる。



第四圖　同上庭園現在の入口、右手に見ゆるは翁手植の松と稱するもの

## 3

庵の沿革に就ては見るべき記錄文献に乏し、然れども現今ほぼ判明せるを以下記さん。翁の伊賀五庵總てはその門弟の別墅なりしは既に述べたところであるが、本庵はその高弟の一人服部土芳の建つる所であり、土芳諱は保英、俗名は半左衛門、蕉門十哲中には入らざりしも、非凡の才を有せし高弟であり、旬集蓑虫庵集には左の字句がある。

元祿元辰年彌生十四日山の下の茅屋にはじめてうつる

水にあかす林をねがふも魚鳥の心にあらざれば其味を知らず

我やどのかたじけなくも花見かな

五庵圖錄と稱する小冊子（時代不明、明治前ならん）には天和、貞享年間建造とあれど、先づ貞享四年冬建築せしものと認むべきであり、土芳はじめ些中庵と號し、翁が故郷に歸へりしときは常にこの庵に滯在し、吟懷をもらしたるもので、或る夜の句に

今宵たれ吉野の月も十六里

がある。

元祿元年三月、翁上野に歸へりて無名庵に滯在中、達摩面壁の圖を描き庵に來りて土芳に與ふ。即蓑虫庵集には

ある日翁面壁の畫圖一紙懷中より取出して是を此庵物にせばやと夜もすがら書かれしとなり、讃に

蓑虫の音を聞にこよ草の庵

をしいたゞき則ち初の玉の字をつみて蓑虫庵と號すべしといへばよしとなりその畫に題す

とあり。かくして些中庵をあらため、蓑虫庵と呼ぶに到つたものにして、更に蓑集はその間の俤を傳へるに充分である。

そちむくはどこのさくらの夕暮ぞ

畫圖の灰乎の喘に云捨ふ今熱田に有

繁齋の自畫自讃に

世の中をうしろになして山里に背きはてしやすみ染の袖

是を見て翁

國もてあふかむ人のうしろむき

此折にひかれてかたり出うれしを

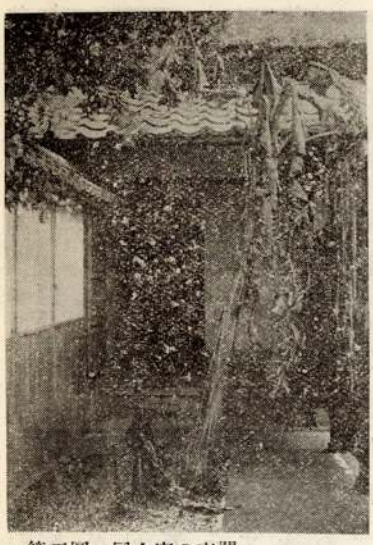
愛にとめぬ

十一日、元祿元年三月）はせを翁をやどす

おもしろう松かさ燃えよ臘月

と咏んで居る。茲に興味あるは庵の名稱となりし蓑虫の句で、翁は蓑虫をいたく好み、かの秋の夜、美妙なる音をはりあげて鳴くはこの虫なりと考へて居たと言ふことで、蓑虫跋なる記文が綴られて居る。

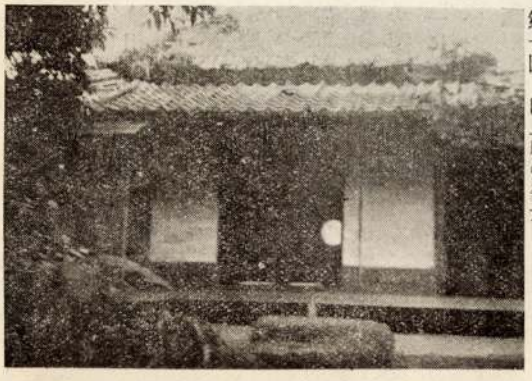
草の戸さしかためて物わびしき折しもたまたま蓑虫の一句を言ふ。我友素翁はなはだあはれかりて詩を題し文字をつらね其の詩や錦をぬひものにし其の文に玉をまろばすがごとしつらつら見れば離騷のたしなみあるに似たりまた黃奇蘇新ありはじめに虞舜曾參の考をいへるは人にをしへをとれとや其の無能を感することはふたゝび南華の心を見よとや終に玉むしのたはぶれは色をいさめんとならじ翁にあらずば誰か此の虫の心を知らん。靜かに見れば物昏自得すと



第五圖　關玄の庵上同



第六圖　同上庵の背後より玄關を望む　前方の樹木は最近擴張の際植えられたるもの



第七圖　同上庵の全景



第八圖　同上蹲踞の一部

言へり此人によりて此句を知るむかしより筆をもてあそぶ人おほくは花にふけりて實をそこなひ實をこのみて風流をわする此文やはたその花を愛すべし、實尙ほくらひつべし爰に何某朝湖といふあり此事を傳へ聞きてこれを盡くまことに丹清淡くして情こまやかなり心をとゞむれば虫うごくが如く黄葉落つるかと疑ふ耳をたれて是を聞けば其のむしの聲をなして秋の風そよ〳〵とさぶし猶閉窓に閑さえて雨土の幸にあづかることみのむしのめいぼくあるに似たり

土芳この庵にて咏める句、蓑虫庵集五巻となつて現在に傳へられ、いづれも庵の風光、情趣を今に傳へてあまりある。その他寶永六年十月には翁が句集三巻が茲にて編まれ、横日記綴られたれど享保十五年一月土芳沒してより子なく庵及び庭園はその主を失ひ、徒らに風雪のおかすがまゝになされた。

其の後安永年間窪田桐雨なる士ありて、庵の荒廢を深くうれひて資財を投じ、仆ふるゝは興し、落ちたるは塗り、椽を拂ひ、雜草を除き、舊のまゝの姿に再興をくはだて、安永三年蓑虫庵再興の記文なるを庵中におさめた。

天明年間桐雨沒してより、庵は再び風雨のおかすまゝに露らるゝことゝなつたが、自來二十年を經て、服部猪來（土芳の子孫にあらず）良く俳諧の道に通じ、古く翁の時代をたづね、翁が遺墨を集め或は訪ね來る風流墨客の士より句を乞ひ集めて以つて長く此れを庵中に貯へんとした。

句あり

きりぐ〳〵す鳴くやこの庵このすとき　猪來

猪來沒してより庵主再びなく、以後最近に到るまで、その轉賣せらるゝこと數氏に及び、此の間或は庵の增築かくはだてられ、庭園の變更等またしば〳〵ありたりと認められるれど、數年前在京三井銀行常務菊本直次郎氏の所有する所となり、氏は自ら句を吟じ、風流を樂むの士ではないが、多大の巨費を投じて庵の形態を舊に存し、近くは隣接の民家を拂ひて、火災の難をのがれしめ、その保存に腐心されて居るのは、斯界の爲欣ぶべきである。

## 4

庵の建築手法其の他に關しては茲には一切の記述を避け、只庭園の問題としてのみ、大略の說明をなすこゝとする。

南面せる庵六帖の前方に開けた百五十坪ばかりの小庭園であるが野趣に富み、雅致あるその有樣はかの茶庭の人爲的手法の充滿せるものと趣を異にして居るのがうかがはれる。

南面の椽側に腰打おろして南望するに欝蒼と茂つた樹間に遠く國見の峯巒を仰ぎ、近くは久米の連山か緩きカーブを描き出して居るのが望まれ、遠景近景相調和して其處には何等の人工的興味なけれども、又一入の趣味が感ぜられる。

庭には現在、石燈籠四基、凉亭一、瓢形の古池がある。庭石の配置も頗る妙をきはめて面白いものもあるが、明治以降改變の跡も多少認めることが出來る。石燈籠の一に翁がこよなく愛好せられたといふ直線趣味のものがあり、池は瓢形で、その水面は六尺ばかり地平面より下つて居り、樹木雜然として面を覆ひ、さながら幽境の氣胸にせまるのを覺える。

古池やかはづ飛込む水の音

翁の心境の一端がうかがはれて



第九圖　同上芭蕉翁遺愛の燈籠

懐しい。

一隅に翁手植の松と稱する一株の老松あれど敢て信ずるに足らない。

要するに此庭を以つて按ずるに茶庭に於けるが如く袴着、待合、中潜り、等の如く型式化せる設備其の他の何物をも持たず、只その平面に於ける自らの變化、飛石、蹲踞等その他樹木の配置、總てに於て、自由で明快であり、野趣に富み、或はその爲に未だ庭園として完備せざるものではないかとの感をいだかしめる程である。

茲に於て所謂、閑寂、幽玄、雅朴、を尊ぶ俳諧の教へまた宜べなるかなと肯かしめるのであり

先づたのむ椎の木もあり夏木立

の如き庭園の味がはつきりと身にしみて來るのである。

翁は曾つて『造化に從ひ四時を友とす、見る所花あらずといふ事なく、思ふ所月にあらずといふ事なし……』と述べ、美の世界を求むるにはその精神を自然の法則に則り、自然と合體して一となり、その神秘さの中に入らねばならぬことを言つて居るが、茲に於て所謂日本の建築、庭園の何物たるやがほぼ推察なし得られるではなからうか。

窓がなく、明けひろげられた建築、廣大な椽側にそれをとりまく庭園、其處には建築の外部的延長としての庭園があり、庭園の内部的侵入である建築がある。

あくまで造化を友とし、その生涯の大半を旅に費し、庵にありては閑寂を專らとし、世事を避け、只ひたすら藝術の道へと精進せる偉大な自然詩人の面影をこの庵、この庭に依りて偲ぶとき、吾人日本人の持つて居る豊かな床しい趣味性がはつきりと胸に浮び出されて一入のなつかしさを覺えるのである。(了)

(四月廿一日發行サンデー毎日所載の拙稿を御參照下さらば幸甚である)



# よき庭は よき建築家 によつて

法學士 岡本彰一

識者、と稱せられる一部の人達にとつては餘りに明白過ぎる事柄を述べようとて駄文を草する最初に、私は先づ以下の數行を書き記す。

『庭』とはもと廣く場所を意味した總括的名詞である。合戰の庭と言ひ、法の庭と稱し、裁きの庭と唱へたのはそれである。一轉して此の名詞は、堂屋階前の平地を指稱する事となり、再轉して今私の用ひる意味の庭となつた。それは專ら家屋の前後の空地に、木を植ゑ、石を据ゑ、山を築き、池を堀つた所の所謂『前栽』である。更に、此の語は三轉した。そして家屋の内外の總ての空地——屋根に覆はれてゐると否とは其の問ふ所ではない、竈を据ゑ流場を造つた臺所の土間をさへ含むのである、——を總稱する範圍の廣いものになつて來た。

私が此の一文に於て用ひる『庭』と言ふ名詞は、今述べたやうに『前栽』の意であり、『庭園』の意である。

さて、

## 自然への愛着

我々は庭を作る。建築關係の法規は、建築物の敷地内に定められたる割合の空地を設けよ、と我々に命令してゐる。だがその空地を庭とせよとは命じてゐない。だのに建築主は——もつと一般的に、住居者は殆ど總ての場合にその空地を庭とする。それは單なる傳統であるかも知れない。單なる模倣かも知れない。だがその傳統にはその模倣には、その底に動かせない理由がある事を思はねばならない。何が爲に、何の故に、我々は庭を作るのか。それは我々が少しでも母なる自然へ近づきたいからである。

何の爲に庭を作るのか、とかう問はれた一人は答へる事であらう朝な夕なにそれを眺めて美しさを朗らかさを呼吸する爲だ、と。更に又一人は答へるであらう、茶の時間に晩餐の後に一と時の散歩逍遙を樂しむ爲だ、と。併し乍らそれらは單に目に見えた目的に過ぎない。何れの場合に於ても此の目に見ゆる目的の底に、我々が抱く強い自然への愛着の流れてゐる事を忘れてはならない。

造庭法は我々に教へる。餘りに自然にとらはれてはならない。餘りに自然に拘泥してはならない。と、だが自然に泥むのはまだしもである。技巧の末端に拘つて人工の惡趣味に墮するは更に是以上に戒心すべき事である。庭は建築物に韻致を添へるものである。人工の末技が此の韻致を寧ろ破壞するに非るかを思へ、そして、韻致とは所詮自然の風韻なる事を思へ。

敢て穴居の先史時代を顧みるにも當らぬ。遊牧の太古時代を想ふにも及ばぬ。つい先頃迄、ほんのつい先頃迄、我々の住む所には豊潤な陽光と外氣があつた。足一歩戸外に出れば思ふが儘にそれを享受する事が出來た。異邦人達が我々を貶しめて言つた『木と紙との家』は特に此の點に於て惠まれてゐたのである。が、凄しい近代建築術の進展は此の『木と紙との家』を見る〳〵うちに『鐵とセメントの家』に變へて行つた。それがどんな結果を及ぼして呉れた事か。家の外圍には厚いコンクリートの壁が作られて陽光の射入が遮られたのである。廣い障子——勿論紙張りの——の嵌まつた椽側は狹い窓に變へられて其處に嵌められた硝子は光をこそ通せ空氣の一容積をだに通すまいとするのである。我々はかうして所謂近代的建築物の中に太陽と空氣とから隔絶せられた生活を送る事を餘儀なくされつゝあるのである。

新しい建築術はサン・ルームを作る事を教へて呉れた。エーア・バス・ルームを拵へて呉れた。それは陽光に憧れ、して又、陽光なくては生きられぬ我々のせめてもの慰めであるに過ぎない。清爽な空氣を望む我々への少やかな救であるに過ぎない。

## 生きる爲にも

自然を、自然を。

それは我々の本然の欲求が發せしめる聲である。

だが何よりも先づ我々は生きねばならない。生きる爲には働かねばならない。そして、働く爲には此の本然の欲求をも忘れねばならない。生きる爲に、働く爲に、人々は自然の抱擁の手から離れて都市を目指す。其處は自然から隔離せられてゐる。空は曇つてゐる。空氣は濁つてゐる。併し乍ら職を求め得る可能性は多い。勞銀は高い。そして、街路は明るい。建物は美しい。都市を目指す人が刻一刻に增加する事は、それも亦違つた意味に於て本然の欲求がさせる事である。

斯くて都市の地は尺寸をも剩さず利用せられる。高い塀は相競つて增加する。都市はもう人間の『住む』所ではなくなつた。單に人間が『働く』所である。永劫の喧燥と焦慮と爭鬪との舞臺である。ペーヴメントに響く甲高い下駄と靴との音に神經をいら立たせ乍ら朝夕に往來しタイプライターと算盤との騒音に頭を亂され乍ら一日を送りつゝ、人間は完全に一個の『働く機械』になり終らうとする。けれども、我々は機械になつてしまつてはならない。しかも亦機械になり切れない苦である。機械になり切れない我々は慰安と休養とを求める。慰安と休養とがあつてこそ明日の日は又新たなる氣力を以て送り得られるからである。

あらゆる隅々にまで行き渡つた資本主義は總ての慰安と娯樂とを金に依つて賣買する時代を現出させた。唯、僅かに太陽と空氣とだけはその圈外に置かれてゐる。せめてさん〳〵と降り注ぐ暖く快い太陽の光だけは自由に浴びようではないか。さはやかな空氣だけは思ふ儘に吸はうではないか。布置按配の妙は極めずともせめて一鉢の草一株の木に自然の香をかゞうではないか。それは日に新たなる活動を期待する我々にとつて確に不可缺の事柄である筈だ。庭の必要は、庭の價値は、都市に於て特に大いなるものがある。

そゞろ歩きは到底出來ぬ程に狹

く、僅かに猫額とその大を競ふ庭であらうとも、其處に植ゑられた春ならば椿の新芽のあの艶かな綠が、秋ならば雁來紅の目覺めるやうな赤朱が、どれだけ疲れ切つた我々を救つて呉れる事か。輝しさを增す日の光に陰暗な室の色にも似ず早くも春の近づいたのを知り黃褐を加へる其の光に『風の音にも驚か』されぬに既に秋を覺るのも庭あればこそである。

これ程の空地さへ得られぬ棟割長屋の二階住ひをする彼等は、半坪の物干に夕顏を育ててせめてもの心を遣る。土からすつかり隔てられた二十幾階のアパートに住む彼等は殺風景な窓際に一鉢のチューリップを置く

して、都市自體は？

彼は、公園を設け、美觀地區を指定し、風致地區を限る。『公園は都市の窓である』と誰かゞ言つた。都市の面目は骸子ころを擴大したやうな無樣な建物では代表せられないからである。自然と人工との美しい調和がなければ都市の威容は整備せられないからである。それに依つてこそ都市の內容が覗ひ知られるからである。公園は都市の誇りである。公園は都市に生命を與へる。

## 家屋の心臟

公園が都市の窓ならば、庭は私人の家屋の窓である。公園が都市に生命を與へるものならば、家屋に——家屋に住む人に生命を與へるのは庭である。言はゞそれは家屋にとつての心臟である。

家は單なる寢食の場所ではない。それは我々の生活の本據である。心臟のない家にどうして我々は生活する事が出來ようぞ。庭のない家は所詮生命のない家である。

さて、その心臟……

生きた人間の心臟が總ての人に一樣でないやうに家屋の心臟の總てが全く同一である事は望めない。大と小と、健全と虛弱と、その差は蓋し免れ得ぬ所であらう。

家屋の心臟である庭を一片の理論は、或はその形によつて、或はその表見的目的によつて、樣々に分類する。

洋式庭園に對する和式庭園。

眺望庭園と觀賞庭園と裝飾庭園との別。

自然型庭園に對する幾何型庭園

理想庭園と人工庭園と自然庭園との差。

或は又同じ和式庭園であり自然庭園でありながらも池樣、泉樣、遣水樣、岩井樣、なぞの細分。

それらは何れも強いて庭を分類しようとする理論の所產である。けれども類と別との總てを包括して要するに我々は我々の生命の一つを庭に求めやうとするのである。外形の如何は第二としてそれが我々の生命を最も良好な狀態に保持して呉れる事が第一の望みなのである。最も健全なる心臟それを我々は要求してゐるのである。

曾て私は某氏の邸を訪れた。門を入つて家と家との間に挾まれた廣くもない通路の數間を行き盡した所に玄關がある。案內を乞ふ間に私はふと左を見た。低い籬の向ふに五坪許りの庭がある。それは枯山水樣と言ふ部類にでも入るのであらう。造庭家でない私は漠然とそれを眺めて、漠然と美しい庭だと感心した。が、ふと見上げた私の眼は其處に物干の姿を捕へた。八月の事だつたから、手巾で頸のあたりを撫でながら私は頭をかしげた事である。

成る程美しい庭である。此處からかうして眺めるよりは座敷から見た方がもつと整つたもつと立派なものには違ひなからう。物干場の姿も座敷からは見へない筈である。けれども玄關前との間を離で仕切つた事は、其處と庭とを一つに連結して考へてゐる事を確かに示してゐるからには、座敷——それは家族の居間らしかつたが——からは見へないにもせよ、來訪者の眼に第一に止まる所に物干を設ける事は折角の庭をしてその價値を失はしめる事ではないか。美しくないからと言つて物干場を作らぬ譯には行かない。作るからには勿論日當りの好い所を選ばねばならない。けれども、唯それだけの理由は果して庭の價値を減殺しても構はぬ程に有力なものであらうか。此の點に就て兎角の言を吐く事は殆ど不用であらうと思はれる。

## よき庭はよき建築家によつて

庭は建築物に一層の雅趣を添へるものである。或人は、建築物をして實用以上の價値を生ぜしめる

ものである。こも言つてゐる。だが、それは庭が建物の從屬物に過ぎない事を示してゐるのではない筈である。建物と庭とは互に分離し得べき別箇の存在物であるかの如き考へは決して其處から生れてはならない筈である。だのに此の點への考慮の泛しさを我々は一再ならず見せつけられる。門から玄關までの美しく整つた前栽の通行が、据えられた幾つかの石の根でひどく邪魔せられたり、折角の花壇が建物の位置の選び方の爲に日蔭になつたり、さうした例を數へ上げる事は決して難事ではないのである。

家屋を建築した後に是に應ずる適當な庭を作るか、庭園に伴つて家屋の位置や方向を決定するか、此の二つの方法が今迄常に行はれて來た所の、そして又、今も尙常に行はれてゐる所の建築と造庭の關係である。もう一歩を突き込まうとする人は殆んどゐない。誰もが是で濟ましてゐるのである。其處に幾多の不都合が湧き起つて來る。

健全な身體であるためには心臟は勿論健全でなければならない。けれども心臟は身體の總てと密接に聯關してゐる。心臟の故障はその儘身體各部の故障であると共に身體各部の一の病患はやがて心臟の異常になる。此の有機的關係はその儘家屋と、その心臟たる庭との關係である。

造物主は身體を作つてから是に適した心臟を嵌め込んだのではない。心臟を拵へ上げてからそれと釣合ふ身體を作つたのでもない。身體と心臟とは同時に一つの全般的な意圖によつて作られた。

家を建てゝから庭を作るか。庭を定めて後に家を建てるか、否、それは決して完全な綜合物を生み出す所以ではない。此の二つは常に初めから一つの全體的計畫によつて構成せられなければならないのである。庭は家屋の裝飾だと考へるのは建築家の謬見である。家屋は庭の一景物だと思ふのは造庭家の誤解である。二は實は一である。密接にして不可離のものである。庭の上に物干の見へる事は一小問題に過ぎない。と言はゞ言へ、それは確に此の綜合の破綻である。

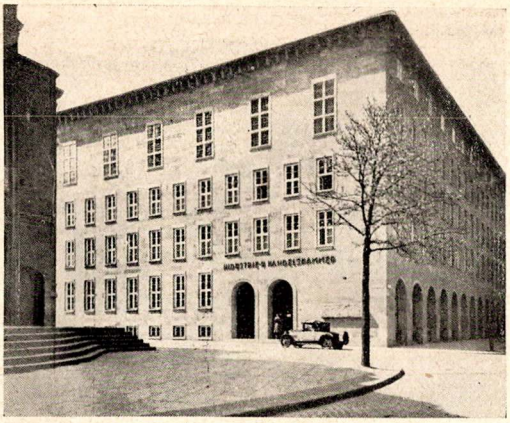
建築は綜合藝術だと言ふならば單に建築物自體を藝術品としただけで滿足すべきではあるまい。建築物を抱擁する總ての物を藝術化すべきではないか。此の故に望むのである。良き造庭家は良き建築家でなければならない、良き建築家は良き造庭家でなければならない、と。

我々は生きねばならない。けれども、我々の生は昆虫の生ではない。人間としての完全な生を送る爲に我々は慰安と休養とを要求する。住居はその慰安と休養の本源だ。其處には家屋と庭とが美しい有機的連絡を保つてゐなければならない。此の見事な連繫をして最も完全ならしめ、自然を忘れずに生きる我々の本然の欲求を最もよく滿たす爲に、よき庭は、よき造庭家たる優秀な建築家の手に依つて作られん事を、私は切に希望するのである。(了)

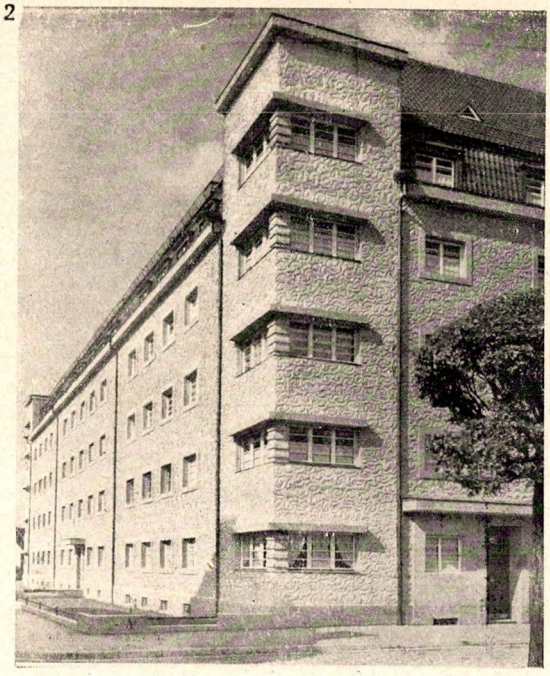


伊太利シシリー島パレルモ植物園(棕櫚の影)

1



2



1 米國エルベルフエルト市商工會議所
設計者 ベーフリーテル氏

2 ミユンヘン市イザドール集合住宅
設計者 ヴオルフ及レープレーヒト兩氏

切取線

標商録登

LION BRAND

資本金 五百万円
年産 百五十万樽

ヨロギヨロセメント
ヨロギヨロ級高セメント
（特許七八四五）

二日で普通セメント四週の强度

耐壓力
一日 三〇〇
二日 四〇〇
七日 六〇〇
二八日 七〇〇
瓩平方糎

高輪伊皿子路面工事は冬期
三日で八噸ローラーに堪えて
完全なりき

「早期高强度」時代の要求
脫枠迅速工事期間の短縮は
弊社高級セメントに
依りて得らる

終局强度も大にして
使用法は普通セメントに同じ

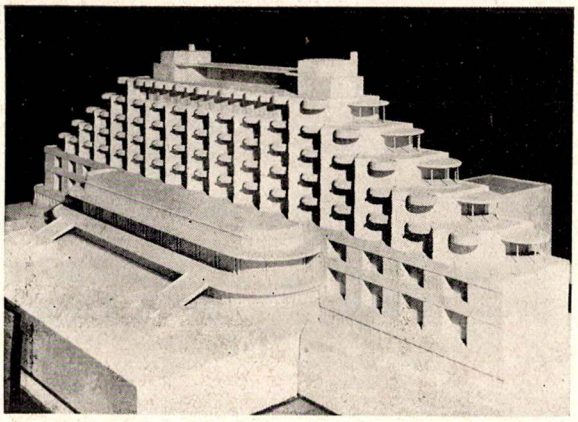
本品は已に陸軍省、鐵道省、東京、大阪兩
市等に御使用の榮を得たり

大阪窯業セメント株式會社
大阪市北區堂島濱通二丁目 電話北自一一〇至一一三番

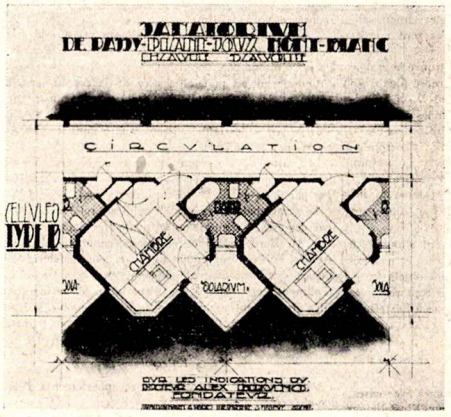
工場 大阪市港區南恩加島町
電話櫻川 一一七七 二六〇九 二八四三

東京出張所 東京市神田區表猿樂町
京都出張所 京都市二條驛前
名古屋出張所 名古屋市中區老松町七丁目

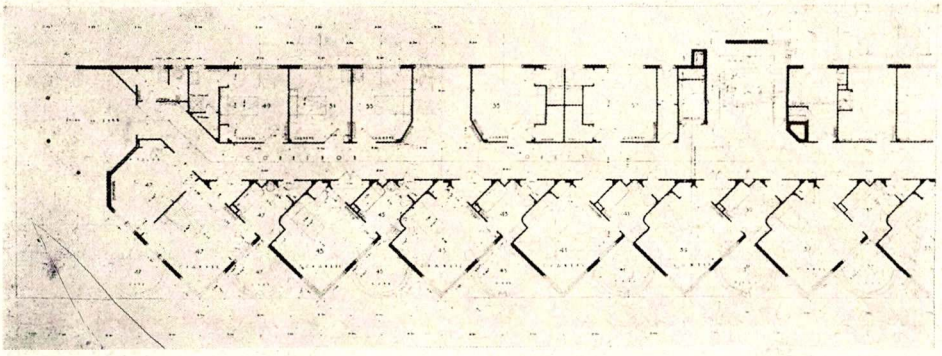
3



4




5



モンプラン山腹のサナトリヴム模型及圖面　3 外觀　4 B型室平面圖　5 第一階左半部平面圖

切　取　線

## 名古屋市廳舍建築設計圖案懸賞募集

名古屋市ハ左記ノ要項ニ依リ市廳舍建築設計圖案ヲ募集ス

一、賞　金　金賞　一名　五　千　圓
　　銀賞　二名　各二千五百圓
　　銅賞　五名　各壹　千　圓

一、審査員　（イロハ順）
　　工學博士　武田五一
　　工學士　土屋純一
　　工學博士　佐野利器
　　工學博士　佐藤功一
　　工學士　鈴木禎次
　　名古屋市助役　三澤寛一

一、建築費　約二百十萬圓

一、建築總延面積　約二二、六五〇平方米

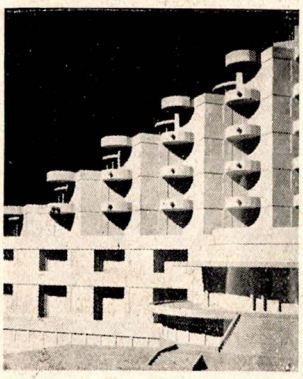
一、提出期限　昭和五年一月十五日正午

募集規程希望者ハ郵券四錢封入ニテ名古屋市土木部建築課宛ニ申込マルヘシ

昭和四年十月一日

名古屋市役所

2



1



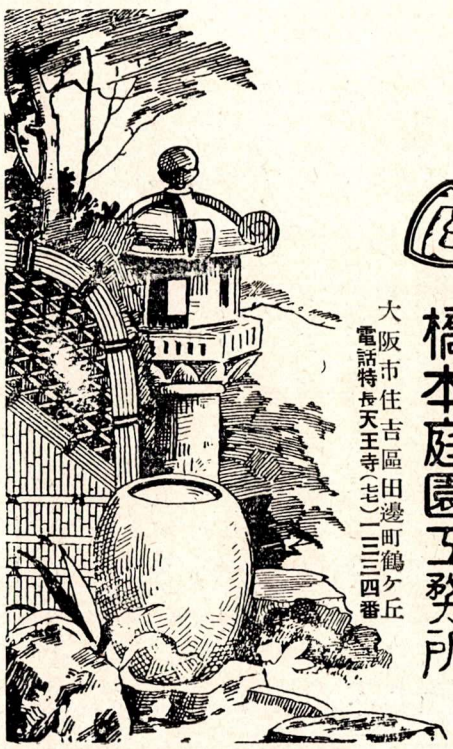

**モンプラン**山腹の**サナトリウム**模型及圖面

1 地階平面　　2 一部詳細

1929年度裝飾美術展覽會出品

設計者　**アプラーム**及**メーム**兩氏

切　取　線

庭園

設計と施工

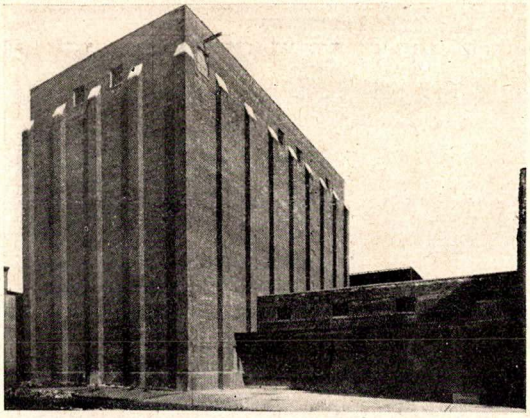
造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積む事十餘年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案內進呈

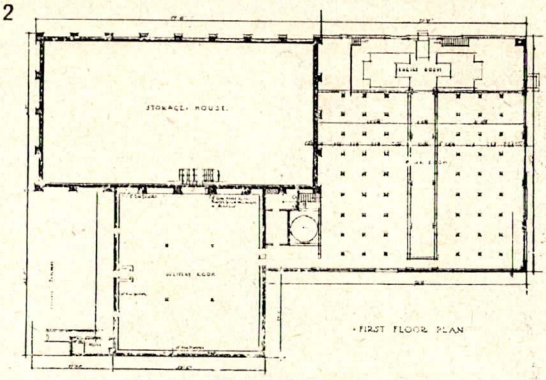
橋本庭園工務所

大阪市住吉區田邊町鶴ケ丘
電話特長天王寺(七)一三三四番

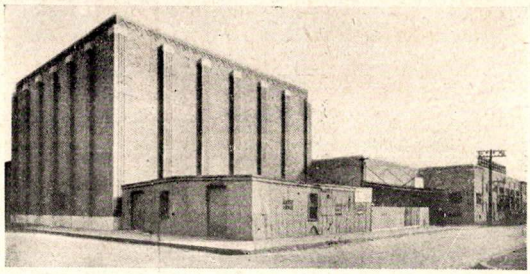
1



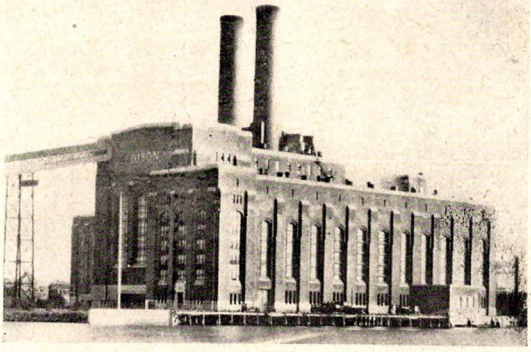
2




3



4



1 アメリカ製氷會社貯藏庫　2 第一階平面圖
3 ボストン製氷會社同上　設計者 レスリー・ワイア氏

4 エデイソン電燈會社發電所
設計者 ストーン・アンド・ウエブスター工務所

切　取　線


# セメフアルト

◎「セメフアルト」工場の完成

「セメフアルト」は「セメント」製品又は「セメント」「アスペスト」混合製品並に燒成「ブロック」に絶對の防水耐酸工程を施したるものにして破壞、剝落、風化を防ぎたるものなり

◎靑色淡黃色褐色「セメフアルト」の發見

從來の「セメフアルト」製品は黑色の一色なりしが今回研究の結果之を淡黃褐色となすことを得たり今後は如何なる防水耐酸色料も之を製造し得ることを豫告す

營業品目

『セメフアルト』瓦
『セメフアルト』ブロック
『セメフアルト』スレート
『セメフアルト』タイル

工材社

長尾薰
阪口芳三郎

大阪市西區京町堀一丁目四十番地
電話土佐堀五八〇九番

# 醍醐寺三寶院及五重塔に就いて (上)

京都帝國大學教授
工學博士 天沼俊一
速記 佐藤佐

天沼先生の御講演は去る六月二十日の夕、大阪土佐堀の大同生命ビルデング八階樓上に於て開かれたのです。

吾々建築協會々員は一堂に集つて先生の御講演を親しく拝聽致す事が出來ましたのですが、僅か一時間餘であつたのに拘はらず、詳細を極めて御話下さつたのであります。斯様な詳しい事は書物の上では知る事が出來ませんので、此の儘葬つて了ふのは惜しいと思ひまして、潜越乍ら取纒め廣く發表する事と致しました。文章や文字に誤のある點は勿論私の責任です。

只今片岡博士から御紹介に預りました天沼です。今回日本建築協會から醍醐寺の建築に就いて話す樣御依頼がありましたので、實は實物の前で皆樣に申上げた方がよく御了解もされ、一段の時代的興味を深くする事と思はれますが、何分此の席上では思ふ樣に行かずそれは初めから分りきつて居るのですが、何卒其の邊の處は宜敷御了承を願つておきます。

## 一 醍醐寺の諸堂宇

さて御話申上ぐる事は醍醐の五重塔と三寶院の建築に就いてですが、醍醐寺は御承知の通り上の醍醐と下の醍醐即山上と山下とに分れて居りまして、醍醐寺はその總稱であります。それで昔は大規模のもとに經營された立派な大伽藍でありましたが、今も尚其の俤を遺してゐるのでありますから、醍醐寺を知らうとするには單に山下に建つてゐる五重塔、金堂、三寶院のみでなく、是非共山上の事をも知らねばなりません。それで最初に山上の建物に就いて簡略に申上げます。

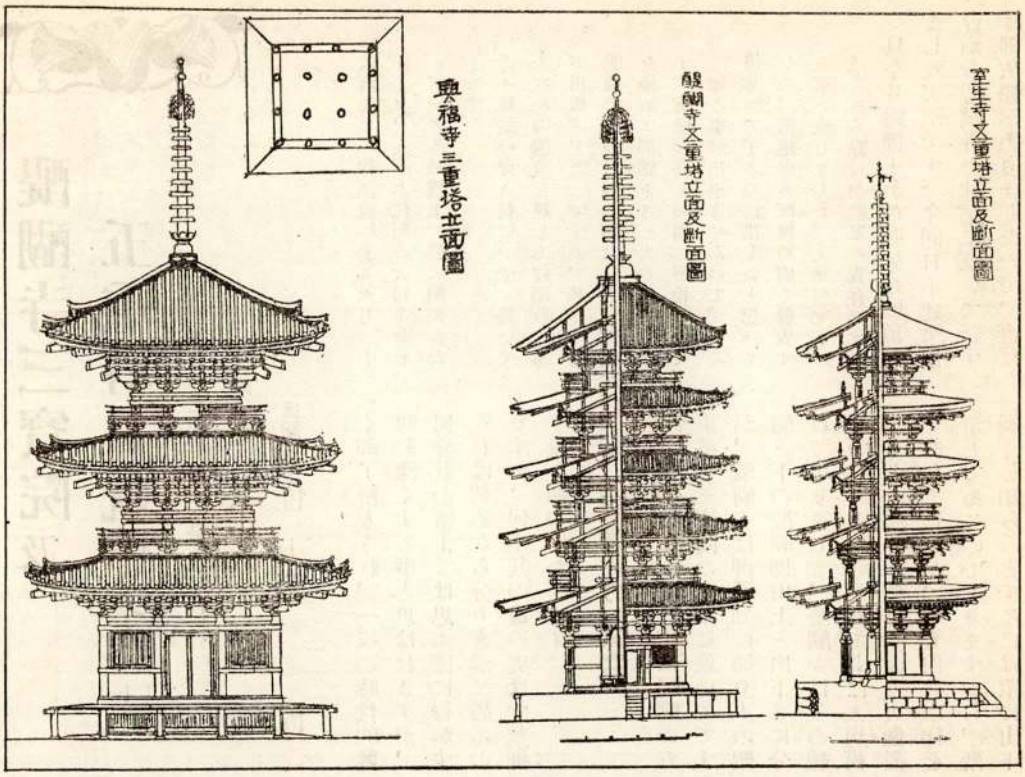
山上には古く平安から鎌倉、室町、江戸時代にかけて種々の建物が遺されて居るのでありますから單に山下のみでなしに山上の建物をも一通りは目を通す必要があります。即ち山上の藥師堂は宇治の鳳凰堂と同時代の建物で、例の剏拔蟇股で名高いのであります。次に鎌倉時代のものでは俊乘坊重源建立の經藏が遺されて居りますが樣式は天竺樣と稱し、色彩の珍しい建物であります。

次に室町時代のものでは清瀧神社の拝殿がありますが、是は全く住宅風の建物として特に見るべきものであります。外に五大力堂は桃山風の建物でありぇすが、禪宗に於ける唐樣むき出しの古い形で造られてをります。江戸時代のものでは開山堂や準胝觀音堂等があります。

斯樣に各時代よりなる建物がこの山上に建ち並んで居るのですから特に見る必要がありますが、どうも大抵の人は山下のみで立歸つて了ふやうであります。

## 二 現存する下醍醐の諸堂宇

之からいよいよ本問題に這入りまして、山下の建物に就いて申上げます。五重塔は平安朝の建物で單に外觀のみでなしに特に内部に見事なものがありますが、之れは後に申上げます。其の傍には桁行七間の金堂(釋迦堂)と三門(もとの西大門)とがありますが、共に鎌倉時代のものであります。之れに就いては義演日記に詳しく記されてありまして、それに依れば豊太閤が醍醐の花見に際し、高野の木食十人に命じて、慶長三年紀伊湯淺の根來から急に移建せしめたものである事が分るのであります。次いで關白秀頼が之を修繕した事は、金堂内の慶長の棟札に依つて明かであります。三寶院はその前方にありまして奈良街道に面し大規模に殿堂が經營されて居ります。御承知の通り豊公が義演の爲特に再興する義理合から之を造らしめ、庭の石材は聚樂より運ばせ、自ら來つて瀧を三段に落す樣指圖した事が義演の日記に記され




て居ります。然るに庭園は小堀遠州の設計など丶申し居りますがそんな事は記錄にはありません。

三寶院は實に桃山時代の書院造として代表的の建物でありまして書院造の變遷とその發達を語る有力の資料である事は尚後に於て申述べたいのです。要するに醍醐の山下に建ち並んでゐる建物は平安、鎌倉、桃山からなる三つの建物で遺されてゐるのであります。

## 三　醍醐寺の創立

それで先づ醍醐寺の塔と三寶院とを御話申上げるには最初に遡つて此の寺の創立の事から簡略に述べる必要があります。只今より一千五十六年前即ち貞觀十六年に理源大師聖寶の開基で、當寺は眞言宗醍醐派の總本山であります。

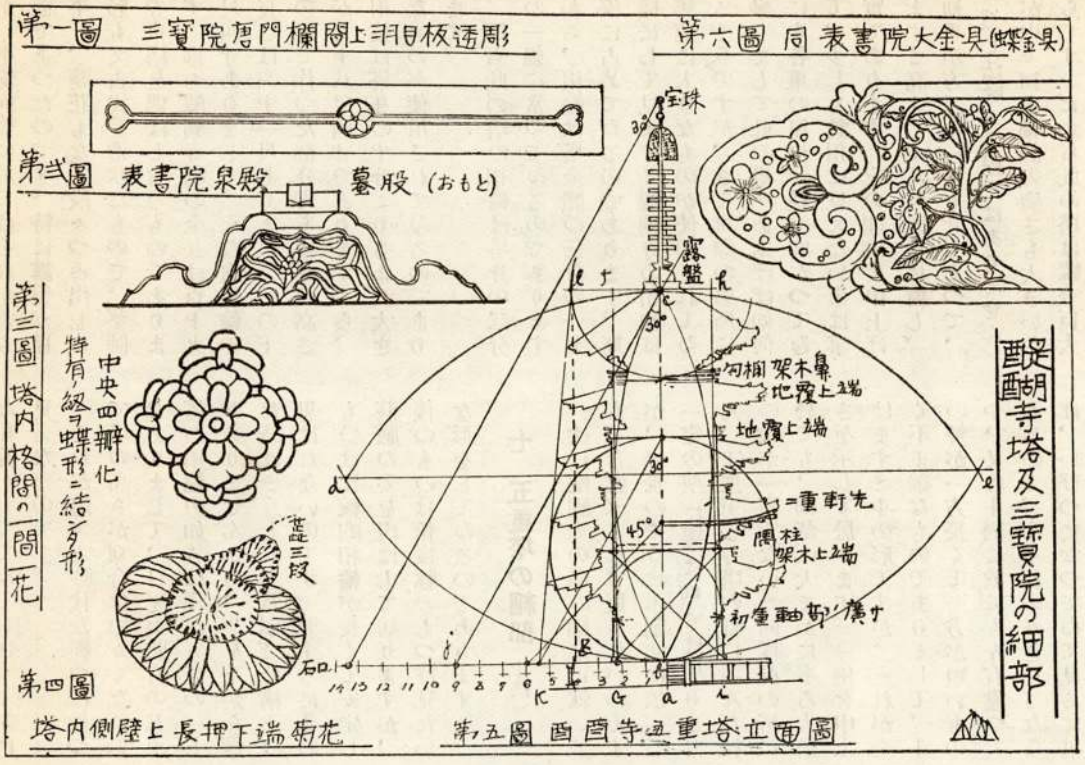
當初は完備した大伽藍であつたが、今は詳かでありません。古圖に據ると中門金堂の一劃内に鐘樓、經藏かあり、金堂の後ろに講堂、外に五重塔、法華堂、聖寶堂等が見えて居ります。永久三年勝覺が五門跡即ち三寶院、理性院、金剛院、無量壽院、報恩院を定め坊の數も四百以上もあつたとの事ですが、只今は僅に山下に五重塔と山上に藥師堂とが遺つてゐる丈で、他は皆煙滅して了つたのです。

## 四　五重塔の創立と修理

それで此の五重塔に就いて申上げますが、御手許に差上げた塔の圖版の中その眞中がそれであります。右の圖は室生寺五重塔でありまして、左が興福寺三重塔の立面と初層のプランであります。之等を比較して御覽になれば醍醐寺塔の時代の色彩がよく御分りになるだらうと思はれます。

醍醐寺の塔は記錄に依りますると、村上天皇の御勅願により承平六年に起工して天曆五年に竣工した事になつて居りますから其の間十五ケ年の長い歲月を要して漸く出來上つた事になります。それで今から九百九十三年前のものであります。斯樣に昔は相當立派な建築を作る時は永い年月をかけた樣で、決して樂なものではなかつたやうです。

只今は斯樣なものに對する專門家は、極めて少數なので尚更に日數を要します。さうしてビルヂングの樣な早いものが喜ばれる時代




なのです。

此の塔は木造でありますので、屢々修理を加へられて居りましたが、天正十三年十一月以降の地震で五重目が壞れ九輪が曲りました。以後そのまゝであつたのを正親町天皇が修理遊ばされ、次いで慶長三年秀吉が花見の宴を催すに際して正月から僅か三月間で大修理を施し舊體に復したのです。最近では明治三十年の修理で以て今日に至つたのですが、幸な事には樣式の壞れた所が、極めて少なくよく保存されて來たのであります。

## 五　五重塔の外觀と其の尺度

此の圖で御覽の通り此の塔は各重方三間、二重目以上は勾欄が附してありまして、中央は板扉・兩脇が壁、初重中の間出入口、脇の間は櫺子窓、枓栱三手先軒二重、肘木下端の曲線や斗の比が前代と頗る似たものが使用されて居ります。

そして上の相輪の勢が非常に高いのでありまして、他の二つの塔に比べたならば、此の塔の相輪が一番長い事に氣が付くでせう。

それから此の塔は室生の塔と同樣、各重軸部の廣さは上へ行くに從つて少さくなつて居ります。だから各重の落ち即ちその差は上の方へ行くに從つて甚しく大きくなつて居ります。今表に依つて之を現はしますと。

| 平面の差重 | 軸部廣 | 落ち |
|---|---|---|
| 初重―方<br>二重―方 | 一尺七寸<br>九尺六寸 | 二尺一寸 |
| 三重―方 | 一七尺四寸 | 二尺二寸 |
| 四重―方 | 一五尺一寸 | 二尺三寸 |
| 五重―方 | 一二尺六寸五分 | 二尺四寸五分 |

斯う云ふ事になりますので、つまり二重三重四重五重と上の方に行く程軸部の廣さが狹くなり、從つて其の差が大きいのです。

又軒高の落ちも上の方へ行くに從つて少さくなつてゐるのです。之れは形のよい塔を作成する時の參考となるのですから、これも表に作つて見ると

| 軒高の差 | 軒高 | 落ち |
|---|---|---|
| 初重<br>二重 | 十六尺七寸<br>三十尺一寸 | 十三尺四寸 |
| 三重 | 四十二尺七寸 | 十二尺六寸 |
| 四重 | 五十五尺〇寸 | 十二尺三寸 |
| 五重 | 六十六尺八寸 | 十一尺八寸 |

となります。

## 六　相輪と塔身の比例

次は相輪に就いてですが、先程申上げた樣に非常に大きいのです

が、平安前後に於てはそれが當り前であつたのです。特に露盤が扁平で、請花もなく段々つみ出しの形も又古式を帶びたもので、藥師寺東塔を偲ばしむるものであります。即ち醍醐寺塔の全長は百十九尺四寸ありまして、その內相輪の長さは四十一尺あります。その下の木で作つた部分即ち塔身の高さが七十八尺四寸でありますから、相輪は塔身の半分よりもまだ大きなものが使用されてゐるのであります。

即ち此の塔の相輪は塔身の二分の一強に當つてゐるのでありますから、相輪は塔全體の三分の一を優に占めてゐるのであります。斯樣にして見ますと醍醐寺の相輪は馬鹿に大きなものが使用されてゐるやうですが、さて實際の場所に參りまして此の塔をあふげば如何にも各重の屋根が緩く廣がつてゐて、少しも貧相に見えない事は事實であります。その理由を申上げますと高さ七十八尺四寸に對し、初重が方二十一尺七寸もあつて、(然し法隆寺塔程ではありません)が中々初重軸部の廣さも大きいからです。だから此の塔は縱令巨大な相輪がにつてゐても何も不安に見えないのです。

それが追々と時代が經つに從つて塔の高さが割合に短かくなるのでありまして、日光東照宮の五重塔の相輪の如きは僅か五分の一しかありませんから、之を下から觀た時はどうしても貧弱で結構とは思はれないのです。要するに昔のものは比較的相輪が長くて安定し莊嚴の姿を現はして居りますが、後のものは恰度豚のしつぽ見たいな形をしてゐるのであります。

## 七 五重塔の細部(斗拱)

次に醍醐寺の塔の細部に就いても一言述べさして貰ひたいのですが、後世のやうに木割法に依つて一定の型に捉はれては居りません。丁度現生寺塔の軒に並んだ棰の數が一樣でないと同樣此の塔に於ても、細部は大まかに寧ろ大膽さを示して居ります。一例を申上けますと斗の形ですが、それが全く不正確なものでありまして、斗の勢が一方長くて一方が短いものや、又は斗繰に於ても左右違つてゐるので、斗それのみを見るならば、いびつになつてゐて見るに堪えんものでありますが、頓着なく平氣で使用されてゐるのです。

だから此の時代は人目を惹かぬあまり細かい所には念を入れずに寧ろ全體の形と云ふものに對して細心の注意を拂つたやうで、後世に於ける建方とはまるで反對であつたとも云ひ得るのです。それで後世のものは凡てが几帳面に造られましたが、さて之を全體の形として見るならば、新たに發明された木割法にのみ盲從して、之れで屋根の上までグン〳〵と押して行くのですから、全く手の付けやうのないものが出來上つて了つたのです。

それから斗の形に於てもよく時代を現はしてゐまして、醍醐の塔の斗は幅十に對して高さが、七・五の割合となつて居りますから、よく此の時代に當て嵌つて居ります。それが時代が後になると斗の勢が低くなり、鎌倉以後は著しく低くなつて了ふのです。遡つて奈良時代のものになると八より五位の所になりますから、要するに平安時代に於ける斗の勢は一番高い形のものが使用されたことになります。

## 八 求めんとする塔の姿態(第五圖參照)

それからも一つ此の塔で申上げたい事は、如何すれば此の塔のやうなよろしい形を求める事が出來るかと云ふ事です。それで種々と考へた結果斯樣な線を引いて行けばこの線が塔の要所を通過してゐる事に御注意を願ひたいのです。

今其の方法を申し上げますと、先づ最初塔の心柱眞々に當る所へ中心線aを引き、bcを半徑としbを中心として半圓を畫き、同樣cを中心として半圓を畫き、其の交點d點E點を結びつけると、三重目の道肘木の上端を通過して居ります。

次にdc及ecを半徑としd及eを中心として圓弧を畫く時はその二つの圓弧はb點c點に於て交ります。そして二つの圓弧に接線FGとshiの接線を引けば、太拵の隈柱は此の內に這入つて了ふのですが、醍醐寺塔の場合はさうでなくして、接線が二重目の隅柱の外側を包んでゐるのですから、初重軸部の廣さは餘程大きなものである事が分るのです。

そうしてそれと同時に此の接線

が五重目の勾欄架木鼻の組んだ其中心を通過して居のであります。

更に露盤下部の中央C點より三十度の線を引ひて石口を通る水平線即ちGi線上に交らしめjを求めその間を九等分致します。

又軒先を連ねた斜線は五、六の間を通るのであります。四重目勾欄地覆上端より塔婆の中心を通る垂直線に三十度に引ひた斜線は又k點と合して居ります。

更に初重の柱の外側に正方形を畫くと初重架木の上端を通過し、もう一つその上に正方形を畫くと四重目の勾欄の地覆の上端が求められ、さうして前の三十度の線と之が一致すると云ふ面白い結果を求める事が出來るのであります。

更に二重目軒先中心から心柱垂線に四十五度の線を引くと、石口水平線の六等分の所を通ります。

寶珠より三十度の斜線を引くと十三と十四との間を通りますのでこれで塔の形に於ける必要な個所は何れになるかゞ分るのであります。故に塔を新たに設計する時、此の方法を參考とすれば大體の見當が早く付くので、其の結果は相當恰好のよい塔が割出されて來るのであります。

## 九　初重内部の莊嚴裝飾

次に此の塔の初重内部の莊嚴裝飾は中々名高いものでありますから、爰に申上げます。内部の裝飾は別に天曆のものとして確證はありませんが、之を仔細に觀察致しますと、樣式手法が平安初期から後期に至るその過度時代を示して居りますもので、之等の裝飾が幸にも創建當初の儘によく保存されて居るのであります。

それでこれから塔の初層内部の裝飾に就いて申上げるのですが、此の塔と餘り時代の變らぬ宇治の平等院鳳凰堂の裝飾と比較すればよく御分りになる事と思つて、之等の複寫を持參致した次第であります。之等は何れも實物の通り彩色を施したので、御覽の通り實に美しいもので、實物は之で以て堂の中に滿ちてゐるのでありますから、醍醐寺塔も鳳凰堂も何れ劣らぬ立派な眺めであります。

## 一〇　心柱覆板に畫かれた塔の圖

それで此の塔の内部に裝飾されてゐる所は、心柱覆の板、四天柱(後補の爲素木)を初め長押その下の羽目、無目、幣軸、方立、側柱、扉から天井に至る迄隨所極彩色を以て、佛菩薩、唐草唐花蓮花文樣等が畫かれて居りますので、當時の莊嚴威容を髣髴せしむるものがあります。

特に注目すべきものは塔の心柱の覆の板に畫かれてゐる塔の圖であります。たしか北側の下の方であつたらうと思つてゐますが、それが平安獨特の單層塔で、斯樣なものは只今實物では見る事の出來ないものであります。先づ圖に依つて塔の上の方から見ますると相輪の頂には幾つも圓い塊が畫かれて居ります。これは多分寶珠と三重から成る蓮花を現はしたものでせうか、或は寶珠の周圍より立のぼる焰の有樣を現はしたものかも知れません。其の下に莖生と同じ樣な天蓋が描かれてゐるのは時代の共通を物語るものであります。

然しその下の寶瓶は判然と畫かれては居りません。更にその下の九輪は九つではなくして多分七つであつたらうと思ひますが、これは當麻寺塔が八個ですから一つ少ない譯であります。そして屋根の勾配が極めて緩かで、軒先が一直線でなく、波形をなしてゐる事も注意すべき一つであつて、斯樣な屋根は他に經卷などにも畫かれてゐるのですから、此の時分は相當あつたと見做すべきであります。

斯樣な屋根は最初から造つたものではなくして、多分當時の軒の出が非常に長かつた爲に、自然と軒先が下つて斯樣に inflection をなしたもので、それを佛師が忠實にありの儘を畫いたのでせう。

屋根下には勾欄を載せた龜腹が畫かれて居りますが(之れも普通の多寶塔は勾欄と龜腹の間に腰屋根が附加されてゐるのですが)之れも當代に於ける特徴であつて、彼の高野山の大塔や、瑜祇塔も斯樣な形をなしてゐたのでせう。

其下の兩端には金剛杵(こんごうしょ) thunder bolt が畫かれて居ります。金剛杵は即ち佛教徒に於ける唯一の武器でありまして、よく弘法大師の圖にこんな手つきして胸のあたりで持つてゐる—あれが金剛杵であります。そして更に塔全部が蓮花の上に載つてゐるのでありまして、佛師の手に依つて畫かれたものとしては、比較的正確に當時の塔の形を畫いてゐるのであります。只今は餘程消えかゝつて居りますから懷中電燈でも用意して見なければ分りません。(未完)



# アパートメントハウスの實例 (3)

工學士 葛野壯一郎

第十九圖に示すものは、今までのものとは全然違つた考へ方によつて出來て居ります。それは住宅としては、其目的に應じて各室を區分するのがよいといふ主張のもとに、借主の必要と希望に應じて便宜間仕切を變化して行かうといふので有ります。則ち圖にみらるゝやうに各一戸分の隔壁と階段室浴室、臺所の壁だけを固定壁とし、其他の間仕切は特種の考案になる移動壁を幾つかづゝ臨機組合せる事によつて、間取りに種々の變化が得られるやうになつて居ります。勿論變化といつても或程度のものであつて、多數借主の要求に凡て應ずるといふ譯には行きますまいし、且つ其仕切が假設である爲め丁度日本室に置敷居をして臨時に仕切つたやうな不充分な點も有るでは有りませうが、何の家も一定のきまり切つた間取のものに比べて相當便利な點も認められます。此方法は吾が邦のものに應用して相當面白い結果が得られやしないかと考へられます。

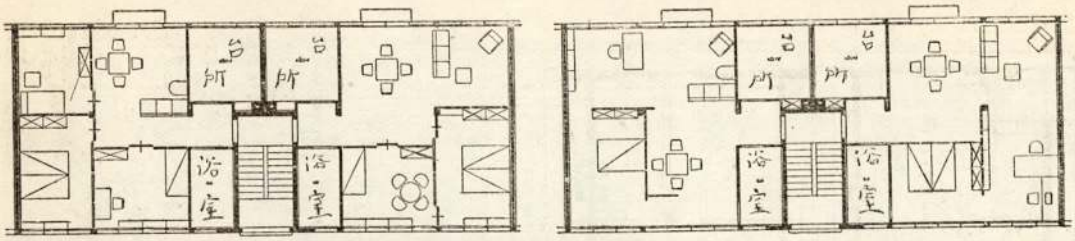
第二十圖は前例の景觀です。

第二十一圖はロンドン市ベーカーステーションに出來たチルターンコートで、英國に於る最近のものの一つで有ります。三室のバチエロア・フラットから十室のマンション・フラット迄合計百八十組を納め、外に大きな料理店が附屬せられて居るといふ事です。中廊下で左右に各戸を配して居りますが、此案の變つた點は中廊下のうつとうしさを避けるために、其左右に各中庭を設けて採光通風を便にして居る事です。かうすれば非常に明るく萬事都合がよいには相違ありませんがぜいたくは免れません。全體として暖房裝置のある他に各室にファイアプレースを設けて、石炭でも瓦斯でも自由に焚けるやうにしてある點なぞも英國流でせう。家賃は最低年額二百五十ポンドから最高一千ポンドとあり、圖に示すものは年額三百ポンドのものださうです。日本風に計算すると一坪當り十圓以上に相當し、吾が邦に於ける普通の貸事務所と殆んど同じやうな割合になつて居るやうに見受けられます。

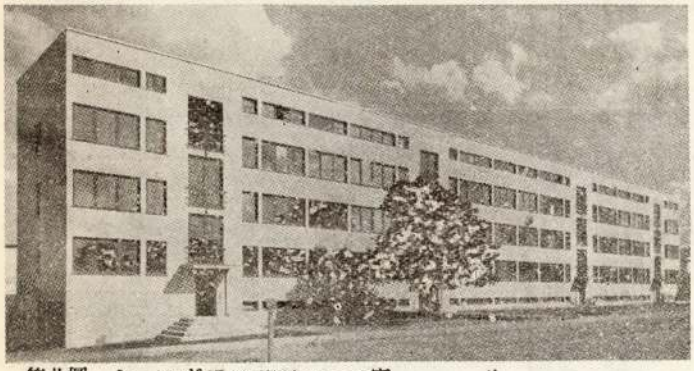
第二十二圖はロツテルダムに於けるエム・ブリンクマン氏設計のもので、各戸が共通の入口階段によらずして、獨自の出入口から直接街路に通るといふ特色を有つたもので有ります。つまり單獨の借家を便利に堆積したといふ形になつて居ります。四階建で二百六十二戸と有ります。此案によると各戸は居室、臺所の他に寢室三室を具へ、其各戸の入口が一階の分が(イ)、二階の分が(ロ)、三階には(ハ)のガレリーが有つて各其ガレリーに面して入口を設け、大階段によつて直ちに街路に通ずる事になつて居ります。三階の分では云はゞ二階建長屋式になつて、各戸の下階には居室と臺所、上階即ち四階に各獨立の階段によつて三個の寢室に通じて居ります。即ち各戸が直接街路に通ずる出入口を具へて、隣家に煩はされず普通の貸家に住むと全く同樣の氣持を以て居住することが出來るので有ります。兎角パブリツクの觀念の乏しい共同的に進歩しない吾邦人向にも、或は斯うした案が最も相應しいのでは無いかと思はれます。此案は三階に大きなガレリーを持つところから、ガレリー・パウと呼ばれて居ります。

第二十三圖は前例の中庭側から觀た景觀であります。

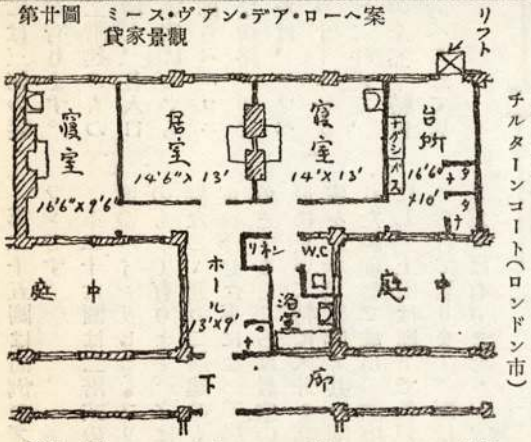
第二十四圖はロンドンに於ける一例でハーリー・バーン及びダブリユ・アール・ダヴイツヂ兩氏の案ステフネーハウスと呼ばれるもので有ります。此案は全部が二階建式のもののみにとなつて居るところに特色があり、總高さ十層を五つに分け、各ガレリーによつて二階建の小住宅を五組つみ重ねた形となつて居ります。プランは下階に階段室廣間、居室、臺所、ロジ



第十九圖　ミース・ヴアン・デア・ローヘ案貸家詳細平面(スタツトガルト)

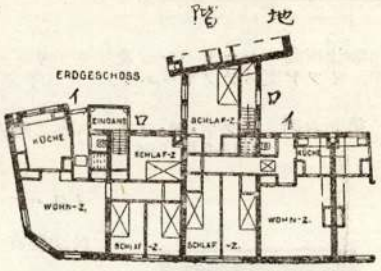


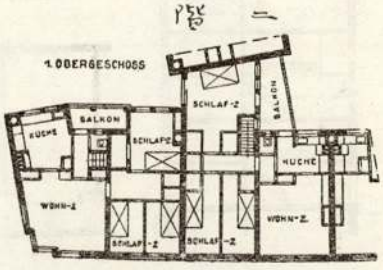
第廿圖　ミース・ヴアン・デア・ローヘ案貸家景觀

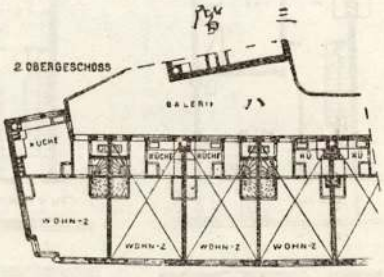


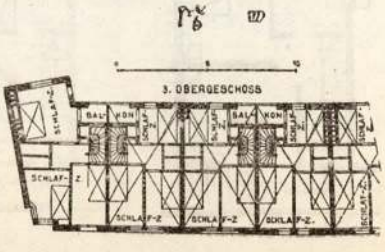

第廿一圖　チルターンコート(ロンドン市)

第廿二圖　エム・ブリンクマン案ガレリーバウ(ロツテルダム)

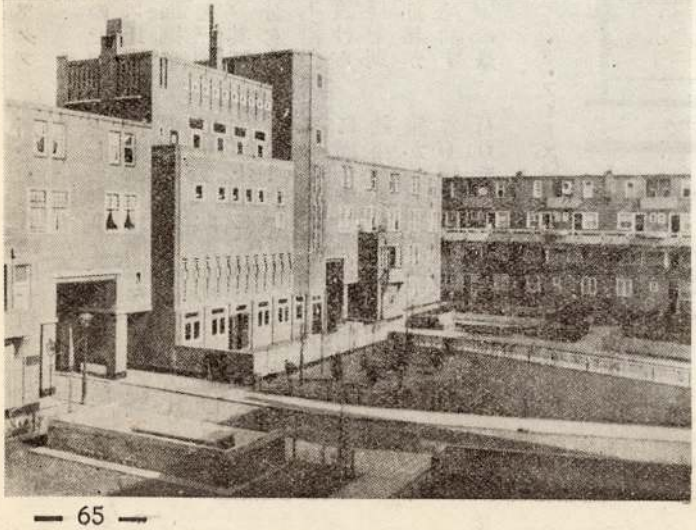


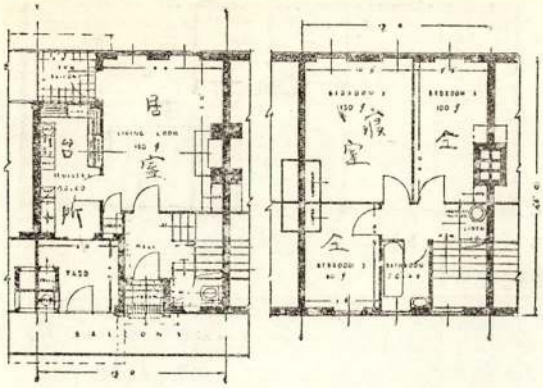



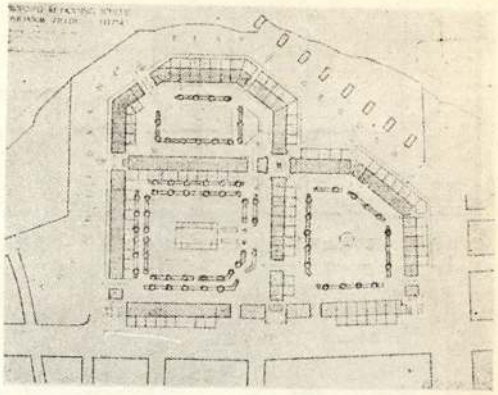




第廿三圖　エム・ブリンクマン案ガレリーバウ景觀



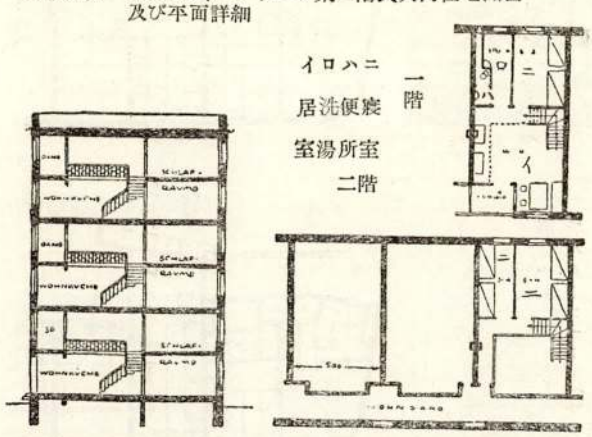


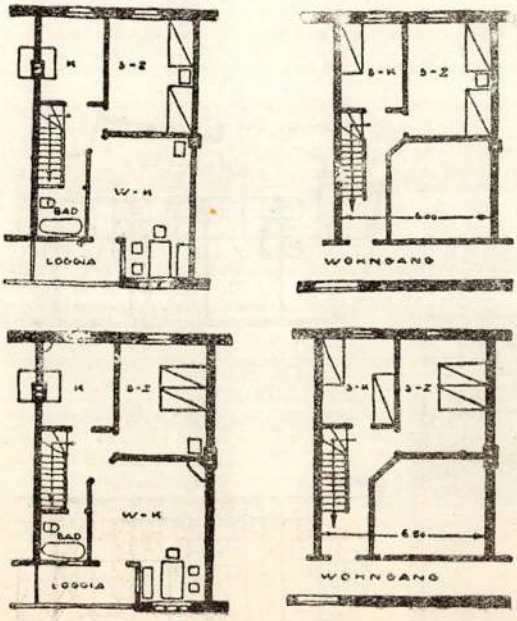
第廿四圖　ハーリバーン及びダブリユー・アール・ダヴイツヂ案ステフネーハウス(ロンドン市)詳細平面



第廿五圖　エツチ・バーン及びダブリユー・アール・ダヴイツヂ案ステフネーハウス配置圖

第廿六圖　エツチ・ド・フリース案二階式共同住宅斷面及び平面詳細




第廿七圖　エツチ・ド・フリース案二階式共同住宅詳細平面

アを具へ上階には三個の寢室と浴室便所が有ります。かういふ風に二階建のものを幾戸にも堆積し、各入口を獨立して中庭側にめぐらせるガレリー即ちバルコニーによつて直接街路に通ぜしめるやりかたは、ドツペルストツク・ウオーヌンゲン（重層住宅）と呼んで、共同住宅形式の全然一特色をなすものと考へられて居ります。

第二十五圖は前例のブロックプランです。

第二十六圖は二階式のもので獨逸のハインリヒ・ド・フリース氏案のもので有ります。之は斷面圖に觀なるゝ通り二階建のものを三組重ね合せた事になつて居り、其特色とするところは居室の部分を上層に貫いて特に天井を高くし階段室を兼ね、臺所も其一隅に設けられた調理臺で兼用、洗場だけを別にし、上階は廊下で各戸の連絡がとられて居ります。面積を節約する爲では有りませうが、居室に臺所を兼ねるのは一利一害と思はれます。尤もかうした居住者の一般として食事を全く外の場所でとり住宅内では簡單な朝食とか茶の仕度位に止めるには是れで充分なのでせう。此案では寢室を下階に一室、上階に二室づつて居ります。

第二十七圖はやはりエツチ・ド・フリース氏の案で、前例の一變化に過ぎませんが、これでは多少の餘裕があり臺所と階段室を全然居室から獨立させて居ります。これならば何等苦情なしに住へる譯で有りませう。（未完）

# 飛行機より見たる建築と社會（六）

## 7 結論

下浦光衛

### 十二 結論

現代人の著しい缺陷は、思想的病弱者の多い事である。殊に之等の病弱者の殆んど全部が神經衰弱にかゝつて居る事である。然かも此症狀は、科化萬能物質崇拜から求めて得ざるの苦しみに禍せられたのと、靜思するの閑なく、雜音搔音で以て身心の統一を失つたのが最大原因である。勿論日本人が物質萬能に宗旨替へをするに至つたのには、大きな理由がある。即ち浦賀灣頭に於ける、ペルリの大砲一發に依つて、門戸開放以來、歐米幾百年間に築き上げたる文明を僅か六十年間に完成したための過勞である。過度期に於ては、之も或は已むを得ない事であるかも知らないが、然し取り入れる事のみに急であつた爲、忘る可からざる大切な物を忘れてしまつたのではあるまいか、德川時代の日本人は井戸の蛙大海知らずであつたのが、明治大正を通じて、井戸の蛙大海を知つて、井戸を忘れたる形になつたのである。云ひ替へますと、外國を知つて、我國を忘れたと云ふのである。已れを知らない程、始末の惡い者はない。之が即ち本末顚倒の思想と云ふのである。殊に昭和に入つてから一層此種思想の持主が激增した樣に思はれる節が多いのであります。其優たる者は

**女は男たらんとし**　男は女たらんとする傾向であります。男女本來の面目は、男は男らしく、女は女らしくするにある。然るに折角美しくのびた、黑髮を燒小手でウエーブとか、ボリユートを作つて柔か味を失ひ、或は斷髮して變態姿となり、短いスカートに薄靴下、甚だしいのになると、髮を赤く染めて外國種氣取つて居る。社交だ運動だと云つて、內を外にして、まるで家鴨の樣に子供なんかも產みつ放しである。大した種でもないのに、優良種が出來ないのも當然の事である。男女同權だ職業婦人の道を開けとか、いやはや御話にならぬ。親が親なら此節の女兒は行儀が滅法惡い。家庭に居ても西洋和製を混用して、雌やら雄やら見分けの付かぬ振をする。其結果段々哺乳不能症と云ふ厄介な、或は良妻なるかも知らぬ、愚母共が年と共に增加しつゝある、男子にしても、又然りである。電車の中と云はず、汽車と云はず、洋服の一つも着込んで目に文字あり知識ある者だと、顏面蒼白か然らざれば、女の出來そこない見たいなからきし元氣のない手合が多い。之ではいざ鎌倉と云ふ時に、何が出來る。宜しく男は男らしく、女は女らしく、あり度い者である。

以下二三の例を揚げて識者の注意を促し度いと思ふのである。

**建築技術**　に於ても、本末を轉倒せる例は少くない。即ち其一例は設計家が家屋の設計に當りましても、必要から建築をする事を忘れ外觀なり或は、圖案の爲めに建築又は裝飾をして居るかの如き現狀である。一建築の設計に當りましても、其建築本來の目的を忘れ、何でも彼でも新機軸を見出ださんとする結果、飛んでもない變手古な物を案出する事になる。壁仕上げにしても、あゝでもない、斯ふでもない、何か知らず外にない變つた物をして見度いと云ふ念願で、角を撓めて角を折る樣な事を存外平氣でやつて居る。藝術も技術もあつたものでない。新らしいのだと云つて、無暗と柱やストーブの前飾に、三角や四角の木を打ち付けて得意然として居る。斯んなやつを喜んで賴む資本家もあるのが面白い。今日の如き、經濟建築に於ては、技術家は、宜しく建築本來の必要を基調とした設計をせなければ、國民經濟が益々不安定になる。現今やゝもすると、建築を

**藝術呼はり**　するが、思想的方

面から見ても、將又、生活方面から見ましても、遺憾ながら美術建築と云ふ程の物もなく又藝術家たる資格を有する者も極めて稀である、と云ふ程物慾に執着が多い。此執着に捕はれた、あぶなかしい藝術觀念あるがために、材料の選定を過まり、或はくだらない不規則な曲線を亂用して、徒らに多額の費用を投ぜしめる場合が極めて多いのである。眞に今日は藝術家氣取を止めて、設計も施工も、本來の面目を自覺して、努力すべき大切な時代ではありますまいか、如何に熱心でも眞劍でも、

**本末顚倒の** 思想では理想を實現化する事は出來ないのである。其第二例は、教育家である。小學中學校は勿論、高等、大學の教育家に至るまで、本末顚倒の教育をして居る樣である。凡そ教育本來の目的は、人物を作るにあつて、其の本質は學業の成績でなく、天賦の才能を伸ばし、個性の完成を期するにある。試驗の如きも平常訓育した結果が如何なる程度にあるやの試驗である。然るに近來は、あれも必要之れも必要で、まるで學問攻めにでもする樣に學科を增加し、試驗のための試驗であり、教育であるかの如く考へ、滿點をとらせ、型にはまつた機械的人間に仕上げる樣な愚かしい事を敢てして居るのに驚くのである。要は確乎たる精神の働きである。善良なる國民たり臣民たる人間を作るのか、教育家本來の責任ではないか、教育家たり、先輩たる者宜しく自覺して、子弟の教育に心を用ひねば眞の精華はあがる者ではない。近來流行いたします運動競技の如きも、如何に教育家が本末を顚倒せるかを、證明づける有力なる一例である。元來運動なるものは

**精神の圓滿** なる發達を促すための肉體の動作である。つまり心身統一の目的に外ならないのである。故に勉强の餘暇家庭に於ける家事の手傳即ち草抜き、掃除等あらゆる仕事は、立派な運動の目的を達し得るものである。然るに家庭內に於ては、靴磨きは勿論、自分の身の廻りの事すら、全部女中雇人まかせになし、横のものを縦にすら、爲ないで居て、ユニフオームを着け、ラケツト又はバツトを振り或は幾十里も遠隔の地にスキーと出掛けるのを以て運動の如く心得て居る。教師は勿論、兩親も世間も、別に不思議に思つて居ない樣である。殊に甚だしいのになると、千メートル以下の登山にも、ゲートル掛けで腰に麻繩の二十尺も卷き、大きな袋を脊負ひ、樫の六尺棒を振り廻し、物々しい事夥しい。小さい運動具店の引越位いの雜作を平氣でやつて居る。何事をしても道具建てに浮身をやつして居るのが現代人の通弊である。此寒空に身にまとふ着物さへない貧困者の多い時代に、有產階級の者が、如何に衣食に不自由がないからと申しながら、餘り物々しいスタイルをして、スキーだスケートだと無遠慮に振舞ふ事は、社會問題として大いに考慮を要する事ではあるまいか。尤も現代の有產者が一々自覺して、賢明なる子供ばかり育てられては、貧乏人が浮ぶ瀨がなくなる。此意味から申しますと、筆者必ずしも不平の必要はない譯である。が然し中產以上の階級者が、自己の有する財產を自分等の私慾を滿足するためのみに、費やすと云ふ間違つた思想が國家將來に及ぼす影響が頗る憂慮せられるのであります。

近來運動が極端なる發展を來たしたため、單に學校內の體育とか運動から突出して、對抗競技に無中になつて居る樣である。從つて學校は人物、學力等に依る聲價よりも競技に依る聲價を得る事にのみ浮身をやつして居る。斯くては校名も運動學校とか、野球選手養生所とか改める必要がありはせぬか。教育家の猛省を敢て促がす次第である。其第三例は

**醫者、僧侶** である。世人は勿論醫者も僧侶自身も、病人を診察して病を治し、僧侶は經を讀み、死者に印導を渡し、布施を貰ふのが本來の面目と思つて居る樣である。醫者本來の任務は、人類をして病にかゝらしめないのが主たる目的であつて、病を治す事は從たるものである。然るに此見易き面目を忘れ徒らに、稱號慾などに捕はれ人間に緣遠い蛙やモルモツトなどを切開したり注射をして、博士の稱號を得んものと、無中になつて居る。尤も世間が博士と名稱さへあれば、一回の往診に五十圓百圓と云ふ金を、惜しげもなく出すから、醫者が博士を取るために

あらゆる努力を拂つて、論文に力を費すのは當然の事である。百圓の往診料、よく病を治せば誠に御安いものであるが、大低は淵川に投じたも同じ事である。特に甚だしいのになると、山師の如く、若返法てなことを眞面目で發表して居る。茶瓶頭や白髪婆までが隨分澤山に千金を惜まず投じて、樣々の注射をしたこの事であるが、然し、考へて貰い度い。如何に科學でも、醫學でも、生物哲學上、老人が若返つたり、何時まで經つても、年を取らないと云ふ事は、御日樣が西から出ない以上、不可能な事に屬するのである。健康、長壽法はある程度までなし能ふ事であるが、順次亡び行くのが當然である。近代人が如何に、人生に對する解釋を過つて居るかは、此一例に依つても明かな事である。又僧侶にいたしましても、自己が專門的に體得したる人格なり眞理を世人に傳導するのが本務であらねばならぬ。又死者に引導渡すにしても、其周圍の人に

**無情の風**　は時をきらはないから、明日こ云はず一生懸命善根を施せ、然らざれば、此死者の如くなつては最早何事も出來ぬぞよこ說教をして居る事を僧侶自身も周圍の人も知らずに、死人に引導を渡すのだと思つて居る。勿論一面に於て、死者の靈を慰むるために讀經はするが、之は要するに從たる目的である。之は單に佛教のみでなく、新らしいと云ふ基督教者にも、本末を顚倒せる者が極めて多い樣である。つまらぬ、勝手な規則を拵へて、極めて窮屈な事を以て自らを僅かに慰めて居るこ云ふ愚かしい者も多いのである。例へば、禁酒禁煙を、至上の法則こ考へ、日曜日に休み教會に行き聖書を讀み、讃美歌を高唱するにあらされば、人世は價値なきものゝ如く信仰して居るのが近代的傾向である。而して之を理想論かと云ふに決して理想にあらず。感情論より來たものである。禁酒禁煙勿論奬勵すべき事にあらずこ雖も必ずしも、適量に於て有害にあらず、然らば之等信仰者が推奬する牛豚肉は、身體の榮養なるやこ云ふに決して然らずである。肉食動物の如く、然かも第三期物質分解の腐敗に入れる牛豚肉を無暗に食ふ事は、中年後に血液硬化症を起す原因となる。禁煙禁酒を說く者何故に牛豚肉の禁食を主張せざるや、畢竟自己の好まざる所之を他人に强ゆると云ふ感情論である。日曜休日の如きも、理想としては誠に結構な事であり、斯くあり度きものであるが、然し之も要するに生活の安定を保證されて居る一部分の人の夢であり、寢言であるに過ぎない。諺にも衣食足りて禮節を知るこ云ふが誠に道理である。明日食ふべき糧もなき者が、終日神に祈りを捧げるこも、一切のパンも與へられる譯のものではない。天は自ら助くる者を助くと云ふにあらずや。降つても照つても他人に迷惑を掛けない樣に

**一心不亂に**　己が業を勵むのが即ち眞の信仰である。敢て一日の休みを求め聖書を讀むの必要何れにあるや、要は各自が其業を究め世を益するのが最大目的である。其日其場所、其事に於てする事一つ一つが信仰でなければ、何の益かあらん。然るに近來、富の程度、習慣の異なる外國の其まゝを採用し、徒らに形式に拘はれ、自らの業を養ふ事極めてルーズにして、何れが專門なるやを疑はしむるが如き徒輩の多いのは、國家のために悲むものである。幼少の頃から專門に宗教を研究してすら、名をなす程の者は出ないではないか。之は單に右に述べました者のみではない。あらゆる職業の上に顯はれた著しい現象であります。汽車の中に於てもはた又、電車の中に於ても、或者は、バクテリヤを非常に懼れてマスクと云ふ變な者を口に揮して居るかこ思ふこ、片方では、遠慮もなく紳士と云ふ洋服を着た動物が靑痰を床にはいて、靴でこする直ちに埃こなつて飛ぶと云ふ有樣である。山間の一人暮しと、文化の密集生活をごた混ぜにしたのが現代の文化である。筆者は飛行機上から見た現代社會も建築を極めて無遠慮に記述しましたが、要するに

**結論として**　現代人が本末顚倒のあやまれる生活をして居る事を述べ、識者の蹶起を促さんがために外ならないのである。眞に現代人は、井戸の蛙が大海を知つた、つまり非常な物識りになつたのである。が然し生れ故郷の井戸を忘

れ、國體を忘れて居る。萬能萬口に食はず、理屈が多くて働きが無く、夫れで居て他人の寶を數へて見たがる。本能生活にあらざれば凝心生活か感情生活か、或は理性生活である。眞の自覺生活者の餘りに少ないのに驚くのである。要するに過度期に於ける物質文明の餘弊から生じた本末顚倒即ち

**心身の統一**　を缺いだ結果である。今や世界各國何れも、右手に爆彈をかざし左手に平和を高唱して居る極めて危險な時代にある。外來思想に禍せられて、やゝもすると大和民族本來の大精神を忘却せんとする傾向にある。徒らに文化に亂醉すべき時にあらず、君國益々多事ならんとする際、拙文を振るつて君國の爲め御努力を願ふ次第である。此所まで夢中に觀察して居た折も折突風のため機は急轉直下を初めてしまつたと思つた刹那巧妙な方向轉換で建築と社會と云ふ大きな事業(地形)の上に着陸し、ほつと目が覺めたら夢であつた。あゝ善かつた、夢であれ夢であれ、我建築界だけには夢の樣な現實がない事を、耳を覆ふて聞かざらん事を願ふものである。堅實なる文化建設のため、健全なる建築の發展を心から願ふや切なるものがある。

最後に大切な紙面を永い間けがしました事を深く御わびを申上ます。(了)



**美の街路**
**園庭と園**

上・獨逸マンハイム市廣場ヒフリードリツヒ

下・羅馬ボルゲーゼ莊園



誌上講座

# 建築工事の勘定と事務 (5)

由良基夫
中島智喜

## 第九章 得意先勘定

**總額契約** Lunpsum Contract (一式請負) 得意先との勘定が總額契約に依るものは其取扱が比較的簡單である。總額契約に於ける中間拂は普通設計者側の見積査定を標準とするものであるから一般に得意先より收得し得べき金額は工事費の實際支拂高以内に限られるもので其れ確なる決定額と云ふも單に原價計算の項に述べたる見積の範圍を出づるものではない。

契約額が正當なもので設計者が經驗ある人なれば見積査定以上の金額を得る可能性がある。併し一般には人情として工事費の實際支拂高を參考とし注意して少なく見積査定をするものである。

工事の初期に於ける見積査定額は一般に過大に失する場合があり往々請負人をして急速に利益を得つゝあるが如き感を與へ結局工事終了の時に至つて豫期に反せる失望の念を抱かしめることがある。

一般に總額契約に於ける中間の支拂金額は毎月又は半月毎に要せる各工事費及び入場材料代金合計の八十五パーセントである。工事竣工の時は契約金額の九十パーセント迄支拂を受け殘餘の十パーセントは保留期間の內得意先が支拂を差控へるのである。この保留期間は各州に依り異るが凡そ三十日以上九十日位である。

官廳工事に在つては支拂金は八十パーセントの事がある。又或るものは材料が入場しても取付を了せない間は支拂金の計算に入れないことがある。この事に對しては種々法律上の議論もあるのであるが結局請負人は資金を多額に要し且固定せしめる結果當然建築費を高めることになるものと見られる。

設計者より支拂承認書を受理した時は(借方)得意先勘定(貸方)請負金勘定の仕譯を行ふ、又請求金を收入した時は(貸方)得意先勘定(借方)現金勘定として整理する。別に備忘帳を設けて(これは元帳と云ふ程のものでない)契約金額、臨時工事、控除金等を記錄することが必要である。この帳簿は設計者より支拂承認書を受理する毎に對照し常に設計者側の計算と一致する樣にして置かねばならない。此帳簿に於ける臨時工事の各項目は臨時工事勘定に用ふるものと同一の番號及び名稱を使用することが必要である。

時により例へば小住宅の如きものは支拂の時日及び金額を契約書に定めて置く場合がある。即ち基礎工事完成の時幾何、窓枠取付終了の時幾何等と定めるのである。計算の方法は前と異る所なく唯支拂見積査定額の代りに規定金額を記入する迄に過ぎない。

**手間請負契約** Jobbing Contract 手間請負契約に於ては勞銀を一定率又は各種の率に基づき計算し材料は實費を請求するものである。從つて入場材料に對しては送り狀を得意先に發送し且入場材料明細書は照合をなし得る樣詳細に記述すべきである。工事費請求書の總

額は凡て得意先勘定の借方及び請負工事勘定の貸方に記入する。請負工事勘定の借方及び仕入帳の借方は何れも契約の實費總額を示すものであるから請負勘定に於ける貸方超過額は利益を表はすものである。

**實費報酬加算式施工契約** Percentage and Cost-plus Contract 實費報酬加算式施工契約に在りては得意先は各工事費の支拂認票に對し承認を與ふる權利がある。併し請負人が得意先より支拂を受くるに先だち工事の支拂をなす事は咎むべきことでないとされて居る。時としては得意先が工事實費の償還をなす際前回の償還濟の支拂認票を要求することがある。實費報酬加算式施工契約に於ける工事費の計算には送り狀、賃銀支拂表及び其他の經費に對する支拂認票を仕入帳の記錄をした後一括して工事名を記せる綴込み又は袋に保管する。これ等書類の複寫は必ず事務所の一般事務用書類と共に綴込まれる。

工事費請求の時は一切の書類を賃銀支拂表、經費報告及び送り狀等に分類して送り狀の書式に記載し共合計に契約に依る一定比率又は定額の報酬金を加算する。此總計が得意先より受取るべき金額である。請求書は凡て支拂認票を添付し契約に定むる設計者又は得意先に提出して承認を求める。

此場合得意先勘定(借方)及び請負勘定(貸方)請求額を記錄するのである。

## 第十章　假拂及び預り金勘定

**現場準備金**　本店と離れ遠隔の地にて工事をするものは其地方に於て支拂ふべき運賃、馬車賃或は職工賃銀等の如きものに對しては相當の現場準備金を備ふる必要がある。

此等に關する最も便利なる取扱方法は工事主任又は地方代表員に對し一定額の準備金を委託し地方の狀況に應じ手許金又は銀行預金となし置くことである。每週一回代表員は出納報告を本店に送附し準備金の用途を明示し且如何なる勘定に屬するかを分類するものとする。而して本店にては之により適當の勘定科目又は仕入帳に其の記帳をなす之に對し同額を準備金の保管者人名勘定の貸方に記帳する。然る後出來得る限り迅速に支拂額と同額の小切手を發行補塡すべきである。此場合(貸方)現金勘定(借方)保管者人名勘定の仕譯を行ふ。斯くの如くする時は人名勘定は常に當初と同一の準備金を維持する事となる。此方法では勘定を精算するに至る迄常に準備金保管者は本店帳簿に於る自己の勘定の狀態を承知する事が出來るのである。此と同じ方法が社用によつて常に旅行する必要ある人々の場合にも用ひられて居る。

**給料勘定**　株式會社に於ては會社の常務に携はる重役は給料制度によるのが普通である。故に給料支拂日に給料の全額を支拂ふ場合には給料勘定に其金額を入れゝば良いので至極簡單である。給料勘定は一般社員の給料をも包含するものである。即ち給料支拂表を作成し合計金額を現金勘定で引出し之を貸方に記入し同時に給料勘定の借方へ記入する、然る後給料勘定を販賣費、作業費及び營業費に分類振替をする。實際は現金勘定に對し直接種々の勘定の借方へ記錄するのであるが給料の合計額を知る必要があるので一應給料勘定を起すことになつて居る。

支拂日に金額を引出さない時には元帳の各個人の勘定を開き支拂日每に、給料額を貸方欄へ記入し支拂をした時に其金額を借方へ記載する。勿論之に對する相手勘定の記帳は他例と同樣にせねばならない。

個人又は合資經營の場合には經營主の引出す金は特別の場合を除き利益金又は豫定利益金中より引出しをなすものとし給料とは考へない斯る場合には經營主に對する個人勘定を開き引出金は凡て此勘定借方に記入する。而して會計年度の終りに利益額を決算し之が分配額を決定し之を各個人勘定の貸方へ記入する。而して此場合貸方に剩餘金を生ずる場合には之を直ちに引出すか又は其儘繰越すかは其時の都合に依つて決定する。

## 第十一章　購　買

建築會社に於ける購買方法の原則は一般購買法に於けると何等異る所がない。唯其購入手續が多少他の事業と異るのみである。即ち建築會社に於ては或る特定の請負を履行する爲に必要なる材料のみを購買することにある。而して市價の季節的變動により利益を擧げたり價格の低下せる時に貯藏品を購入をしないのが一般の狀態である。

通常材料の大さ及び性質は各請負契約によつて異るものであるから正確に需要を豫測することは殆んど不可能と云つてよい。セメント、煉瓦、煙管、煉瓦及び土管の如き一般向の材料でも之を貯藏して得る利益は之を庫出する費用で消却されて失ふ事が屢々ある。

時には建築業者が工事現場の位置又は仕事の單純化により枠材、板屋根瓦、セメント、石灰、煙管及びプラスター材料等の貯藏品を充分使用し得る有利な立場に置かれることがある。斯の如き建築業者は用意周到なる購買によつて著しく利益を增加する事が出來且斯る狀態になき他の競爭者に對して入札に際し絕對に優先的なる地步を占むることが出來るのである。

收益の原因を正確に決定するには材料の貯藏と取扱を全然建築業務と分離せなければならない。若し其が出來ないとすれば少くとも取扱の各材料は別々に計算し材料が各工事に使用せられた場合には適當なる金額を以て振替へなければならない。

**貯藏品の購買** 貯藏品として買入れる材料には次に揭ぐるが如きものを全然避けなければならない。

一、入出庫に際し毀損し易きもの

二、市價の變動甚だしく損失を招き易きもの

三、大量購入により安値となるも取扱費用のそれ以上に要するもの

四、大量購入により安値となるも長期の貯藏により經費が利益を超過する虞あるもの

**貯藏の方法** 購買者の第一に心掛く可きことは材料貯藏の方法と貯藏材料の性質との關係を熟知することである。例へば

a濕氣に觸れざる貯藏法を要するもの

セメント、石灰、プラスター及びプラスター製品、建築紙、釘、鐵物、內法材、乾燥材（貴重材料は火熱乾燥貯藏室を設備するが有利なり）

b風雨を避くる貯藏法を要するもの

粗木材、板類

夏季よりは冬季に於て此の貯藏法は特に必要を認められる。

c露天に貯藏し得るもの

煉瓦、煙管、土管、テラコツタ、セメントブロツク

（冬季は隨時使用し得る樣雨雪を被らざる樣養生を施すべし）

**市況** 次に材料に就て心掛く可き事は市價の狀況に就て周密なる研究をすることである。尤もセメントの如きものは一ケ年間の供給價格の最大限を定め其の範圍內に於ける時價に依り發送材料代の支拂をなす契約をすることは實際に行はれて居る樣である。之によれば市價の研究をする必要はなくなるが併し之は明らかにセメント業者に不公平なやり方であるから一般的とはならない。

購買者は一年間の仕事を進める爲には之に要するセメントを一度に契約するのが普通であるが此の目的の爲にセメントを注文し其が到着して貯藏された場合に於てその收益といふ事に就ては全然未知のものである。製造者は既に受渡を了した材料に對しては市價の低下による割戻をしないのは當然のことである。即ち貯品の値下りは全然購買者の損失である。從つて市價、使用量及び先行きの氣配等を綜合して購入の數量を計算することが最も必要である。この價格に影響ある諸種の條件を充分說明することは到底斯る小冊子の盡し得る所でないから茲には其の主なるものに就て簡單に說明を加へることにする。

**價値と價格** 凡ての物の價格は其の價値と一致する傾向のあるものである。價格とは、ある單位の物を得るに必要なる貨幣の數量である。又價値とは一定の時と處に於て有效なる標準條件より物を得るに

要する生産費のことである。勿論生産費には土地又は空氣中より採取せる實費の外に消費者の手に渡る迄の一切の費用を包含するものである。從つて特許費、減損費、各種勞銀、機械器具の消却費及び維持費運賃、稅金其他種々の費用を含むものである。標準條件と云ふのは原料採取の位置良好なること、勞力の豐富にして能率天なること、一定の時、所に於て最少の努力と經費を以て製品の受渡をなすべき有効なる經營法と販賣法等これ等凡てを綜合せるものゝ謂である。一定の市場に供給する爲に競爭をする各生産者の間には標準以上のものもあれば又其以下のものもある。併し製品の品質さへ同一であれば各製品の價値は標準條件の適不適に關せず同一である。

斯の如く價値を決定することは容易の業ではないが然も一定の時と所に於ける或製品の價値と云ふものは常に確定的のものである。

平常の市場の狀況に於ては同一價値を有するものは同一の基礎に於て相互に交換せらるゝ傾向がある。之によつても物の價格は物の價値と適合することが說明される。又物の貨幣價値は金を採取する努力の價値と物を製造する費用とが等しい事を示すものと云ふ事が出來る。

併し價格は價値と一致せんとする傾向を有し乍ら需要供給の法則によつて價値より大となり又小となるものである。價格が價値より大となれば巧みに機に乘じた生産者又は商人は莫大なる利益を獲得することになる。價格が價値より低下すれば利益を擧ぐる事が出來ぬ計りでなく非常なる損失を釀すことになる。

**需要と供給**　簡單に言へば需要供給の法則とは供給が需要を超過すれば價格が低下し供給が需要に充たなければ價格の上昇することである。例へば煉瓦製造者が多量の煉瓦の手持品を有し消費者が之を購入せんとする意思のない時は製造者は購買力を誘起する迄煉瓦の値下げを行はねばならない。若し煉瓦製造者が現金の必要を痛感する場合には出來る限り多くの注文を得る爲に破格の廉賣を斷行し非常な犧牲を拂つて資金を求めこの難關を切り抜けねばならぬ。競爭者が此の値下げに對して自己も値下げを行ふか否かは競爭者の冷靜なる判斷力及び自己の財政の窮乏せるか否かによる。單に一人の製造者が斯の如き大廉賣を行つたとしてもそれは市場全體には大した影響のないものである。併し若し之が恐慌の場合又は一般に必要と認めたるときは各製造者は一齊に値下げを行ひ煉瓦の價格は一時的に非常な慘落をするのである。煉瓦が斯くして市場で消化されると價格は平準線まで復歸するものである。併し建築工事が不振であるときは之の回復は極めて長い時日を要するものである。一方煉瓦に對する需要者のあるときは相當の貯藏品及び平生の製造高では直ちに消費し盡され煉瓦の價格は漸次騰貴を初める。この騰貴は需要の增加を阻止するに至る迄續けられるものである。茲には煉瓦の一例を擧げたのであるが他の材料に就ても同樣で木材、セメント、石灰及び粘土製品等凡てこの法則に洩れないのである。

製造及び販賣に就て或るものは需要を豫想して可成精密に生産量を計ることが出來る從つて價格の變動を殆んど生じないものがある。併し又他の或ものは斯くの如き統御を實行し得ず。從つて常に不況と好況の間を往復して居るものもある。

要するに需要供給の法則は常に活動しつゝあるもので

安値は需要を刺戟し
高値は需要を阻止する
安値は生産を制限し
高値は生産を刺戟する
制限せられたる生産は高値を呼び
刺戟せられたる生産は安値を誘ふ

**尙、流行**　一般工業の狀態及其時の人氣等は商品の需要に多大の影響のあるもので從つて其價格に變動を及す要素となるものである。

不景氣で物の安い時には建物の修理、增築等をする人が少いのは屢々見受ける所である。これは一般の産業が不振で金融狀態が不利なる

爲である。併し或場合にはこれと反對に殆んど惰性的に建物の修理をする人もある。安値では仕事は初まらぬものである。二三の人が屋根を葺き又ポーチを增設し初めるとこれ迄計劃を立てゝ居た多くの人々が一時にこの例に倣はうとする。扨て一般の趨勢が斯うなつて來ると漸次上値の狀態を呈し然も之が決して需要を阻止するものゝはならない。事實物價の騰貴は屢々更に高値にならない內に買つて置かうゝ云ふ購買慾を誘致するものである。反對に物價の下落は購買者を警戒せしめ底値を買はうとして購買を差控へるものである。

需要供給の法則の作用を考究するに當つては金融並びに銀行の信用等が商品の供給と同樣に變動し易いもので通貨潤澤なる時は購買を容易ならしめ需要を增加し間接的に高値を呈するものであることも考慮に入れなければならない。反對に通貨が收縮すれば購買力を減殺し物價を下落せしめるものである。貯藏品の購買にあたつては現在需要供給の法則が有利に働きつゝある各種材料に就て購買を進め其の數量は安値となつた時に手持品が多く殘らざる樣又高値となつた時に手持品が不足でない樣調節すべきである。

**市場の注視**　市場の狀勢を察知することは經驗と周到なる觀察によりてのみ出來得ることである。併し過去の高低を研究することは各商品の最低價の時期を摘出するに便利である。

米國商務省國勢局の發行する物價表は極めて廣汎なる範圍の商品に就て月々の市價を報じ且指數によつて一定の基數との物價の高低關係を表示して居る。エンジニヤリング、ニュースレコードは凡ゆる主要建築材料に就ての市價を發表して居る。これ等の數字は實用に各種材料の貯藏購入の時機を決定するものであるが勿論之には前記各種の條件を考慮に入れなければならない。

**取扱**　商品の重量及び容積の大なる割合に價格の安いものは貯藏品として購入するには適當である。其の理由は倉入れ倉出の費用及び養生費が屢々大量購入又は季節的の割引によつて得たる利益を超過することがある。故に斯くの如き材料は取扱費と安値講買による利益とを充分比較見積をすることが必要である。或ものは購入を有利とすることがある。例へば砂の如きものである。併し又セメントの如きものは必要な丈けその都度買入れる方が遙かに有利なものである。

次に揭ぐる表はシー、エフ、デイグマン著「建築工費見積法」（マグロー、ビル書店發行）より材料の取扱費計算の參考として摘錄したものである。

第一表　運搬

| | 二頭馬車積載量 | |
|---|---|---|
| 悪い道路 | 2000#＝煉瓦平均 | 370本 |
| 可なりの道路 | 2500#＝〃 | 465本 |
| 良い土道路 | 4000#＝〃 | 750本 |
| 硬い鋪裝路 | 6000#＝〃 | 1,100本 |

第二表　中空煉瓦の積下し手間

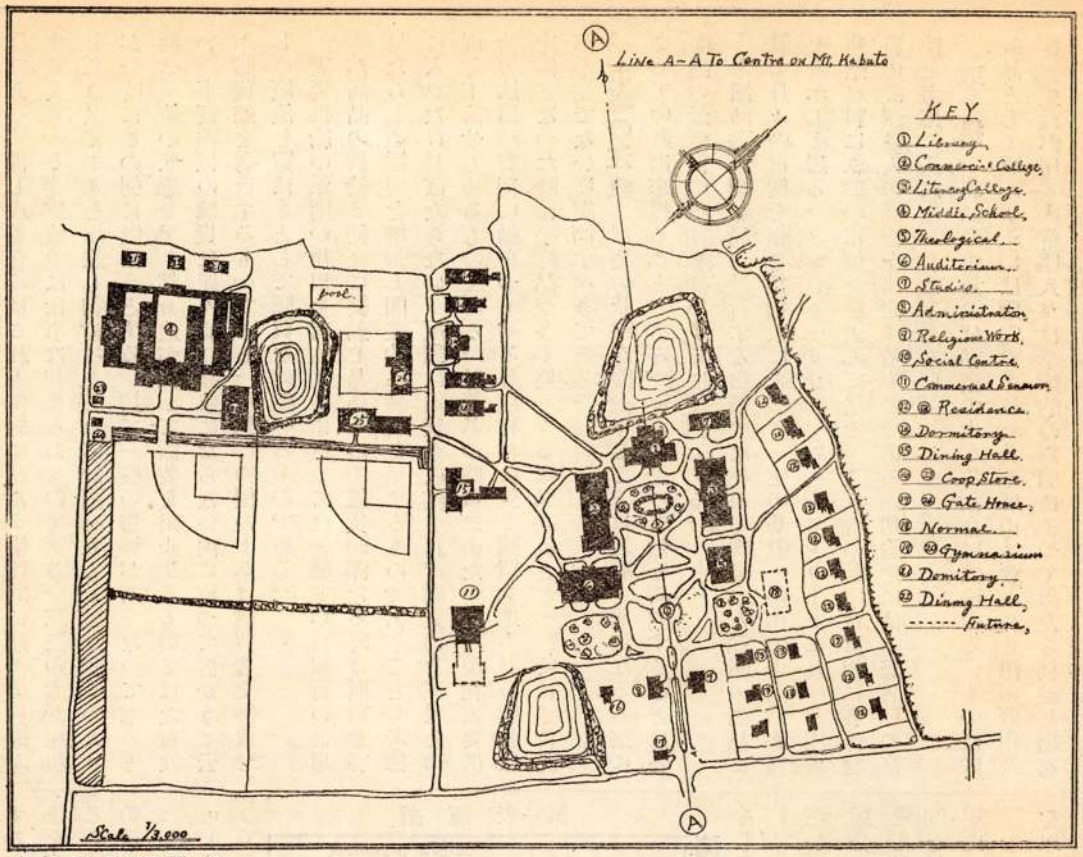
| | | |
|---|---|---|
| 煉瓦運搬車 | 平均積載量 | 250# |
| 煉瓦箱 | 〃 | 75# |
| 一人の運搬車 | 運搬力 | 毎分　100呎 |
| 一人の空車 | 〃 | 毎分　110呎 |
| 一人の煉瓦箱 | 〃 | 毎分　85呎 |
| 一人の空箱 | 〃 | 毎分　10呎 |

第三表　一立碼の積込時間

| | 地上より車へ | | 貨車より車へ | |
|---|---|---|---|---|
| | 濕 | 乾 | 濕 | 乾 |
| 砂 | 0.50 | 0.34 | 0.45 | 0.30 |
| 砂利 | 0.65 | 0.47 | 0.60 | 0.40 |
| 碎石 | | 0.51 | | 0.44 |
| 〃 | | 0.49 | | 0.42 |

**諸掛**　建築材料の貯藏に伴ふ諸掛は材料によつて多少相違のあるものであるが大體金利、倉敷料、倉庫係の費用（地代、燈火、ストーブ、書記、保險料、番人及び文房具費等）及び其他の諸雜費を包含するものである。勿論上等の木材を溫熱裝置を施した貯藏所に入れる場合に於ては溫熱費及びこれに伴ふ諸雜費を要する譯である。故に材料を貯藏する事の適不適を決定するには材料が消費せられる迄の在庫期間を見積り之によつて前記の諸經費を計算する事が必要である。勿論屋內に貯藏せられるものは屋外に置くものより倉敷料は高い。

本章に於て述べた貯藏品購買者の考慮すべき事項は轉賣をなす目的を以て購入する卸賣商人と雖注意すべき事であると信ずる。（未完）




關西學院配置圖

# 關西學院新築工事概要

一、位置　兵庫縣武庫郡甲東村上ヶ原
一、敷地廣袤　約八萬坪　鐵筋コンクリート造延坪　四千七坪
一、建物延坪　七千坪　鐵筋木造　同　六百五十三坪
一、建物名稱　木造　同　二千六百九十六坪

(1)圖書館　鐵筋混凝土造　延坪　三百三十坪
(2)高商學部　同　同　七百六十八坪
(3)文學部　同　同　六百四坪
(4)中學部　同　同　千八百五十八坪
(5)神學部　同　同　三百二坪
(6)中央講堂　鐵骨木造　同　二百七十七坪
(7)教授研究室　木造　同　百〇七坪
(8)總務部　鐵筋混凝土造　同　八十坪
(9)宗教部　木造　同　八十三坪
(10)學生會館　木造　同　二百四十五坪
(11)專門部　鐵筋混凝土造　同　四百四十一坪
(12)教師住宅　木造　同　九十一坪
(13)同　同　同　五十五坪
(14)寄宿舍　同　同　百八十五坪
(15)寄宿舍食堂　同　同　百七十坪
(16)(23)消費組合　同　同　二十二坪五合
(17)(24)門衛所　同　同
教授食堂　同　同　四十七坪
高等部柔劍道々場　同　同　百四十八坪七合
弓道々場　同　同　四十六坪
角力場　同　同　七百三十五坪

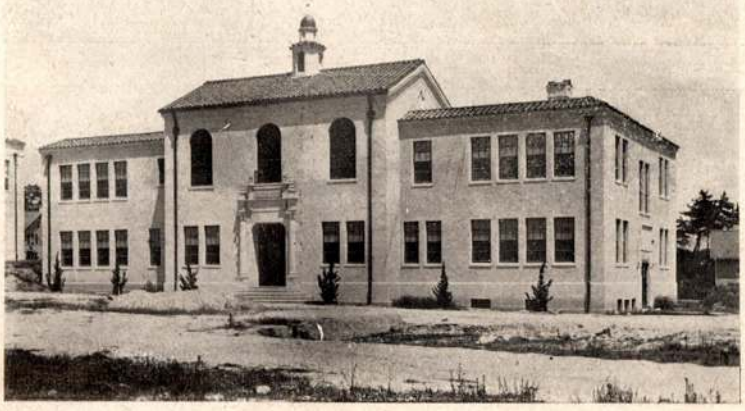
一、地鎭祭　昭和三年二月廿九日
一、起工　昭和三年四月一日
一、竣工　昭和四年三月廿一日
一、設計者　ヴォーリズ建築事務所
一、一般工事施工者　竹中工務店



1



2



3

1 中學部全景
2 圖 書 館
3 神 學 部

阪急仁川・關西學院
設計者　ヴオーリズ建築事務所
施工者　竹 中 工 務 店

1



2

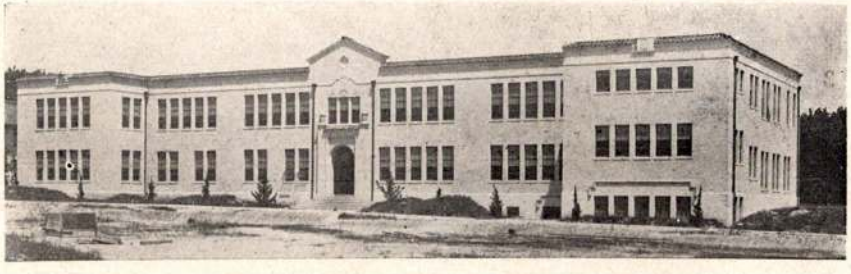


3



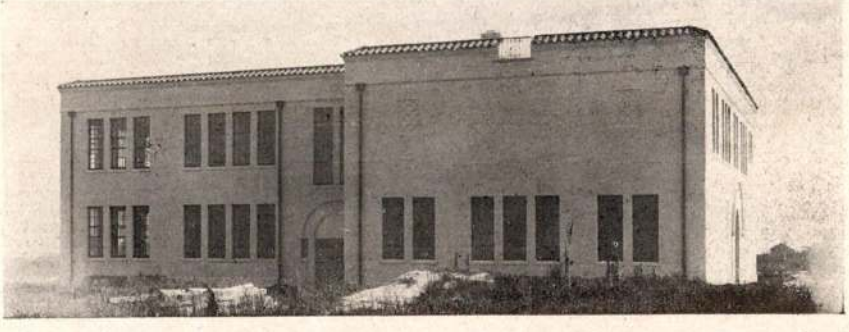
1 2 3 高商部
1 全景 2 中央大講堂 3 高商部

4



4 5 專門部
4 文學部

5

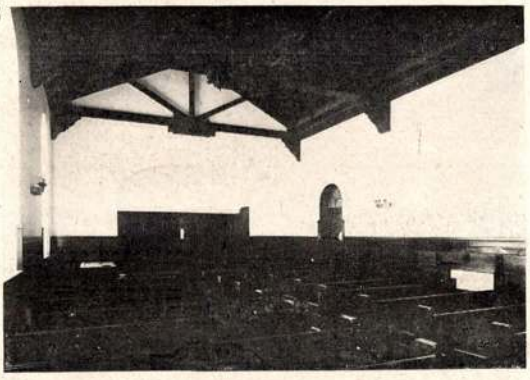


施工者 竹中工務店
設計者 ヴオーリズ建築事務所
阪急仁川・關西學院

1


5


2


6


3


7


4

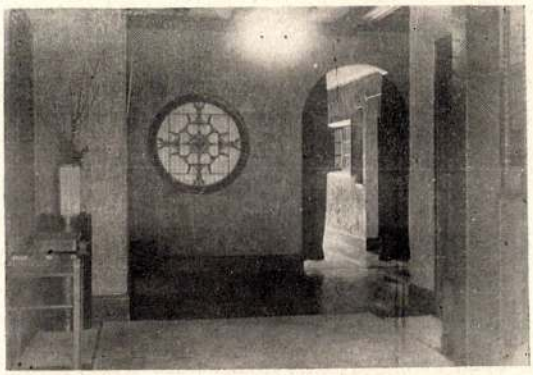

1 宗 教 部
2 消 費 組 合
3 日本人教師住宅
4 外 人 住 宅
5 總 務 部
6 神學部チヤペル
7 中學部玄關詳細

阪急仁川・關西學院
設計者 ヴオーリズ建築事務所
施工者 竹 中 工 務 店

1



2



3



4



1 南面ベランダー
2 玄關ホール
3 食堂の一部
4 外　　觀

御　影・高柳博士邸
設計施工　大林組住宅部

# 社團法人日本建築協會會報

## 會合

### 七月例會

日時　七月二十日　午後六時―同九時
會場　嵐山溫泉嵐峽館
出席者　三十一名
記事　一、炎暑酷烈の昨今一夕の銷夏として山色水光共に凉味を覺ゆる嵐山に七月例會として納凉會を催したり
一、定刻六時京都市外嵐山渡月小橋南詰にある南部乘船場を指して三々五々集る會員八、九名を一團として納凉船に乘り嵐峽館を目的として出船、渡船時間約二十分嵐山の山水に凉を取り相語りつゝ同館下川岸に着船上陸宴會場に入り直に浴衣に更へて入場汗を流して隨意休憩
一、午後七時一同宴席に着き快談しつゝ酒杯を傾く
宴酣にして片岡會長の一場の挨拶あり夫れより『最も凉しき話』の題下に武田津田、松本、波江其他の諸氏に依り眞面目なる將又滑稽なる最も凉しき經驗談等ありて興を添へ時の移るを知らず
一、午後九時散會を告げ各自再び乘船、嵐山の夜景に充分の凉を取りつゝ歸途に着けり

### 常務會

日時　八月十九日午後五時半―同八時半
會場　本協會事務室
出席者　會長　片岡安　副會長　宗兵藏　日高胖　常務　坪井誠一　岡部顯則　山脇友三郎　本間乙彦　松本儀八
報告一、七月分會計報告
一、貸家建築に關する展覽會經過報告
一、七月十九日開會の評議員會經過報告
一、實費精算式施工契約書案聯合調査會解散の件
議事一、大阪中央電話局に於ける、アドソール利用冷房裝置見學會開催に關する件
一、建築學會第三回建築展覽會開催に付協會出品に關する件
一、住宅部委員一名(藤井厚二氏)辭退の件
一、評議員會内に建築士法案調査委員設置に付評議員會開催の件

### 見學會

日時　八月二十七日　正午―午後二時
見學　大阪中央電話局に於ける市外電話交換狀況及『アドソール』利用冷房裝置見學
出席者　伊藤久治氏外二百名
記事　正午一同大阪ビル八階食堂に集合し各自晝食をとられ零時十五分迄に川向ひなる大阪中央電話局三階の講演室に參集零時二十分より理化學研究所長工學博士子爵大河内正敏氏の冷房裝置に付て時餘に亘る講演を聞き夫れより二十名宛の各班に分れて見學に移る
先づ同局三階の市外電話交換狀況を關係者の說明により見學し次で二階に下り『アドソール』利用の冷房裝置を見て地階の機關室に入る何れも詳細なる說明により一同滿足して爰に解散したり當日中央電話局及理化學研究所の方々の懇切なる御斡旋を感謝するものなり

### 第三部(資料)各分科會

日時　九月二日　午後五時半―同八時
會場　大同生命ビル地階ライオン食堂

#### 第二分科

出席者　永田三次郎　吉川時二郎
記事一、新規調査　新名稱に依る新宮產浪速長押　寸法　巾三寸五分、一寸三分、二分
浪速大三寸　寸法　一寸四分角
濱速胴緣　寸法　一寸六分、六分
材種　長押及大三寸は主として杉
(新宮)
胴緣は杉及檜
程度は主に一等品本位

#### 第四分科

出席者　主査　下浦光衛
委員　福澤谷藏　三木一二　東亞矢倉
日本ペイント多田
記事一、既記事に就て總勘定的の協議をなし次回より改めて新規問題に就て研究することに決す

#### 第五分科

出席者　委員　藤村愛資
記事一、スチールサッシュ硝子寸法調査書に依り並厚窓硝子と比較研究す

#### 第六分科

出席者　主査　阪井米吉
委員　井上國助　伴秀雄　須賀藤五郎
協議事項一、本夕は流し及吸吐等の寸法其他を協議の結果全部現寸法の通可決す
一、尙次會に委員一名增員の事を可決す

桐田　登氏(桐田商會主)

### 第一部第四分科會

日時　九月三日　午後五時三十分―同八時三十分
會場　大同生命ビル地階ライオン食堂
出席者　主査　高田利一郎
委員　伊藤幸太郎　久保田筆雄　島田貢馨
記事一、實費精算式施工規程を逐條的に研究し第二十條迄進む
一、第二條ル項雜費中給料手當に關し各委員五に意見の交換をなす

### 第五部(住宅)委員會

日時　九月四日　午後五時半―同九時
會場　大同生命ビル地階ライオン食堂
出席者　西村辰次郎　丹藤良雄　大原芳知　小林三造　佐藤彰美　南信　末澤周次
主記　波江悌夫　坪井誠一

記事一、當部初回の委員會開催に當り波江主記先づ會長の本夕出席出來得ざり し理由を述べ次いで、住宅委員會設置の理由、住宅研究の必要なること等と共に今後大いに努力せられたき希望を述べらる

一、次いで各委員各々希望並に意見を交換す

協議事項一、委員長選定は次回委員會に譲ること

一、次回委員會には各自當部に於ける今後の研究方針案持寄ること

一、幹事互選の結果左の二氏幹事に當選す

佐藤彰美氏　大原芳知氏

**第一部第一分科**

日時　九月九日　午後六時―八時

出席者　主査　小川安一郎　委員　加藤善吉

記事一、小川安一郎氏歐洲へ渡航の爲主査代理を加藤善吉氏に依頼し分科會の引繼を了し右委員長に報告することゝなし散會す

**常務會**

日時　九月十日(火)午後四時半―六時

會場　本協會事務室

出席者　會長　片岡安　副會長　宗兵藏　常務　坪井誠一　波江悌夫　山脇友三郎　本間乙彦　松本儀八　監事　横濱勉

報告一、八月分會計報告

二、展覽會決算報告

三、展覽會終了報告

四、第一部委員長より岡大路氏照會に係る大工取締規則に關する件報告

議事一、九月例會に關する件

二、本年秋季大會に關する件

三、東京市政調査會より勸誘に係る同會主催帝都復興展覽會へ出品に關する件

四、第三部(資料)委員會第六分科委員一名增員の件

其他一、新名簿作成に付會員現住所等照會の件

二、日本產業協會外一會主催『海と空の博覽會』に關し雜誌紹介の件

三、會員詮衡

**評議員會**

日時　九月十日　午後六時…午後八時半

會場　大同生命ビル地階ライオン食堂

出席者　伊藤幸太郎　本間乙彦　大野直平　小川陽吉　和田貞治郎　横濱勉　高田利一郎　宗兵藏　坪井誠一　波江悌夫　中島智喜　久保田筆雄　山脇友三郎　前内文二郎　松本儀八　增山新平　小西一眞　森本藤吉　片岡安

記事一、本夕は出席者定數に滿たず開會するに至らざるを以て、意見の交換會となす

片岡會長先づ前回に於ける評議員會の經過報告をなし今回評議員中より建築士法案調査委員を選定するに付ては事急を要するものにあらざれば時の問題よりも愼重に考へて見たいとの前提の下に其の實行方法の相談をなす

一、兎に角本夕は人選すること不可能に付、再度召集の評議員會に於て詮衡委員十名を設け人選することゝなす

一、尙九月例會及十月の秋季大會の計畫を披露し後散會す

**第五部(住宅)委員會**

日時　九月十一日　午後五時三十分―同九時三十分

會場　住友クラブ二階小談話室

出席者　佐藤幹事　西村委員　大原幹事　南　委員　末澤委員

記事、本夕は各委員持寄りの本部研究方針を發表し互に意見を交換しつゝ協議を進めたり

一。研究方針に付ての各委員持寄り案

大原幹事

○中流住宅に付て左の二項を擧ぐ

一、設計に關する調査　二、實行

更に第一項を分ちて

一、イ、保健(各專門家に研究していたゞくこと)

ロ、設計施工(現委員にて研究をすること)

二、實行(建築家以外の人即地主貸家主等に率先していたゞく事)

右三項を基礎として各々分科を置くこと

西村委員

◎住宅をより良く住める樣にしたし、たとへ意匠設計は良くとも往々にして滿足して住み得ないものがある、住める住宅を作ることが何よりも重要である

之等を主眼として中流程度の家に住む人々の爲に研究したし

南　委員

◎住宅の建築設計に關する欠點のリストを作成し一般に示すことは非常に良い研究資料となるであらう

佐藤幹事

◎協會の主旨としては實行に導く迄に案を進めるべきであるから先づ順序として南委員の說に依り一同にて修正を加へつゝ進めることは非常に良いことであらう

丹藤委員

◎一、全國各地に於ける風位、風速、温度、濕度及土俗の住宅平面構造及開口に及す影響の調査

一、近畿地方に殘存する江戸時代以前の住宅の見學及調査

一、中流住宅の經費節約上材料規格統一に關する調査

(附帶事項、中流住宅の基準の協定)

末澤委員

◎新聞紙上醫者欄に於ける一問一答の如く建築の設計施工に關する質問に對し親切なる回答を與へたし

相談所の設置もよくはなからうか
以上各委員の意見を取纏め、大原幹事の案を骨子として研究方針を大體左の如く決定す
一、中流住宅の設計に關する調査及實行
協議事項
一、委員會開催日の件（一ケ月一回定例日を定めず臨機に開催す）
一、委員長選定の件（片岡會長に委員長を願ふこと）
一、委員會の費用を大體定むること
一、中流程度の標準に付て（年收八千圓位より三千圓位迄を中流程度とし其の間を三階級に分つ）
一、中流住宅の標準（家賃及年收入の點より大體標準を立てること）
以上

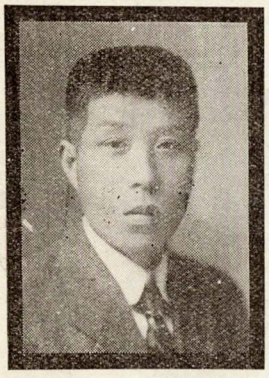
第一部第二分科

日時　九月十二日　午後六時ー同八時
會場　大同生命ビル地階ライオン食堂
出席者　主査　高木眞太郎
委員　竹中景一　前内文二郎　井原國三　浦英之助　佐藤松太郎
協議事項一、曩に第一部委員會に報告せし劇場取締規則改正意見に付委員會に意見を糺すこと
一、今後何れの規則を研究すべきかに付協議の結果私立病院取締規則を調査研究することに申合せ次回迄に各自研究せし具體案を持寄ることに決議す

## 第二部委員會

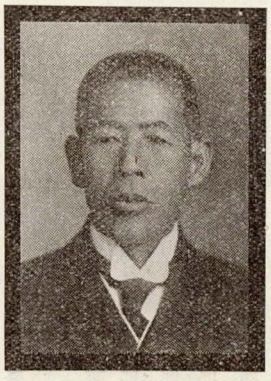
日時　九月十四日
會場　大同生命ビル地階ライオン食堂
出席者　委員長　武田五一　幹事　增山新平
委員　岡本新次郎　山本春水　藤枝良一　姫野武
協議事項一、職工講習會に關する件
本年は大阪市に於て主催するや否やを問合する事
一、講習會の時期　十月下旬
一、兩協會協議會に出席者小笠原幹事
一、大阪市が緊縮の關係上本年主催せざる場合は兩協會にて開催すること
一、其場合の講習科目、左官若くは塗師、石工、

## 逝去照會



會員山本由太郎氏昭和四年八月九日逝去せらる洵に哀悼に堪へず謹んで弔意を表す

氏は明治十九年八月十八日大阪市北區末廣町に生る、明治四十二年府立西野田職工學校建築製圖科及建築學科卒業同四十三年同建築製圖科及同仕様設計科卒業、同四十五年同校模範職工となり同年三月退職大正五年大阪府立西野田職工學校教員心得を奉職す同九年同校教諭に任ぜらる同十一年依願免本職となり建築請負業を始め今日に至りしも昭和四年八月九日腦溢血の爲め東淀川區南濱町の自邸に於て逝去せらる享年四十四歳



終身賛助員金田兼吉氏昭和四年六月十一日逝去せらる寔に哀悼に堪へず謹んで弔意を表す

氏は兵庫縣武庫郡今津町に生る明治五年十四歳にして神戸に出て土木建築請負業先代吉本甚八郎氏の門下に入る明治十三年二十二歳にして無事師事を終へ業務の助手を勤む
明治十六年二十五歳にして獨立し土木建築請負業並に設計監督をなすと共に傍ら舊主の下請及代人を勤む
明治三十六年下請及代人を廢し獨立營業をなし土木建築請負業金田組の商號を以て今日に至る
昭和四年一月病氣の爲め引退し家督並に業務一式を養嗣子辰之助に繼承せしむ
昭和四年六月十一日逝去せらる、享年七十一歳

## 轉勤轉居

會員

角谷　久磨君　大阪府中河内郡布施町字荒川六三八
市内北濱五丁目住友ビル　增築工事場大林組北濱出張所
鈴木　一幸君　兵庫縣武庫郡精道村芦屋南ノ口二四九
藤井　令三君　大阪市住吉區天王寺町九六三
服部萬次郎君　大阪市住吉區阪南町中一丁目二八番地
橋詰　直明君　大阪市住吉區阿倍野筋七丁目九七番地
須藤　隼人君　大阪府下豊能郡豊中町大字新免五三七ノ一七

會員（地方在住）

淺井　新一君　臺北市書院町三丁目二番地陸軍官舍
錦織喜代次君　東京市外荏原町戸越三四〇番地
高橋　君三君　京都府河鹿郡綾部町郡是製糸會社建設課
中川　彌八君　東京市外西巢鴨町池袋三八四

園部　文雄君　和歌山縣海草郡有功村大字園部、園部雄次郎方

普通贊助員

入江　千壽君　神戸市平野下祇園町一二二

酒井　捷治君　大阪市南區安堂寺橋三ノ一五大林組安堂寺橋出張所

南　幾次郎君　府下北河内郡三郷村西橋塲五一四

櫻間大丈夫君　東京市外澁谷町長谷戸六一、室谷方

川面　萬吉君　東京市赤坂區氷川町二八

遠田　音吉君　和歌山市出口甲賀丁

南　準造君　東京府下大井町水神下二〇八三

篠原　實君　愛媛縣新居郡新居濱町惣開住友肥料製造所清水組作業所

田中　浩君　東京府下中野町三九九

東京市日本橋區吳服町三丁目五番地

槇町ビル四階阿部美樹志事務所

堀川　竹雄君　東京府下荏原郡大井町阪下二七八竹中寮

東京市麹町區一ノ二帝國生命館六階

竹中工務店東京支店

藤元　助一君　橫濱市鶴見區潮田榮町一〇一一

## 入會者

普通贊助員

城戸　久君　名古屋市東區京町四丁目四伊藏正治方

## 退會者

會員

森　篤次郎君

渡邊　博雄君

高麗　建城君

芝原　二郎君

普通贊助員

森本　勝藏君

三戸谷和久君

小泉爲次郎君

松本　政一君

## 役員

會長　理事　評議員　片岡　安

副會長　理事　評議員　宗兵藏

副會長　理事　評議員　日高　胖

監事　評議員　池田　實

監事　評議員　橫濱　勉

主記　常務　評議員　德政金吾

同　常務　評議員　坪井誠一

同　常務　評議員　波江悌夫

主計　常務　評議員　岡部顯則

同　常務　評議員　吉井長七

同　常務　評議員　山脇友三郎

編輯　常務　評議員　池田谷久吉

同　常務　評議員　本間乙彥

同　常務　評議員　松本儀八

同　常務　評議員　酒井勇三郎

評議員　伊藤幸太郎

評議員　小川陽吉

評議員　大野直平

評議員　大澤幸平

評議員　渡部圭吾

評議員　和田貞治郎

評議員　高田利一郎

評議員　竹内綠

評議員　竹田延則

評議員　中村義雄

評議員　中島智喜

評議員　村上徹一

評議員　久保田筆雄

評議員　熊澤榮太郎

評議員　山脇友三郎

評議員　八木幸次郎

評議員　前內文二郎

評議員　增山新平

評議員　牧野利秋

評議員　小西一良

評議員　阪井米吉

評議員　芝田知重

評議員　下浦光衛

評議員　姬野武

評議員　樋口辰太郎

評議員　森本藤吉


## 本誌定價表

| 冊數 | 定價 | 郵稅 |
|---|---|---|
| 一冊 | 五拾錢 | 貳錢 |
| 十二冊 | 六圓 | 貳拾四錢 |

昭和四年九月廿八日印刷（每月壹回）
昭和四年十月一日發行（一日發行）

大阪市港區音羽町二丁目十四番地
發行兼編輯人　鷹取陽

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人日本建築協會
電話土四一六五番
振替口座大阪三九、九七五

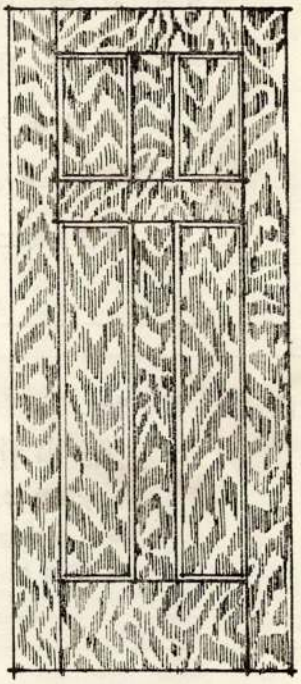


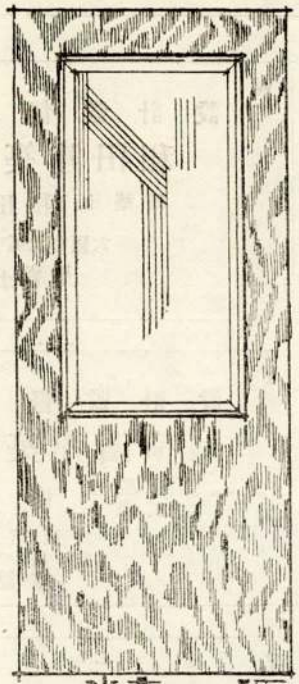
大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二一〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ
振替又は爲替にて前金御拂込被下度
候

ビルディングに
住宅に
病院に

# 新田式ベニヤドア





優美
精堅
廉巧
實牢
價

【型錄御申越次第進呈】

大阪市浪速區櫻川町四丁目

合資會社 **新田ベニヤ製造所**

電話櫻川四四三番

品質最良、耐水力強大

**新田式ベニヤ板**

最理想的

**新田式製圖板**

彫刻代用

**エンボツスド モールデイングス**

S

設計監督

## 設樂建築事務所

建築士　設樂貞雄

工學士　設樂貞三

支配人　木村梅次郎

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

T

設計監督

## 朝永建築事務所

朝永國次郎

大阪東區空堀通一ノ八六

電話東四四五七番

T

設計監督

## 田村事務所

工學士　田村啓三

大阪市北區中ノ島二丁目一四日本產業內

電話本局自二六〇番至二六四番

東京事務所　東京市丸ノ內ビル三一五區

電話丸之內(23)一八七四番

U

設計監督

## 上野建築事務所

上野伊三郎

京都市上京區竹屋町通河原町東へ入ル末丸

電話上二九五二番

W

設計監督

## 和田建築事務所

建築士　和田貞治郎

大阪市北區中ノ島中ノ島ビル三階

電話土佐堀七三二三番

Y

設計監督

## 橫濱建築事務所

建築士
工學士　橫濱勉

大阪市北區大江橋北詰
堂島ビル四〇六室

電話二三九九番

Y

設計監督

## 橫河工務所

工學博士　橫河民輔

工學士　松井貴太郎

田中綱

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階

電話本局二九六四番

東京市麹町區有樂町一丁目
一番地　帝劇事務所四階

電話丸ノ內(23)一〇九三番

Y

設計監督

## 安井建築事務所

建築士
工學士　安井武雄

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

電話本局二〇七二番

O
設計監督
小笠原建築事務所
建築士 小笠原 釼（マヽ）
大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビル第四十一號室
電話北二一五五・二一五六番

O
設計監督
小野木 横井 共同建築事務所
工學士 小野木孝治
工學士 横井謙介
大連市紀伊町八五
電話三五五一九番
四五一九番

O
設計監督
大阪建築所
建築士 熊澤榮太郎
大阪市北區中ノ島七丁目十七河野ビル
電話土佐堀二八〇二・〇六一〇三番

O
設計監督
岡部建築事務所
建築士 岡部顯則
大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビル三階K室
電話土佐堀三五二三番
宅 大阪市住吉區天王寺町二九二番
岡山出張所 岡山市石關町一〇二番

O
設計監督
置鹽建築事務所
工學士 置鹽章
神戸市榮町二丁目山口ビル四階
電話三宮(3)三四七〇番

S
設計監督
宗建築事務所
建築士 工學士 宗兵藏
建築士 須川廉太郎
工學士 脇永一雄
大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

S
設計監督
島田建築事務所
島田良馨
大阪市西區西長堀北通
一丁目一五大阪實業協會
電話新町一四九四・一四九五番

S
設計監督
清水榮二建築事務所
工學士 清水榮二
神戸市六甲八幡友田三三
電話御影二三九九番

K
設計監督
春日井建築事務所
建築士　春日井政一
大阪市北區南森町交叉點天滿ビル
電話北三〇三三・三三〇六番

K
設計監督
片岡石本建築事務所
工學博士　片岡安
工學士　石本喜久治
大阪市北區堂島大每ビル五階
電話北四〇六四番
東京市丸ノ內郵船ビル六階
電話丸ノ內(23)二九八一番

K
設計監督
葛野建築事務所
工學士　葛野壯一郎
北區絹笠町大江ビル
電話北二四九二番

M
設計監督
眞水三橋建築事務所
松下由藏
早大工學士　太田正之
大阪市北區眞砂町四一
電話北二〇四一番

M
設計監督
村上建築事務所
村上徹一
大阪市東區淡路町三丁目船場ビル
電話本二七五〇番

N
設計監督
野村一郎事務所
建築士　工學士　野村一郎
大阪市北區梅田新道大平ビル內
電話北三〇四番
東京市丸ノ內仲通十四號館四
電話丸ノ內二三八五番

N
設計監督
中村建築事務所
中村義雄
中村勇
大阪市天王寺區上本町九丁目四九
電話南五三七九番
東京出張所　東京市神田區旅籠町萬世アーケード內
電話下谷一一八八番

N
設計監督
浪花設計事務所
佐藤松太郎
大阪市東區大手通一丁目一五
電話東五六八三番

F
設計監督
古塚建築事務所
古塚正治
西宮市市庭町四二
電話西宮一六一二番

H
設計監督
橋本建築事務所
建築士 工學士 橋本勉
大阪市西區土佐堀通一大同生命ビル第八階
電話土佐堀九三八番
東京事務所 東京市丸ノ内八重州ビル四階
電話丸之内一六三五番

H
設計監督
原科建築事務所
原科準平
神戸市中山手通一丁目柴田ビル二階
電話葺合(2)四〇五三番

H
設計監督
本間建築事務所
本間乙彦
大阪市西區土佐堀通一大同生命ビル第七階
電話土佐堀四三四三・四三四五番

I
設計監督
井原建築事務所
井原國三
大阪市西區信濃橋交叉點
電話土佐堀一七二三番

I
設計監督
伊藤建築事務所
伊藤幸太郎
大阪市港區夕凪橋畔佐伯ビル
二階第二號室
電話西二六八一番

I
設計監督
池田建築事務所
工學士 池田實
大阪市南區難波驛前鴻池ビル
電話戎一一二三番
宅 大阪市住吉區住吉町一七四

I
設計監督
池田谷建築事務所
建築士 池田谷久吉
大阪市西區京町堀上通一彌生ビル
電話 土佐堀 一五八一・二九五五 三四〇八・四八六七

K
設計監督
國枝工務所
工學士 國枝博
大阪市西區本田通一丁目住友ビル三階
電話西三四三三番
東京市京橋區南紺屋町實業ビル五階
電話京橋五六六九番

# 西原式 汚水淨化裝置

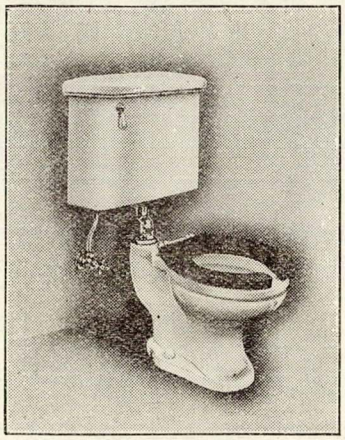
專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三一二號 第六六一五四號 第六六三四二號

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

國産優良品

## パイロヅト衛生器具

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、



CW 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

**合資會社ヤンソン製作所**

また陶器類は

**東洋陶器株式會社**

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

西原衛生工業所 大阪支店

大阪市北區中之島五丁目三十番地

電話 土佐堀 三七七八番 一五八一番

京都市萬壽寺通烏丸東入

西原衛生工業所京都出張店

電話 下一三四五番

營業所 名古屋

# 建築請負業者案内

（次第不同）


池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地三丁目拾三番

電話 北一一五七番 北一五〇七番

大阪市東區釣鐘町二丁目廿九番地

大倉土木株式會社

大阪出張所

電話東長 自三二一 至三二五 一三一二・六二五〇

和洋住宅專門

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地

電話北 一一五六二 一五六三

般一備設業工生衛

賣販械器及行施計設

給水裝置　排水裝置

防火裝置　衞生裝置

煖房裝置　給汽裝置

給湯裝置　換氣裝置

大阪市北區中之島七丁目

（河野ビルヂング）

衛生工業商會

電話土佐堀二二八〇・〇一六三番

# 建築請負業者案内

（次第不同）

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 **大阪橋本組**
代表社員 橋本政吉
電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

東京市麹町區丸ノ内二丁目六番地
八重州ビルヂング四階
**東京支店**
電話丸ノ内(23)四七八〇番 四七八一番

小倉市大阪町十丁目百廿二番地
**九州支店**
電話長四三〇番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地
株式會社 **大林組**
支店 東京、横濱、名古屋、小倉
營業所 京都、神戸、
工作所 大阪、東京、

特許ORC式テーパー型鐵筋コンクリート造
**煙突工事**
合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**
大阪市港區小林町一六三
電話櫻川長一〇八六・二六二二
（カタログ進呈）

大阪市東區横堀四丁目四十三番地
電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）
**石川屋**
**岡本工務店**
岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

# 建築請負業者案内

（次第不同）

## ペンキ塗請負業

**龜谷開作**

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

**中新**

**中川辰藏**

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北區一五三番

東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目參番地
電話神田(25)三〇五番

合名會社

**竹中工務店**

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ內郵船ビル　丸ノ內(23)長一二五〇
神戸市熊內町六丁目　貯合　八〇六
名古屋市西區菅原町二丁目　長一八四二
京都市坊城通三條下ル　中二三八六
橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
長濱町局番(三)

製作所
大阪市港區南境川町　西長八〇四
東京市深川區西平井町　大手二〇四六

# 建築請負業者案内

（同不第次）

諸石材販賣彫刻請負業

一手販賣（黃龍石（人造石用）石粉各種 高島產錆色（人造石用）石粉各種 黃龍石材各種）幷ニ

通名石佐事

**熊取谷熊次郎**

本店 大阪市東區材木町七九 電話長東一六二六番

出張所 東京市下谷區上根岸四九 電話下谷一三二九番

株式會社

**松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地

電話東（長二一一七二一番 二一一七三三番 二一一七三五番）

東京本社

東京市麹町區內山下町一丁目一番地

電話銀座（二二三三番 二二三四番 二二三五番 二二三六番 二二三七番）

大阪市港區小林町七十五番地

**藤木工務店**

藤木正一

電話櫻川（64）一五五八番 一五八八番

東京市深川區平久町二丁目一一番地

**東京支店**

電話本所（73）二六四番

# 建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目六
電話土佐堀（長二六二・四二七）（二六三・四二一八）番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番）（一九九一番）

製材工作場 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西七六八・長一五二三番

合名會社 **有山組**

大阪市東淀川區十三西之町
電話 自宅用 二〇五〇
營業用 北三〇五一

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（六五八）（二八八六）番

**安藤組大阪支店**

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

# 建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **佐伯組**

本店 大阪市港區市岡元町五丁目八番地

市電築港線夕凪橋停留場前

電話（長西一〇九番／西二六八一〇番／西五七〇九番）

出張所

東京 横濱

福岡 大分

熊本 鹿兒島 宮崎 坂出

---

大阪市南區高津三番丁二番地

電話長戎二八一〇番

**森本建築社**

東京支店

東京市日本橋區濱町三丁目一番地

電話長浪花三二四六番

---

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地

電話長土佐堀（六六六番／六六七番）

（本店）東京

（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

---

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀（長三四一七／三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店

電話銀座（長四二九二番／四二九三番／長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

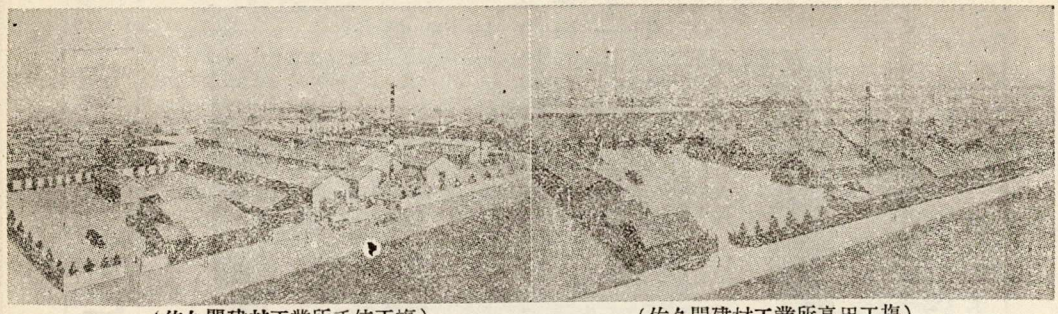
**名古屋出張所**

電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

**横濱出張所**

電話本局三〇七六番



（佐久間建材工業所千住工場）　（佐久間建材工業所高田工場）

# 佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

## 陸屋根地下室防水材料

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフイング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- フエルト
- C印フエルト
- ルーフイング




御用命

三菱地所部殿
東京市殿
大藏省殿
鐵道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高松組殿

橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

**國産として優秀なる**

## 佐久間建材工業所

所主　佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地
營業所　電淺草五〇〇六番
千住工場　電千住四〇二番
東京府高田町八〇四番地
高田工場　電淺草二五六番

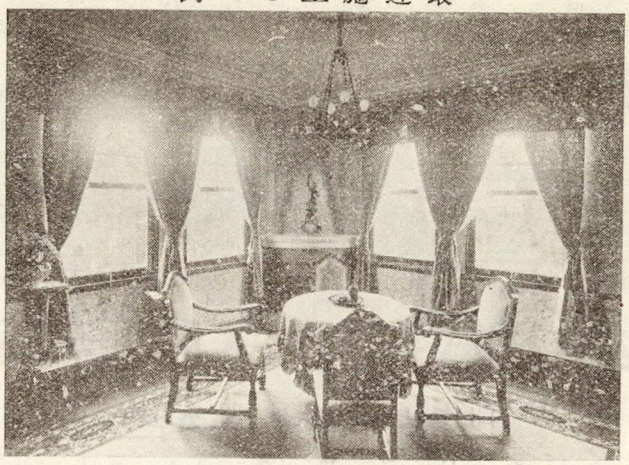
## 東京工業試験所報告

| 品名 | 抗張力 縦 | 抗張力 横 | 水壓力 氣壓 | 屈曲試驗 丸棒直徑 | 屈曲試驗 屈轉度 | 屈曲試驗 龜裂 | 試驗時期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 佐久間式マルエス印半號ルーフイング | 瓩 70·5 | 瓩 42.9 | 1.4 | 糎 0·5 | ° 180 | 生ゼス | 大正十四年二月二十六日 |
| 某舶來一流品(A)アスファルトルーフイング | 瓩 53.7 | 瓩 21.8 | 1.2 | 糎 1.3 | ° 180 | 生ゼリ | 同上 |
| 佐久間式マルエス印半號ルーフイング | 瓩 74.4 | 瓩 55.9 | 1.7 | 糎 0.5 | ° 180 | 生ゼス | 大正十五年二月十日 |
| 某舶來一流品(A)アスファルトルーフイング | 瓩 80.3 | 瓩 39.3 | 1.2 | 糎 1.0 | ° 180 | 生ゼリ | 同上 |

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

# 家具と裝飾

最近施工の一例



弊店は　眞面目がモットー
皆樣方の使用人

大阪市西淀川區海老江上三丁目一一七

## 岡家具裝飾店

電話土佐堀二九六九（福祿）　振替大阪七九七三三

---

# 動床式

鐵ダマ入
燃燒裝器

專賣　特許

煤ト煙ハ出マセン

# 風呂竈

長州風呂
箱風呂
他種應用自在



用途
長州及箱風呂
製飴用煮竈
飲食屋竈
染晒沸釜竈
酒造其他煮沸釜竈
酒其他殺菌竈
工場其他雜用沸竈
錢湯用風呂釜

最近御採用先

一住友工作部建築課殿
一三菱造船所建築課殿
一竹中工務店殿工事先
一京大工教授山田氏邸殿
一京大工教授岡本氏邸殿
一工學博士井口氏邸殿
一武田長兵衛氏邸殿
一醫學博士藤田氏邸殿
一山本東作氏邸殿
一高島味淋釀造所殿
一大黒正宗釀造所殿
一株式會社壽屋殿
一府下山崎釀造所殿

發明者燃料實驗所長
工學博士　內藤游
燃燒有利ニ關スル工事設計
煤防除

㊎ 波江野工生所

大阪市西區江戸堀下通四丁目十三
電話土佐堀七〇三九番

特賣店　株式會社　須賀商會

大阪市東區高麗橋五丁目
電話本局（一八九三番）（一八九四番）（一一八九五番）

スチール サッシュ
スチール ドアー
スチールシャッター
手動昇降機

合資會社 榮進社

營業所 東京市京橋區南鞘町 十二番地
實業ビルディング三階
電話 京橋(5)二二二九番

第一工場 東京府下目黒區三町目 一二八番地
電話 下谷(83)一〇二七番

一四〇二番
一四八三番

第二工場 東京府下目黒里町大字
谷中本二五六番地

出張所 横濱市中區常盤町 一丁目一番地
常盤ビルディング二階
電話 長者町二七一四番

大阪市北區梅ヶ枝町梅ヶ枝ビル 二階
電話 北三一二五 五三五九
五八六八 二八四六

豊島市雑司ヶ谷鬼子母神町 一二三番地
電話 元町二七〇九番

大連市紀伊町八五 滿洲興業銀行ビル階下
電話 四六〇二番

Fujita Super-Septic Tank

藤田式汚水淨化槽

給水衛生工事設計請負

藤田商會

電話 土佐堀 2336

大阪市西區京町堀上通三丁目七番地ノ一

大理石工事請負

合資會社 矢橋大理石商店

本店 岐阜縣不破郡赤阪町

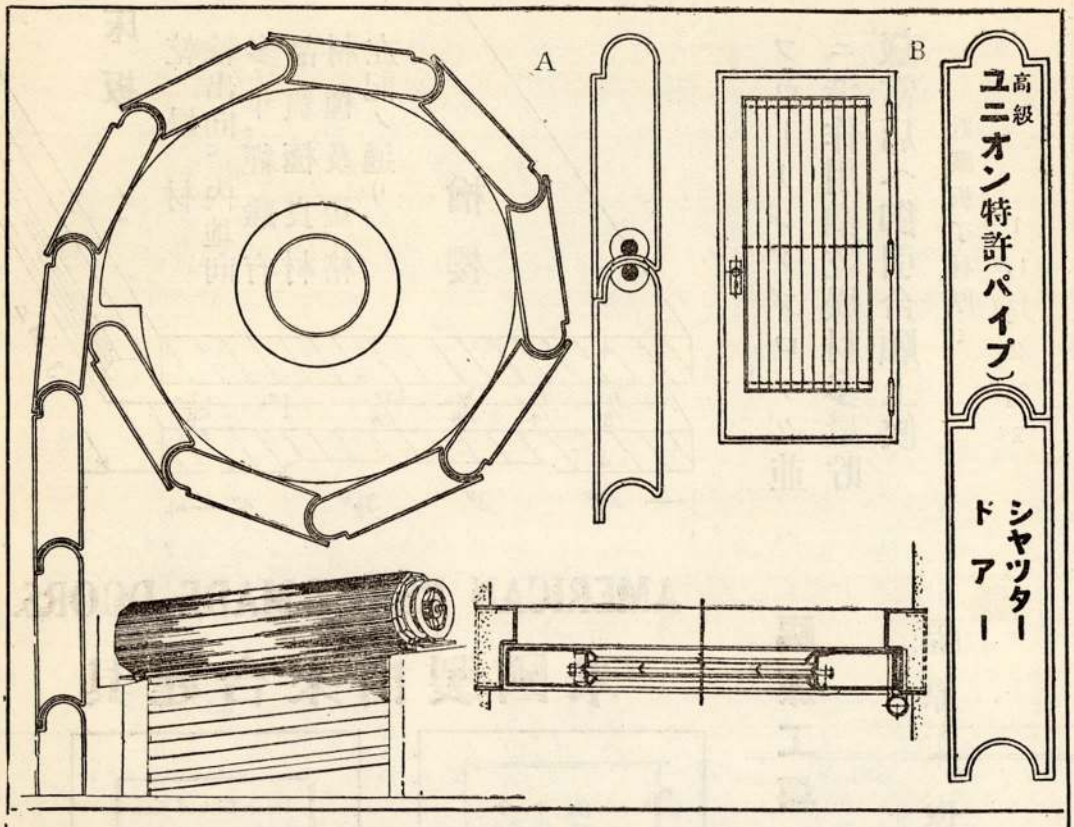
電話 息五番

出張所 東京市麹町區丸之內二丁目八番地

電話 丸ノ內四六三九番

大阪市東區北濱四丁目二十三番地

電話 本局五三一九番




# 高級 ユニオン特許(パイプ) シャッター ドアー

## ユニオン特許(パイプ)ドアー

一、本**ユニオンドアー**ハ上圖(B)斷面中空管ノ多數ヲ各々其ノ凸凹部ヲ相嵌合セシメタルモノヲ縱又ハ横ニ組合セ框ト共ニ「**ボールト**」ヲ以テ締付ケテ組立テマス故ニ自體ガ高尚ナ多管式ニ裏張リ戸トナリ輕量且ツ堅固ナリ然而各中空部ニハ防火資料其他ヲ塡充スルハ自由ナリ故ニ防火、保溫、保冷、防音等幾多ノ効果ヲ有ス尚斯クノ如キ構造ナルヲ以テ戸面積ノ如何ニ不拘歪ヤ捻レヲ生ズルコトナシ又中空管ノ各接合部ハ精巧ナル技術ニヨリ單ニ糸線ヲ劃シタ程度ノモノニテ却ツテ美觀ヲ呈シマス

一、製作種類
縱又ハ横機式入各種唐戸
硝子入リ、開、引分、釣戸
雨戸用、間仕切等各種

本品ハ總テ亞鉛鍍金ヲ施シ錆止トナスコトヲ得

## ユニオン特許(パイプ)シャッター

一、本**ユニオンシャッター**ハ上圖(A)斷面中空管ノ多數ヲ各々其ノ凸凹部ヲ相嵌合セシメ連續シテ成ルモノナリ

一、中空管ナル故ニ防火ノ効果偉大ナリ

一、中空管ナル故波狀ノ要ナク充分ノ强度ヲ有シ且ツ捲納リ徑ハ山型ヲ有セザルモ「**キネヤ**」型ト變リナシ

一、中空管ハ長方形箱ニシテ繼手金具ハ外面ニ露出セス碍害ヲ防キ一枚板ノ如ク表裏トモニ**スツパリト**丁裁ヨク**レール**及楣等ニ間隙ヲ生セス火燄ノ浸入ヲ防遏ス

一、製作種類捲揚式、竪捲込式、横引式各種

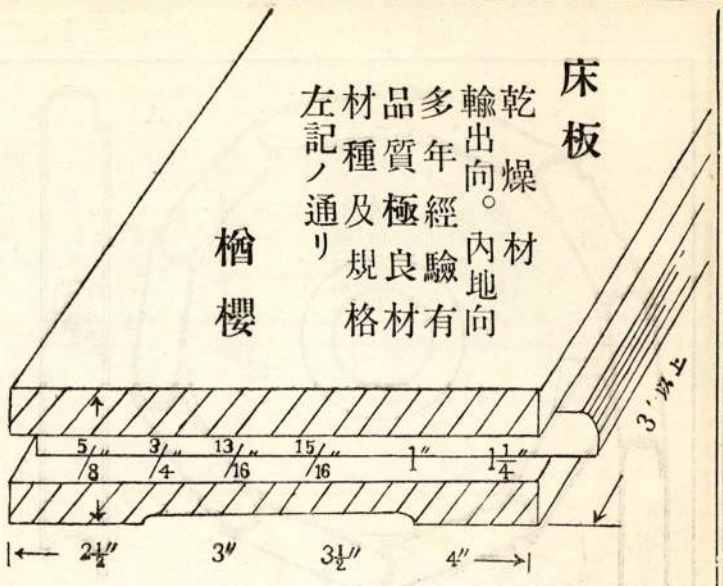

**西南建築金物部**（直輸出入部）
大阪市南區順慶町二丁目
電話船場一六九、一九七、三〇二九番
大阪市北區森町・電話北二八五〇番

候上願寃熟御下被寄立御ハ際ノ序御聞候居申列陳ニ店弊ハ物實

# 床板

乾燥材
輸出向。内地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

楢
櫻




フローリングブロック並
ニ造作用楢乾燥材多量貯
藏當店へ御引合願上候

貯藏板子材厚ミ
1″
1¼″
1½″
2″
2½″
2″

## AMERICAN READY-MADE DOORS.

## 米國製出來合建具

Door List of Size
出來合建具寸法表

| 高 | 巾 | 厚 |
|---|---|---|
| 6′6″ | 2′ | 1⅜″ |
| 6′6″ | 2′6″ | 1⅜″ |
| 6′6″ | 2′8″ | 1⅜″ |
| 6′6″ | 3′ | 1⅜″ |
| 7′ | 3′ | 1⅜″ |

今回第一着手トシテ米松製ノミヲ輸入致シマシタ貸事務所、學校、病院、簡易住宅、等ニ比較的豫算ノ少ナキ御建築ノ際御引合トサイ絶對歪ハヌ建具ヲ安ク差上ゲマス

## 福原工場大阪販賣店

港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

小樽市入舟町二丁目三四番地

## 福原床板製造工場

電話二五二九・一二三番
振口小樽二五六七番

東京販賣店
京橋三四六一

名古屋販賣店
南三九〇





株式會社 金剛商會

本店 東京市芝區虎ノ門 電話芝三九三・三九四・三九五
大阪支店 大阪市北區中島四丁目 電話土佐堀二〇二五・二九四五
名古屋支店 名古屋市中區南園町二丁目 電話本局一三五一

# 改良 特許 S 便所




**設備費**　金七拾五圓　（大便所ノミ）
　　金九拾五圓　（大小便所共設ノ場合）

---

大阪市東區高麗橋五丁目
**株式會社　須賀商會内**

# S.O商會

電話本局　三四五番　九九九　八八八　一一一

# 建築衛生設備設計施工

## 營業種目

▼水道▲公私水道、ポンプ、屋外給水裝置。
▼防火▲防火栓裝置 スプリンクラーシステム、消防用器具、サイヤーミンスコンネクション、ミニマツクス消火器。
▼衛生▲洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼煖房▲蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣晩房裝置。
▼換氣▲自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具 材料製造並ニ輸入販賣

〔創業明治三十四年〕

宮内省御用達

株式會社 須賀商會

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局 一一八九三番 一一八九四五番

米國スタンダード衛生器具製造會社
米國スローンバルフ製造會社 日本總代理店
米國シカゴポンプ製造會社

支店
名古屋
東京
京都

米國スペンサークリーナー會社
米國ベージボイラー製造會社 日本總代理店
獨國ミニマツクス消火器會社

支店
住吉
神戸
博多



# 佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

**日本洋瓦株式會社 大阪出張所**

大阪市西區堀江通一丁目四〇
（木綿橋停留所前）
電話 櫻川 一五八番

ヒノデルーフィング・・・

# 日之出便利瓦

耐久耐酸耐水耐
陸屋根用
地下室防水用

HINODE

ROOFING

（見本カタログ進呈）

特許 20034. 31024. 73414. 79641.

ヒノデルーフ井ング
ヒノデアスフエルト
ヒノデアスクロース
ヒノデフアブリツク
ヒノデアスフアルトフエルト
ヒノデヘツシアンフエルト
ヒノデパーマネントルーフ井ング（溶着屋根用）
ボーラスヒノデヘツシアン
◇アスファルト防水工事請負◇

（近來下社の商標と紛はしき名稱の製品續出特に日ノ出商標に御注意）

日本建築紙工株式會社

本社 東京市神田區小川町一 電話神田(25)0336 0663
工場 東京府下千住町四丁目 電話千住 0076
大阪出張所 大阪市西區立賣堀南通四丁目 電話新町(53) 4685

TRADE REGISTERED MARK
HINODE ROOFING
NIPPON KENCHIKU SHIKO KABUSHIKI KAISHA

楢實剝繼手付
櫻

# 床板

同上羽目板
同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式パーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產樽材根太土臺其他

# 大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番

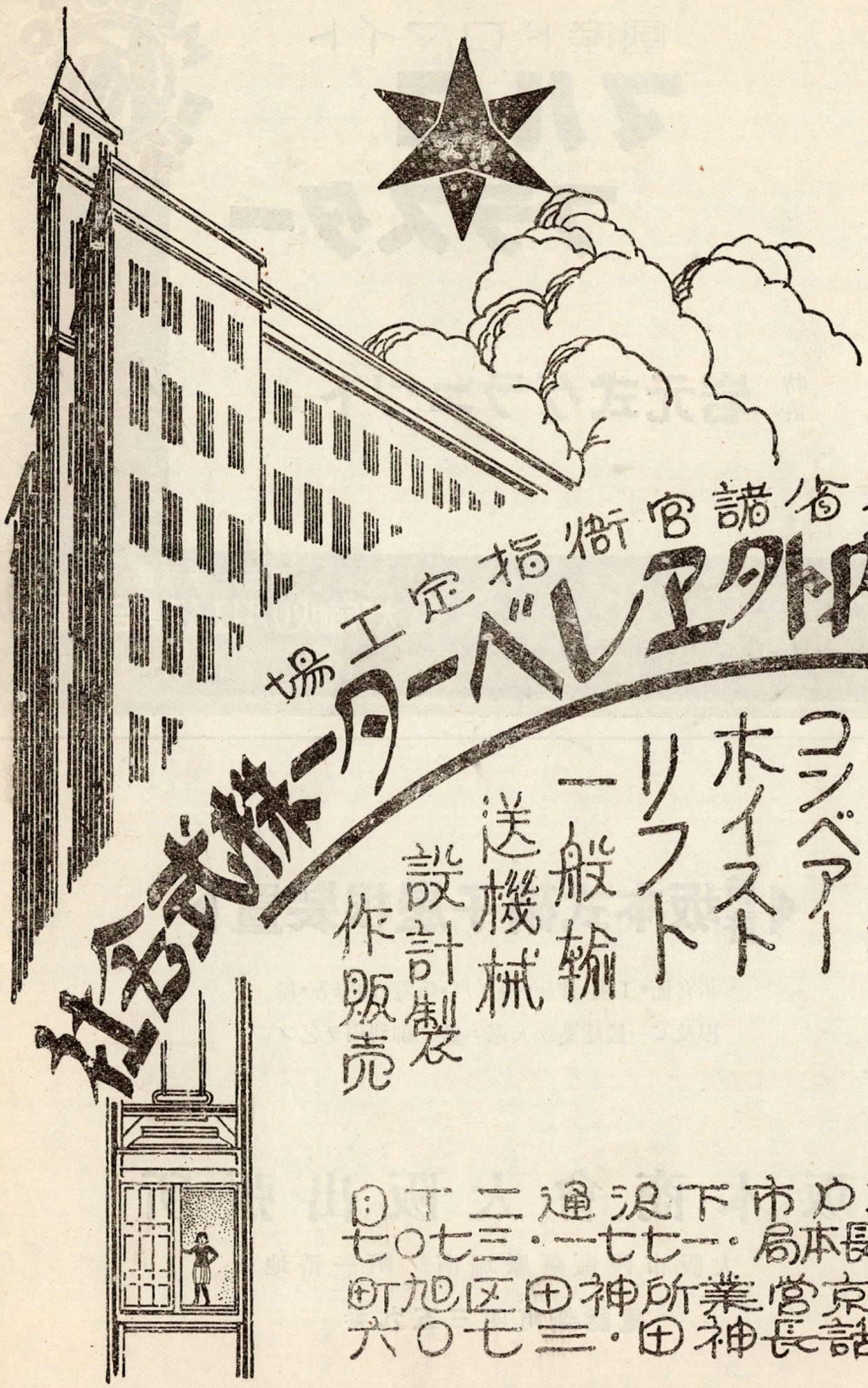
テラコッタ　伊賀窯業株式會社
関西一手販賣

當社製作販賣
アーユス石
ドッグシラ
サルトイレ
インチール
チールス
興復ス

# 政正合資會社

本社　大阪市西淀川區大仁西壹丁目二十番地

電話土佐堀一九四九番　振替大阪四五六七六



各省諸官衙指定工場

# 内外エレベーター株式会社

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神田区下神保町一七一・一七七三番地
電話本局
神田区神田旭町一七〇三・一七〇六番地
東京営業所
電話長

國産ドロマイト

# マルコプラスター




特許 岩元式グラニツト

関西一手販賣
大阪耐火リノリユム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
新町4359番

## ◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

## 坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地

電話新町四三五九番

ABC

淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
內外各種ルーフ井ングス
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
內外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負

（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物産株式會社大阪支店

建築材料部

## タイルの山本窯業

大阪市北區芝田町

電話北 286. 5610

タイルとテラコッター

東京出張所

東京市日本橋濱町三丁目一地

(中之橋際) 電話浪速 1978番

ステインドグラス

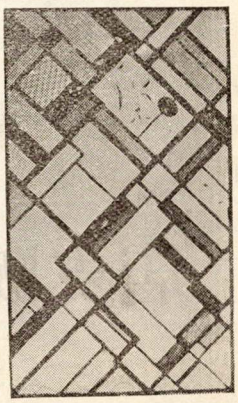
グラスモザイク

VENUS STUDIO

大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京　　城

ベニス工房



最も進歩せる使い易いプラスター

# スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音內壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

製造元 南滿鑛業株式會社
大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

大阪出張所
電話長西三四八九番

# 玲光社

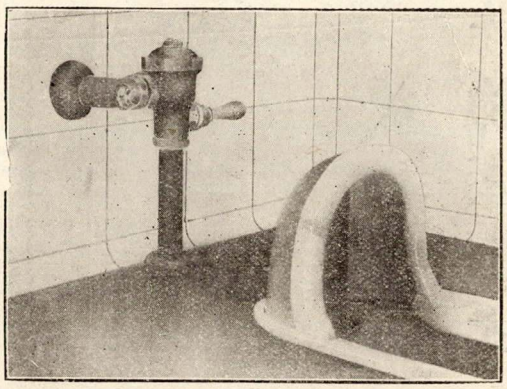
ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

耶太眞內木
耶三彌崎三
耶太邦瀨寅

大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四
東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

辨滌洗所便洗水

# ヨネ.フラッシュ.バルブ



定指御課繕營學大國帝京東
可認御所役市都京・阪大・京東

製造發賣元 米本商店

大阪市西區幸町三丁目二番
電話 櫻川三八八〇

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐
設計製作
据付諸工事

TRADE MARK

資本金 大阪東区今橋貳丁目一三地
代表社員 小川繁太郎
電話本局 一三二八九 五九三三番
振替口大阪 一〇六一一番

# 大キナ商店

特約 インターナショナル石油發動機
みのくち式A1型渦巻ポンプ
深井戸用各種ポンプ・ベリル
グライングヴィ・マグネット・チール

# 陸屋根地下室用防水布




専賣特許
## 富士印クロースルーフ井ング

本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度仲度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

**クロースルーフ井ング製造所**

工場　大阪住吉

大阪市東區平野町四丁目五八　電話本局五四〇七番

---

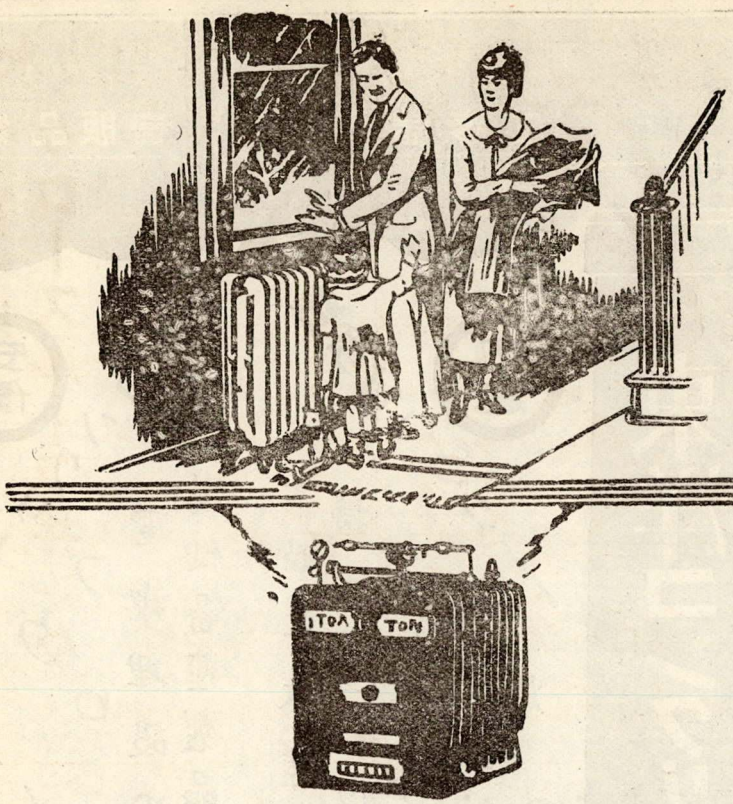
## 營業種目

田中式天窓（スカイライト）裝置
岡田式耐酸アスファルト
大橋及東洋式各種ラス
階段辷止金具ノンスリップ
高陽スレート
各種ルーフイング及フエルト
タービヤ及アスファルト
陸屋根地下室防水工事

## 岡田建築材料店

名古屋市西區西菊井町二丁目

電話西局一二一番一〇八七番　振替名古屋五五九六番




株式會社

# 東亞鐵工所

大阪市此花區西九條濱通一〇

電話土佐堀(一一)三七番
(三)九六七番

株式會社

# 東亞鐵工所東京出張所

東京市麹町區丸ノ内ビル三九八

電話丸ノ内(23)一七九六番

**營業案内**

**煖房部**

煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

**製作部**

各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

製品販賣　工事請負

# 東洋コンクリート合資會社

安價

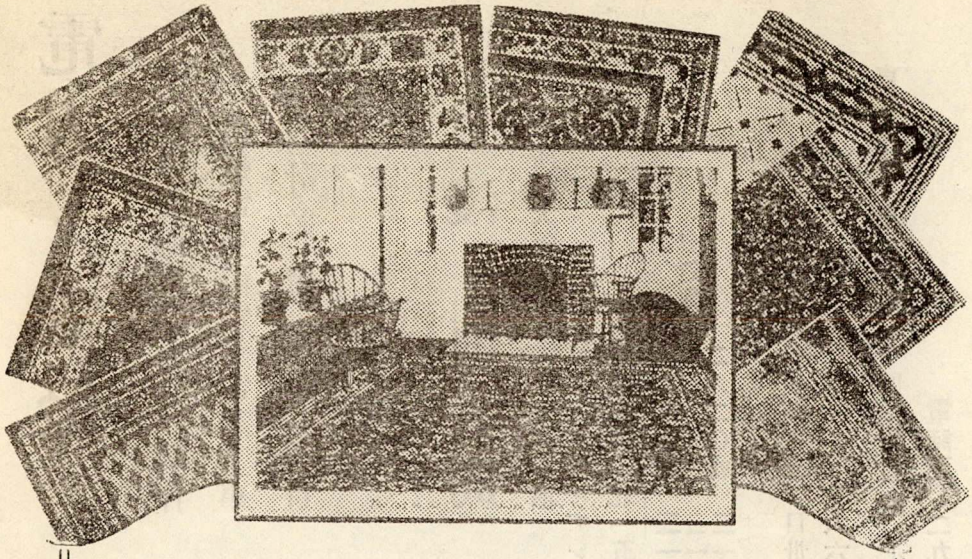
鐵筋コンクリート土管
ブロックイ
ルフクロ
電纜埋設用トラフ
其他各種製品應御注文

迅速

鐵筋コンクリート煙突
一般土木建築工事
特殊ブロック建築
ブロックタンク塀

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀三八三四番



大小色々

模様色合各種

# 山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

# 電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

## 淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
　　電話直通　北一五七六番
交換北一二一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番

東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番

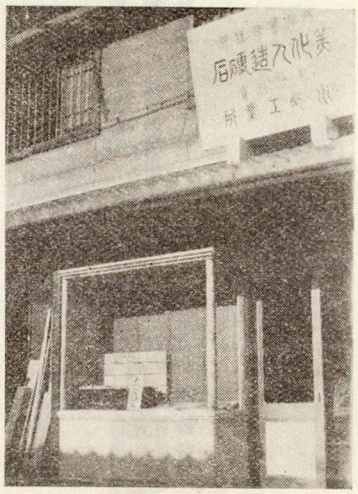
---

建築界の美化と經濟に
貢献する

專賣特許

## 美化人造硬石

用途　大理石並ニ各種石材代用




硬石製ウインドー及彫刻看板

特長
- 實質堅牢
- 色彩優美
- 吸水絶無
- 色澤不變
- 耐寒耐熱
- 寸法模様
- 型態自由

御申越次第カタログ進呈

我美化人造硬石ハ多年研究ノ結果本年一月專賣權ヲ得タル嶄新ナルモノニシテ從來各地ニ製造シツツアル人造石ノ比ニアラズ御試用ヲ乞フ

製作販賣

## 川崎工業所

大阪市東區横堀四丁目
電話本町八四六

# 負請事工計設量測



大正九年創立

資本金貳百萬圓

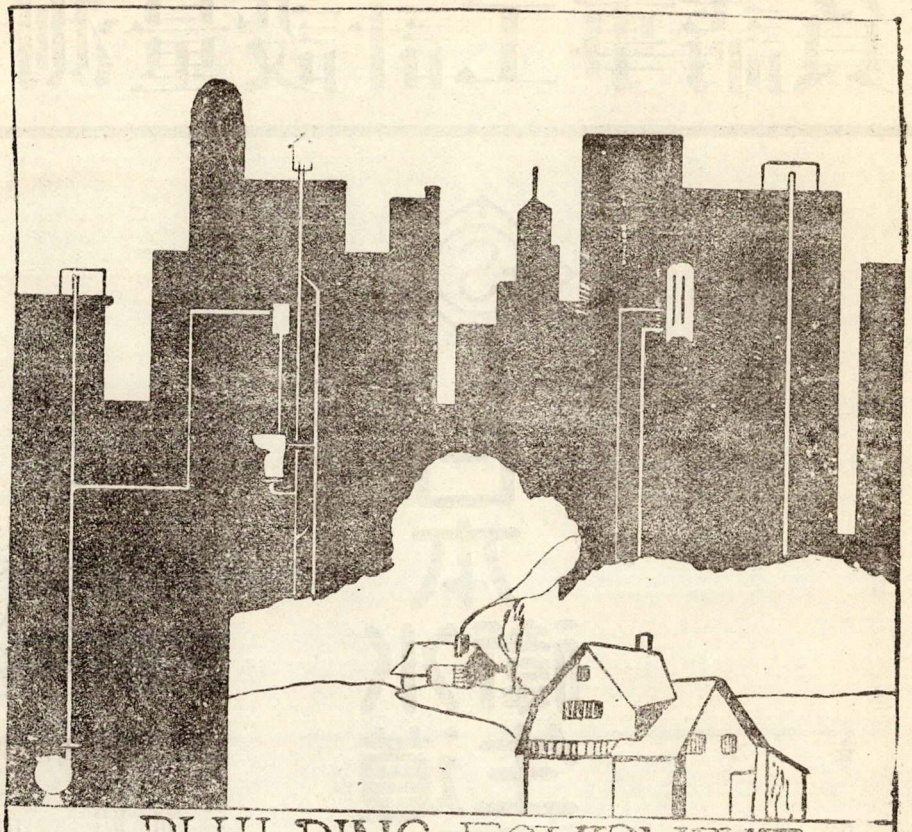
# 日本水道衛生工事株式會社

## 營業課目

上下水道工事（市、町、村住宅地、官衙、兵營、工場）
水力電氣工事
建築衛生工事（防火、給水、給湯、排水、汚水淨化）
煖房、換氣工事（通風、冷房諸機械設備）
諸官廳ニ於ケル右工事手續代理行爲


電報略號　受信「ニチスイエイ」　發信「ニスハニ」
振替口座　東京五一五七五番　大阪五三七一五番

本社　大阪市東區高麗橋詰町六〇　電話東長（二一四二二番）（二一四二三番）
支店　東京市京橋交叉點第一相互館　電話京橋（四〇〇〇一番）（四〇〇〇二番）
出張所　京都・神戸




都市水道
衛生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

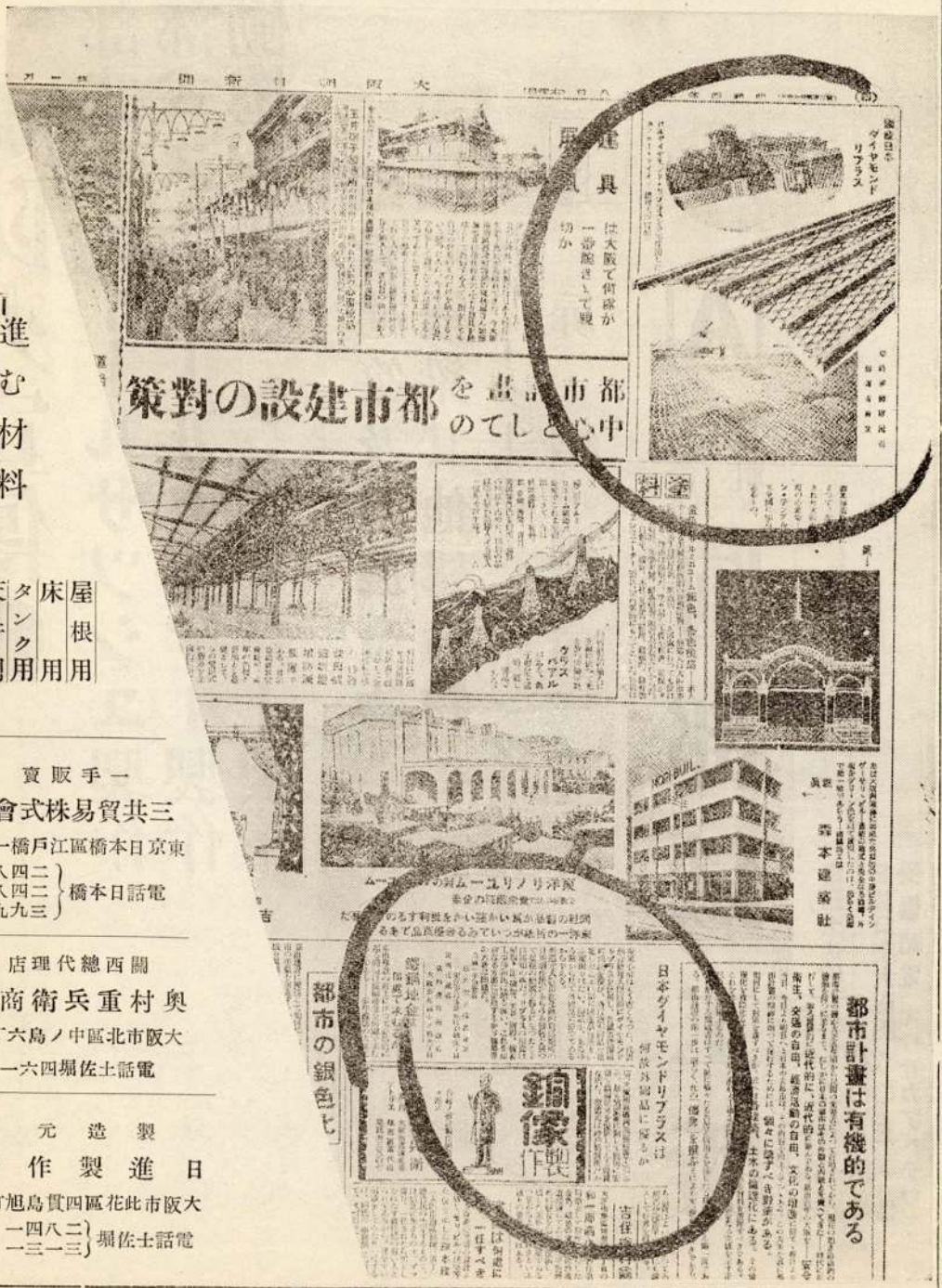
# 桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

Nippon
DIAMOND RIBBED STILL

# 日本ダイヤモンドリブスラブ




進む時代に「進む材料」

屋根用
床用
タンク用
天井用
壁用

一手販賣
三共貿易株式會社
東京日本橋區江戸橋一丁目
電話日本橋 二四八六 二四八七 三九九一

關西總代理店
奥村重兵衛商店
大阪市北區中ノ島六丁目
電話土佐堀一六四一

製造元
日進製作所
大阪市此花區四貫島旭町
電話土佐堀 二八四一 二一三一

# ●防火宣傳●

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シヤッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江上二丁目五九
電話土佐堀（長一八一四番 三〇〇八一四番）
振替口座大阪四八〇〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

# 内外建築大家御指定品




品質優秀

## 米國 サーテンティード 便利瓦（ルーフイング）

アスファルト防水材料

価格至廉




**主なる御使用先**

丸ノ内ビルヂング　三菱鑛業會社
日本郵船ビルヂング　久原鑛業會社
有樂館　横濱ユーナイテッドクラブ
東京帝國大學　横濱スタンダード會社
東北帝國大學　横濱ライジングサン會社
早稲田大學講堂　清水組
三越呉服店　大林組
上野松坂屋本館　竹中工務店
アメリカンスクール　安藤組
東京女子大學　大倉土木會社
三菱地所部　戸田組

日本總代理店

合資會社 **デウエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番

# 便所之改善

專賣特許第三二七九八號

## 大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絶對皆無
現在汲取式の理想的便所

專賣特許第三六七一五號

## 株式會社 城口研究所大阪支店

### 城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須 清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

### 一般給水衛生工事

『パームチット濾水器』關西代理店

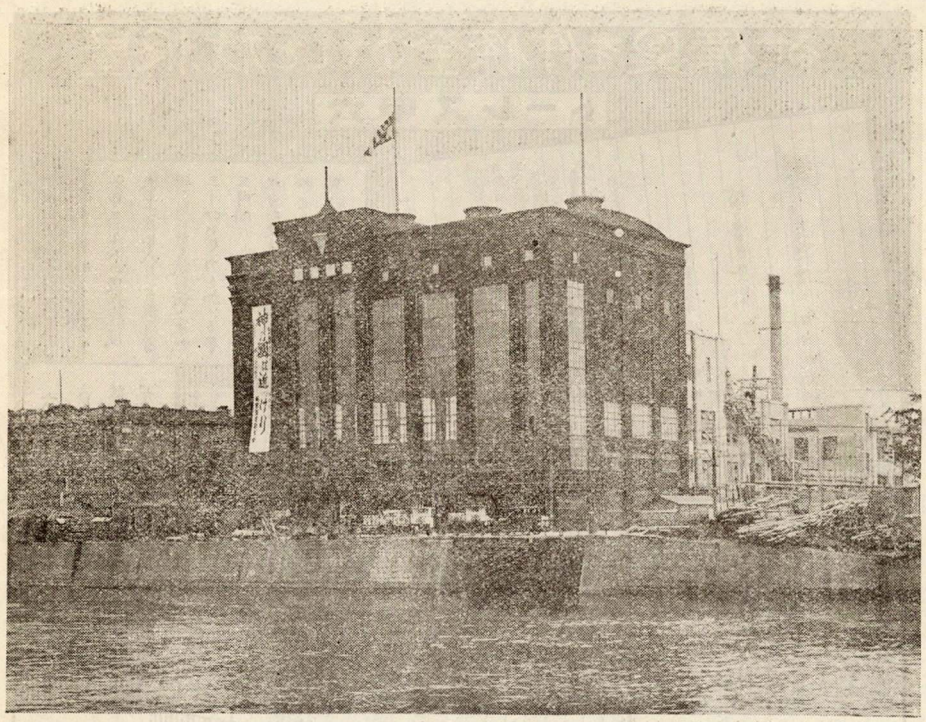
大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二二 一九 一五 八六番

本店　東京市神田區神田代千田町十八番地　電話神田 特長 二五二三番 二五二二番

出張所　名古屋市西區本町三丁目五番地　電話東 二三七〇番
同　京都市大和大路前佛大　電話祇園 四七二四番
同　神戸市三宮町一丁目百十七番地　電話三宮 一六一八九番
同　横濱市常盤町五丁目八十一番地
同　廣島市竹屋町百三十五番地　電話 二八〇八番

江東サツシ御採用の大阪朝日會館



# 江東サッシ

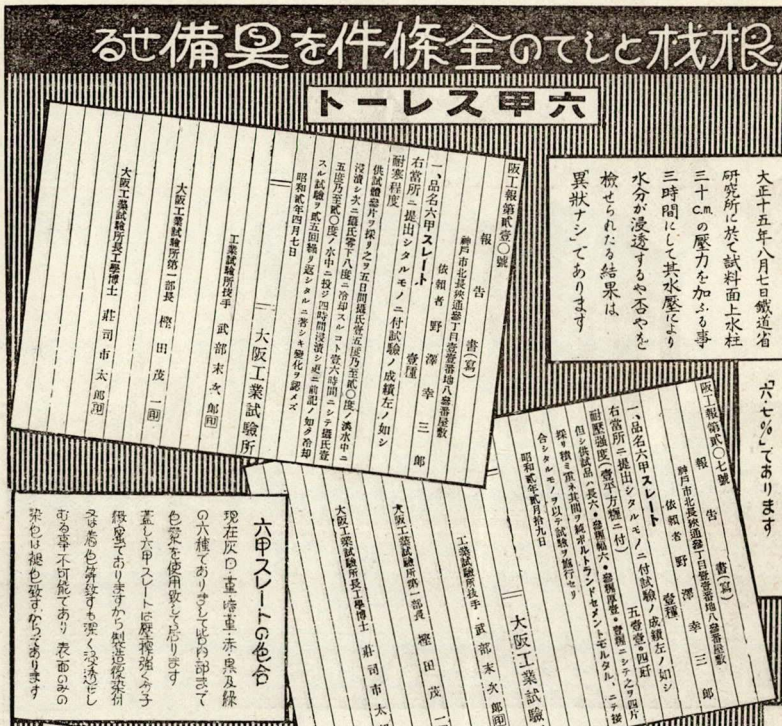
東京・龜戸
電話向島3138番

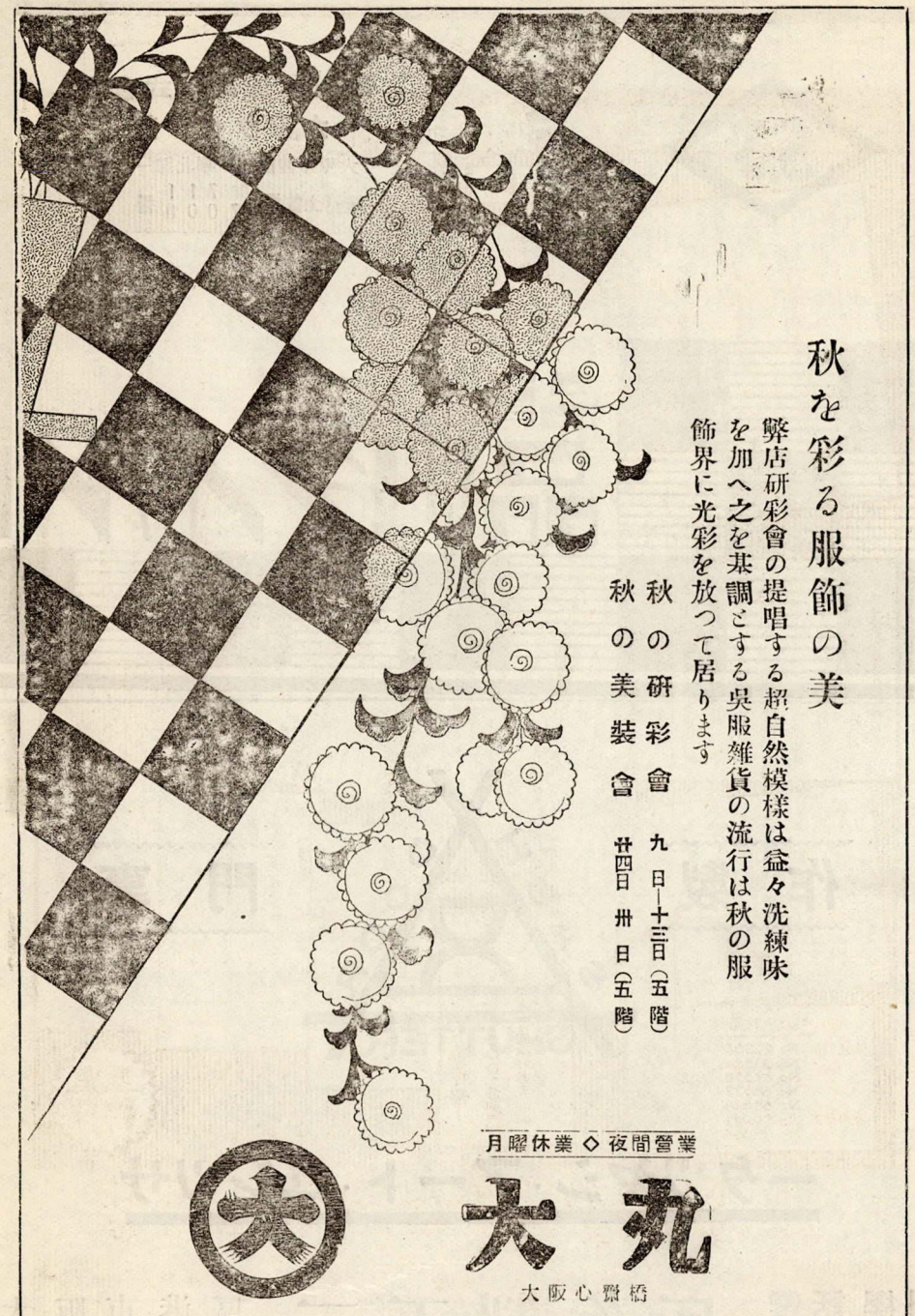
# 屋根材としての全條件を具備せる

## 六甲スレート

六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十㎝の壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
「異狀ナシ」であります

六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六・七%」であります


阪工報第貳壹〇號
報告書(寫)
神戸市北長狹通壹丁目壹壹番地八番屋居住
依賴者 野澤幸三郎
一、品名六甲スレート
右當所ニ提出シタルモノニ付試驗ノ成績左ノ如シ
耐寒程度
供試體壹片ヲ採リ之ヲ五日間攝氏壹度乃至零下五度ノ冷水中ニ浸漬シ次ニ攝氏壹壹度ヨリ八度ニ冷却スルコト壹六時間ニシテ攝氏壹五



# 秋を彩る服飾の美

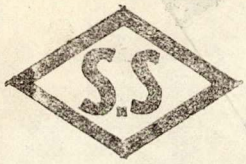
弊店研彩會の提唱する超自然模様は益々洗練味を加へ之を基調とする呉服雑貨の流行は秋の服飾界に光彩を放つて居ります

秋の研彩會　九日―十三日（五階）
秋の美裝會　廿四日　卅日（五階）

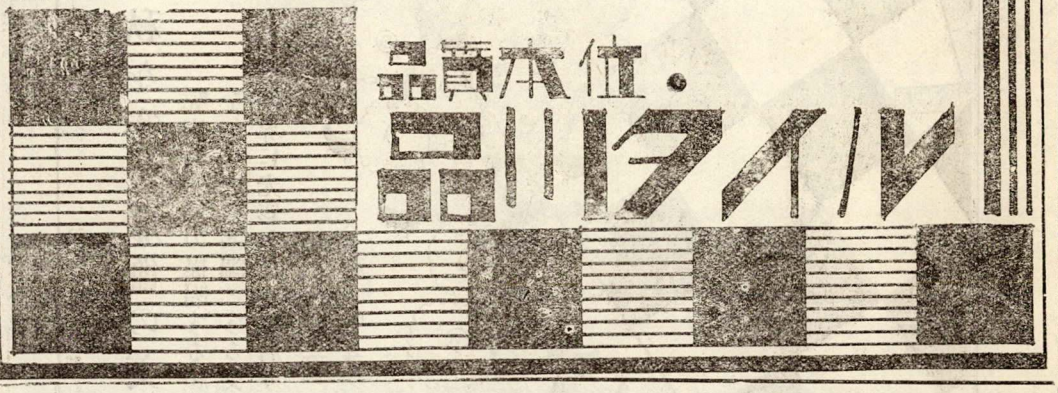
營業時間夜◇休業曜月

大丸

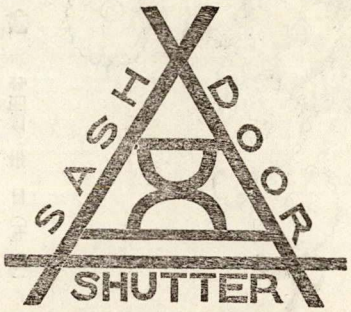
大阪心齋橋



品川白煉瓦株式會社
大阪タイル部
大阪市西區江戸堀北通一丁目
電話土佐堀 { 711 / 7008 番




製作




專門

サツシユ・アード・シヤツタ

大阪市港區
北恩加島町五五

三五製作所

電話櫻川
四五三四番

# 理想的屋根ノーレス新材

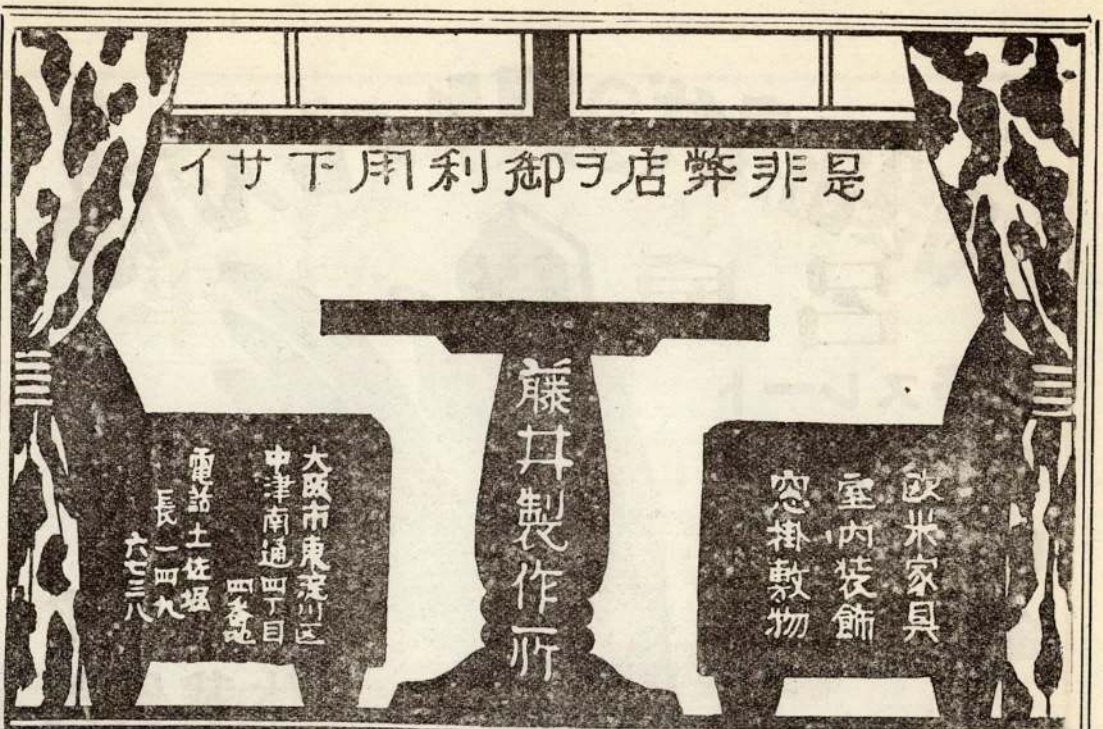


淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

## 日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊇3468番・3469番
本社 東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊇684・841(專用) 1860・1861・1862番(接續)
支店 {横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
門司市東本町四丁目 電話㊇548番
出張所 名古屋・仙臺・京城




**建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定**

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戶堀南通五丁目
電話土佐堀(二一六六番)(二一五四番)

**木下謹三商店**

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負

炊事
給湯
冷藏
煖房
風呂

に

# ガス

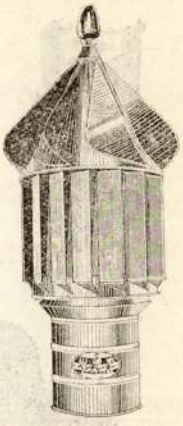


ガス設備。設計。施工。迅速丁寧に致します

大阪瓦斯株式會社 營業部

大阪市北區堂島濱通リ一丁目　電話北二二七 —— 二三二番

# 山崎式ベンチレーター



換氣力絶大
價格低廉
永久持續油壺
完全防水
等・等・等
好評噴々

最早實地使用
**試驗濟優秀品**トシテ**確定**セラル
永久的使用料油無料進呈

## 新案特許願

# 山崎式エルボー

（最新式闖逸製 エルボー機械購入）

三種類エルボー
ストーブベンチレーター用

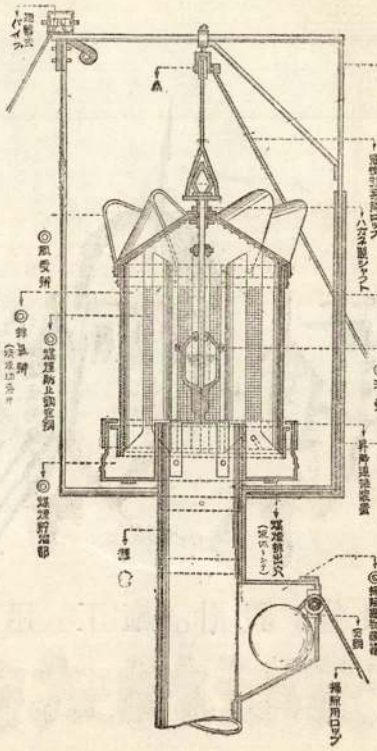
A **普通エルボー**
日本唯一掃除蓋付にて掃除が容易に得られます。

B **掃除蓋付エルボー**
蓋付エルボー加工品にして火粉止有効保證

C **火粉止エルボー**

特許 山崎式

# 煤煙防止自然廻轉助燃器



カタログ進呈

## 防火宣傳

1 **火災防止**

2 **衛生保健上**

煙突ノ上部ニ取付裝置ニシテ掃除其他取脫スル場合ロツプニヨリ地上ヨリ取降スコトが出來マス

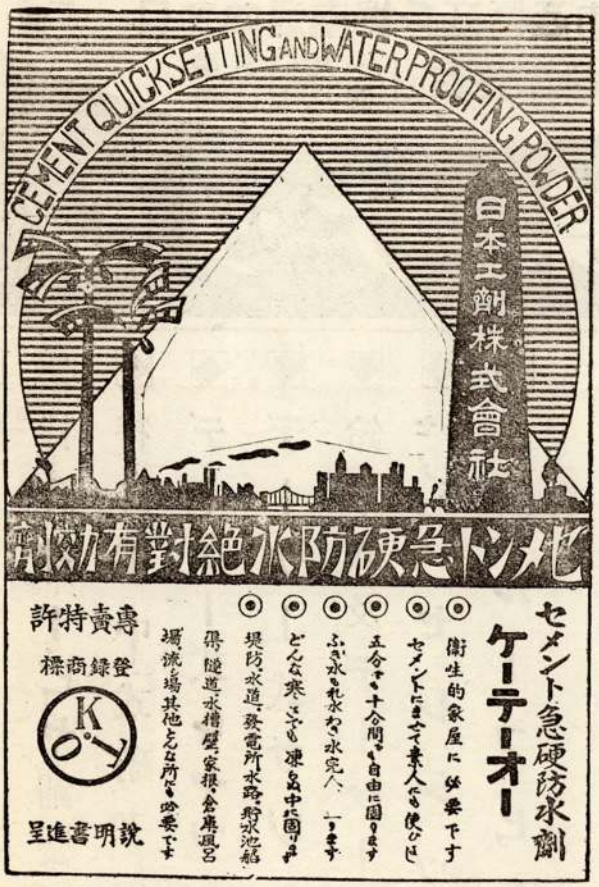
3 **燃料節約 能率增進**

湯屋・料理業・ウドン屋組合
諸官廳・會社等 御推薦品

**山崎吉松商店**

大阪市西區阿波座下通二丁目廿四番地
電話新町三〇二七番

セメントを早く堅めて
永もちさせる
ケーテーオー




東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番

大理石代用 オパキサイト

完全防水 エヴァシール

関西総代理元

# 田中昌司商店

大阪市西區江戸堀南通四丁目

電話土佐堀 {一四八〇番 三七五八番}

江東サッシ

マグスタッコ床塗

◆特許山添式防水工事
◆特許タービヤ舗装工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目

# 内外土木建築材料合資會社

電話局櫻川一六一〇番

## ◇宮島式排氣頭◇

排氣頭ノ價値ハ排氣量ニアリ

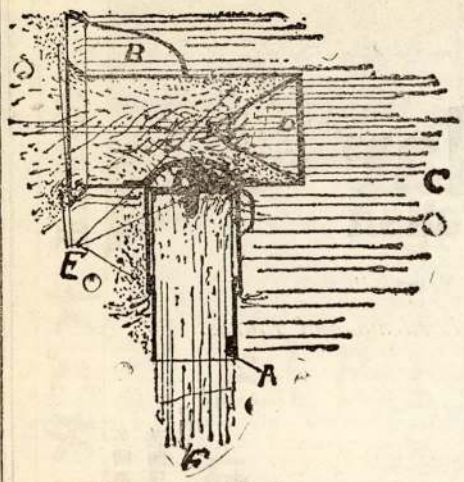
定評アル



### 本機ノ特徴

一、吸引力旺盛ナル事
二、價ノ低廉ナル事
三、廻轉烈シカラザル故破損ノ憂無キ事
四、雨水ノ筒下ニ入ル憂無キ事
五、煙突臭氣換氣何レニ使用シテモ有効ノ事
六、一目ニシテ風向キヲ知リ得ラルヽ事
七、逆風ノ時ト雖モ完全ニ排出口ヲ風下ニ向ケ作用ハ同ジ

以上ノ如ク他ノ追從ヲ許サズ




### 本機理解說明

A 排氣管ニ差込ム
B 方向可キ所 Y字形片葉蝶番
C 頭外ノ速風
D 旋風起漏斗
E 眞空體吸引力
F 筒下ノ惡氣

（御一報次第カタログ進呈）

◇◇◇◇ 特特特許許許 宮島式 自サ排換 働イホ 洗ンン 滌氣 裝水 置置頭頭

發賣元

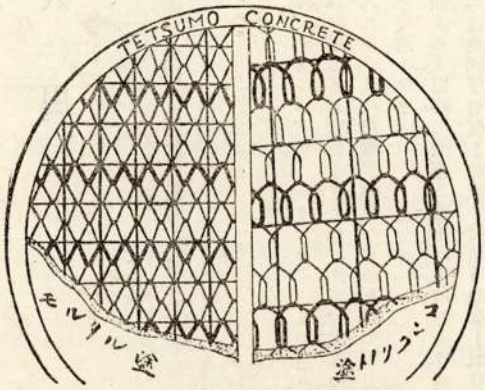
導湯水ボン 諸般バイプ 衛生 負請事工

## 宮島康夫商店

東京市赤坂區青山北町一丁目四番地（神宮外苑入口）
電話青山(36)四七二九番　振替口座東京五五四八七番



## 完全無比特許藤井式鐵網




### ◇營業種目◇

◆特許藤井式鐵網各種
◆木摺板不用鐵網各種
◆丸形甲形菱形鐵網
◆クリンプ金網各種
◆角形金網各種
◆一般土木建築用金網類
◆金網製造機械設計製作

東京市芝區白金三光町一五九

### 東京機械金網工場

電話高輪六二五八番
電略（トキ）又ハ（トアミ）

型錄送呈

# O-Cedar Polish

*"It Cleans, Shines and Renews"*

*All of your Furniture, Automobiles, Linoleum and Pianos.*

英國專賣特許日本政府登錄濟
英國ヲセダー株式會社製品

## ヲセダーポリシユ

和洋家具、樂器、リノリユーム
床板、廊下、唐木、白木造リ
掃除手入れ用

英國ヲセダー會社日本總代理店
ヲセダポリシユ輸入販賣元

## 澤田合名會社

神戸市八幡通四丁目四四番
電話葺合四〇七一番
私書函三宮二五四番

◆各地百貨店、家具店、敷物商、藥舖、洋食料品店、金物店等にてお求め下さい

一、總ての塗り物即ちバニス、ラツカー、ペイント、漆、シクラツク、其他色々の塗料にて塗りたるものゝ美を保存するには**ヲセダーポリシユ**に優るものはありませぬ、洋館、洋風の設備、洋家具、リノリユーム床板等の保存法として掃除と手入れが一度に出來、塗面の光澤を優美に引立て新しきものは永久に美しく古きものも段々新らし味を加へ復活させます

一、塗面が汚なくなる原因は塗料が乾燥すると同時に酸化と風化の作用を受け塗面が變質し光澤が退化するからであります、此れを防止するには英國**ヲセダー**會社の製品**ヲセダーポリシユ**に限ります

一、**ヲセダーポリシユ**は杉檜等の樹脂から採つたもので、塗面の酸化と風化を完全に防止しますと同時に塗料と同化し乾燥を緩和します、眞に塗料の保護材、塗料の友として天下無二の優秀品であります

一、近來類似品又は模造品(油の色丈けを似せたもの、包裝レツテルを模倣したもの)が澤山ありますが**ヲセダーポリシユ**と比較する價値のあるものは一つもありません
上記の商標と**ヲセダーポリシユ**と云ふ名稱を御指示願ひます

(特約販賣希望の方は御申越し下さい)

# (賜攝政宮殿下台覽)
# 各府縣市營繕課御推奬品

## 建築界之驚威

安くて
強くて
美しい

登錄商標

## ミクニ板

(特許杉柾目 檜柾目 天井板)

青森 秋田 岩手 宮城 四縣特約店

關東特約販賣店

東京市京橋區本材木町三丁目
篠田政之助商店

大阪府特約店

大阪市西區立賣堀南通二丁目
澤田秀吉商店

京都府特約店

京都市河原通夷川角
藤原彌三郎商店

其他全國樞要ノ地ニ特約店販賣店アリ

登錄商標

ミクニ板製造元

廣島縣福山市西町

## 日本木材工藝株式會社

長電三九七番

# 煖房ト冷房

AIR CONDITIONING

## 大和工業株式會社

代表取締役 山崎寛二郎

代表取締役 萩原貞

宮崎式ペーチカ

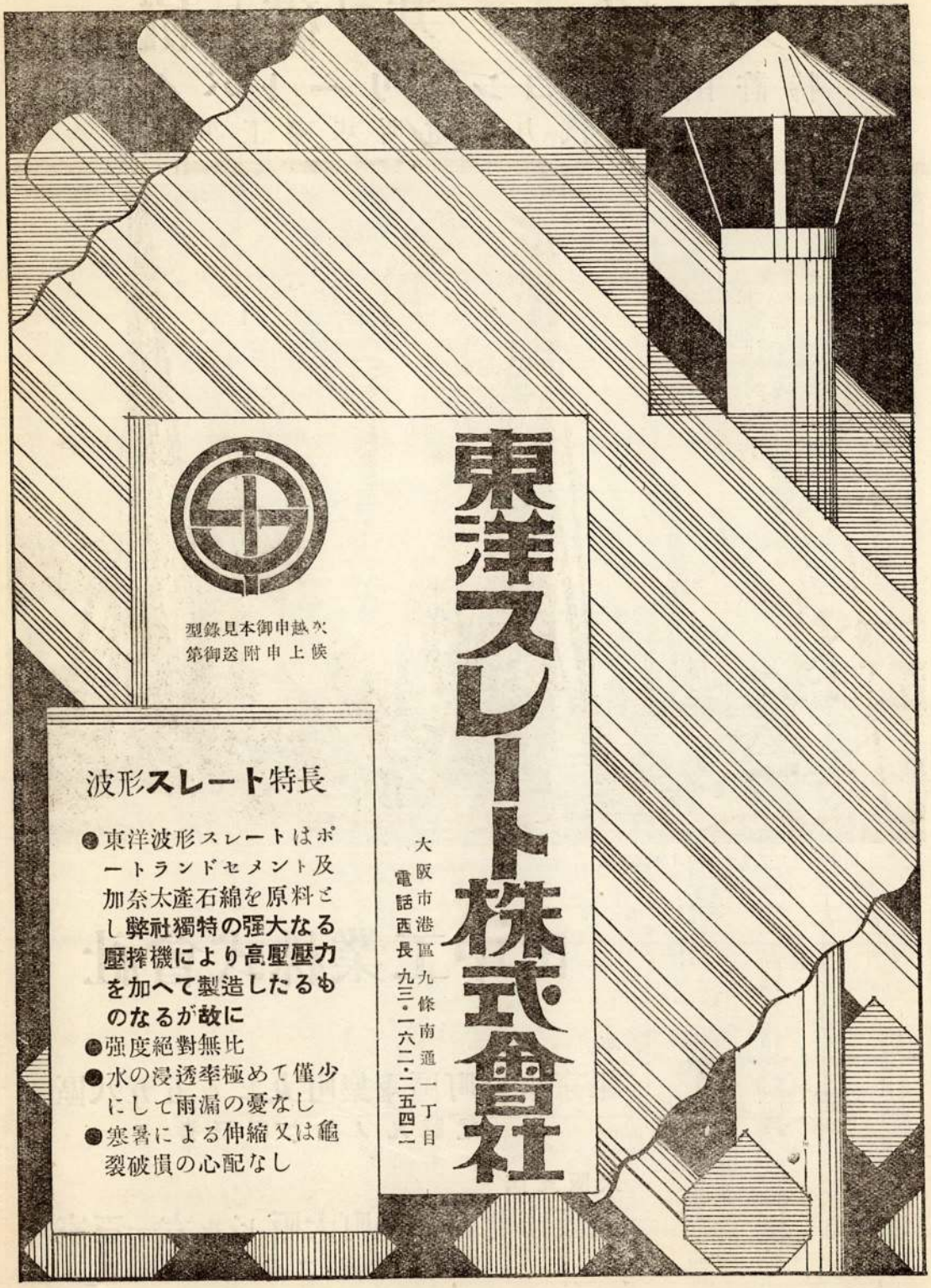
### 營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
衛生工事　汚水淨化裝置
給水給湯裝置　蒸氣諸裝置
温濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
氣送管（ニューマチックチューブ）裝置　眞空掃除（バキュームクリーナー）裝置

以上の設計、監督、工事請負並に材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三番地　電話北一〇七八・六二九一番　（略受電語）（オサカダイワ）

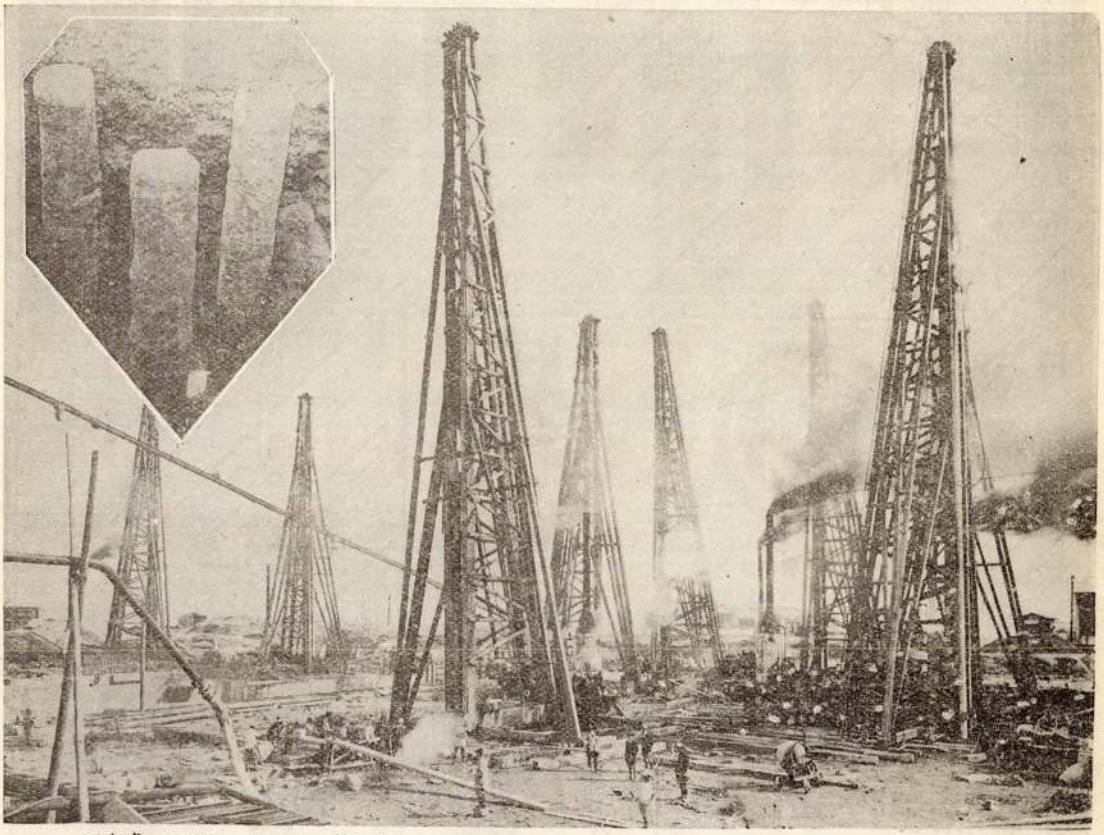
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五（八〇二館互相一第）　電話京橋三二七三番　（略受電語）（トウケイダイワ）


東洋スレート株式會社
大阪市港區九條南通一丁目
電話西長九三・一六二・二五四二
波形スレート特長
●東洋波形スレートはポートランドセメント及加奈太產石綿を原料とし弊社獨特の强大なる壓搾機により高壓壓力を加へて製造したるものなるが故に
●强度絶對無比
●水の浸透率極めて僅少にして雨漏の憂なし
●寒暑による伸縮又は龜裂破損の心配なし
御申越次第御送附申上候
御本見錄型

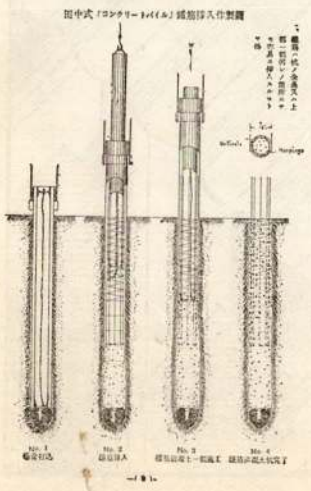
# 完絶セル基礎杭

## 特許田中式コンクリートパイル

### 鐵道省川崎汽力發電所基礎工事實況



田中式コンクリートパイル施工法



## 田中工業株式會社

本　社

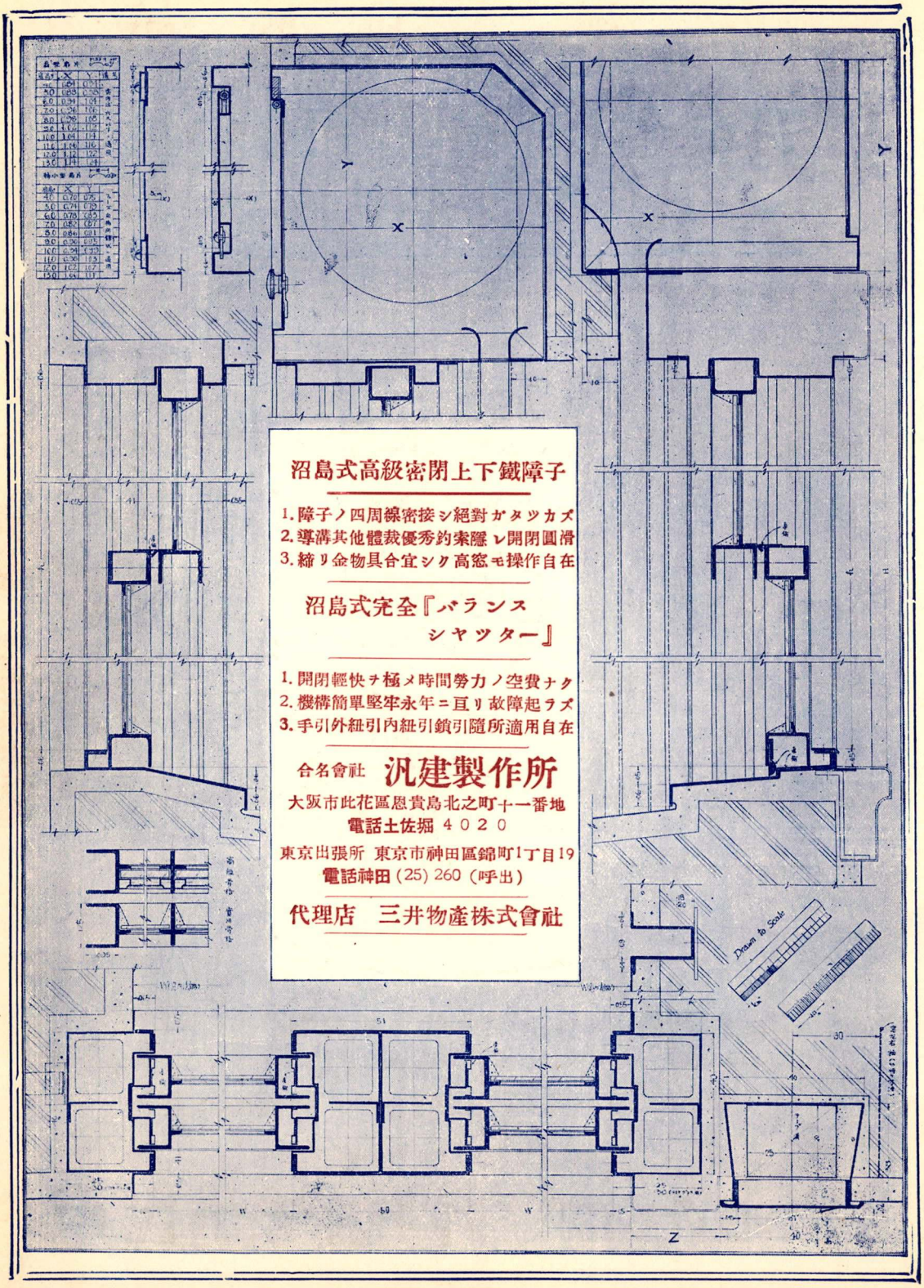
東京市麹町區永樂町丸ビル五五八區

電話丸ノ内九四三番

大阪支店

大阪市北區宗是町大阪ビル六一三室

電話土佐堀　二八一二番




## 沼島式高級密閉上下鐵障子

1. 障子ノ四周線密接シ絶對ガタツカズ
2. 導溝其他體裁優秀的案隆レ開閉圓滑
3. 締リ金物具合宜シク高窓モ操作自在

## 沼島式完全『バランス シヤツター』

1. 開閉輕快ヲ極メ時間勞力ノ空費ナク
2. 機構簡單堅牢永年ニ亘リ故障起ラズ
3. 手引外紐引內紐引鎖引隨所適用自在

合名會社 **汎建製作所**

大阪市此花區恩貴島北之町十一番地
電話土佐堀 4020

東京出張所 東京市神田區錦町1丁目19
電話神田 (25) 260 (呼出)

代理店 三井物產株式會社

# 鈴木式ホロー・シヤタア

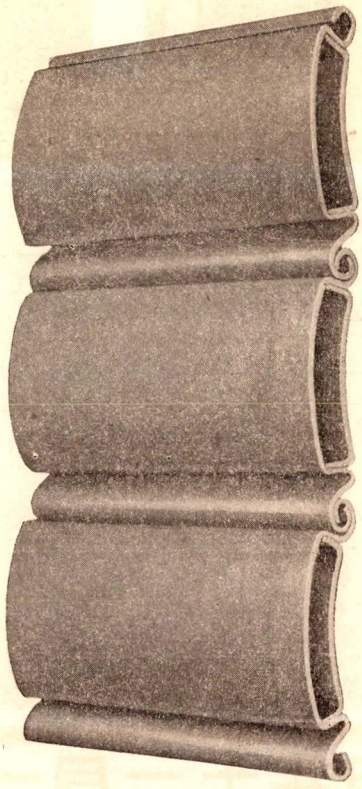
特許番號

日本　第一〇〇三三三號
英國　第二六五八七三號
米國　第一七〇七二八七號

**米國特許局は今回**

ホロー・シヤタアに第一七〇七二八七號を附して
特許を許可されました

世界の專門大家が……**世界一**……と
激賞する……ホロー・シヤタア



至急御申込を乞ふ

上等舶來アート摺一百二十頁、實例滿載の
新刊・ホロー・カタログ・御設計用として無代進呈

東京巢鴨町宮下
京都東山通月見町二

## 建築金物商會

SUDZKI'S PATENT

HOLLOW SHUTTER